



年報

令和5年



独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター



年報

令和5年

JCHO
星ヶ丘医療センター

巻頭言

院長 細野 昇



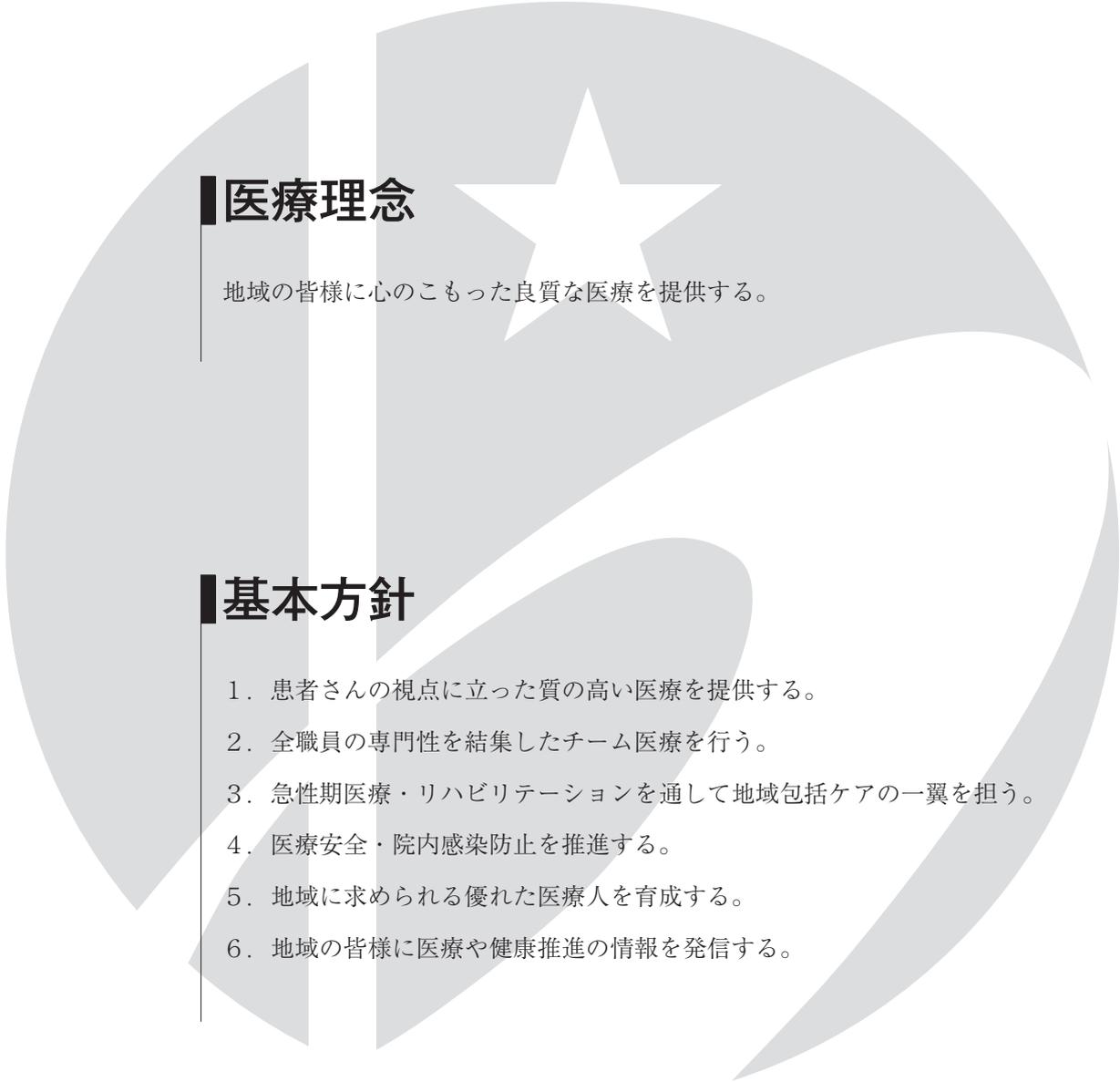
令和5年度のJCHO星ヶ丘医療センター年報が完成いたしました。皆様にお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

地域医療機能推進機構（JCHO）は平成26年に全国の社会保険病院等（社会保険病院、厚生年金病院、船員保険病院）を直接運営するために組織された独立行政法人であり、今年度ようやく設立10周年を迎えることができました。これも地域住民の皆様、行政、大学医局、医師会のご支援の賜物であり、深謝申し上げます。我々は『安心の地域医療を支える』というJCHOの理念を実現するために全国57病院が協力して良質な医療を提供しています。また地域医療に貢献するため、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患の5疾病並びに救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療、へき地医療及び新興感染症対応の6事業について、地域で求められる役割を確実に果たすよう取り組んでいます。最近ではJCHO東京蒲田医療センターから職員を派遣してダイヤモンド・プリンセス号の船内医療救護活動を行い、さらに乗客乗員の新型コロナ感染者を受け入れたのは記憶に新しいところです。当院も今般の能登半島地震10日後には被災地に職員を派遣し、余震の続く中病院廊下に寝泊まりして診療業務補助にあたりました。

星ヶ丘医療センターでは令和5年度は日本医療機能評価機構の評価受審も無事終わり、認定証（評価項目3rdG：Ver.2.0）をいただくことができました。また前年度より収支状況も改善し病院建て替えに向けて弾みがついています。

星ヶ丘医療センターはこれからも（1）救急医療を含む急性期医療・高度専門医療の充実、（2）地域医療・地域包括ケアの要となる人材育成と地域住民への情報発信強化、（3）透明性が高く財政的に自立した運営、を通じて北河内地区の地域医療に貢献できるよう尽力してまいります。今後ともみなさまのご理解・ご支援を頂きますよう、心からお願い申し上げます。

令和6年7月31日



医療理念

地域の皆様に心のこもった良質な医療を提供する。

基本方針

1. 患者さんの視点に立った質の高い医療を提供する。
2. 全職員の専門性を結集したチーム医療を行う。
3. 急性期医療・リハビリテーションを通して地域包括ケアの一翼を担う。
4. 医療安全・院内感染防止を推進する。
5. 地域に求められる優れた医療人を育成する。
6. 地域の皆様に医療や健康推進の情報を発信する。

目 次

巻頭言
医療理念と基本方針

概要

現況	3
病院組織図	5
主な役員一覧	7
職員数	8
指定・認定施設一覧	10

医事統計	11
------	----

退院患者統計	17
--------	----

業務報告

総合診療部 総合内科	31
脳神経・脳卒中内科	32
糖尿病内科	34
腎臓内科	35
緩和ケア科	36
化学療法科	37
呼吸器内科	38
消化器内科	39
感染制御内科	41
循環器科	42
精神・神経科	43
免疫内科	44
小児科	45
外科	47
整形外科	49
スポーツ整形外科	51
心臓血管外科	52
血管外科	52
形成外科	53
脳神経外科	54
脳血管内治療科	55
呼吸器外科	56
皮膚科	57
泌尿器科	58
産婦人科	60
眼科	61
耳鼻咽喉科	62
リハビリテーション科・リハビリテーション部	63
放射線科・診療放射線部	68
麻酔科	72
歯科・歯科口腔外科	74
臨床検査科・病理診断科・臨床検査部	75
健診科	80

手術部	81
集中治療部	82
人工透析室	84
内視鏡センター	85
地域医療連携室	86
入退院支援室	87
福祉相談室	89
医療相談室	91
がん相談支援センター	93
医療安全管理室	96
感染管理室	98
チーム医療部・摂食嚥下チーム	101
チーム医療部・認知症ケアチーム	102
チーム医療部・呼吸療法サポートチーム (RST)	103
チーム医療部・栄養サポートチーム	104
チーム医療部・褥瘡対策チーム	106
チーム医療部・がんサポートチーム	107
チーム医療部・糖尿病チーム	108
チーム医療部・排尿自立支援チーム	109
チーム医療部・感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チーム	110
臨床心理室	111
臨床研究・治験管理室	112
薬剤部	119
栄養管理室	128
臨床工学部	130
看護部	132
事務部	146
星ヶ丘医療センターの経営状況	147
機器購入一覧	148
医事課算定病歴係・診療情報管理室	150
図書室・患者図書室	151
健康管理センター	152
訪問看護ステーション	154
委員会活動	157
星ヶ丘クリニカルカンファレンス	173
学術研究業績	175

概要

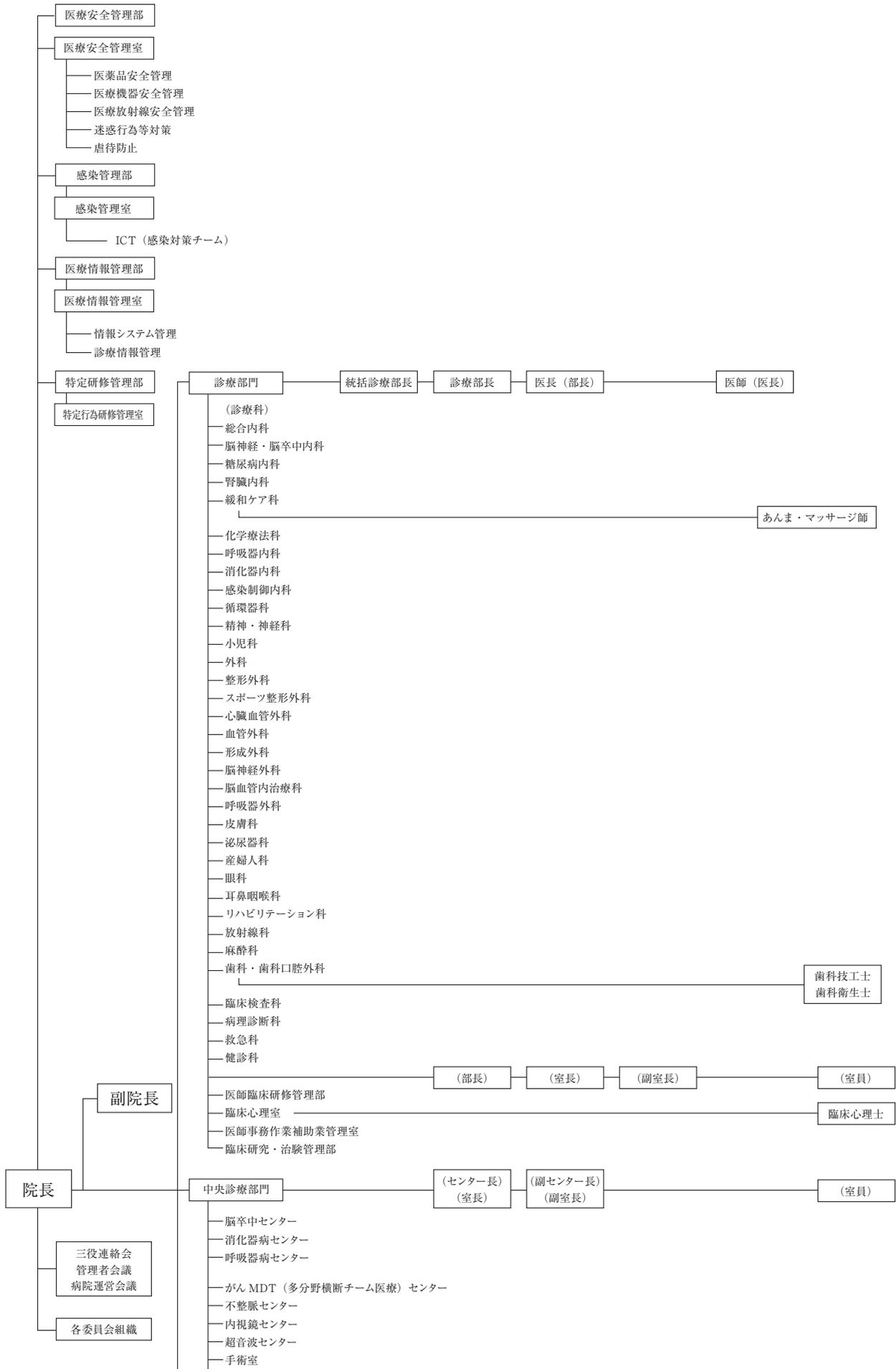
■星ヶ丘医療センター 現況

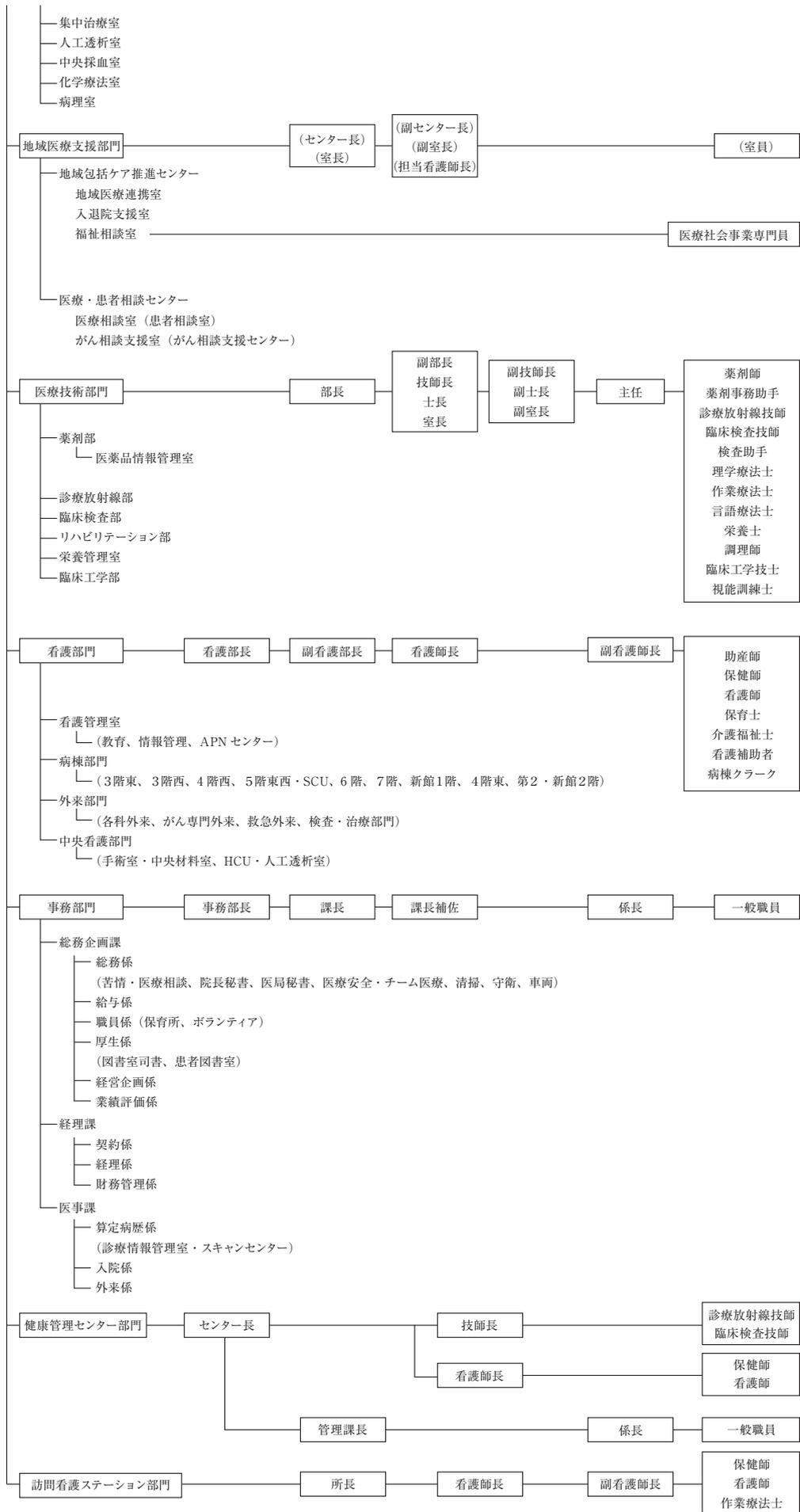
令和5年12月31日現在

施設	敷地面積	96,844.89㎡	標榜科目	内科	血管外科	
	建物面積			呼吸器内科	皮膚科	
	病院本館・新館	21,209.83㎡		消化器内科	泌尿器科	
	第1外来棟	4,309.23㎡		循環器内科	産婦人科	
	検査棟	1,255.31㎡		糖尿病内科	眼科	
	新外来棟	1,035.94㎡		精神科	耳鼻咽喉科	
	第2外来棟	3,913.81㎡		神経科	リハビリテーション科	
	渡り廊下	550.19㎡		脳神経内科	放射線科	
	体育館	1,215.89㎡		小児科	麻酔科	
	第2診療棟	7,773.52㎡		外科	歯科	
	寄宿舎（A・E棟）	3,452.00㎡		整形外科	歯科口腔外科	
	寄宿舎（D棟）	343.00㎡		形成外科	臨床検査科	
	機械室	534.63㎡		脳神経外科	病理診断科	
	ポンプ室	49.50㎡		呼吸器外科	救急科	
	ポンプ室	40.40㎡		心臓血管外科		
	物置	8.20㎡		許可病床数	一般	580床
	物置	4.83㎡			(内 94床 回復期リハビリテーション)	
	守衛所	9.93㎡			(内 40床 地域包括ケア)	
		(内 28床 小児入院医療管理料3)				
		(内 16床 緩和ケア病棟入院料)				
		(内 6床 SCU)				
		(内 6床 HCU)				
特別施設	緩和ケア医療	各種指定等	臨床研修指定病院			
	脳卒中ケアユニット（SCU）		エイズ診療拠点病院			
	結石破碎装置（ESWL）		救急告示病院			
	人工透析室		DPC対象病院			
	CT室		災害医療協力病院			
	MRI室		プレアボイド報告施設			
	血管撮影室		NST(栄養サポートチーム)稼働施設			
	核医学検査室		地域医療支援病院			
	放射線治療室		大阪府がん診療拠点病院			
	多機能リハビリテーション施設		日本医療機能評価機構認定病院			
	内視鏡診断室		(一般病院2、3rdG:Ver.2.0)			
	超音波診断室					
院内学級（桜丘北小学校）						
院内学級（桜丘中学校）						
施設基準 【基本診療料】	初診療（歯科）の注1に掲げる基準	褥瘡ハイリスク患者ケア加算				
	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）	呼吸ケアチーム加算				
	地域医療支援病院入院診療加算	術後疼痛管理チーム加算				
	臨床研修病院入院診療加算（基幹型）	後発医薬品使用体制加算2				
	救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算1				
	超急性期脳卒中加算	データ提出加算				
	診療録管理体制加算1	入退院支援加算				
	医師事務作業補助体制加算1（15対1）	認知症ケア加算				
	急性期看護補助体制加算（25対1）	せん妄ハイリスク患者ケア加算				
	看護職員夜間配置加算（12対1）	排尿自立支援加算				
	療養環境加算	地域医療体制確保加算				
	重症者等療養環境特別加算	ハイケアユニット入院医療管理料1				
	緩和ケア診療加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料				
	栄養サポートチーム加算	小児入院医療管理料3				
	医療安全対策加算1	回復期リハビリテーション病棟入院料1				
	感染対策向上加算1	地域包括ケア病棟入院料2				
	患者サポート体制充実加算	緩和ケア病棟入院料1				
	重症患者初期支援充実加算	看護職員処遇改善評価料54				
	歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	静脈圧処置（慢性静脈不全に対するもの）				
	心臓ペースメーカー指導管理料	人工腎臓				
糖尿病合併症管理料	導入期加算1					
がん性疼痛緩和指導管理料	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算					
がん患者指導管理料イ	下肢末梢動脈疾患指導管理加算					
がん患者指導管理料ロ	CAD/CAM冠					
がん患者指導管理料ハ	有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2					
外来緩和ケア管理料	センチネルリンパ節加算					
糖尿病透析予防指導管理料	緊急整備固定加算及び緊急挿入加算					
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）					
二次性骨折予防継続管理料1	椎間板内酵素注入療法					
二次性骨折予防継続管理料2	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）					
二次性骨折予防継続管理料3	羊膜移植術					
下肢創傷処置管理料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）					
院内トリアージ実施料	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）					
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルのもの）					
外来放射線照射診療料	経皮的冠動脈ステント留置術					
外来腫瘍化学療法診療料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術					

施設基準 【特掲診療料】	ニコチン依存症管理料	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
	開放型病院共同指導料	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
	がん治療連携計画策定料	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
	外来排尿自立指導料	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
	薬剤管理指導料	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
	医療機器安全管理料1	腹腔鏡下肝切除術
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
	在宅経肛門の自己洗腸指導管理料	膀胱水圧拡張術
	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	ハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
	遺伝学的検査	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
	BRCA1/2 遺伝子検査	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	腹腔鏡下仙骨靭帯固定術
	検体検査管理加算（Ⅳ）	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
	時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
	神経学的検査	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
	補聴器適合検査	輸血管理料Ⅰ
	小児食物アレルギー負荷検査	輸血適正使用加算
	内服・点滴誘発試験	貯血式自己血輸血管理体制加算
	画像診断管理加算1	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
	CT撮影及びMRI撮影	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	歯周組織再生誘導手術
	外来化学療法加算1	麻酔管理料（Ⅰ）
	無菌製剤処理科	麻酔管理料（Ⅱ）
	心大血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	病理診断管理加算1
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	悪性腫瘍病理組織標本加算
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	口腔病理診断管理加算1
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	クラウン・ブリッジ維持管理料
	がん患者リハビリテーション料	
	歯科口腔リハビリテーション料2	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		
食事料	入院時生活療養（Ⅰ）	

■星ヶ丘医療センター 病院組織図





(令和5年12月31日現在)

■主な役員一覧

管理者	氏名	診療科
院長	細野 昇	
副院長	高橋 務	脳卒中内科
副院長	奥田 眞也	整形外科
統括診療部長	立石 耕介	整形外科
看護部長	北田美奈子	
事務部長	魚澤 正克	

所属部署	役職	氏名	
脳神経・脳卒中内科	部長	巽 千賀夫	杉浦 史郎
糖尿病内科	部長	五郎川 伸一	
緩和ケア科	部長	佐竹 主道	
化学療法科	部長	永井 健一	
消化器内科	部長	徳原 満雄	住友 康眞
循環器科	部長	保田 知生	大西 衛
精神・神経科	病院長相談役	井上 洋一	
小児科	部長	中河 いよう	松尾 康史
外科	部長	福地 成晃	永井 健一
整形外科	部長	梶座 康夫	米谷 泰一
形成外科	部長	廣田 龍一郎	
脳血管内治療科	部長	杉浦 史郎	
皮膚科	部長	立花 隆夫	
泌尿器科	部長	松本 吉弘	
眼科	部長	中坪 弥生	
耳鼻咽喉科	部長	高田 智子	
産婦人科	部長	河流 陽子	
リハビリテーション科	部長	矢田 定明	伊藤 泰司
放射線科	部長	田中 健寛	
麻酔科	部長	辻村 茂久	
歯科・歯科口腔外科	部長	福辻 美貴	
臨床検査科	部長	鳥井 郁子	河流 陽子
病理診断科	部長	鳥井 郁子	
健診科	部長	福地 成晃	河流 陽子
薬剤部	部長	佐原 敏之	
診療放射線部	技師長	石原 正仁	
臨床検査部	技師長	稲田 孝	
リハビリテーション部	士長	権藤 要	
栄養管理室	副室長	東 由里	
看護部	副看護部長	村上 博美	菅原 友美子
総務企画課	課長	深津 英夫	
経理課	課長	植山 邦彦	
医事課	課長	宮本 光裕	
管理課	課長(兼任)	深津 英夫	
訪問看護ステーション	所長(兼任)	菅原 友美子	

(令和5年12月31日現在)

■職員数

所 属	職 種	常 勤 職 員 数																											
		医 療 技 術										看 護			事 務		技 能		福 祉										
		医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	検 査 技 師	放 射 線 技 師	栄 養 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 聴 覚 士	歯 科 衛 生 士	臨 床 工 学 技 士	視 能 訓 練 士	その 他 の 医 療 技 術 職	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	事 務 職 員	診 療 情 報 管 理 員	運 転 手	調 理 師	そ の 他 技 能 職 員	医 療 社 会 事 業 専 門 員	保 育 士				
統 括 診 療 部	内 科	17											1																
	精 神 科	1																											
	神 經 科																												
	呼 吸 器 科	1																											
	消 化 器 科	4																											
	循 環 器 科	2																											
	小 児 科	5																											
	外 科	4																											
	整 形 外 科	16																											
	形 成 外 科	1																											
	脳 神 經 外 科	0																											
	呼 吸 器 外 科																												
	心 臓 血 管 外 科	1																											
	皮 膚 科	2																											
	泌 尿 器 科	4																											
	産 婦 人 科																												
	眼 科	2																											
	耳 鼻 咽 喉 科	3																											
	放 射 線 科	1																											
	麻 酔 科	6																											
リハビリテーション科	2																												
救 急 科																													
歯 科 口 腔 外 科		1								3	1																		
(再掲) 臨床研修医	6																												
小 計 A	72	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(再掲) 任期付き職員	20												1																
統 括 診 療 部 門	透 析 室																	1											
	薬 剤 部 門			21																									
	検 査 部 門	1			33								3																
	放 射 線 部 門					26																							
	栄 養 部 門						4															2							
	理 学 診 療 部 門							52	23	8				1															
	手 術 部 門																	22											
	医 学 資 料 室																												
	内 視 鏡 室																		13										
	その他(統括診療部)												8																
医 療 安 全 管 理 室																	1												
地 域 医 療 連 携 室																		3								1			
医 療 福 祉 相 談 室																	1										9		
看 護 部	一 般 病 棟																255										7		
	中 央 材 料 室																												
	訪 問 看 護 室																												
	そ の 他 (看 護 部)																	24											
看 護 部 長 室														1		37													
事 務 部	総 務 企 画 課																		14										
	経 理 課																		7										
医 事 課																		6	3										
そ の 他	車 庫																												
	洗 濯 掃 保																												
	健 康 管 理 セ ン タ ー	3													1	2		3											
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン																	4												
小 計 B	4	0	21	33	26	4	52	23	8	0	0	8	3	1	2	0	360	0	33	3	0	2	0	0	10	7			
(再掲) 任期付職員																10											1		
総 計	76	1	21	33	26	4	52	23	8	3	1	8	3	2	2	0	360	0	33	3	0	2	0	0	10	7			
(再掲) 任期付職員	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
(再掲) 休職者等	1			2	1		4		1								23		1								1		

							非常勤職員																								
介護福祉		療養介護		医事			計 (再掲) 任期付職員	医師数		医療技術職		看護職		事務職		技能職		福祉職		介護職		介護助養		作業補助員		医師事務		計		総計	
介護福祉士	介護支援専門員	介護員	看護助手	その他助手等	医師事務作業補助員	実数		換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	実数	換算数	
					6	24		9																		20	15.4	20	15.4	44	39.4
						1	1																				0	0.0	1	1.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						4		1	0.5																		1	0.5	5	4.5	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						5																					0	0.0	5	5.0	
						4																					0	0.0	4	4.0	
						16	3																				0	0.0	16	16.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						2	1																				0	0.0	2	2.0	
						4	1																				0	0.0	4	4.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						3																					0	0.0	3	3.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						6	6																				0	0.0	6	6.0	
						2																					0	0.0	2	2.0	
						0						2	0.8														2	0.8	2	0.8	
						5																					0	0.0	5	5.0	
						6	6																				0	0.0	6	6.0	
0	0	0	0	0	6	84	21	1	0.5	0	0.0	2	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	20	15.4	23	16.7	107	100.7
						21																									
						1																					0	0.0	1	1.0	
				1		22	1														2	1.6			2	1.6	24	23.6			
						37								1	0.5												1	0.5	38	37.5	
						26																					0	0.0	26	26.0	
						6																					0	0.0	6	6.0	
						84				4	0.8																4	0.8	88	84.8	
						22	1					1	0.3														1	0.3	23	22.3	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						13						1	0.8														1	0.8	14	13.8	
						8																					0	0.0	8	8.0	
						1																					0	0.0	1	1.0	
						4							1	0.8													1	0.8	5	4.8	
						10																					0	0.0	10	10.0	
6			10	9		287	3					6	4.4							4	2.7	20	13.0	30	20.1	317	307.1				
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						24	5					10	6.3														10	6.3	34	30.3	
			2			40	1																				0	0.0	40	40.0	
						14										3	2.4	5	4.0								8	6.4	22	20.4	
						7										2	1.6									2	1.6	9	8.6		
						9																					0	0.0	9	9.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						0																					0	0.0	0	0.0	
						9	1					1	0.5	2	1.6												3	2.1	12	11.1	
						4	1																				0	0.0	4	4.0	
6	0	0	10	12	0	628	13	0	0.0	4	0.8	19	12.3	8	6.4	6	4.5	0	0.0	4	2.7	22	14.6	0	0.0	63	41.3	691	669.3		
			1	1		13																									
6	0	0	10	12	6	712		1	0.5	4	0.8	21	13.1	8	6.4	6	4.5	0	0.0	4	2.7	22	14.6	20	15.4	86	58.0	798	770.0		
0	0	0	1	1	0	34																									
						34																									

(令和5年12月1日現在)

■指定・認定施設一覧

指定・認定施設の名称	学会名
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本麻酔科学会
日本整形外科学会専門医研修施設	日本整形外科学会
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器外科学会
日本泌尿器科学会専門医教育施設（拠点教育施設）	日本泌尿器科学会
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本皮膚科学会
日本リハビリテーション医学会研修施設	日本リハビリテーション医学会
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本循環器学会
日本神経学会専門医制度准教育施設	日本神経学会
日本透析医学会教育関連施設	日本透析医学会
日本臨床細胞学会認定施設	日本臨床細胞学会
日本脳卒中学会認定研修教育施設	日本脳卒中学会
日本手外科学会基幹研修施設	日本手外科学会
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本がん治療認定医機構
日本臨床腫瘍学会認定研修特別連携施設	日本臨床腫瘍学会
日本消化器病学会認定施設	日本消化器病学会
日本臨床細胞学会認定教育研修施設	日本臨床細胞学会
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本消化器内視鏡学会
日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設	日本超音波学会
日本病理学会登録施設	日本病理学会
日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本小児科学会
日本糖尿病学会認定教育施設	日本糖尿病学会
日本リウマチ学会教育施設	日本リウマチ学会
日本大腸肛門病学会関連施設	日本大腸肛門病学会
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本眼科学会
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設	下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設	日本脊椎脊髄病学会
日本外科学会外科専門医制度関連施設	日本外科学会
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修連携施設	日本耳鼻咽喉科学会
内科専門研修プログラム基幹施設	日本内科学会
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	日本アレルギー学会
日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター	日本脳卒中学会
呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設	呼吸器外科専門医合同委員会
日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入法実施可能施設	日本脊椎脊髄病学会
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	日本不整脈心電学会
日本脈管学会認定研修関連施設	日本脈管学会
日本胆道学会指導施設	日本胆道学会
日本血栓止血学会認定施設	日本血栓止血学会
日本消化管学会指導連携施設	日本消化管学会

（令和5年12月31日現在）

医事統計

科別入院患者数 2023年

病棟別病床利用状況 2023年

科別外来患者数（新患） 2023年

科別外来患者数（再診） 2023年

紹介率・逆紹介率 2023年

手術件数 2023年

救急搬送件数 2023年

科別入院患者数 2023年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
実日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365
脳卒中内科	2,229	1,847	2,118	2,047	1,921	1,864	1,911	1,961	2,008	1,914	1,622	2,038	23,480
脳神経内科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
腎臓内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科	329	248	228	290	331	260	209	253	318	241	224	274	3,205
糖尿病内科	176	139	227	130	151	104	224	190	167	133	148	155	1,944
循環器科	463	427	577	549	264	232	300	404	389	348	159	186	4,298
消化器内科	576	460	500	505	478	424	410	357	411	520	360	265	5,266
呼吸器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
免疫内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染制御内科	22	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
総合内科	0	1	0	66	49	65	161	140	135	113	94	76	900
精神・神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	383	460	447	550	607	789	705	556	491	529	486	615	6,618
外科	493	398	511	323	346	366	490	481	488	490	539	478	5,403
整形外科	4,869	4,810	5,109	4,744	4,413	4,346	4,420	4,588	4,279	4,644	4,600	4,618	55,440
脳神経外科	515	461	274	209	171	129	138	165	176	120	110	2	2,470
脳血管内治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	67	59	143	141	107	106	61	186	185	135	85	37	1,312
泌尿器科	348	331	338	373	306	390	308	294	459	418	407	368	4,340
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	68	15	26	37	13	33	21	32	29	22	16	1	313
耳鼻咽喉科	153	103	80	82	101	117	70	62	39	84	107	98	1,096
リハビリテーション科	5	52	41	28	20	12	29	35	34	24	11	38	329
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	60	75	102	33	40	62	67	120	161	115	70	73	978
透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	30	46	32	44	54	63	32	35	25	53	34	6	454
救急	82	15	23	32	17	24	52	75	69	24	31	54	498
麻酔科（再掲）	116	110	117	112	118	112	147	136	129	152	163	135	1,547
歯科・歯科口腔外科	0	8	2	1	0	4	5	21	8	1	1	8	59
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10,868	9,962	10,784	10,184	9,389	9,390	9,613	9,956	9,871	9,928	9,104	9,390	118,439

病棟別病床利用状況 2023年

	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	実日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
新 1	入院	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	退院	27	29	25	34	30	33	34	32	31	23	32	23
	病床利用率	97.6	99.7	99.1	98.4	96.6	94.7	90.3	84.8	89.0	89.0	85.2	84.9
	平均在院日数	57.3	51.1	59.3	46.2	54.8	44.5	47.2	41.8	44.3	62.1	45.2	52.7
新 2	入院	36	15	2	6	3	6	34	36	21	1		
	退院	33	11	3	3	4	11	23	32	19	2		
	病床利用率	31.1	21.1	26.6	13.7	33.5	15.3	48.4	42.2	28.9	37.5		
	平均在院日数	8.5	8.1	55.0	14.9	18.9	8.4	8.8	8.3	10.2	15.9		
新 3	入院	75	53	67	69	58	54	56	75	61	69	60	54
	退院	59	52	60	67	56	54	51	64	53	64	64	57
	病床利用率	88.0	91.1	89.1	76.9	53.8	65.7	77.7	80.1	86.2	78.3	71.7	73.2
	平均在院日数	14.9	17.2	14.8	13.8	12.4	13.6	16.5	12.0	16.1	12.9	13.3	14.9
新 4	入院	44	35	24	30	34	33	29	28	39	29	22	24
	退院	17	19	17	12	14	13	10	19	21	19	13	13
	病床利用率	95.6	96.4	95.2	89.9	79.0	83.5	84.7	73.7	84.7	89.4	84.4	74.3
	平均在院日数	18.2	17.8	26.7	21.2	16.3	18.2	20.7	18.4	16.9	21.5	25.3	22.0
3 東	入院	47	49	51	43	60	60	53	59	49	56	67	69
	退院	44	47	46	45	52	77	62	59	50	58	71	72
	病床利用率	87.1	86.0	91.0	84.3	71.0	80.8	75.1	74.1	83.8	75.4	74.3	72.7
	平均在院日数	15.1	12.7	12.8	14.4	10.1	8.8	10.1	9.4	12.4	11.0	8.8	8.7
3 西	入院	102	103	108	111	143	141	128	111	99	105	86	106
	退院	87	102	118	104	137	135	113	111	111	85	90	114
	病床利用率	60.5	68.0	65.6	69.3	70.5	84.8	78.7	64.3	59.4	69.0	73.5	80.9
	平均在院日数	6.2	5.7	5.9	6.0	4.7	5.4	5.6	5.2	4.9	6.3	7.5	6.7
4 東	入院	35	38	42	51	52	44	51	49	53	50	53	50
	退院	15	23	26	26	19	23	26	27	29	18	25	37
	病床利用率	83.0	93.0	73.8	84.1	71.3	73.9	74.6	71.7	71.6	83.0	76.5	76.1
	平均在院日数	29.4	22.6	19.8	17.3	16.3	17.5	17.5	17.2	14.9	20.8	16.2	15.6
4 西	入院	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
	退院	13	17	24	22	16	22	15	17	22	20	23	25
	病床利用率	92.8	93.0	94.0	91.7	77.3	91.6	80.2	85.6	80.4	69.0	79.4	79.3
	平均在院日数	92.1	49.6	45.7	53.7	36.2	50.0	64.2	53.1	35.7	29.5	38.1	37.1
5 東	入院	39	31	34	37	45	58	46	40	28	48	37	32
	退院	29	30	32	24	32	46	40	38	27	40	35	35
	病床利用率	93.8	93.6	91.8	86.2	72.5	78.2	78.8	82.0	79.3	71.9	64.3	72.7
	平均在院日数	14.1	14.4	11.6	12.2	11.3	8.6	12.9	10.7	14.0	10.7	12.9	11.8
SCU	入院	25	26	31	22	21	26	19	31	23	23	19	31
	退院	1	1	3	0	1	1	3	1	0	4	0	0
	病床利用率	98.4	99.4	100.0	96.7	100.0	99.4	94.6	98.9	100.0	98.9	100.0	100.0
	平均在院日数	6.3	5.6	5.2	7.3	7.8	6.6	8.8	5.4	6.9	7.1	8.6	5.5
5 西	入院	19	9	21	14	16	19	20	22	18	20	15	14
	退院	21	22	20	26	28	22	22	24	17	27	19	19
	病床利用率	89.0	89.3	84.1	72.7	64.0	61.8	70.5	93.9	88.7	78.5	86.9	81.2
	平均在院日数	23.9	24.1	19.8	19.7	17.3	15.3	18.4	18.0	20.3	19.1	24.0	21.5
6 東	入院	21	29	34	35	21	30	32	36	33	30	36	29
	退院	45	67	70	82	54	57	59	75	69	66	57	59
	病床利用率	95.3	94.0	95.0	93.0	81.7	71.3	73.9	75.6	87.3	83.9	68.8	71.1
	平均在院日数	27.2	13.4	19.0	16.7	25.1	12.3	20.0	13.4	13.4	19.5	17.9	18.0

	月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	実日数	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
6西	入院	4	2	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1
	退院	7	10	8	9	5	3	7	4	5	4	3	4
	病床利用率	82.3	94.6	92.7	95.0	77.4	81.7	87.1	83.1	93.3	96.0	45.0	54.0
	平均在院日数	10.6	8.5	11.5	14.9	21.1	19.6	15.4	22.9	22.4	13.5	21.6	14.9
7階	入院	92	84	99	84	77	105	63	92	81	83	78	64
	退院	79	76	76	82	70	95	59	72	80	65	68	74
	病床利用率	89.9	84.2	84.2	76.2	68.1	70.9	57.2	82.3	81.9	86.0	83.8	77.7
	平均在院日数	14.6	13.3	12.6	12.2	14.2	10.3	13.0	13.6	14.3	15.5	15.6	13.8
第2	入院		6	11	9	15	7	7	10	13	7	9	10
	退院		13	10	13	11	15	12	9	10	13	9	16
	病床利用率		51.1	52.0	65.0	66.1	53.8	44.6	52.2	72.5	62.1	66.3	69.6
	平均在院日数		14.3	17.2	26.0	23.4	22.4	19.2	24.7	29.0	25.7	31.8	23.8
HCU	入院	10	9	10	4	3	7	7	9	13	7	8	7
	退院	1	1	4	1	2	1	5	3	3	2	0	3
	病床利用率	93.5	98.2	94.4	93.3	95.2	93.3	79.0	73.1	71.7	81.7	90.6	72.6
	平均在院日数	3.5	3.1	2.6	2.8	3.9	2.8	3.2	3.0	2.2	2.8	2.7	2.8
COVID-19	入院	2											
	退院	5											
	病床利用率	75.0											
	平均在院日数	4.1											
合計	入院	551	489	536	516	550	592	547	598	532	528	490	493
	退院	483	520	542	550	531	608	541	587	547	510	509	551
	病床利用率	84.6	83.4	84.0	82.0	73.2	75.6	74.9	75.7	77.6	75.5	77.0	76.9
	平均在院日数	17.2	16.5	15.3	14.9	13.5	12.1	14.9	13.2	15.1	14.9	14.8	14.1
全体	病床利用率	84.6	83.4	84.0	82.0	73.2	75.6	74.9	75.7	77.6	75.5	77.0	76.9
	入院患者数	10,868	9,962	10,784	10,184	9,389	9,390	9,613	9,956	9,871	9,928	9,104	9,390
	新入院患者数	551	489	536	516	550	592	547	598	532	528	490	493
急性期	病床利用率	89.1	90.4	86.2	84.3	68.1	73.3	73.5	79.0	81.6	80.5	76.7	75.2
	入院患者数	5,636	5,164	5,449	5,068	4,909	4,485	4,647	4,999	4,994	5,093	4,696	4,757
	新入院患者数	351	299	338	328	342	373	318	365	329	355	332	307

科別外来患者数（新患） 2023年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月
実日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
脳卒中内科	22	29	25	28	24	28	21	36	22	30	27	27	319
脳神経内科	18	13	23	12	15	13	14	16	15	18	18	10	185
腎臓内科	3	3	0	3	2	2	6	0	1	2	1	1	24
緩和ケア科	11	6	6	10	9	8	11	17	13	12	12	9	124
糖尿病内科	3	4	4	3	2	6	2	3	3	1	3	4	38
循環器科	19	6	12	24	23	29	29	16	26	16	17	24	241
消化器内科	47	55	75	44	52	64	39	41	42	70	56	54	639
呼吸器内科	2	2	6	1	3	2	4	4	3	3	3	2	35
免疫内科	0	2	1	2	2	2	0	1	0	1	0	1	12
感染制御内科	1	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	6
総合内科	61	26	34	17	40	30	33	37	26	25	36	22	387
精神・神経科	3	2	4	3	4	1	0	0	3	5	2	1	28
小児科	72	79	61	55	64	87	82	73	73	61	75	54	836
外科	12	9	9	14	14	12	16	13	8	9	9	14	139
整形外科	217	196	238	233	245	218	222	200	206	264	202	228	2,669
脳神経外科	19	17	23	10	8	10	8	8	12	7	8	3	133
脳血管内治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	33	46	50	41	42	70	49	49	47	52	45	57	581
泌尿器科	38	32	37	28	36	24	27	22	29	28	27	26	354
産婦人科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
眼科	12	10	20	15	21	20	15	13	22	11	17	5	181
耳鼻咽喉科	50	36	61	47	56	49	57	45	47	48	52	41	589
リハビリテーション科	1	2	6	4	0	2	0	1	0	0	0	3	19
放射線科	77	100	128	83	98	98	91	82	84	100	81	84	1,106
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	3	4	2	3	4	8	4	9	3	6	5	5	56
透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	12	25	21	16	14	15	18	18	18	18	16	18	209
救急	17	2	6	15	10	12	31	44	22	27	19	31	236
麻酔科（再掲）	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科・歯科口腔外科	102	95	97	89	101	97	90	103	90	109	92	101	1,166
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	855	801	949	801	890	909	870	851	818	923	823	826	10,316

科別外来患者数（再診） 2023年

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月
実日数	19	19	22	20	20	22	20	22	20	21	20	21	246
脳卒中内科	260	249	320	295	284	287	275	311	305	307	292	275	3,460
脳神経内科	145	136	167	145	156	128	163	173	146	179	147	155	1,840
腎臓内科	72	77	65	65	76	64	76	100	60	73	54	67	849
緩和ケア科	48	59	66	64	53	56	53	59	60	56	58	54	686
糖尿病内科	249	229	283	252	250	252	260	254	235	240	232	265	3,001
循環器科	202	203	241	212	251	252	250	242	261	266	249	243	2,872
消化器内科	686	839	931	836	855	925	866	816	802	960	898	775	10,189
呼吸器内科	35	45	56	44	57	54	58	67	53	73	62	65	669
免疫内科	33	38	45	41	41	41	41	53	44	34	55	50	516
感染制御内科	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
総合内科	86	64	51	73	99	99	151	121	108	102	101	98	1,153
精神・神経科	11	8	11	6	7	8	5	4	5	5	4	4	78
小児科	361	357	512	331	424	477	444	499	451	418	465	506	5,245
外科	374	313	345	322	345	338	307	277	299	333	333	301	3,887
整形外科	1,773	1,779	2,189	1,926	2,041	2,206	2,030	2,062	2,006	2,091	1,975	2,084	24,162
脳神経外科	105	103	135	107	98	103	66	65	75	71	52	31	1,011
脳血管内治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	459	490	603	478	566	544	547	554	519	524	502	472	6,258
泌尿器科	928	900	981	905	858	909	862	835	844	929	867	853	10,671
産婦人科	60	75	82	73	63	87	66	63	81	76	75	80	881
眼科	394	439	452	428	425	459	458	442	422	447	406	393	5,165
耳鼻咽喉科	468	438	616	478	501	538	481	563	492	468	599	511	6,153
リハビリテーション科	183	188	189	133	161	157	165	164	168	191	196	195	2,090
放射線科	34	17	32	36	32	27	19	24	27	34	27	15	324
呼吸器外科	40	45	53	38	33	32	46	38	38	34	25	34	456
心臓血管外科	84	68	83	83	78	95	81	69	67	88	105	89	990
透析	78	66	68	73	76	78	71	72	53	52	52	52	791
形成外科	86	102	128	109	130	145	97	93	113	113	103	111	1,330
救急	16	9	11	9	5	11	25	29	21	19	7	27	189
麻酔科（再掲）	72	75	88	64	79	68	51	63	49	50	47	56	762
歯科・歯科口腔外科	228	255	272	222	220	255	242	255	257	279	251	234	2,970
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,570	7,666	9,075	7,848	8,264	8,695	8,258	8,368	8,061	8,512	8,239	8,095	98,651

紹介率・逆紹介率 2023年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
紹介率	68.7%	72.8%	76.1%	73.7%	69.7%	71.4%	68.5%	70.8%	68.2%	70.6%	64.1%	65.5%	70.0%
逆紹介率	124.8%	139.0%	131.5%	148.7%	137.5%	144.7%	137.7%	152.2%	119.4%	126.0%	117.6%	130.2%	134.1%

手術件数 2023年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
総手術件数	403	421	500	464	452	501	412	459	431	488	472	385	5,388
手術室手術件数	258	258	315	225	254	301	232	276	238	266	270	223	3,116

救急搬送件数 2023年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月
救急搬送件数	230	152	160	171	125	129	176	233	187	171	160	191	2,085
救急搬送入院件数	136	89	100	100	80	77	105	144	109	90	94	116	1,240
(救急からの)入院比率	59.1%	58.6%	62.5%	58.5%	64.0%	59.7%	59.7%	61.8%	58.3%	52.6%	58.8%	60.7%	59.5%

退院患者統計

医療実績

診療科別患者数・死亡分析

死亡患者分析

診療科別・月別患者数

大分類別・転帰別患者数

診療科別・在院期間別患者数

診療科別上位疾患（10位まで）

悪性新生物に関する統計

医療実績

項 目	内 訳	当 院	評価基準	計 算 方 法
総退院患者数		6,479人		
65歳以上退院患者数		3,667人 (56.6%)		
75歳以上退院患者数		2,577人 (39.8%)		
一日平均在院患者数		324.4人		
病床利用率		78.4%	80~90%が妥当	$\frac{\text{入院患者延数}}{\text{実病床数}} \times 365 \times 100$
病床回転数		15.6回		$\frac{\text{年間患者実数}}{\text{割り当て病床数}}$
粗死亡率 (率)		154人 (2.4%)	4%以内	$\frac{\text{死亡患者総数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$
精死亡率 (率)		137人 (2.1%)	粗死亡率より 0.5%低い	$\frac{\text{入院48時間以降死亡数}}{\text{退院患者総数}} \times 100$
術後10日以内死亡数 (率)		2人 (0.1%)	1%以内	$\frac{\text{術後10日以内死亡数}}{\text{総手術件数}} \times 100$
剖検数 (率)		2人 (1.3%)	25%以上	$\frac{\text{剖 検 数}}{\text{全 死 亡 患 者 数}} \times 100$

診療科別患者数・死亡分析

診療科	退院患者数			粗死亡数	粗死亡率	精死亡数	精死亡率	剖検数	剖検率
	男	女	合計						
脳卒中内科	324	278	602	18	3.0%	15	2.5%	1	5.6%
緩和ケア科	75	58	133	89	66.9%	79	59.4%		
糖尿病内科	70	69	139	1	0.7%	1	0.7%		
循環器内科	209	131	340	8	2.4%	8	2.4%		
消化器内科	392	249	641	6	0.9%	4	0.6%	1	16.7%
呼吸器内科			0						
総合内科	33	26	59						
脳神経内科			0						
小児科	677	608	1,285						
外科	184	120	304	13	4.3%	13	4.3%		
整形外科	732	981	1,713	7	0.4%	7	0.4%		
脳神経外科	37	21	58	1	1.7%	1	1.7%		
皮膚科	75	49	124						
泌尿器科	376	148	524	8	1.5%	8	1.5%		
眼科	91	105	196				0.0%		
リハビリテーション科	4	14	18						
呼吸器外科			0						
形成外科	21	19	40				0.0%		
歯科口腔外科	11	7	18						
耳鼻咽喉科	113	103	216				0.0%		
救急科	5	2	7	2	28.6%		0.0%		
感染症内科		2	2				0.0%		
循環器外科	25	35	60	1	1.7%	1	1.7%		
総計	3,454	3,025	6,479	154	2.4%	137	2.1%	2	1.3%

死亡患者分析

月	粗死亡	入院48時間 以内死亡	精死亡	術後48時間 以内死亡	術後10日 以内死亡	術後30日 以内死亡	剖 検	ネクロプシー
1月	12	1	11	0	0	0	0	0
2月	18	2	16	0	0	0	0	0
3月	11	1	10	0	0	0	1	0
4月	12	2	10	0	0	0	0	0
5月	15	2	13	0	0	0	0	0
6月	14	3	11	0	0	0	0	0
7月	12	2	10	0	0	0	1	0
8月	10	2	8	0	0	0	0	0
9月	9	0	9	0	1	1	0	0
10月	14	2	12	0	0	0	0	0
11月	10	0	10	0	0	0	0	0
12月	17	0	17	0	1	0	0	0
計	154	17	137	0	2	1	2	0
%	2.4%	0.3%	2.1%	0.0%	1.3%	0.6%	1.3%	0.0%

* 総退院患者数 6,479

診療科別・月別患者数

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	死亡	剖検
合 計	合計	6,479	483	520	542	550	531	608	541	587	547	510	509	551	154	2
	男	3,454	258	275	302	298	292	319	278	303	288	270	260	311	91	2
	女	3,025	225	245	240	252	239	289	263	284	259	240	249	240	63	
脳卒中内科	合計	602	48	54	46	46	45	43	50	62	56	58	43	51	18	1
	男	324	27	31	25	24	27	18	29	32	31	31	22	27	10	1
	女	278	21	23	21	22	18	25	21	30	25	27	21	24	8	
腎臓内科	合計															
	男															
	女															
緩和ケア科	合計	133	6	12	9	12	12	15	12	10	10	13	10	12	89	
	男	75	3	5	8	7	6	7	9	8	6	6	7	3	49	
	女	58	3	7	1	5	6	8	3	2	4	7	3	9	40	
糖尿病内科	合計	139	13	7	16	8	12	6	15	11	18	9	9	15	1	
	男	70	5	4	10	4	3	4	7	7	9	5	3	9		
	女	69	8	3	6	4	9	2	8	4	9	4	6	6	1	
血液内科	合計															
	男															
	女															
循環器内科	合計	340	22	21	26	33	26	38	28	37	26	32	26	25	8	
	男	209	12	13	18	19	20	25	20	19	11	18	16	18	3	
	女	131	10	8	8	14	6	13	8	18	15	14	10	7	5	
消化器内科	合計	641	47	42	51	58	53	70	52	52	37	62	65	52	6	1
	男	392	33	23	35	33	37	43	30	33	16	39	37	33	5	1
	女	249	14	19	16	25	16	27	22	19	21	23	28	19	1	
呼吸器内科	合計															
	男															
	女															
精神・神経科	合計															
	男															
	女															
総合内科	合計	59				3	9	3	8	9	6	6	8	7		
	男	33				1	3	2	7	6	3	5	5	1		
	女	26				2	6	1	1	3	3	1	3	6		
免疫内科	合計															
	男															
	女															
脳神経内科	合計															
	男															
	女															
小児科	合計	1,285	80	97	97	97	131	146	128	121	115	82	82	109		
	男	677	46	53	51	51	75	73	60	57	64	44	39	64		
	女	608	34	44	46	46	56	73	68	64	51	38	43	45		
外 科	合計	304	31	28	28	18	18	17	26	26	23	30	28	31	13	
	男	184	24	18	13	11	16	9	14	15	10	20	15	19	9	
	女	120	7	10	15	7	2	8	12	11	13	10	13	12	4	
整形外科	合計	1,713	113	151	143	159	127	140	126	160	148	128	143	175	7	
	男	732	42	63	64	67	48	62	47	68	74	51	60	86	5	
	女	981	71	88	79	92	79	78	79	92	74	77	83	89	2	
脳神経外科	合計	58	9	11	17	3	4	2	2	1	7	1	1		1	
	男	37	4	7	9	3	3	2	2	1	4	1	1			
	女	21	5	4	8		1				3				1	

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	死亡	剖検
皮膚科	合計	124	11	8	12	12	9	12	7	18	11	9	9	6		
	男	75	4	5	11	6	5	7	5	11	5	5	6	5		
	女	49	7	3	1	6	4	5	2	7	6	4	3	1		
泌尿器科	合計	524	41	44	42	59	45	52	44	33	46	35	46	37	8	
	男	376	30	31	28	43	35	40	32	20	32	23	32	30	8	
	女	148	11	13	14	16	10	12	12	13	14	12	14	7		
産婦人科	合計															
	男															
	女															
眼 科	合計	196	21	15	20	17	13	25	16	14	23	15	11	6		
	男	91	5	5	11	11	5	8	4	10	16	8	6	2		
	女	105	16	10	9	6	8	17	12	4	7	7	5	4		
リハビリテーション科	合計	18	1	2	4		1	1		3	2	2		2		
	男	4			1			1			1	1				
	女	14	1	2	3		1			3	1	1		2		
呼吸器外科	合計															
	男															
	女															
形成外科	合計	40	9	2	6	1	4	7	1	2	3	1	2	2		
	男	21	7	2	5	1		1		1	2	1		1		
	女	19	2		1		4	6	1	1	1		2	1		
歯科口腔外科	合計	18		3	2	1		1	1	4	3	1	1	1		
	男	11		2	2	1		1		3	1			1		
	女	7		1					1	1	2	1	1			
耳鼻咽喉科	合計	216	23	20	19	19	17	25	18	18	10	15	19	13		
	男	113	12	12	9	13	7	14	9	9	3	7	10	8		
	女	103	11	8	10	6	10	11	9	9	7	8	9	5		
救急科	合計	7	2				1	1	1				1	1	2	
	男	5	1				1	1	1					1	1	
	女	2	1										1		1	
リウマチ科	合計															
	男															
	女															
感染症内科	合計	2	1		1											
	男															
	女	2	1		1											
化学療法科	合計															
	男															
	女															
脳血管内治療科	合計															
	男															
	女															
心臓血管外科	合計	60	5	3	3	4	4	4	6	6	3	11	5	6	1	
	男	25	3	1	2	3	1	1	2	3		5	1	3	1	
	女	35	2	2	1	1	3	3	4	3	3	6	4	3		

大分類別・転帰別患者数

		合計	治癒	死亡	中止	転医	軽快	その他	自主	寛解	不変	増悪	検査
合 計	合計	6,479	1,085	154	3	269	4,453	8	4	44	307	3	149
	男	3,454	592	91	2	141	2,308	3	3	26	187		101
	女	3,025	493	63	1	128	2,145	5	1	18	120	3	48
01：感染症及び寄生虫症	合計	232	50	1		5	176						
	男	116	24			2	90						
	女	116	26	1		3	86						
02：新生物	合計	939	82	109		17	526			21	150	2	32
	男	608	58	66		8	330			13	104		29
	女	331	24	43		9	196			8	46	2	3
03：血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	合計	29				3	25				1		
	男	17				3	14						
	女	12					11				1		
04：内分泌、栄養および代謝疾患	合計	151	9	1		9	109				2		21
	男	77	1			5	61						10
	女	74	8	1		4	48				2		11
05：精神および行動の障害	合計	24	1				19				4		
	男	13					11				2		
	女	11	1				8				2		
06：神経系の疾患	合計	177	44	1	1	14	72	6			19		20
	男	90	20	1		9	37	1			8		14
	女	87	24		1	5	35	5			11		6
07：眼および付属器の疾患	合計	194	181				13						
	男	88	84				4						
	女	106	97				9						
08：耳および乳様突起の疾患	合計	85	18				58			1	6	1	1
	男	34	6				24			1	2		1
	女	51	12				34				4	1	
09：循環器系の疾患	合計	751	109	20		60	506	1	1	7	45		2
	男	427	66	10		28	292	1	1	4	23		2
	女	324	43	10		32	214			3	22		
10：呼吸器系の疾患	合計	1,009	180	7	1	40	775	1		2	3		
	男	546	102	4	1	24	411	1			3		
	女	463	78	3		16	364			2			
11：消化器系の疾患	合計	363	66	3		22	255		1	2	7		7
	男	214	42	2		10	152		1	1	4		2
	女	149	24	1		12	103			1	3		5
12：皮膚および皮下組織の疾患	合計	105	12			2	87		1		3		
	男	64	7			1	54				2		
	女	41	5			1	33		1		1		
13：筋骨格系および結合組織の疾患	合計	762	86		1	12	644		1		18		
	男	290	41		1	5	235		1		7		
	女	472	45			7	409				11		
14：腎尿路生殖器系の疾患	合計	361	70	4		7	238				28		14
	男	231	44	4		4	143				23		13
	女	130	26			3	95				5		1
15：妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	2					1						1
	男	2					1						1
	女												
16：周産期に発生した病態	合計	2					2						
	男	1					1						
	女	1					1						
17：先天奇形、変形および染色体異常	合計	9	1				5				3		
	男	5					3				2		
	女	4	1				2				1		
18：症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	53	9	2		5	33				1		3
	男	30	6	1		3	18				1		1
	女	23	3	1		2	15						2
19：損傷、中毒およびその他の外因の影響	合計	961	119	5		54	710			9	16		48
	男	457	64	3		30	322			5	5		28
	女	504	55	2		24	388			4	11		20
21：健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	合計	91	8				83						
	男	47	4				43						
	女	44	4				40						
22：特殊目的用コード	合計	179	40	1		19	116			2	1		
	男	97	23			9	62			2	1		
	女	82	17	1		10	54						

診療科別・在院期間別患者数

		合計	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6ヶ月	6～12ヶ月	1～2年	2年～
合 計	合計	6,479	3,380	1,001	562	407	629	258	219	20	2	1
	男	3,454	1,955	565	262	181	248	113	117	12	1	
	女	3,025	1,425	436	300	226	381	145	102	8	1	1
脳卒中内科	合計	602	127	106	88	50	86	62	74	9		
	男	324	68	63	45	26	45	30	44	3		
	女	278	59	43	43	24	41	32	30	6		
腎臓内科	合計											
	男											
	女											
緩和ケア科	合計	133	36	25	20	18	17	10	5	1	1	
	男	75	21	16	12	11	8	3	4			
	女	58	15	9	8	7	9	7	1	1	1	
糖尿病内科	合計	139	37	61	23	9	7	2				
	男	70	22	29	11	3	3	2				
	女	69	15	32	12	6	4					
血液内科	合計											
	男											
	女											
循環器内科	合計	340	210	46	22	14	31	8	9			
	男	209	137	23	9	10	19	4	7			
	女	131	73	23	13	4	12	4	2			
消化器内科	合計	641	409	138	37	21	27	6	3			
	男	392	265	77	22	13	13	1	1			
	女	249	144	61	15	8	14	5	2			
呼吸器内科	合計											
	男											
	女											
精神・神経科	合計											
	男											
	女											
総合内科	合計	59	20	17	8	9	3	2				
	男	33	12	9	3	6	2	1				
	女	26	8	8	5	3	1	1				
免疫内科	合計											
	男											
	女											
脳神経内科	合計											
	男											
	女											
小児科	合計	1,285	1,120	121	24	13	6		1			
	男	677	585	65	15	9	3					
	女	608	535	56	9	4	3		1			
外 科	合計	304	122	97	22	22	28	7	3	2		1
	男	184	86	55	13	10	10	6	3	1		
	女	120	36	42	9	12	18	1		1		1
整形外科	合計	1,713	423	174	252	216	384	147	108	8	1	
	男	732	226	96	103	75	121	54	48	8	1	
	女	981	197	78	149	141	263	93	60			
脳神経外科	合計	58	8	10	8	2	13	4	13			
	男	37	4	6	3	2	9	4	9			
	女	21	4	4	5		4		4			

		合計	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6ヶ月	6～12ヶ月	1～2年	2年～
皮膚科	合計	124	70	30	10	6	8					
	男	75	47	18	2	3	5					
	女	49	23	12	8	3	3					
泌尿器科	合計	524	343	112	34	16	13	5	1			
	男	376	255	79	18	10	10	4				
	女	148	88	33	16	6	3	1	1			
産婦人科	合計											
	男											
	女											
眼科	合計	196	189	4	3							
	男	91	88	2	1							
	女	105	101	2	2							
リハビリ科	合計	18	3	9	3	2	1					
	男	4		4								
	女	14	3	5	3	2	1					
呼吸器外科	合計											
	男											
	女											
形成外科	合計	40	22	11	3	1	1	1	1			
	男	21	10	7	2	1		1				
	女	19	12	4	1		1		1			
歯科口腔外科	合計	18	16	2								
	男	11	9	2								
	女	7	7									
耳鼻咽喉科	合計	216	181	27	4	4						
	男	113	100	10	2	1						
	女	103	81	17	2	3						
救急科	合計	7	7									
	男	5	5									
	女	2	2									
リウマチ科	合計											
	男											
	女											
感染症内科	合計	2		1		1						
	男											
	女	2		1		1						
化学療法科	合計											
	男											
	女											
脳血管内治療科	合計											
	男											
	女											
循環器外科	合計	60	37	10	1	3	4	4	1			
	男	25	15	4	1	1		3	1			
	女	35	22	6		2	4	1				

診療科別上位疾患（10位まで）

診療科	順	疾 患 名	件数
脳 卒 中 内 科	1	脳梗塞	270
	2	脳内出血	70
	3	固形物及び液状物による肺臓炎	29
	4	てんかん	29
	5	一過性脳虚血発作及び関連症候群	24
	6	COVID-19	20
	7	前庭機能障害	14
	8	てんかん重積（状態）	10
	9	その他の筋障害	7
	10	その他の敗血症	7
緩 和 ケ ア 科	1	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	20
	2	胃の悪性新生物<腫瘍>	18
	3	結腸の悪性新生物<腫瘍>	17
	4	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	12
	5	膵の悪性新生物<腫瘍>	12
	6	食道の悪性新生物<腫瘍>	7
	7	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	7
	8	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	5
	9	子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	4
	10	直腸の悪性新生物<腫瘍>	3
糖 尿 病 内 科	1	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	58
	2	固形物及び液状物による肺臓炎	20
	3	COVID-19	11
	4	尿路系のその他の障害	8
	5	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	5
	6	その他の膵内分泌障害	4
	7	細菌性肺炎、他に分類されないもの	4
	8	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	3
	9	詳細不明の糖尿病	2
	10	急性尿細管間質性腎炎	2
循 環 器 内 科	1	心房細動及び粗動	105
	2	心不全	47
	3	狭心症	38
	4	慢性虚血性心疾患	24
	5	COVID-19	14
	6	発作性頻拍（症）	10
	7	アテローム<じゅく>粥状硬化（症）	10
	8	固形物及び液状物による肺臓炎	9
	9	その他の不整脈	8
	10	肺炎、病原体不詳	5
消 化 器 内 科	1	結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	295
	2	胃の悪性新生物<腫瘍>	55
	3	結腸の悪性新生物<腫瘍>	27
	4	胆石症	23
	5	腸の憩室性疾患	15
	6	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物<腫瘍>	14
	7	膵の悪性新生物<腫瘍>	13
	8	腸のその他の疾患	13
	9	腸の血行障害	13
	10	胆道のその他の疾患	13

診療科	順	疾患名	件数
総合内科	1	固形物及び液状物による肺臓炎	9
	2	COVID-19	8
	3	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	3
	4	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2
	5	その他の全身性結合組織疾患	2
	6	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	2
	7	その他の慢性閉塞性肺疾患	2
	8	急性尿細管間質性腎炎	2
	9	肺炎、病原体不詳	2
	10	喘息	2
小児科	1	急性気管支炎	232
	2	肺炎、病原体不詳	126
	3	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	97
	4	喘息	69
	5	ウイルス肺炎、他に分類されないもの	58
	6	急性扁桃炎	54
	7	有害作用、他に分類されないもの	52
	8	COVID-19	46
	9	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	43
	10	急性咽頭炎	35
外科	1	そけい<鼠径>ヘルニア	47
	2	結腸の悪性新生物<腫瘍>	34
	3	胆石症	32
	4	胃の悪性新生物<腫瘍>	26
	5	急性虫垂炎	19
	6	直腸の悪性新生物<腫瘍>	18
	7	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	17
	8	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	11
	9	腹壁ヘルニア	9
	10	膣の悪性新生物<腫瘍>	8
整形外科	1	膝関節症 [膝の関節症]	177
	2	大腿骨骨折	174
	3	膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	140
	4	股関節症 [股関節部の関節症]	118
	5	その他の脊椎障害	99
	6	腰椎及び骨盤の骨折	90
	7	前腕の骨折	78
	8	下腿の骨折、足首を含む	78
	9	その他の椎間板障害	60
	10	肩及び上腕の骨折	55
脳神経外科	1	脳内出血	20
	2	頭蓋内損傷	18
	3	脳梗塞	9
	4	COVID-19	3
	5	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	1
	6	くも膜下出血	1
	7	前庭機能障害	1
	8	脳実質外動脈※（脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈）の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	1
	9	基底核のその他の変性疾患	1
	10	てんかん重積（状態）	1

診療科	順	疾患名	件数
皮膚科	1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	22
	2	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	17
	3	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	17
	4	良性脂肪腫性新生物<腫瘍>(脂肪腫を含む)	6
	5	じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	5
	6	皮膚のその他の良性新生物<腫瘍>	5
	7	COVID-19	5
	8	皮膚及び皮下組織の毛包のう<囊>胞	4
	9	摂取物質による皮膚炎	4
	10	皮膚の悪性黒色腫	2
泌尿器科	1	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	106
	2	腎結石及び尿管結石	89
	3	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	58
	4	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	52
	5	前立腺肥大(症)	32
	6	急性尿細管間質性腎炎	19
	7	前立腺の炎症性疾患	13
	8	過長包皮、包茎及びかん<嵌>頓包茎	13
	9	膀胱炎	10
	10	尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	9
眼科	1	老人性白内障	184
	2	COVID-19	9
	3	角膜炎	1
	4	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1
	5	その他の白内障	1
リハビリテーション科	1	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	7
	2	パーキンソン<Parkinson>病	5
	3	頸部の神経及び脊髄の損傷	1
	4	頭部損傷の続発・後遺症	1
	5	脳性麻痺	1
	6	灰白髄炎<ポリオ>の続発・後遺症	1
	7	脳実質外動脈※(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	1
	8	腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷	1
	9	蜂巣炎<蜂窩織炎>	1
形成外科	1	COVID-19	12
	2	良性脂肪腫性新生物<腫瘍>(脂肪腫を含む)	5
	3	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	4
	4	眼瞼のその他の障害	4
	5	皮膚の萎縮性障害	3
	6	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2
	7	皮膚及び皮下組織の毛包のう<囊>胞	2
	8	皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	1
	9	骨及び関節軟骨の良性新生物<腫瘍>	1
	10	皮膚のその他の良性新生物<腫瘍>	1

診療科	順	疾患名	件数
歯科・ 歯科 口腔 外科	1	歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	9
	2	顎骨のその他の疾患	4
	3	歯の硬組織のその他の疾患	1
	4	蜂巣炎<蜂窩織炎>	1
	5	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物<腫瘍>	1
	6	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	1
	7	その他の体内プロステシス、挿入物及び移植片の合併症	1
耳鼻 咽 喉 科	1	前庭機能障害	37
	2	慢性副鼻腔炎	34
	3	睡眠障害	25
	4	扁桃周囲膿瘍	15
	5	その他の難聴	14
	6	顔面神経障害	13
	7	急性扁桃炎	13
	8	COVID-19	10
	9	鼻及び副鼻腔のその他の障害	7
	10	骨の癒合障害	7
救 急 科	1	発作性頻拍（症）	1
	2	てんかん	1
	3	前庭機能障害	1
	4	COVID-19	1
	5	肺気腫	1
	6	急性腎不全	1
	7	クローン<Crohn>病、[限局性腸炎]	1
感染 制御 内科	1	COVID-19	1
循 環 器 外 科	1	下肢の静脈瘤	34
	2	静脈炎及び血栓（性）静脈炎	5
	3	大動脈瘤及び解離	4
	4	COVID-19	4
	5	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2
	6	その他の静脈の塞栓症及び血栓症	2
	7	その他の部位の静脈瘤	2
	8	え<壊>疽、他に分類されないもの	2
	9	動脈及び細動脈のその他の障害	1
	10	その他の動脈瘤及び解離	1

悪性新生物に関する統計

1. 悪性新生物の診療科別退院数・死亡患者数

診療科	総退院数			延べ 在院日数	実退院数			死亡退院数			剖検数		
	男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計
外科	54	52	106	4,077	46	49	95	8	3	11			
緩和ケア科	71	54	125	3,913	23	14	37	48	40	88			
耳鼻咽喉科		2	2	11	0		0						
消化器内科	88	29	117	1,203	86	29	115	2		2	1		1
整形外科	3	2	5	125									
総合内科		2	2	9	0		0						
脳卒中内科	1	1	2	14	1	1	2				1		1
泌尿器科	153	37	190	1,896	145	37	182	8		8			
皮膚科	10	11	21	269	10	11	21						
総計	380	190	570	11,517	311	141	452	66	43	109	2	0	2

2. 診療科別患者数・死亡分析

ICD コード	部 位	総退院数			平均在院 日 数	実退院数			死亡退院数		
		男	女	計		男	女	計	男	女	計
C03	歯肉		1	1	27.0					1	1
C15	食道	18		18	16.8	12		12	6		6
C16	胃	61	29	90	39.1	50	20	70	11	9	20
C18	結腸	36	33	69	25.9	32	27	59	4	6	10
C19	直腸S状結腸移行部	4	3	7	21.4	4	3	7			
C20	直腸	11	14	25	27.5	9	12	21	2	2	4
C22	肝及び肝内胆管	20	5	25	19.8	14	1	15	6	4	10
C23	胆のう<嚢>	1	1	2	15.5	1	1	2			
C24	その他及び部位不明の胆道	5	7	12	21.7	5	5	10		2	2
C25	膵	14	15	29	17.3	9	9	18	5	6	11
C30	鼻腔及び中耳	1		1	12.0	1		1			
C31	副鼻腔	1		1	56.0	1		1			
C34	気管支及び肺	13	7	20	16.2	2	3	5	11	4	15
C37	胸腺		1	1	213.0					1	1
C43	皮膚の悪性黒色腫	1	1	2	15.0	1	1	2			
C44	皮膚のその他	8	9	17	13.1	8	9	17			
C50	乳房		2	2	6.0					2	2
C51	外陰(部)	1		1	9.0				1		1
C53	子宮頸部	1		1	8.0	1		1			
C54	子宮体部		4	4	25.3		1	1		3	3
C56	卵巣		2	2	8.5		2	2			
C61	前立腺	64		64	5.4	60		60	4		4
C62	精巣<睪丸>	2		2	7.0	2		2			
C63	その他及び部位不明の男性生殖器		1	1	6.0		1	1			
C64	腎盂を除く腎	8		8	20.9	6		6	2		2
C65	腎盂	2	2	4	15.5	2	2	4			
C66	尿管	4	3	7	16.4	3	3	6	1		1
C67	膀胱	77	33	110	13.0	70	31	101	7	2	9
C71	脳	1		1	5.0	1		1			
C73	甲状腺		1	1	9.0		1	1			
C772	腹腔内リンパ節		1	1	15.0		1	1			
C779	リンパ節, 部位不明	1		1	3.0	1		1			
C780	肺		1	1	8.0		1	1			
C786	後腹膜及び腹膜	5	2	7	19.1	4	2	6	1		1
C787	肝及び肝内胆管	4		4	11.3	4		4			
C788	その他及び部位不明の消化器	2		2	6.0	2		2			
C793	脳及び脳髄膜	2	1	3	19.0	1	1	2	1		1
C795	骨及び骨髄	6		6	10.3	4		4	2		2
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫		1	1	12.0		1	1			
C82	ろ<濾>胞性リンパ腫		1	1	2.0		1	1			
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他 及び詳細不明の型	3	4	7	11.1	2	3	5	1	1	2
C92	骨髄性白血病		3	3	17.3		3	3			
D09	その他及び部位不明の上皮内癌	1	1	2	9.5	1	1	2			
D33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物		1	1	34.0		1	1			
D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物	1		1	63.0	1		1			
D46	骨髄異形成症候群	1		1	4.0				1		1
総 計		380	190	570	20.8	314	147	461	66	43	109

業務報告

総合診療部 総合内科

スタッフ

医 長 比 森 千 博 (令和5年4月1日～)
日本内科学会認定内科医／緩和ケア研修会修了

統括診療部長 山 東 剛 裕 医学博士 (～令和5年3月31日)
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医／
日本消化器内視鏡学会認定専門医／
日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医／
身体障害者福祉法第15条指定医師(肝機能障害)／臨床研修指導医講習会修了／
緩和ケア研修会修了

脳神経内科部長 巽 千賀夫 医学博士
日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医・指導医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・指導医／日本医師会認定産業医／
難病指定医／臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

医 員(非常勤) 小 寫 祐 介
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本消化器病学会専門医／
日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医／
日本静脈経腸栄養学会TNTプログラム受講

医 員(非常勤) 堀江八重子

上位疾患(外来)

疾 患 名	件 数
COVID-19	302
インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの	165
心不全	101
甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	97
その他の原因による熱及び不明熱	97
詳細不明の糖尿病	94
急性心筋梗塞	92
急性咽頭炎	88
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	87
頭痛	82
部位不明のウイルス感染症	81
肺炎, 病原体不詳	64
その他のビタミンB群の欠乏症	63
鉄欠乏性貧血	62
その他の全身性結合組織疾患	53
その他の甲状腺障害	53

脳神経・脳卒中内科

スタッフ

副院長

高橋 務 医学博士

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本医師会認定産業医

部長

巽 千賀夫 医学博士

日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医・指導医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医・指導医／
日本医師会認定産業医／難病指定医

部長

杉浦 史郎 医学博士

日本内科学会認定内科医・指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医／
日本脳神経血管内治療学会認定専門医

医長

旗手 淳 医学博士

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／
日本医師会認定産業医

医員

大塚 伸子

医員

中永あやこ

日本内科学会認定内科医・指導医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

医員

大原真理子 医学博士

日本内科学会認定内科医／日本神経学会認定神経内科専門医／緩和ケア研修会修了

脳神経内科 上位疾患（外来）

疾患名	件数
脳梗塞	345
パーキンソン<Parkinson>病	146
アルツハイマー<Alzheimer>病	121
てんかん	114
本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	78
詳細不明の認知症	76
詳細不明の糖尿病	75
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	73
脳血管疾患の続発・後遺症	66
その他のビタミンB群の欠乏症	59
その他の腸の機能障害	58
異常不随意運動	46
その他の多発（性）ニューロパチ<シ>-	42
睡眠障害	40

脳卒中内科 入院患者内訳

脳卒中内科入院患者内訳	2023.1.1-12.31	2022.1.1-12.31	2021.1.1-12.31	2020.1.1-12.31	2019.1.1-12.31
脳梗塞	289	299	361	380	391
脳梗塞 tPA施行例	21	31	38	46	56
平均 Door to Needle Time	63 min	63 min	65 min	62 min	67 min
Door to Needle Time 範囲	20-101 min	20-113 min	33-105 min	18-198 min	26-120 min
血管内治療例（緊急IVR例）	3 (3)	7 (4)	13 (10)	26 (13)	25 (17)
平均 Door to Puncture Time	92 min	81 min	82 min	86 min	
脳梗塞(TIA除く)退院時 mRS 0-2 (%)	130 (45.0%)	159 (56.3%)	179 (52.6%)	199 (57.0%)	197 (55.3%)
脳出血(くも膜下出血を含む)	71	43	84	72	81
脳出血退院時 mRS 0-2 (%)	24 (33.8%)	20 (46.5%)	31 (36.9%)	29 (40.2%)	26 (32.0%)
めまい症	13	19	12	9	16
意識消失・意識障害	20	12	8	10	6
てんかん発作	41	26	27	19	14
髄膜炎・脳炎	0	2	3	1	0
その他神経関連疾患（脳卒中疑い、頭痛など）	37	49	34		
COVID-19	17	22	24		
感染症（COVID-19以外の肺炎、尿路感染など）	60	60	19	4	4
その他	54	19	15	50	55
合計	602	551	587	545	567

糖尿病内科

スタッフ

部 長 五郎川伸一 医学博士
日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会指導医／
日本糖尿病学会糖尿病専門医／日本糖尿病学会研修指導医／日本糖尿病学会近畿支部評議員／
日本医師会認定産業医

医 長 森川侑佳
日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会指導医／
日本糖尿病学会糖尿病専門医／日本医師会認定産業医／緩和ケア研修会修了者

学会活動状況

第60回日本糖尿病学会近畿地方会 1 演題発表

主観患者数 148名（平均在院日数 14.7日）

共観患者数 363名（平均在院日数 32.1日）

トピックス

- ・日本糖尿病学会認定教育施設として、教育入院からCSII(Continuous Subcutaneous Insulin Infusion：持続皮下インスリン注入療法)、CGM(Continuous Glucose Monitoring：持続血糖測定)、SAP(Sensor Augmented Pump)療法まで、幅広い医療を提供している。間歇スキャン式持続血糖測定器(isCGM)も積極的に導入し、血糖変動をより正確に把握し、きめ細かい治療に努めている。
- ・周術期血糖コントロールに関して、夜間、休日も含め積極的に対応し、手術の予後が悪化しないように努めている。
- ・CDEJ(Certified Diabetes Educator of Japan：日本糖尿病療養指導士)が増員された。

腎臓内科

スタッフ

医 員 (非常勤) 今井 淳 裕

医 員 (非常勤) 松本あゆみ

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
慢性腎臓病	211
本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	83
鉄欠乏性貧血	79
詳細不明の糖尿病	65
全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	42
プリン及びピリミジン代謝障害	38
甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症]	35
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	34
心不全	34
その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	33
詳細不明の腎不全	33
その他の全身性結合組織疾患	30
その他のえ<壊>死性血管障害	28
腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	23
副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	21

緩和ケア科

スタッフ

部長 佐竹主道 医学博士

日本内科学会認定内科医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士／緩和ケア研修会修了／
緩和ケア指導者研修会修了／がんのリハビリテーション研修会修了／嚥下機能評価研修会修了／
新リンパ浮腫研修会修了／本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会修了

入院患者内訳 総入院患者数：127名

上位疾患（外来）

疾患名	件数
その他の腸の機能障害	51
疼痛，他に分類されないもの	49
背部痛	44
詳細不明の糖尿病	35
気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	35
膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	29
その他の表皮肥厚	27
動脈の塞栓症及び血栓症	22
心不全	21
胃炎及び十二指腸炎	21
帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	19
神経系のその他の障害，他に分類されないもの	18
肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	18
結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	17
胃の悪性新生物＜腫瘍＞	16
その他の脊椎障害	16

化学療法科

スタッフ

部 長 永井 健一 (令和5年4月1日～)
日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了

統括診療部長 山東 剛裕 医学博士 (～令和5年3月31日)
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医／
日本消化器内視鏡学会認定専門医／
日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医／
身体障害者福祉法第15条指定医師 (肝機能障害)／臨床研修指導医講習会修了／
緩和ケア研修会修了

呼吸器内科

スタッフ

医 員 (非常勤) 前 谷 知 毅

医 員 (非常勤) 谷 村 真 依

医 員 (非常勤) 平 井 総 一

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	224
肺の画像診断における異常所見	120
喘息	50
その他の慢性閉塞性肺疾患	48
その他の間質性肺疾患	46
その他の非結核性抗酸菌による感染症	36
肺炎, 病原体不詳	35
詳細不明の慢性気管支炎	34
呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	29
肺気腫	27
咳	22
機能検査の異常所見	18
その他の関節リウマチ	14
その他のえ<壊>死性血管障害	13
その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	13
呼吸の異常	13

消化器内科

スタッフ

統括診療部長 山東 剛裕 医学博士 (～令和5年3月31日)
 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
 日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医／
 日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医・指導医／
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医／
 身体障害者福祉法第15条指定医師(肝機能障害)／臨床研修指導医講習会修了／
 緩和ケア研修会修了

部長 徳原 満雄 医学博士
 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／日本肝臓学会認定指導医／
 日本肝臓学会認定肝臓専門医・暫定指導医／日本胆道学会認定指導医／
 日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／
 日本腹部救急医学会認定腹部救急認定医／日本消化器病学会近畿支部評議員／
 日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員・学術評議員／日本胆道学会評議員／難病指定医／
 臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

部長 住友 康眞
 日本内科学会認定内科医／日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／日本医学放射線学会放射線科専門医・研修指導者

医 長 中平 博子
 日本内科学会認定内科医／日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医／
 日本消化管学会認定胃腸科専門医・指導医／日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医／
 日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員／難病指定医

医 長 渡部 嘉文 医学博士 (令和5年10月1日～)
 日本外科学会外科専門医／日本消化器内視鏡学会認定専門医／
 日本消化器外科学会消化器外科専門医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了

令和5年(2023年) 内視鏡治療・検査件数

検査・治療	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
GIF：経口	127	154	163	157	150	168	157	125	135	202	154	104	1,796
GIF：経鼻	11	27	27	24	21	28	28	12	22	41	27	27	295
緊急依頼	10	10	16	8	8	11	14	9	11	13	10	10	130
小 計	138	181	190	181	171	196	185	137	157	243	181	131	2,091
健診GIF：経口	78	63	53	48	60	80	78	106	100	96	94	71	927
健診GIF：経鼻	117	150	142	114	152	216	193	198	200	281	209	190	2,162
小 計	195	213	195	162	212	296	271	304	300	377	303	261	3,089
上部ルーチン合計	333	394	385	343	383	492	456	441	457	620	484	392	5,180
EUS	4	2	1	0	3	9	5	0	0	0	4	1	29
ESD(食道)	0	0	1	2	2	0	0	1	1	1	0	1	9
ESD(胃)	8	3	5	5	3	3	3	5	2	8	1	1	47
ESD(十二指腸)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EMR	0	1	0	0	2	5	1	2	1	1	2	0	15
止血術	3	2	4	4	4	4	3	4	3	3	6	1	41
EUS-FNA	0	0	1	1	0	3	3	1	2	2	2	1	16
EVL	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

上部
(胃・肝)

異物除去摘出術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
イレウス管挿入	3	4	3	2	1	0	0	3	3	2	0	0	21
バルーン拡張	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ステント術(食道)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ステント術(胃・十二指腸)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
PEG造設	5	2	2	5	1	0	2	1	1	1	2	2	24
PEG交換	3	1	4	2	3	3	5	0	0	1	1	4	27
治療合計	28	15	21	22	19	28	23	17	13	19	18	12	235
下部(大腸)													
CF	60	84	87	80	73	91	72	72	69	79	76	52	895
CF(健診)			0	1	1	3	4	2	4	1	2	4	22
緊急依頼	2	2	4	6	1	5	4	5	6	8	6	6	55
大腸EMR	14	16	22	27	32	36	24	20	17	24	33	25	290
CSP	9	13	17	21	21	19	26	17	21	22	29	22	237
大腸ESD	0	5	7	9	4	5	3	3	2	2	2	2	44
大腸EUS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イレウス管挿入	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
大腸止血術	0	1	2	0	0	2	0	0	1	3	3	1	13
大腸バルーン拡張	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メタリックステント	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	5
合計	83	119	135	139	131	157	130	114	114	132	145	108	1,507
膵・胆管													
小腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ERCP	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4
緊急依頼	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	1	0	7
EST	2	0	2	1	2	3	2	2	4	3	3	3	27
ERBD	2	2	3	1	1	3	3	1	1	2	1	0	20
ENBD	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
IDUS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メタリックステント	0	0	0	2	0	0	2	0	2	3	1	0	10
胆道鏡下結石破砕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	2	5	4	3	6	7	3	10	8	7	3	63
2023年(R5年) BS除く	449	530	546	508	536	683	616	575	594	779	654	515	6,985

感染制御内科

スタッフ

医 長

辻本和徳

日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医／日本呼吸器学会呼吸器専門医／
日本感染症学会感染症専門医／ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター／
難病指定医／身体障害者福祉法等第15条指定医師（呼吸器機能障害）／
嚥下機能評価研修会修了／緩和ケア研修会修了

循環器科

スタッフ

部長(外科) 保田知生 医学博士

日本外科学会専門医／日本消化器病学会専門医／日本脈管学会専門医／
日本血栓止血学会認定医

(兼任) 緩和ケア科部長 佐竹主道 医学博士

日本内科学会認定内科医・指導医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士／緩和ケア研修会修了／
緩和ケア指導者研修会修了／がんのリハビリテーション研修会修了／嚥下機能評価研修会修了／
新リンパ浮腫研修会修了／本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会修了

部長 大西 衛

日本内科学会認定内科医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本心血管インターベンション治療学会認定医／緩和ケア研修会修了

医 長 中井健太郎

日本内科学会認定内科医／日本循環器学会認定循環器専門医／
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医

循環器系生理検査	2023
心エコー	3024
経食道心エコー検査	51
下肢エコー検査(動脈)	80
下肢エコー検査(静脈)	2342
トレッドミル負荷検査	17
ホルター心電図検査	483
イベントレコーダー検査	1
ABI検査	700

※心エコー ABIは検診を含む
※静脈エコーは整形外科オーダー含む

循環器系放射線科検査	2023
心臓CT	200
大血管CT	114
運動負荷タリウム心筋シンチ	46
薬剤負荷タリウム心筋シンチ	20
BMIPP	1
MIBG	0
肺血流シンチ	2

心臓カテーテル検査	2023
総数	177
PCI	37
EVT	12
右心カテ	0
アブレーション	115
ペースメーカー(新規)	8
ペースメーカー(電池交換)	5

カテ件数はPCI ABLなどすべてを含む件数

心リハ	2023
新規患者数	78
回数	2455

循環器外科手術件数	2023
下肢静脈瘤血管内焼灼術	27
下肢静脈瘤手術(硬化療法)	2
下肢静脈瘤手術(高位結紮術)	13
下肢静脈瘤手術(抜去切除術)	1
下大静脈フィルター除去術	1
下大静脈フィルター留置術	1
血管結紮術(その他)	1
動脈形成術、吻合術(その他の動脈)	1
内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝	4

精神・神経科

スタッフ

部 長

井上 洋一 医学博士

日本児童青年精神医学会認定医／日本精神神経学会専門医／精神保健指定医／
緩和ケア研修会修了

免疫内科

スタッフ

医 員（非常勤） 行木紳一郎

上位疾患（外来）

疾 患 名	件 数
その他の関節リウマチ	99
詳細不明の糖尿病	94
その他のビタミンB群の欠乏症	57
骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	48
胃食道逆流症	42
その他の間質性肺疾患	41
その他の全身性結合組織疾患	36
胃潰瘍	25
その他のえ<壊>死性血管障害	24
全身性硬化症	20
急性B型肝炎	17
全身性エリテマトーデス<紅斑性狼瘡><SLE>	17
その他の腸の機能障害	14
皮膚（多発性）筋炎	14
呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	13

小児科

スタッフ

部 長	中河いよう 医学博士 日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本医師会認定産業医／ インфекションコントロールドクター／臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了
部 長	松尾康史 日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本医師会認定健康スポーツ医／ 臨床研修指導医講習会修了
医 長	杉本有紀子 日本小児科学会小児科専門医・指導医／日本アレルギー学会専門医／臨床研修指導医講習会修了
医 長	相馬良子 日本小児科学会小児科専門医
医 長	田村玲子 日本小児科学会小児科専門医

小児科総入院患者数 1285名（救急からの入院患者343名 27%）

疾病分類	件数	率(%)
【感染症】	550	43%
RSウイルス感染症	139	
インフルエンザウイルス感染症	98	
アデノウイルス感染症	74	
ヒトメタニューモウイルス感染症	52	
COVID-19感染症	47	
溶連菌感染症	21	
マイコプラズマ感染症	6	
EBウイルス感染症	7	
ヘルパンギーナ	9	
突発性発疹症	8	
単純ヘルペスウイルス感染症	3	
水痘・带状疱疹	1	
ウイルス性胃腸炎	70	
細菌性腸炎	11	
その他のウイルス・菌感染症	4	
【血液/造血器の疾患ならびに免疫機構の障害】	9	0.7%
IgA血管炎	6	
血球貪食症候群	2	
鉄欠乏性貧血	1	
【内分泌／栄養および代謝疾患】	37	3%
成長ホルモン分泌不全性低身長（検査目的を含む）	17	

疾病分類	件数	率(%)
アセトン血性嘔吐症	12	
思春期早発症	6	
肥満	1	
糖尿病	1	
【精神および行動の障害】	23	2%
摂食障害	5	
睡眠リズム障害	4	
適応障害	8	
神経発達症	4	
自律神経失調症	1	
過換気症候群	1	
【神経系の疾患】	36	3%
てんかん	2	
熱性けいれん	24	
無菌性髄膜炎	3	
片頭痛	3	
脊椎捻挫症	3	
運動発達遅滞	1	
【眼、耳および付属器の疾患】	16	1%
急性中耳炎	11	
急性副鼻腔炎	2	
結膜炎	3	

疾病分類	件数	率(%)
【循環器系の疾患】	28	2%
起立性調節障害	27	
不整脈	1	
【呼吸器系の疾患】	420	33%
急性肺炎/気管支肺炎	136	
急性気管支炎	112	
急性喉頭炎	10	
急性咽頭炎/扁桃炎	80	
喘息性気管支炎	48	
気管支喘息	34	
【消化器系の疾患】	14	1%
腸重積症	1	
アレルギー性胃腸炎	4	
肝機能障害、乳児肝炎	1	
食道炎	1	
便秘	3	
十二指腸炎	1	
過敏性腸症候群	2	
虫垂炎	1	
【皮膚および皮下組織の疾患】	34	3%
頸部リンパ節炎、壊死性リンパ節炎	4	
アトピー性皮膚炎	13	
蜂窩織炎	9	
じんましん	4	
薬疹	1	
その他皮膚疾患	3	

疾病分類	件数	率(%)
【筋骨格系および結合組織の疾患】	30	2%
川崎病	21	
化膿性閉鎖筋炎	1	
単純性股関節炎	5	
急性筋炎	3	
【尿路器系の疾患】	15	1%
出血性膀胱炎	1	
急性腎盂腎炎・尿路感染症	10	
糸球体腎炎	3	
膀胱尿管逆流症	1	
【損傷、中毒およびその他の外因の影響】	7	0.5%
薬物乱用	3	
頭部打撲	1	
骨折	1	
環軸関節回旋位固定	1	
熱中症	1	
【アレルギーの疾患】	56	4%
食物アレルギー	53	
アレルギー性鼻炎	1	
アナフィラキシー	2	
【その他】	10	0.7%
不明熱	5	
分類不能	5	

外科

スタッフ

健康管理センター長 部長 福地 成晃

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本消化器病学会消化器病専門医・指導医／
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医／日本胆道学会認定指導医／難病指定医／
臨床研修指導医講習会修了／プログラム責任者養成講習会修了／緩和ケア研修会修了

部 長 永井 健一

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医／
日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了

医 長 杉本 聡 (令和5年4月1日～)

日本外科学会外科専門医／日本内視鏡外科学会技術認定医 (消化器・一般外科)

医 員 朴 正勝 (令和5年4月1日～)

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／
緩和ケア研修会修了

医 員 北風 雅敏 (～令和5年3月31日)

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会消化器外科専門医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／緩和ケア研修会修了

令和5年 手術件数

術 式	悪性（うち鏡視下手術）	良性（うち鏡視下手術）
A. 胃・食道	13 (11)	0
幽門側胃切除術	5 (4)	0
噴門側胃切除術	1 (1)	0
胃部分切除術	4 (4)	0
胃全摘術	2 (2)	0
その他	1	0
B. 小腸・大腸	46 (34)	14
小腸切除術	0	0
結腸切除術	29 (23)	0
直腸切除術	10 (10)	0
直腸切断術	1 (1)	0
ハルトマン手術	0	0
人工肛門・結腸瘻造設術	3	0
その他	3	14
C. 肛門とその周辺	0	10
痔核手術	0	7
痔瘻手術	0	1
肛門周囲膿瘍切開術	0	0
その他	0	2
D. 肝・胆・膵	9	44 (37)
肝部分切除術	5	0
肝区域切除術	0	0
膵頭十二指腸切除術	0	0
膵体尾部切除術	0	0
胆嚢摘出術	0	42 (36)
総胆管切開術	0	0
その他	4	2 (1)
E. 腹壁	0	64 (32)
鼠径ヘルニア	0	49 (26)
大腿ヘルニア	0	3 (2)
腹壁瘢痕ヘルニア	0	11 (4)
臍ヘルニア	0	1
F. 緊急手術	0	29 (11)
腸閉塞手術	0	10
腹膜炎手術	0	6
虫垂炎手術	0	13 (11)
G. その他	0	5
小 計	68 (45)	166 (80)
総 計	234 (125)	

整形外科

スタッフ

院長	細野 昇 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医／日本脊椎脊髄病学会評議員／ 中部日本整形外科災害外科学会評議員／緩和ケア研修会修了
副院長	奥田 眞也 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医・指導医／難病指定医／身体障害者指定医／ 臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了
統括診療部長	立石 耕介 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医／ 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医／ 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医・指導医／臨床研修指導医講習会修了
部長	梶座 康夫 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医／ 日本人工関節学会認定医／日本関節病学会認定医／日本リウマチ学会評議員
部長	米谷 泰一 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本体育協会公認スポーツドクター／ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）評議員／JOSKAS関節鏡技術認定医
医長	下村 和範 医学博士（～令和5年3月31日） 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本再生医療学会再生医療認定医／ JOSKAS 関節鏡技術認定医／難病指定医／ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）評議員／ 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 幹事／ International Cartilage Regeneration & Joint Preservation Society (ICRS), member of standing committee／大阪大学医療通訳育成コース 講師
医長	阿部 裕仁 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医
医長	安井 行彦 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本手外科学会認定手外科専門医
医長	藤戸 稔高 医学博士 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本人工関節学会認定医／身体障害者指定医
医員	宮崎 亮（令和5年4月1日～）
医員	後藤 泰 日本整形外科学会認定整形外科専門医／緩和ケア研修会修了
医員	粕谷 泰祐（令和5年4月1日～） 日本整形外科学会認定整形外科専門医／緩和ケア研修会修了
医員	星山 政輝 日本整形外科学会認定整形外科専門医／日本整形外科学会認定脊椎脊髄病専門医・指導医
医員	鈴木 秀和（令和5年4月1日～）

医 員	田中雄大 緩和ケア研修会修了	(令和5年4月1日～)
医 員	宮本僚太 緩和ケア研修会修了	(令和5年4月1日～)
医 員	松川優樹 緩和ケア研修会修了	(令和5年4月1日～)
医 員	樋口 亮 緩和ケア研修会修了	(～令和5年6月30日)
医 員	北西光介 緩和ケア研修会修了	(～令和5年3月31日)
医 員	山本幸佑	(～令和5年3月31日)
医 員	祝迫恵爾 緩和ケア研修会修了	(～令和5年3月31日)

2023年整形外科手術実績

疾患名	件数
上肢(肘・手)	419
肩	0
脊椎	268
人工(股)	134
人工(膝)	204
リウマチ・足	34
スポーツ	180
外傷(下肢・体幹)	265
その他	23
総 計	1527

スポーツ整形外科

スタッフ

<p>部 長 米谷 泰一 医学博士</p> <p>医 長 下村 和範 医学博士</p> <p>医 員 宮崎 亮</p>	<p>日本整形外科学会認定整形外科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）評議員 JOSKAS関節鏡技術認定医 （～令和5年3月31日） 日本整形外科学会認定整形外科専門医 日本再生医療学会再生医療認定医 JOSKAS 関節鏡技術認定医 難病指定医 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）評議員 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 幹事 International Cartilage Regeneration & Joint Preservation Society (ICRS), member of standing committee 大阪大学医療通訳育成コース 講師 （令和5年4月1日～）</p>
---	---

手術統計

術 式	件数	術 式	件数
関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	89	関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）	2
関節鏡下半月板縫合術	82	関節鏡下靭帯断裂縫合術（膝側副靭帯）	2
関節鏡下半月板切除術	22	アキレス腱断裂手術	2
関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	19	腓骨筋腱鞘形成術	2
関節鏡下靭帯断裂形成手術 （内側膝蓋大腿靭帯）	6	骨移植術（自家骨又は非生体同種骨移植 と人工骨移植の併施、その他）	2
関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）	6	創傷処理 （筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満）	1
骨折観血的手術（下腿）	4	骨折観血的手術（足）	1
関節鏡下関節鼠摘出手術（足）	4	骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	1
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	3	骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	1
化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）	3	骨切り術（大腿）	1
関節内骨折観血的手術（膝）	3	関節脱臼観血的整復術（膝）	1
関節鏡下自家骨軟骨移植術	3	関節内骨折観血的手術（足）	1
癒痕拘縮形成手術（その他）	2	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	1
骨切り術（下腿）	2		
観血的関節固定術（足）	2		268

心臓血管外科

スタッフ

医 員 (非常勤) 河村 拓史

上位疾患 (外来)

疾 患 名	件 数
静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎	341
アテローム<じゅく<粥>状>硬化 (症)	244
下肢の静脈瘤	212
大動脈瘤及び解離	156
心不全	151
本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	90
胃食道逆流症	64
その他の凝固障害	60
リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	56
浮腫, 他に分類されないもの	54
心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	43
肺塞栓症	43
非リウマチ性僧帽弁障害	41
動脈の塞栓症及び血栓症	41
急性心筋梗塞	32
その他の動脈瘤及び解離	32

血管外科

スタッフ

医 員 (非常勤) 澁谷 卓

形成外科

スタッフ

部長 廣田龍一郎 医学博士
日本専門医機構認定形成外科専門医

形成外科2023年次手術統計

手術区分	件数
新鮮熱傷	0
顔面骨骨折、軟部組織損傷	31
口唇裂、口蓋裂	0
手、足の先天異常、外傷	1
その他の先天異常	0
母斑、血管腫、良性腫瘍	81
悪性腫瘍およびそれに関連する再建	0
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	14
褥瘡、難治性潰瘍	5
美容外科	0
その他	15
合計	147

脳神経外科

スタッフ

健康管理センター長 部長 早崎 浩司 医学博士 (～令和5年11月30日)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経血管内治療学会認定専門医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医

医 長 小林 慎弥 (～令和5年6月30日)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医／日本脳卒中の外科学会技術指導医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

手術統計

脳神経外科的手術統計

症例・術式	件数
脳腫瘍：(1) 摘出術	0
脳腫瘍：(2) 生検術 (開頭術)	0
脳腫瘍：(2) 生検術 (定位手術)	0
脳腫瘍：(3) 経蝶形骨洞手術	0
脳血管障害：(1) 破裂動脈瘤クリッピング	0
脳血管障害：(2) 未破裂動脈瘤クリッピング	0
脳血管障害：(3) 脳動静脈奇形	0
脳血管障害：(4) 頸動脈内膜剥離術	1
脳血管障害：(5) バイパス手術	0
脳血管障害：(6) 高血圧性脳内出血 (開頭血腫除去術)	0
脳血管障害：(6) 高血圧性脳内出血 (定位手術)	0
外傷：(1) 急性硬膜外血腫	0
外傷：(2) 急性硬膜下血腫	0
外傷：(3) 減圧開頭術	0
外傷：(4) 慢性硬膜下血腫	14
水頭症：(1) 脳室シャント術	0
水頭症：(2) ドレナージ	1
その他	0
計	16

脳血管内治療科

スタッフ

健康管理センター長 部長 早崎 浩司 医学博士 (～令和5年11月30日)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経血管内治療学会認定専門医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医

部長 杉浦 史郎 医学博士

日本内科学会認定内科医／日本脳卒中学会認定脳卒中専門医／
日本脳神経血管内治療学会認定専門医

脳血管内手術統計

症例・術式	件数
動脈瘤コイル塞栓術（破裂動脈瘤）	0
動脈瘤コイル塞栓術（未破裂動脈瘤）	0
脳動静脈奇形・硬膜動静脈瘻	0
脊髄動静脈奇形	0
血栓回収・血栓溶解術	3
経動脈的ステント留置術	0
その他	0
計	3

呼吸器外科

スタッフ

医 員（非常勤）狩野 孝

上位疾患（外来）

疾 患 名	件 数
気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	137
呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	72
その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	72
心不全	20
肺気腫	20
中耳，呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	16
本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	12
その他の間質性肺疾患	12
その他の腸の機能障害	11
睡眠障害	10
胃食道逆流症	10
胃潰瘍	10
その他の慢性閉塞性肺疾患	10
その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物＜腫瘍＞	10
リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	9

皮膚科

スタッフ

部 長	立花 隆夫 医学博士	
	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医／日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医／ 日本アレルギー学会指導医／難病指定医／小児慢性特定疾病指定医／緩和ケア研修会修了	
医 員	小林 佳道	(令和5年4月1日～)
	緩和ケア研修会修了	
医 員	國府 拓	(～令和5年3月31日)
	難病指定医／緩和ケア研修会修了	
医 員	片岡 晃希	(～令和5年3月31日)

入院患者統計

疾患名	症例数
蜂巣炎	21
帯状疱疹	17
基底細胞癌	8
皮膚良性腫瘍	7
悪性黒色腫	6
脂肪腫	6
褥瘡	6
中毒疹	5
粉瘤	4
有棘細胞癌	4
筋膜炎	3
膿皮症	3
ボーエン病	2
水疱性類天疱瘡	2
多形紅斑	2
糖尿病性壊疽	2
アトピー性皮膚炎	1
カボジ水痘様発疹症	1
神経線維腫症1型	1
丹毒	1
皮膚潰瘍	1
皮膚膿瘍	1
その他	20
合 計	124

手術統計

術 式	症例数
皮膚、皮下腫瘍摘出手術	118
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	21
皮弁作成術	12
リンパ節摘出術	6
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術	6
植皮術	6
皮膚血管腫摘出術	2
デブリードマン	1
陰茎悪性腫瘍手術	1
断端形成術	1
その他	8
合 計	182

(中央手術室実施分)

泌尿器科

スタッフ

部 長	松本吉弘 医学博士 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医／奈良県立医科大学臨床教授／ 日本排尿機能学会認定医／日本透析医学会認定透析専門医／ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／ 緩和ケア研修会修了
部 長	山田 篤 医学博士 (～令和5年6月30日) 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医／日本排尿機能学会認定医／ 日本透析医学会認定透析専門医／日本がん治療認定医機構がん治療認定医／緩和ケア研修会修了
医 長	豊島優多 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医／日本透析医学会認定透析専門医／ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医／日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医／ 難病指定医／緩和ケア研修会修了
医 員	橘 進彰 (令和5年4月1日～) 緩和ケア研修会修了
医 員	宮崎和喜 (令和5年7月1日～) 緩和ケア研修会修了
医 員	松原聡彦 (～令和5年3月31日) 緩和ケア研修会修了

入院患者内訳 総入院患者数：529名

頻度別上位15疾患

疾患名	件数	平均在院日数
膀胱の悪性新生物	106	11.4
腎結石及び尿管結石	89	4.4
前立腺の悪性新生物 (疑いを含む)	85	5.1
閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	52	7.0
腎盂腎炎	28	20.6
前立腺の炎症性疾患	13	15.1
過長包皮、包茎及び嵌頓包茎	13	7.1
膀胱炎	10	12.6
その他の膀胱障害	9	6.6
尿路系のその他の障害	9	14.0
腎盂を除く腎の悪性新生物	7	21.7
腎尿路の良性新生物	7	8.9
慢性腎臓病	7	6.7
下部尿路結石	7	5.3
COVID-19	7	12.9

総手術件数：393件

悪性腫瘍

腎癌	腹腔鏡下腎摘除術、部分切除術	1
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	2
	尿管鏡下腫瘍切除術、生検	4
膀胱癌	根治的膀胱全摘除術	5
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	83
前立腺癌	前立腺生検	70
精巣腫瘍	高位精巣摘除術	3
その他		2
合 計		170

尿路結石症

経尿道的腎尿管碎石術	72
経尿道的膀胱碎石術	6
体外衝撃波結石破砕術	59
合 計	137

その他主たる検査

膀胱尿道鏡検査	610
超音波断層法	2188
逆行性腎盂造影	114
順行性腎盂造影	4
尿管皮膚瘻造影	47
膀胱造影	45
合 計	3008

下部尿路機能検査

尿流測定	198
残尿測定	1064
膀胱内圧測定（PFSを含む）	57
排尿時膀胱尿道撮影	15
ビデオウロダイナミクス	61
合 計	1395

その他の良性疾患

経尿道的前立腺切除術、レーザー蒸散術	21
間質性膀胱炎手術	6
動静脈シャント造設術	7
精索捻転手術	4
腹腔鏡下仙骨脛固定術（LSC）、尿失禁手術	3
経皮的腎瘻造設術、膀胱瘻造設術	4
包皮環状切除術（完全包茎）	14
陰嚢水腫/精液瘤	5
内尿道切開術、尿管バルーン拡張	5
ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法	3
その他	14
合 計	86

産婦人科

スタッフ

部長 河 流 陽 子

日本産科婦人科学会産婦人科専門医／緩和ケア研修会修了

眼科

スタッフ

部長 中坪 弥生
日本眼科学会専門医／難病指定医／身体障害者福祉第15条指定医（視覚障がい）

医長 美井 メイ 医学博士
日本眼科学会専門医／眼科PDT認定医／難病指定医／身体障害者福祉第15条指定医（視覚障がい）

手術統計

症例・術式	件数
白内障	185
後発白内障ヤグレーザー	47
網膜光凝固	32
結膜結石除去術	8
涙点プラグ	7
その他	19
合計	298
抗VEGF抗体硝子体内注射	94

耳鼻咽喉科

スタッフ

部	長	高田 智子 日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／ 身体障害者福祉法第15条指定医師（聴覚障害認定医）／補聴器適合判定医
医	長	高安 幸恵 日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／ 身体障害者福祉法第15条指定医師（聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく機能障害認定医）／ 補聴器相談医
医	長	桑原 敏彰 日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医／難病指定医／臨床研修指導医講習会修了／ 緩和ケア講習会修了

手術件数

2023年

耳	56件	喉	52件
乳突削開術	3	口蓋扁桃摘出術	30
鼓膜切開術	22	アデノイド切除術	7
鼓膜チューブ挿入術	23	甲状腺良性腫瘍摘出術	1
鼓膜形成手術	1	甲状腺悪性腫瘍摘出術	1
先天性耳瘻管摘出術	1	咽後膿瘍切開術	2
顔面神経減荷術	3	咽頭異物摘出術	2
耳介血腫開窓術	2	扁桃周囲膿瘍切開術	2
鼓膜穿孔閉鎖術	1	唾石摘出術（表在性のもの）	1
鼻	175件	気管切開術	3
鼻腔粘膜焼灼術	16	気管切開孔閉鎖術	2
下甲介粘膜レーザー焼灼術	5	皮弁作成術	1
鼻骨変形治療骨折矯正術	7	その他	4件
鼻骨骨折整復固定術	1	皮膚腫瘍摘出術	2
鼻甲介切除術	1	リンパ節摘出術	2
内視鏡下鼻・副鼻腔手術（I-V型）	51		
内視鏡下鼻腔手術I型（下鼻甲介手術）	14		
内視鏡下鼻中隔手術	29		
経鼻腔的翼突管神経切除術	34		
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	1		
鼻中隔膿瘍切開術	1		
鼻茸摘出術	3		

リハビリテーション科・リハビリテーション部

スタッフ（令和5年12月）

リハビリテーション科

部長 伊藤泰司
(医学博士) 日本リハビリテーション医学会認定医

部長 矢田定明
日本リハビリテーション医学会認定医

リハビリテーション部

理学療法士長 権藤 要
副理学療法士長 大西和彦、永富孝幸
理学療法主任 山本朋子、高村麻加、大道雅之、瀧口福人、木村宏隆、宮下 創
他理学療法士 48名（非常勤 3名含む）
作業療法主任 臼井淳史、細川純子、門川泰輔、中路悟史
他作業療法士 19名
言語聴覚主任 渋谷静英
他言語聴覚士 7名

専門理学療法士 (神経系) 権藤 要
(小児) 権藤 要
認定理学療法士 (脳卒中) 川村知史、金 由佳、早瀬裕之、宮下 創、橋爪稚乃、
松下有加里、村上 萌、松本拓也、中野佳樹、
高尾茉侑、浦上慎司
(運動器) 永富孝幸、川村知史、金 由佳、多久和良亮
(スポーツ理学療法) 巽 芽生
(脊髄障害) 宮下 創、小笠原峻、高尾茉侑
(神経筋障害) 吉田圭佑
(呼吸) 木村宏隆、北村優友
(循環) 山本 准
(地域) 山本 准
認定作業療法士 加藤敏一
呼吸療法認定士 永富孝幸、高村麻加、菊池 恵、木村宏隆、北村優友、巽 芽生、
松下有加里、橋爪稚乃、坊慎太郎、山本 准、瀧口福人、坂井玄弥
呼吸ケア指導士 瀧口福人
心臓リハビリテーション指導士 永富孝幸、高村麻加、北村優友、松下有加里、瀧口福人、山本 准
心不全療養指導士 橋爪稚乃
地域ケア会議推進リーダー 権藤 要、木村宏隆、北村優友、川村知史、渋谷静英、宮下 創、
高尾茉侑、山本 准、中野佳樹
介護予防推進リーダー 権藤 要、木村宏隆、川村知史、渋谷静英、北村優友、宮下 創、
山本 准、中野佳樹

がんのリハビリテーション研修受講者	権藤 要、永富孝幸、木村宏隆、高村麻加、菊池 恵、北村優友、山本 准、巽 芽生、松下有加里、門川泰輔、兼松大輔、山本朋子、細川純子、岡本麻美、橋爪稚乃、臼井淳史、瀧口福人、浦上慎司、小笠原 峻
臨床実習指導者研修修了	権藤 要、永富孝幸、木村宏隆、加藤敏一、細川純子、金 由佳、大道雅之、北村優友、坊慎太郎、宮下 創、多久和良亮、吉田圭佑、臼井淳史、山内 純、巽 芽生、橋爪稚乃、門川泰輔、兼松大輔、土井隆治、小西直弥、伴 征晃、高岡夏実、片岡史穂、山本 准、松本拓也、浦上慎司、小笠原峻、早瀬裕之、古川啓介、川村知史、菅野絢子
糖尿病療養指導士	松下有加里
大阪糖尿病療養指導士	菊池 恵
生活行為向上実務者	松山裕子、岡野沙絵
福祉住環境コーディネーター	細川純子、中路悟史、谷口えりか、川村知史、山本 准、小笠原 峻、松山裕子、兼松大輔、平野義希、中野佳樹、氏家琴音、山下隼生
フレイル対策推進マネジャー	権藤 要、木村宏隆、宮下 創、北村優友、山本 准
LSVT [®] BIG	吉田圭佑
LSVT [®] LOUD	渋谷静英、岡本麻美、樋口 優

2. 地域支援

枚方市保健所難病患者地域支援対策推進事業 訪問相談

岡本麻美、高岡夏実、土井隆治、樋口 優

枚方保健センター、交野ゆうゆうセンター、和泉保健所、寝屋川保健センター、高槻市保健センター、八尾保健センター、茨木支援学校校医、交野支援学校、大阪府障害者自立支援相談センター、大阪頸髄損傷者連絡会（交流会）

3. 2023年 臨床実習受け入れ状況

	臨床実習	評価・検査実習
理学療法	京都大学 四条畷学園大学 新潟医療福祉大学 清恵会第二医療専門学院 畿央大学 森ノ宮医療大学 関西医療学園 大阪医療福祉専門学校 阪奈中央リハビリテーション専門学校 兵庫医科大学 大阪行岡医療大学 大阪公立大学 日本福祉大学 関西医科大学 長崎大学 計22名	兵庫医科大学 森ノ宮医療大学 大阪人間科学大学 清恵会第二医療専門学院 大阪医療福祉専門学校 関西福祉科学大学 畿央大学 大阪行岡医療大学 阪奈中央リハビリテーション専門学校 計10名
作業療法	大阪医療福祉専門学校 大阪公立大学 佛教大学 関西福祉科大学 阪奈中央リハビリテーション専門学校 森ノ宮医療大学 大阪リハビリテーション専門学校 四条畷学園大学 計8名	森ノ宮医療大学 大阪保健医療大学 関西医科大学 計5名
言語療法		大阪保健医療大学 京都保健医療専門学校 大和大学 計3名

4. 養成校講義依頼

新潟医療福祉大学、大阪医療福祉専門学校、阪奈中央リハビリテーション専門学校、森ノ宮医療大学、清恵会第二医療専門学院

5. 研修会開催状況

	研修会名	参加人数(名)
理学療法士講習会	離床講習会：webで開催	13名
作業療法士講習会	CVA時期別OT研修会：webで開催	35名
公開研修会	ボバースコンセプト：webで開催	延べ114名
公開勉強会	片麻痺の勉強会：webで開催	延べ701名
	呼吸理学療法勉強会webで開催	延べ581名
	整形外科疾患勉強会：webで開催	延べ458名
	脊髄損傷勉強会：webで開催	延べ362名
市民公開講座	軟式野球の投球動作における損傷予防：webで開催	308名

6. 年間療法別取扱疾患件数

	疾 患	P T 年 間	O T 年 間	S T 年 間
中枢疾患	脳出血	5,355	5,037	2,199
	脳梗塞	12,651	10,927	4,165
	くも膜下出血	108	132	23
	頭部外傷	154	88	44
	その他	1,436	1,318	305
	中枢小計	19,704	17,502	6,736
整形疾患	脊髄損傷（完全）	559	456	86
	脊髄損傷（不全）	1,164	5,243	165
	脊椎・脊髄疾患	1,637	656	0
	骨折	4,928	1,080	0
	関節障害	4,176	35	0
	筋・腱・靭帯	244	12	0
	その他	287	403	0
	整形小計	12,995	7,885	251
呼吸器疾患	癌	4	1	0
	感染	1,943	378	147
	肺切除	74	0	0
	COPD	96	117	0
	間質性肺炎	90	101	25
	拘束性肺疾患	0	0	0
	肺のう胞切除	0	0	0
	その他	586	151	393
	呼吸小計	2,793	748	565
外科	上腹部術後	171	30	32
	下腹部術後	289	30	21
	食道再建術後	0	0	0
	乳癌術後	0	0	0
	その他	229	35	4
	外科小計	689	95	57
循環器疾患	心筋梗塞	50	0	0
	バイパス術後	123	0	0
	狭心症	44	0	0
	心不全	995	35	0
	その他	210	50	0
	糖尿	45	0	0
	心臓小計	1,467	85	0
その他	廃用症候群	922	746	141
	その他	622	211	21
	その他小計	1,544	957	162
合 計		39,192	27,272	7,771

7. 回復期・急性期病棟のFIM評価と転帰

回復期病棟	退院患者数 (人) [*]	FIM(ADL)			転帰(人)								
					在宅				転院			その他	
		リハ開始時	回復期入棟時	退院時	自宅	居宅施設	特養ホーム	身障施設	他病院	診療所	老健施設	死亡	
新1病棟	233	66.6	81.1	102.8	173	10	17	0	16	0	17	0	
4西病棟	353	60.0	77.5	97.5	262	23	16	0	20	0	32	0	

※退院患者数には転棟の人数は含まず

急性期病棟	退院患者数 (人)	FIM(ADL) ^{**}		転帰(人)								
				在宅				転院			その他	
		リハ開始時	退院時	自宅	居宅施設	特養ホーム	身障施設	他病院	診療所	老健施設	死亡	
脳卒中内科	323	58.7	82.3	198	26	24	1	42	0	17	15	
脳神経外科	30	69.6	102.3	23	0	3	0	1	0	2	1	
整形外科	694	87.8	115.0	612	16	22	0	31	0	8	5	
外科	91	78.2	94.9	61	9	6	1	10	0	0	4	
感染症内科	2	18.0	23.0	0	0	0	0	2	0	0	0	
消化器内科	73	56.0	71.1	35	8	8	0	12	0	7	3	
総合内科	30	63.5	71.8	14	1	2	1	8	0	4	0	
糖尿病内科	79	70.5	76.6	50	6	6	0	11	0	4	2	
循環器内科	113	65.1	83	66	16	8	0	13	0	5	5	
心臓血管外科	12	64.5	68.9	7	3	0	0	0	0	1	1	
泌尿器科	36	65.7	84.5	19	2	6	0	5	0	3	1	
皮膚科	14	67.9	73.9	12	1	0	0	1	0	0	0	
耳鼻咽喉科	4	74.5	91.5	3	0	0	1	1	0	0	0	
眼科	7	37.9	37.9	3	1	0	0	1	0	2	0	
形成外科	11	75.5	80.7	9	2	0	0	0	0	0	0	
小児科	6	75.0	80.5	6	0	0	0	0	0	0	0	
緩和ケア科	4	49.0	59.8	2	1	0	0	1	0	0	0	
リハビリテーション科	17	109.9	111.1	16	1	0	0	0	0	0	0	

※※死亡患者のFIMを含まず

放射線科・診療放射線部

スタッフ

部長 田中健寛 医学博士
日本医学放射線学会放射線科専門医／
日本インターベンショナルラジオロジー学会指導医／日本医学放射線学会放射線診断専門医

非常勤嘱託医

診療放射線部

診療放射線技師長 石原正仁
副診療放射線技師長 辻村恭平 (令和5年4月1日～)
定昭彦 (~令和5年3月31日)
主任診療放射線技師 中嶋泰司、井上博、松島正直、青木和好、
小寺力史、藤本浩員、奥田博志、幸田和章、
北脇泰壮 (~令和5年3月31日)
他技師 15名 (2名非常勤嘱託)

認定資格

第一種放射線取扱主任者	3名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	6名
胃がん検診専門技師	6名
胃がんX線検診読影部門B資格認定	1名
医学物理士	1名
放射線治療品質管理士	1名
放射線治療専門放射線技師	3名
核医学専門技師	1名
救急撮影認定技師	3名
X線CT認定技師	4名
肺がんCT検診認定技師	1名
放射線管理士	3名
放射線機器管理士	2名
医療情報技師	1名
医用画像情報専門技師	1名
磁気共鳴専門技術者	1名

認定施設

放射性同位元素等使用許可施設 (原子力規制委員会)、マンモグラフィ検診施設画像認定

【トピックス・特記事項】

- 1月 定 昭彦副技師長が磁気共鳴専門技術者を取得
- 2月 キヤノン社製MRI装置（1.5テスラ）Fortian導入
- 3月 森ノ宮医療大学より実習生受け入れ（1名）
定 昭彦副診療放射線技師長がJCHO京都鞍馬口医療センターへ異動
北脇 泰壮主任がJCHO大阪病院へ異動
田上 幸弘技師がJCHO大阪病院へ異動
- 4月 辻村 恭平副診療放射線技師長がJCHO大和郡山病院より赴任
中島 広視技師がJCHO京都鞍馬口医療センターより赴任
- 5月 大阪ハイテクノロジー専門学校より実習生受け入れ（2名）
森ノ宮医療大学より実習生受け入れ（1名）
- 6月
- 7月 大石 梨緒が検診マンモグラフィ撮影認定技師取得
- 8月
- 9月 垣見 朋佳が放射線治療専門放射線技師取得
ホロジック社製骨密度装置QDR SERIESへ更新
第39回日本診療放射線技師学術大会にて
境 一也が「前立腺DWIにおける歪み低減処理の有用性の検討」について発表
- 10月
- 11月
- 12月 第8回JCHO地域医療総合医学会にて
井上 博が「診療放射線技師のタスクシフトの検討－健診での取り組みと診療部門への活用」
鎌田 大誠が「FPDによる首振り自動長尺システムの使用経験」
大石 梨緒が「ICD装着患者の胸部CT撮影における肺野可視領域増大の検討」
串本 万柚子が「MRI装置更新前後における画質評価と頭部MRIでのAiCEの最適化」についてそれぞれ発表
石原 正仁が「コロナ禍において部門が果たした役割－見えない敵、ウィルスへの取り組み」についてシンポジストとして発表

(COVID-19対策)

疑似症例を中心にCT検査を実施（110件）

新型コロナウイルス感染症病棟に専用ポータブル装置（FPD）を常設（17件）

単純撮影件数（人数）

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

撮影部位別	件数
胸腹部	1,880
骨・一般	24,787
脊椎長尺	1,908
下肢長尺	1,327
乳房	2,535
骨塩測定	2,423

撮影部位別	件数
小児	895
救急	2,158
病室	2,136
手術室	1,946
合計	41,995

※胸腹部：1、6、7、番の胸部、腹部、腎盂・膀胱の合計
※骨・一般：1、6、7番の骨全般の合計

造影検査件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

検査内容		件数	
消化管	食道・下咽頭（VF含む）	10	
	上部消化管	23	
	注腸（健診・小児腸重積含む）	10	
	小腸	4	
	DIC（胆嚢造影）	3	
	胃管挿入・入替	39	
	PEG	3	
泌尿器科系	DIP・IP	0	
	CG・VCG	60	
	UCG	0	
	VUUDS	49	
	RP	117	
	PNS	4	
	尿管ステント留置・交換・抜去	0	
	腎瘻増設・カテ交換・造影	0	
	膀胱瘻増設・カテ交換・造影	0	
	尿管皮膚瘻カテ交換・造影	42	
	その他	0	
	整形外科系	ミエロ・ディスク	21
		関節造影	0
神経根造影・ブロック		93	
イメージ下整復・撮影		200	
その他		0	
婦人科系	HSG	0	
消化器科系	PTCD・PTGBD等	29	
外科系	イレウス管挿入・造影	56	
	吻合部透視	2	
	瘻孔造影	12	
	Tチューブ造影	7	
	シャント造影	0	
	IVH挿入・位置調整	121	
	胸部・腹部ドレナージ	6	
内視鏡	BS	1	
	ERCP系	74	
	CF	13	
	その他	0	
合計		999	

CT検査件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

検査部位	件数	割合
頭部	2,467	18%
頸部	61	0%

胸部	1,266	9%
腹部	149	1%
骨盤	73	1%
頸部～胸部	102	1%
頸部～腹部	17	0%
頸部～骨盤	946	7%
胸部～腹部	54	0%
胸部～骨盤	2,793	21%
腹部～骨盤	1,781	13%
脊椎	1,006	7%
四肢	2,554	19%
心臓	201	1%
ミエロ後CT	33	0%
ガイド下穿刺	2	0%
Ai	82	1%
合計	13,587	100%

外来	10,169	74.8%
入院	3,418	25.2%

単純	11,837	87.1%
造影	1,750	12.9%

病診連携	546	4.0%
救急（救急科）	391	2.9%

MRI検査件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

検査部位	件数	割合
頭部	2,645	38%
頸部	53	1%
胸部	35	1%
腹部	501	7%
骨盤	463	7%
脊椎	1,452	21%
四肢・関節	1,744	25%
心臓	1	0%
合計	6,894	100%

外来	5,704	83%
入院	1,190	17%

病診連携	776	11%
救急（救急科）	23	0%

核医学検査件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

検査部位	件数	割合
骨	80	31%
腫瘍・炎症	9	4%
脳 (SPECT含)	80	31%
心筋	67	26%
肝・胆道	0	0%
腎	2	1%
レノグラム	3	1%
副腎	0	0%
肺血流	2	1%
甲状腺	2	1%
副甲状腺	2	1%
唾液腺	1	0%
消化管出血	2	1%
リンパ管	5	2%
合計	255	100%
外来	220	86.3%
入院	35	13.7%
病診連携	18	7.1%

血管撮影件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

部位	患者数	割合	手術・検査名	件数
心臓	209	88%	心臓カテーテル検査	88
			経皮的冠動脈ステント留置術 (PCI)	40
			経皮的カテーテル心筋焼灼術 (ABL)	119
			ペースメーカー移植術など	14
			その他	3
頭部	8	3%	動脈造影カテーテル法	8
			脳血管内手術 (1箇所)	0
			経皮的脳血管形成術	0
			頭部血栓 (溶解、吸引、回収)術	3
			経皮的頸動脈ステント留置術 (CAS)	0
			その他	0
腹部	8	3%	動注治療	6
			血管塞栓術	6
			その他	0
四肢	12	5%	血管拡張術・血栓除去術	12
			その他	0
その他	0	0%		0
合計	237	100%		299

放射線治療件数

期間：2023年1月1日～2023年12月31日まで

疾患郡分類	件数	
脳・脊髄 (0例)	glioma	0
	転移	0
	その他	0
食道 (0例)	0	
頸部・鎖骨リンパ節 (0例)	0	
胸部 (0例)	扁平上皮癌	0
	腺癌	0
	小細胞癌	0
	大細胞癌	0
	転移	0
	再発	0
その他	0	
乳房 (乳房温存術 1例)	1	
胃・小腸・結腸・直腸 (0例)	再発	0
	前立腺	0
	膀胱	2
泌尿器系 (2例)	その他	0
	食道癌	1
	肺癌	1
皮膚・骨・軟部腫瘍 (14例)	乳癌	1
	腎癌	2
	前立腺癌	3
	膀胱癌	1
	子宮頸癌	1
	S状結腸癌	1
ケロイド	3	
合計	17	

麻酔科

スタッフ

部長 集中治療部長 辻村 茂久

麻酔科標榜医／日本専門医機構認定麻酔科専門医／日本麻酔科学会麻酔科認定指導医

医 長 名本和子 医学博士

麻酔科標榜医／日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医

医 員 柏井 朋子

麻酔科標榜医／日本専門医機構認定麻酔科専門医／日本麻酔科学会認定麻酔科指導医／
緩和ケア研修会修了／日本区域麻酔検定試験（JRACE）合格

医 員 大倉奈保美

麻酔科標榜医／日本麻酔科学会認定麻酔科専門医・指導医

医 員 駕田貴美子

麻酔科標榜医／日本麻酔科学会認定麻酔科認定医・専門医

医 員 大平僚祐

麻酔科標榜医／緩和ケア研修会修了

年齢別統計

	男 性	女 性
～1カ月	0	0
～12ヶ月	0	0
～5歳	4	4
～18歳	123	55
～65歳	394	274
～85歳	387	556
86歳～	55	112
合 計	963	1001

診療科別統計

整形外科	1367
泌尿器科	252
外科	210
呼吸器外科	0
脳神経外科	1
産婦人科	0
耳鼻咽喉科	83
心臓血管外科	8
形成外科	19
皮膚科	22
歯科口腔外科	2
合 計	1964

ASA PS別統計

1	435
2	1221
3	200
4	1
5	0
6	0
1E	31
2E	52
3E	22
4E	2
5E	0
6E	0
合 計	1964

体位別分類

仰臥位	1136
腹臥位	290
側臥位	243
切石位	267
坐位	24
その他	4
合 計	1964

麻酔法別分類

全身麻酔（吸入）	1794
全身麻酔（TIVA）	16
全（吸）+硬脊伝	53
全（TIVA）+硬脊伝	9
脊椎+硬膜外麻酔（CSEA）	1
硬膜外麻酔	0
脊髄くも膜下麻酔	91
伝達麻酔	0
その他	0
合 計	1964

手術部位別統計

脳神経・脳血管	1
胸腔・縦隔	0
心臓・血管	1
胸腔+腹部	0
上腹部	68
下腹部	312
帝王切開	0
頭頸部・咽喉頭	101
胸壁・腹壁・会陰	91
脊椎	246
股関節・四肢	1134
検査	0
その他	10
合 計	1964

歯科・歯科口腔外科

スタッフ

部長 福辻美貴

歯科医師臨床研修指導医／緩和ケア研修会修了

外来新患者主訴内訳

歯周疾患	840
歯科補綴	134
う歯疾患	48
抜歯（難抜歯・埋伏歯他）	64
顎関節症	16
粘膜疾患	20
唾液腺疾患（ドライマウス含）	0
外傷（裂傷・歯牙破折等）	6
顎骨骨折	6
腫瘍（悪性含む）	2
三叉神経痛	3
睡眠時無呼吸症候群	3
味覚障害	0
その他	111

入院患者疾患・処置内訳

顎骨骨折	1
顎骨嚢胞	0
蜂窩織炎	2
プレート除去	0
抜歯	9
腫瘍	1
止血処置	8
上顎洞炎	0
その他	3

新患者年齢分布

0～10	15
11～20	22
21～30	25
31～40	18
41～50	63
51～60	116
61～70	157
71以上	692

新患有病疾患別（重複あり）

内臓疾患（糖尿病等）	63
脳血管・脳外科疾患	86
整形（脊髄損傷等）疾患	370
循環器疾患	32
感染症（HBV・HCV・HIV等）	67
呼吸器疾患	9
皮膚疾患	31
外科系疾患	46
泌尿器・腎臓疾患	96
眼疾患	67
消化器疾患	44
産科・婦人科疾患	0
耳鼻咽喉疾患	40
その他	58

外来患者統計

患者統計者延数	4420
1日平均患者数	18
新患者数	1108
院外紹介患者数	101
院内紹介患者数	213

臨床検査科・病理診断科・臨床検査部

スタッフ

部長（病理医） 鳥井 郁子 医学博士
（兼臨床検査科部長） 日本病理学会認定病理専門医／日本臨床細胞学会細胞診専門医／
日本がん治療認定医機構暫定教育医／奈良県立医科大学臨床教授

部長 河 流 陽 子
日本産科婦人科学会産婦人科専門医

部長 早 崎 浩 司 医学博士（～令和5年11月30日）
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経血管内治療学会認定専門医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医

非常勤病理医 2名

臨床検査部：34名

臨床検査技師長 稲 田 孝
副臨床検査技師長 石 川 正 美（～R05.03.31）
主任（検体検査部門） 飯田美由紀（～R05.03.31）
筒井孝一、小井エミ、槇野美紀子（R05.04.01～）
主任（生体検査部門） 岩間真奈美（R05.04.01～）、井田 淳（R05.04.01～）
助手・洗浄 1名

学会認定施設

日本病理学会登録施設（平成26年より変更）

日本臨床細胞学会認定病院（平成15年4月より認定）

認定資格

細胞検査士	4名
国際細胞検査士	3名
認定病理検査技師	1名
超音波検査士（循環器領域）	3名
超音波検査士（消化器領域）	3名
超音波検査士（体表臓器領域）	2名
超音波検査士（健診領域）	4名
日本糖尿病療養指導士	2名
認定血液検査技師	1名
認定血骨髓検査技師	1名
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	1名
認定医療情報技師	1名
緊急検査士	2名
認定心電図専門士	1名
二級臨床検査士資格認定（血液学）	7名

二級臨床検査士資格認定（臨床化学）	4名
二級臨床検査士資格認定（微生物学）	4名
二級臨床検査士資格認定（病理学）	4名
二級臨床検査士資格認定（循環生理学）	5名
二級臨床検査士資格認定（神経生理学）	1名

臨床検査部業務実績・特記事項

- ・タスクシフトシェアに関する厚生労働大臣指定講習会 4名受講
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 21名受講
- ・臨地実習指導者講習会 1名受講
- ・検査説明、相談ができる臨床検査技師育成講習会 1名受講

日本医師会臨床検査精度管理調査

令和5年度日本医師会精度管理評価点は99.1点であった。

過去5年間の評価点を記す。

	令和01年	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
評価点	99.5	100	99.2	99.1	99.1
D、Cの評価	0	0	0	0	0

臨床検査部業務統計報告

1) 検査件数

	2023年度
一般検査	69,162
血液検査	149,556
化学検査	909,049
免疫検査	105,314
細菌検査	23,363
病理検査	24,969
外部委託	14,582
総合計	1,295,995

2) 超音波検査件数

	2023年度
腹部	4,708
心臓（経食含む）	3,085
下肢深部静脈（血栓・弁不全）	2,371
頸動脈	1,027
その他	797
総合計	11,988

3) 生理検査件数

	2023年度
心機能検査	9,633
呼吸器機能検査	520
脳波・神経検査	343
聴力検査	1,785
その他	213

	2023年度
《健診》	
血管年齢	982
心電図	8,964
肺機能	1,896
聴力	8,576
視力	8,635
眼圧	1,325
眼底カメラ	2,955
総合計	45,827

4) 実習生受入れ数

施設名	人数
大阪医療技術学園専門学校	2
関西医療大学	1
森ノ宮医療大学	2
京都橘大学	1

輸血検査室

スタッフ

輸血責任医師 梶 座 康 夫 (兼 整形外科部長)

専従臨床検査技師 1名

業務内容

臨床検査部 血液製剤の発注及び在庫管理
 血液製剤使用状況の把握
 自己血の管理
 保冷库の管理 (自記温度記録、警報装置)
 輸血副作用の情報整理と赤十字血液センターへの報告
 アルブミン製剤の管理
 使用製剤管理及び適正輸血の推進
 血液型、交差試験、不規則抗体スクリーニングと抗体同定
 その他輸血関連検査

診療治療部 輸血後感染症の把握
 使用製剤管理及び適正輸血の推進
 自己血輸血に対する協力

看護部 輸血療法、自己血輸血の安全な実施のための看護管理・教育

統計資料

①輸血管理料 (I) + 輸血適正使用加算施設基準

FFP 102u /RBC 1099u = 0.09 (基準0.54未満)

ALB 1385u /RBC 1277u = 1.02 (基準2.00未満)

②製剤別症例数

製剤名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総症例数
自己血CPDA	12	10	12	10	13	15	14	9	12	14	10	4	135
照射赤血球液-LR	21	29	29	20	14	21	10	22	18	24	27	15	250
照射濃厚血小板-LR	3	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	8
新鮮凍結血漿-LR	3	2	0	1	1	4	1	3	1	3	1	0	20
献血アルブミン	15	9	8	7	9	7	7	9	5	5	6	7	94

※管理料算定数 年間444症例

③製剤別使用数

製剤名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総単位数
自己血C P D A	26	20	28	22	28	32	30	18	26	30	22	8	290
照射赤血球液-LR	99	140	101	70	60	92	52	103	70	148	110	54	1099
照射濃厚血小板-LR	160	0	20	10	0	80	10	0	0	10	0	0	290
新鮮凍結血漿-LR	46	8	0	4	2	12	6	6	2	12	4	0	102
献血アルブミン20%静注10g/50ml	27	15	21	15	17	13	13	21	14	14	5	15	190(本)
献血アルブミン5%静注12.5g/250ml	16	7	3	15	9	9	18	18	6	6	9	2	118(本)

④廃棄率

	購入単位数	廃棄単位数	年間廃棄率
R B C	1126	29	2.6%
F F P	102	10	9.8%

⑤輸血検査件数

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総件数
血液型検査	332	311	383	274	264	371	338	360	358	409	383	349	4132
不規則抗体検査	121	117	132	92	75	93	112	125	129	144	135	105	1380
交差試験(生食法のみも含む)	57	93	59	39	34	50	32	55	39	80	66	29	633

病理診断体制

令和5年における病理診断は病理医3名で協力してこれにあたり、細胞診は指導専門医1名と細胞検査士4名で所見作成に当たった。

病理解剖は、解剖医、主治医、研修医、臨床検査技師でこれに当たった。

病理診断実績

1) 病理組織診断に関する統計：本年2427件

項目	統計(件)						
性別	男	1,539	63.4%	女	888	36.6%	計 2,427
出所別	外来	1,370	56.4%	入院	1,057	43.6%	計 2,427
依頼方法	至急(迅速)	74 (14)	3.0%	普通	2,353	97.0%	計 2,427
材料別	生検・EMR(ポリペク)	1,839	75.8%	手術・摘出	588	24.2%	計 2,427
良悪性	悪性	451	19.1%	良性・境界	1,912	80.8%	計 2,363
癌の種類別	腺癌	255	50.0%	その他	255	50.0%	計 510
保険対象別	1臓器	1,964	73.7%	2・3臓器	416	15.6%	計 2,380
免疫染色	免疫加算(MLを含む)	237	94.4%	乳癌ER、PgR&Her2	14	5.6%	計 251
備考	胃+大腸標本数	1,434	59.1%	その他	993	40.9%	計 2,427

2) 細胞診断に関する統計：本年4285件

	判 定					組織診断と 対比できた件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適 (重複含)	合計件数	
婦人科(頸部を除く)	485	4	0	45	534	4
呼 吸 器	3	0	0	0	3	0
消 化 器	13	11	13	0	37	44
泌 尿 器	875	111	38	0	1024	115
乳 腺	12	9	11	2	34	2
甲 状 腺	27	2	0	9	38	1
体 腔 液	49	0	5	0	54	11
リ ン パ 節	6	3	4	4	17	5
そ の 他	15	4	8	0	27	1
総 件 数	1485 (84.0%)	144 (8.1%)	79 (4.5%)	60 (3.4%)	1768 (100.0%)	183

婦 人 科 頸 部	検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
	0	2466	30	5	11	3
	AGC	SCC	Adenocarcinoma	AIS	Other maling	合計件数
	0	1	1	0	0	2517
						組織診断と 対比できた件数
						4

剖検に関する内容

通し番号	剖検月日		出 所	主 病 変	死 因
A23-0898	3月23日	80歳 男性	脳卒中内科	ガス産生性桿菌感染症	敗血症
A23-0899	7月14日	60歳 男性	総合内科	肺胞・肺隔炎	呼吸不全

CPCならびにカンファレンス

- 1) 剖検CPC：病理医1名と初期研修医1名が担当し、2023/05/12 (A23-0898)、2023/10/06 (A23-0899) に実施した。
- 2) 手術・生検病理カンファレンス：病理診断室で随時、診断困難例について担当医らとヴァーチャルスライドなどで討議した。

健診科

スタッフ

健康管理センター長

福地 成 晃

(令和5年12月1日～)

外科部長

日本外科学会外科専門医・指導医／日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医／
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医／日本消化器病学会消化器病専門医・指導医／
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医／日本胆道学会認定指導医／難病指定医／
臨床研修指導医講習会修了／緩和ケア研修会修了

健康管理センター長

早崎 浩 司

医学博士

(～令和5年11月30日)

脳神経外科部長

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医／日本脳神経血管内治療学会認定専門医／
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医

部 長

河 流 陽 子

日本産科婦人科学会産婦人科専門医／緩和ケア研修会修了

部 長

中 本 泰 生

医学博士

日本人間ドック・予防医療学会認定医／人間ドック健診情報管理指導士(人間ドックアドバイザー)

医 長

佐 竹 英 恵

医学博士

日本内科学会認定内科医／日本人間ドック・予防医療学会認定医／
人間ドック健診情報管理指導士

手術部

スタッフ

部長	奥田 眞也		
麻酔科部長	辻村 茂久		
看護師長	大友 貴代		
副看護師長	池野 智子		
	片柳 ちえ		
看護師	24名	臨床工学技士 3名	看護補助者 5名

手術件数（各科別手術室使用の件数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外科	22	22	22	12	18	15	23	16	17	20	23	16	226
整形外科	114	124	137	105	122	147	118	142	128	133	138	134	1,542
脳外科	5	4	2	1	1	1	0	1	1	0	0	0	16
皮膚科	9	13	18	14	12	11	10	10	11	10	9	12	139
泌尿器科	22	23	36	31	33	31	24	22	26	21	32	24	325
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	18	13	20	15	13	25	16	18	16	15	16	1	186
口腔外科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
呼吸器外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形成外科	9	8	9	7	11	12	3	6	6	13	6	4	94
消化器内科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻科	11	10	11	6	8	10	6	8	3	10	6	4	93
血管外科	3	3	1	2	3	3	5	3	2	4	5	4	38
緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計件数	214	221	256	193	221	255	206	227	210	226	235	199	2,663

各科別緊急手術件数（当日発生した緊急手術）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外科	5	4	2	3	1	6	3	3	3	4	6	3	43
整形外科	14	3	20	10	13	18	12	12	14	7	8	16	147
脳外科	2	3	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	10
皮膚科	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
泌尿器科	1	1	1	0	2	0	0	2	1	0	1	2	11
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
形成外科	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
耳鼻科	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
合計件数	22	13	26	13	18	25	16	20	19	13	15	22	222

麻酔科別件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全身麻酔	150	152	189	123	150	169	144	174	142	166	167	147	1,873
腰椎麻酔	6	8	10	12	8	10	3	7	9	5	7	7	92
局所麻酔、他	58	61	57	58	63	76	59	46	59	55	61	45	698

集中治療部

スタッフ

ハイケアユニット

部長 辻村茂久（麻酔科部長）
 看護師長 藤本育美
 副看護師長 小林重美（脳卒中リハビリテーション認定看護師）
 看護師 18名

クリニカル・インディケーター

入室後48時間以内の再入室率 0.51%

診療科別

診療科別 入室患者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
脳外	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.74%
整形	22	20	22	22	15	21	22	22	30	34	41	29	300	55.76%
泌尿器	0	0	0	1	3	1	0	0	4	1	2	1	13	2.41%
外科	2	7	8	5	6	7	12	10	12	9	7	5	90	16.73%
救急	3	0	4	2	0	1	3	3	6	2	1	4	29	5.39%
卒内	3	4	6	5	4	2	3	6	3	3	3	6	48	8.92%
循内	3	0	2	3	2	5	2	3	2	0	2	1	25	4.65%
消内	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	5	0.93%
総内	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0.37%
他科	0	4	1	1	0	2	3	1	2	4	2	2	22	4.08%
計	34	35	45	40	30	40	46	46	59	54	61	48	538	100.00%

入室経路

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
緊急入院	10	9	10	4	3	7	7	9	13	7	8	7	94	17.47%
緊急転入	5	4	11	18	10	14	10	11	16	15	17	16	147	27.32%
予定転入	19	22	24	18	17	19	29	26	30	32	36	25	297	55.20%
計	34	35	45	40	30	40	46	46	59	54	61	48	538	100.00%

転帰

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
軽快	32	35	44	37	28	39	41	44	56	54	58	46	514	96.07%
転院	0	0	1	1	1	0	2	1	2	1	0	1	10	1.86%
死亡	1	0	1	0	1	1	2	1	1	1	0	2	11	2.05%
計	33	35	46	38	30	40	45	46	59	56	58	49	535	100.00%

入室日数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
0~7	30	31	42	34	25	36	43	49	55	53	54	48	500	92.90%
8~14	2	3	2	3	3	2	1	5	3	2	3	0	29	5.39%
15~21	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.19%
22~	1	1	0	0	0	2	1	0	0	1	1	1	8	1.48%
計	33	35	45	37	28	40	45	54	58	56	58	49	538	100.00%

年齢別入院

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	割合
0～15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.18%
16～29	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	6	1.12%
30～49	1	3	2	2	0	0	3	3	1	3	0	0	18	3.38%
50～64	3	5	3	11	0	0	1	5	5	1	6	3	43	8.09%
65～74	6	10	8	3	11	5	11	10	10	6	9	6	95	17.89%
75～79	5	5	5	6	5	10	9	10	10	12	7	8	92	17.32%
80～89	12	7	18	9	12	18	15	16	25	27	25	23	207	38.98%
90～	7	5	6	9	2	6	3	2	6	2	13	8	69	12.99%
計	34	35	42	40	30	40	43	46	58	54	61	48	531	100.00%

人工透析室

スタッフ

室長	松本吉弘	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
担当医	山田篤 ~2023年6月	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
	豊島優多	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
	松原聡彦 ~2023年3月	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
	橘進彰 2023年4月~	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
	宮崎和喜 2023年7月~	日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医 日本透析医学会認定透析専門医
看護師長	藤本育美	
看護師	林由美子	
臨床工学技士	村岡利英	

学会認定施設

日本透析医学会教育関連施設

業務統計

透析関連治療施行件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	78	67	68	68	79	78	71	75	57	50	52	52	795
入院	24	32	46	16	16	43	34	44	112	61	44	89	561
アフエレーシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析導入	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	4
CART	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

透析用コンソール 9台

最大透析可能人数 27名

内視鏡センター

スタッフ

センター長 徳原 満雄

副センター長 乾 直美

令和5年（2023年）内視鏡治療・検査件数

検査・治療	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上部消化管(健診含む)	333	394	385	343	383	492	456	441	457	620	484	392	5,180
EUS・EUSFNA	4	2	2	1	3	12	8	1	2	2	6	2	45
ESD	8	3	6	7	5	3	3	6	3	9	1	2	56
EMR	0	1	0	0	2	5	1	2	1	1	2	0	15
止血術(APC含む)	3	2	4	4	4	4	3	4	3	3	6	1	41
PEG造設・交換	8	3	6	7	4	3	7	1	1	2	3	6	51
その他	5	4	3	3	1	1	1	3	3	2	0	1	27
下部消化管	60	84	87	81	74	94	76	74	73	80	78	56	917
大腸EMR	14	16	22	27	32	36	24	20	17	24	33	25	290
コールドポリペクトミー	9	13	17	21	21	19	26	17	21	22	29	22	237
大腸ESD	0	5	7	9	4	5	3	3	2	2	2	2	44
その他	0	1	2	1	0	3	1	0	1	4	3	3	19
ERCP	5	2	5	4	3	6	7	3	10	8	7	3	63
気管支鏡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	449	531	546	508	536	683	616	575	594	779	654	515	6,986

医療器機

内視鏡室4室、TV室1室の5つの検査室で運用している。

2021年1月システム更新に伴い、次世代の内視鏡システムとして2020年に発売された最新型のシステムである「EVIS X1ビデオシステムセンターOLYMPUS CV1500」、「4K UHD LCDモニター」を4室全てに設置した。

オリンパス社AIを搭載したENDOBRAIN-EYEシステム1台設置した。

高周波装置VIO300D更新に伴い、VIO3に変更した。

オリンパス	EVIS X1 CV1500 4台
	EVIS LUCERA ERITE CV290 1台

ビデオスコープ

上部				下部		
	GIF-EZ1500	3本	GIF-Q260J	1本	CF-EZ1500DI	2本
	GIF-XZ1200	1本	GIF-H290T	2本	CF-XZ1200I	1本
	GIF-H260	1本	GIF-UCT260		PCF-H290ZI	6本
	GIF-1200N	6本	GIF-2TQ260M		PCF-PQ260L	2本
					CF-H260AI	1本
側視鏡	JF-260V 1本	TJF-260V 1本	TJFQ290V 1本			

高周波

ERBE VIO3 2台

地域医療連携室

スタッフ

室長	2名（放射線技師長 3月31日まで、副看護部長 4月1日から）
地域医療連携室員（事務）	4名（うち1名は3月31日まで、うち1名は10月1日から）
ソーシャルワーカー	2名（うち1名は4月1日から）
任期付常勤職員（看護師）	1名
非常勤職員（事務）	1名

月別「紹介総件数」及び「地域医療連携室予約件数」

	令和元年 (平成31年)		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約	紹介総数	地域予約
1月	850	566	837	609	761	502	792	553	705	492
2月	887	572	810	540	682	503	715	484	727	518
3月	1009	647	832	545	922	636	853	622	903	633
4月	972	555	611	337	889	588	800	544	792	483
5月	973	649	583	362	763	497	775	553	855	554
6月	1006	691	862	594	852	548	858	625	893	564
7月	1138	784	914	644	888	608	834	553	782	520
8月	944	608	866	592	790	515	756	516	746	464
9月	968	628	910	676	786	561	819	601	758	564
10月	886	590	1054	735	938	722	814	584	857	506
11月	891	591	904	581	916	590	850	579	695	477
12月	896	543	756	483	825	526	767	488	703	409
合計	11420	7424	9939	6698	10012	6796	9633	6702	9416	6184

開放型病棟入院患者数

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1月	13	11	10	17	22	12	19	18
2月	12	11	15	19	14	6	14	23
3月	14	11	19	18	12	16	13	27
4月	11	12	8	32	8	25	16	35
5月	18	8	12	22	10	43	16	40
6月	19	21	16	23	9	48	36	46
7月	16	11	15	28	12	24	37	22
8月	15	10	12	20	13	15	38	35
9月	12	15	15	29	13	9	30	30
10月	19	7	10	16	13	9	17	34
11月	18	16	9	26	13	15	30	19
12月	10	16	16	21	7	13	31	25
合計	177	149	157	271	146	235	297	354

令和5年 地域医療連携室 科別「予約件数」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内 科	149	147	183	125	137	157	134	133	145	134	148	100	1677
脳 卒 中	9	10	11	9	9	12	6	9	7	7	11	4	104
脳 神 内	22	24	26	9	22	15	16	22	24	16	19	8	223
糖 尿	1	8	2	1	3	2	2	2	1	1	0	1	24
腎 臓	3	2	0	2	4	3	3	1	2	2	0	2	24
緩 和	11	9	15	11	5	14	10	20	19	10	12	14	150
循 環 器	11	8	21	22	20	29	23	23	20	16	17	17	227
消 化 器	68	72	101	62	70	72	60	46	67	74	79	52	823
呼 吸 器	2	3	2	2	0	2	3	1	2	4	3	0	24
総 内	21	9	4	4	3	6	10	8	3	3	6	1	78
免 疫 内	1	2	1	3	1	2	1	1	0	1	1	1	15
精 神 神 経 科	6	4	10	10	2	1	0	4	7	1	2	4	51
小 児 科	8	11	15	16	20	22	21	17	16	13	11	15	185
外 科	8	9	13	4	6	9	6	10	7	4	5	7	88
整 形 外 科	97	108	138	126	139	137	139	108	140	128	113	109	1482
脳 神 経 外 科	3	2	5	2	2	4	0	1	3	0	0	0	22
皮 膚 科	21	13	25	21	18	21	25	16	24	17	14	8	223
泌 尿 器 科	23	35	31	23	30	16	20	20	28	27	19	22	294
産 婦 人 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼 科	3	6	11	5	9	12	12	7	10	5	5	4	89
耳 鼻 咽 喉 科	30	30	32	31	30	35	30	28	40	39	34	24	383
リ ハ ビ リ 科	0	3	2	0	1	0	1	0	0	1	0	2	10
放 射 線 科	121	125	142	105	131	131	109	99	121	122	102	100	1408
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
形 成 外 科	10	20	18	6	14	8	15	10	12	6	10	8	137
心 臓 血 管 外 科	3	1	0	0	0	1	1	2	3	0	2	0	13
血 管 外 科	2	2	3	4	9	7	3	4	7	3	8	2	54
歯 科 ・ 口 腔 外 科	8	2	5	4	6	3	4	5	1	6	4	4	52
合 計	492	518	633	483	554	564	520	464	564	506	477	409	6184

入退院支援室

スタッフ

入退院支援室 室長	看護師長	1名
入退院支援室 室員	副看護師長	2名
	入院支援専従看護師	1名
	退院調整専従看護師	1名
	看護師	4名

〈活動内容〉

令和5年次は、昨年完成させた当院の地域包括支援システムフローに基づき、地域連携が更に強化される取り組みを行った。介護保険を持つ患者の入院翌日に担当ケアマネジャーと情報共有を徹底した。

入院支援室では、予定入院患者だけでなく、緊急入院患者への対応を強化し、また、術前センターの支援は全身麻酔に加え、腰椎麻酔患者の対応を追加した。

退院支援室では、ケアマネジャーとの連携強化に対し、病状説明への参加を促し、患者の病状やACP支援に共同できるよう案内した。

・地域連携会議への参加

枚方市訪問看護ステーション連絡会 2回

入退院支援ネットワーク会議 3回

・教育活動

大手前大学看護学部 実習受け入れ

院内研修生に対し、退院前同行訪問を取り入れた研修を実施

2023年度 入退院支援室

入退院

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院件数		458	522	592	528	599	530	528	488	493	532	513	524	6307
緊 入	日勤帯	128	192	214	190	240	220	201	179	213	199	201	203	2380
	夜間	38	93	107	93	99	77	72	61	83	117	86	91	1017
退院件数		487	536	607	535	586	543	510	511	551	422	520	573	6381
退 院 転 帰	自宅	423	469	559	500	485	469	426	436	483	351	419	502	5522
	施設	26	37	25	11	31	44	40	41	38	36	53	40	422
	転院(非在宅施設)	12	14	12	17	18	18	25	13	16	15	23	17	200
	死亡	4	12	12	9	6	4	10	6	12	10	12	9	106

退院支援計画書に基づいた退院 評価終了

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援介入件数	88	186	278	235	219	248	224	236	280	213	287	310	2804
MSW介入件数	39	86	58	65	75	89	67	78	79	71	92	99	898
総合機能評価加算	0	104	137	104	130	102	92	98	94	68	82	78	1089

退院支援カンファレンス 実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
新規	退院支援介入	210	358	247	168	129	143	182	173	208	224	243	282	2567
	MSW介入	27	178	31	32	36	44	52	49	38	64	26	48	625
継続	退院支援介入	222	61	195	186	169	248	241	254	217	242	308	276	2619
	MSW介入	11	132	139	198	198	89	235	206	173	264	185	212	2042

連携・加算

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規訪問導入	0	0	1	1	4	5	0	0	1	7	1	0	20
共同指導	3	1	1	2	3	2	4	3	5	6	4	0	34
介護連携指導料	15	13	7	10	10	24	19	10	11	11	4	4	138

退院支援介入業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合同カンファ	27	17	10	13	5	12	14	14	10	11	15	10	158
ケアマネ	106	108	103	106	105	101	83	96	102	89	84	62	1145
施設	52	49	32	37	50	63	61	59	78	62	64	44	651
訪問看護	16	16	12	18	4	8	9	2	12	6	6	2	111
診療所・病院	9	10	2	12	9	5	11	4	11	5	4	2	84
病棟看護師	194	158	134	159	148	161	150	157	174	132	152	123	1842
家族	43	37	31	20	12	13	20	14	34	19	13	10	266
医師	15	19	14	21	14	18	14	13	17	23	22	7	197
MSW	7	2	8	8	5	3	4	6	16	7	12	9	87
リハビリ	14	20	14	12	11	12	13	20	16	11	13	6	162

福祉相談室

スタッフ

室長	亀谷明美	社会福祉士・介護支援専門員
室員	春田広子	社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理士 (2023年4月～地域医療連携室へ異動)
	岩本亜加根	社会福祉士(2023年4月～)
	山岸久高	社会福祉士・介護支援専門員
	山口卓哉	社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員
	本間紘奈	社会福祉士・介護支援専門員
	小木奈々恵	社会福祉士・精神保健福祉士
	山崎咲奈	社会福祉士・精神保健福祉士
	泉秀人	社会福祉士

令和5年次 福祉相談室新規相談患者件数

※援助区分は一行為一件でカウントする

相談月	入・外		小計	診療科別													小計	紹介経路	
	入院	外来		総合内科	脳神経内科	脳卒中内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	緩和ケア科	その他	医師		看護師	
1月	112	34	146	1	0	27	0	5	9	8	55	5	4	9	25	148	20	95	
2月	52	33	85	3	0	22	0	5	1	5	34	8	3	2	2	85	13	47	
3月	115	24	139	1	0	48	0	12	7	3	42	10	4	6	6	139	20	95	
4月	85	49	134	4	1	33	0	5	7	3	36	7	9	12	17	134	10	69	
5月	77	51	128	10	1	39	0	4	6	2	34	2	4	13	13	128	18	55	
6月	94	31	125	8	0	49	0	4	5	7	25	3	5	12	7	125	4	62	
7月	111	36	147	16	3	57	0	4	7	8	26	0	1	10	15	147	15	79	
8月	128	61	189	18	7	77	0	8	7	5	23	4	3	26	14	192	13	79	
9月	135	60	195	14	3	65	0	7	9	6	43	1	9	25	14	196	13	59	
10月	115	28	143	8	1	47	0	11	7	14	26	4	6	5	15	144	7	48	
11月	116	35	151	5	1	39	0	5	4	18	52	0	2	17	8	151	9	53	
12月	113	40	153	7	11	54	0	3	1	7	41	0	3	8	18	153	25	52	
合計	1155	454	1735	95	28	557	0	73	70	86	437	44	53	145	154	1742	167	793	

相談月	紹介経路					小計	相談区分					小計	援助区分					小計
	院内職員	他病院	関係機関	自発	その他		経済問題	療養問題	受診問題	退院問題	その他		情報提供	面接援助	関係調整	制度利用	その他	
1月	4	9	10	6	2	146	1	60	28	65	13	167	24	61	109	13	3	210
2月	1	18	3	2	1	85	0	32	29	26	4	91	10	34	63	6	0	113
3月	3	11	2	8	0	139	5	74	25	53	6	163	8	96	74	6	2	186
4月	29	18	2	4	2	134	4	58	37	45	8	152	15	75	81	2	4	177
5月	30	14	5	6	0	128	5	55	31	39	12	142	15	75	56	7	5	158
6月	36	12	4	7	0	125	6	48	21	36	24	135	14	62	44	15	19	154
7月	33	11	1	4	3	146	9	45	32	47	22	155	10	79	77	13	18	197
8月	36	32	9	9	8	186	8	62	49	58	31	208	15	89	91	14	29	238
9月	53	36	10	15	9	195	9	34	57	63	37	200	4	58	124	5	34	225
10月	40	14	4	13	17	143	10	36	22	64	29	161	8	55	71	5	25	164
11月	42	22	1	14	8	149	1	36	37	57	28	159	1	55	84	11	28	179
12月	33	16	1	23	4	154	0	38	36	61	32	167	8	70	87	8	26	199
合計	340	213	52	111	54	1730	58	578	404	614	246	1900	132	809	961	105	193	2200

令和5年次 福祉相談室継続相談患者件数

※援助区分は一行為一件でカウントする

相談月	入・外		小計	診療科別												小計
	入院	外来		総合内科	脳神経内科	脳卒中内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	緩和ケア科	その他	
1月	657	27	684	1	3	187	3	37	33	32	266	41	18	11	54	686
2月	587	24	611	0	0	183	0	41	4	14	233	63	20	22	31	611
3月	654	49	703	11	9	191	3	66	15	11	270	47	5	38	35	702
4月	638	56	694	7	0	211	0	74	31	7	254	26	26	23	32	859
5月	645	72	717	13	6	202	0	41	38	22	259	34	16	46	38	2149
6月	648	49	697	8	1	228	1	31	29	19	243	16	20	55	50	2095
7月	576	38	614	25	0	229	0	13	12	13	188	10	29	39	57	1843
8月	579	54	633	36	5	187	2	44	18	31	184	15	10	35	68	1901
9月	554	60	679	31	2	191	2	52	11	29	158	18	27	42	47	1903
10月	730	46	776	28	3	235	0	73	17	61	196	15	47	46	56	2329
11月	597	51	648	21	2	183	0	32	9	35	185	25	45	52	56	1941
12月	526	50	576	6	0	171	0	14	4	34	230	0	26	23	73	1733
合計	7391	576	8032	187	31	2398	11	518	221	308	2666	310	289	432	597	23967

相談月	相談区分					小計	援助区分					小計
	経済問題	療養問題	受診問題	退院問題	その他		情報提供	面接援助	関係調整	制度利用	その他	
1月	10	142	33	494	22	701	49	302	535	14	35	935
2月	3	115	46	395	55	614	56	273	416	11	26	782
3月	22	157	69	430	46	724	61	326	450	30	27	894
4月	22	122	46	456	62	708	57	334	407	28	40	866
5月	36	131	71	435	60	733	77	287	410	52	61	887
6月	15	100	47	476	60	698	74	292	401	30	37	834
7月	36	87	37	393	68	621	62	244	354	34	35	729
8月	34	109	58	384	54	639	59	246	385	42	36	768
9月	15	81	62	449	14	682	29	238	444	13	12	797
10月	45	126	61	540	22	794	55	248	563	43	11	920
11月	31	127	60	413	35	666	43	266	418	38	21	786
12月	35	103	68	379	19	604	61	247	387	22	4	721
合計	304	1400	658	5244	517	8184	683	3303	5170	357	345	9919

医療相談室

スタッフ

室長 医事課長
 専従 看護師長
 専任 副看護部長
 専任 相談員

《医療相談検討会委員》

医師：地域包括支援センター長
 総務企画課：総務企画課長補佐
 経理課：経理課長補佐
 医療安全対策室：専従リスクマネジャー・副看護師長
 福祉相談室：福祉相談室長
 地域連携室：外来担当MSW
 総務企画課：総務企画課長 オブザーバー

1. 医療相談

		438	
性別	男性	240	
	女性	195	
	不明	3	
相談・苦情	相談	326	
	苦情	112	
相談内容	診察・検査内容	237	
	職員の接遇	72	
	看護に関する内容	11	
	経済的理由	20	
	入退院・転院	15	
	受診相談	47	
	施設・設備・環境	8	
	病院経営・システム	4	
	癌・緩和ケア	9	
	福祉・介護制度	19	
	その他	59	
	援助区分	面接	311
		電話	80
情報提供		6	
書面回答		0	
関係調節 MSW		18	
関係調節 医事課		17	
関係調節 庶務課		7	
続柄	地域医療	97	
	その他	59	
	本人	303	
	家族	123	
	親戚	0	
その他	10		
不明	2		

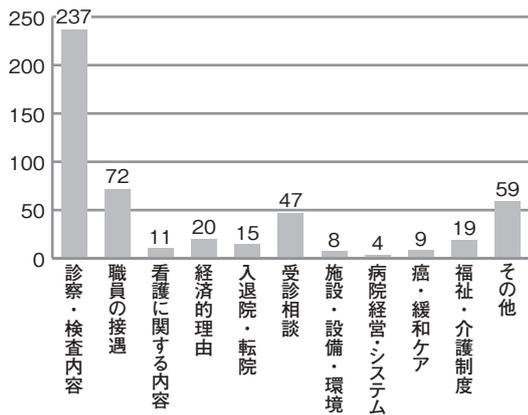
1-1) 医療相談・苦情内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
診察・検査内容	62	41	40	22	19	11	8	7	8	9	6	4	237
職員の接遇	4	2	10	8	7	5	7	2	4	8	5	10	72
看護に関する内容	0	0	0	1	5	1	0	0	0	1	0	3	11
経済的理由	0	2	5	0	3	1	1	4	0	1	3	0	20
入退院・転院	2	2	7	1	0	0	0	2	0	1	0	0	15
受診相談	1	0	3	5	7	3	2	4	10	4	5	3	47
施設・設備・環境	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	8
病院経営・システム	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4
癌・緩和ケア	2	0	1	3	1	0	0	0	1	0	1	0	9
福祉・介護制度	3	0	3	4	1	0	2	1	0	0	4	1	19
その他	5	4	5	5	16	0	5	6	1	0	3	9	59
合計	79	52	75	50	60	22	26	28	25	24	27	33	501

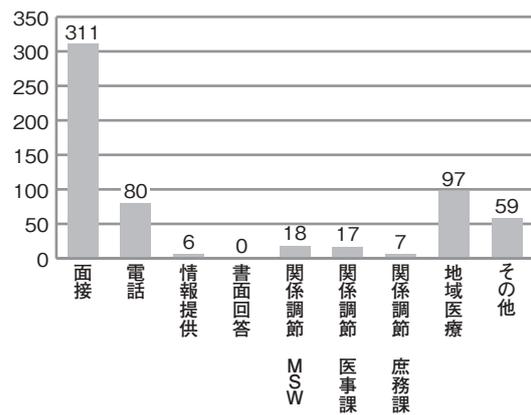
2. みなさまの声 月別投稿件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
意見・提案	3	4	4	13	5	5	11	4	3	6	6	7	71
苦情・不満	1	7	2	2	3	1	0	5	3	2	5	1	32
感謝・お誉め	1	5	2	2	1	2	3	5	2	1	4	1	29
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	5	16	9	17	9	8	14	14	8	9	15	9	133

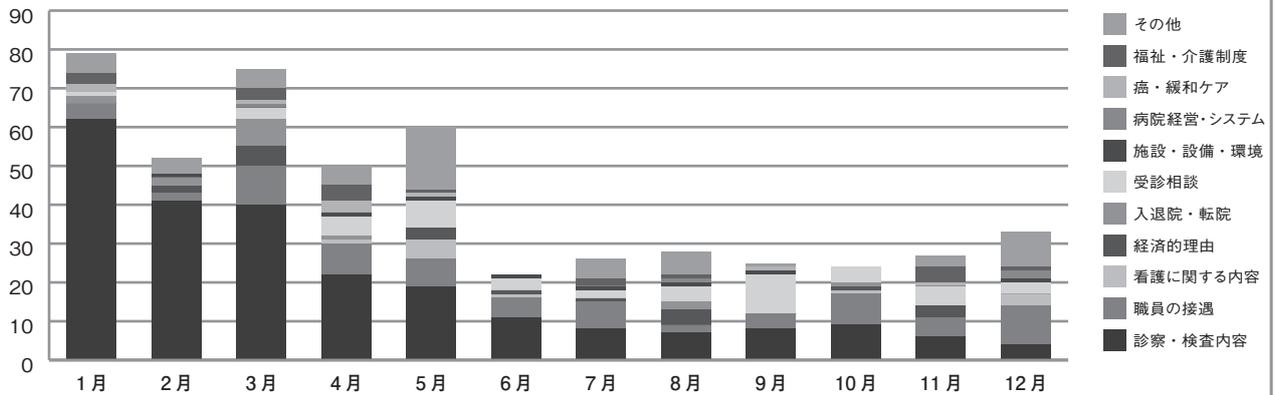
1. 医療相談 内容



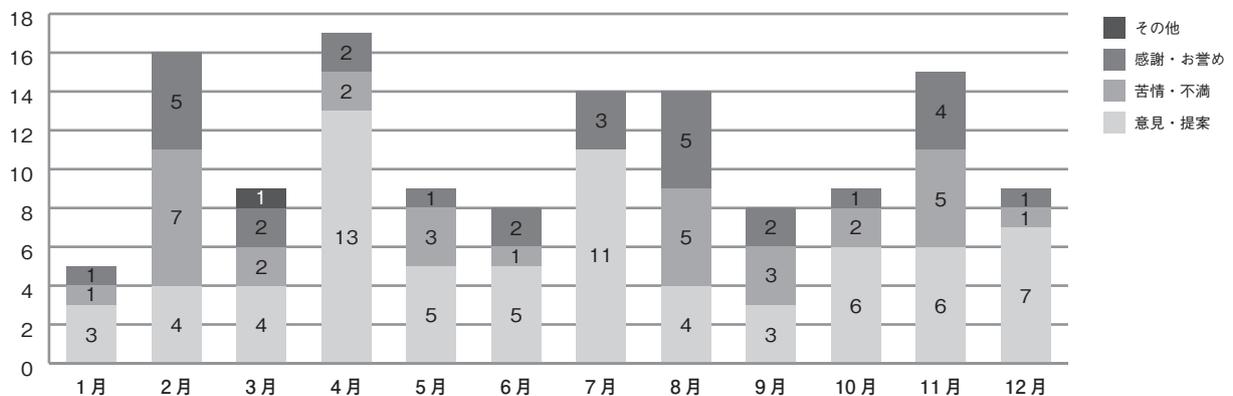
1. 医療相談 援助区分



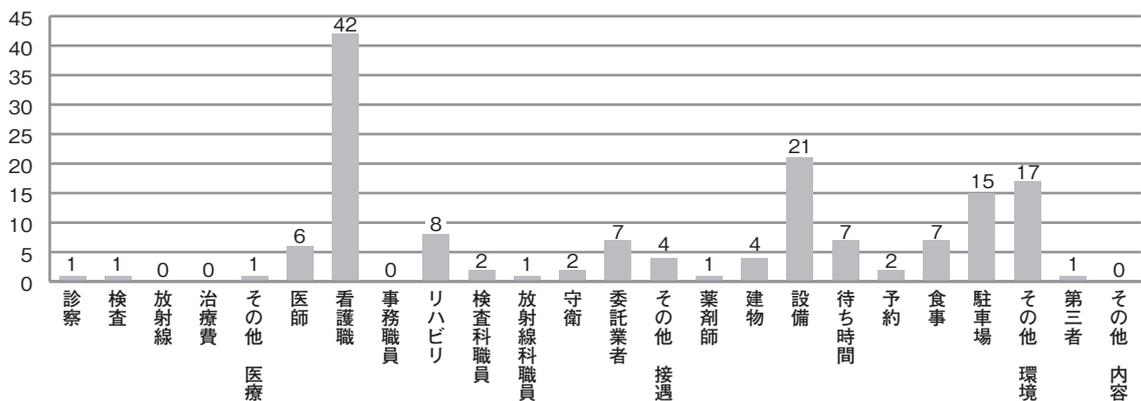
1-1) 医療相談 月別報告



2. みなさまの声 分類



2. みなさまの声 投稿内容



がん相談支援センター

センター部門

がんMDT(他分野横断チーム医療) センター

がん相談支援室

センター長	福地成晃	(外科医師)
がん相談専任者	山口卓哉	(MSW)
がん相談兼任者	森本道子	(がん放射線療法看護)
がん相談兼任者	大谷智子	(臨床心理士)
がん相談兼任者	亀谷明美	(MSW)
がん相談兼任者	山岸久高	(MSW)
がん相談兼任者	岩本亜加根	(MSW) 令和5年4月～
がん相談兼任者	春田広子	(MSW)
がん相談兼任者	船曳美穂	(MSW)
がん相談兼任者	本間紘奈	(MSW)
がん相談兼任者	小木奈々恵	(MSW)
がん相談兼任者	山崎咲奈	(MSW)
がん相談兼任者	泉秀人	(MSW)

令和5年次 がん相談支援室 統計

■相談形式

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
対面相談	2	1	4	4	1	2	3	7	6	6	5	2
電話相談	10	10	9	10	12	6	7	11	12	6	11	14
Eメール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	11	13	14	13	8	10	18	18	12	16	16

■受診状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
自施設入院中	1	1	5	0	2	1	1	0	1	2	1	1
自施設通院中	1	1	0	3	0	0	2	2	2	1	2	0
他施設入院中	3	5	3	7	5	2	3	8	7	3	8	8
他施設通院中	7	4	5	4	6	5	4	6	8	6	5	6
その他(不明)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
合計	12	11	13	14	13	8	10	18	18	12	16	16

■がんの部位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
眼・脳・神経	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
耳鼻咽喉・口腔	0	0	1	0	3	1	0	1	0	0	0	1
胃	0	3	3	4	2	2	1		2	3	2	0
食道	1	1	4	0	0	0	0	2	0	0	0	1
大腸	0	0	0	1	2	0	0	2	4	1	3	1
小腸・肛門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝・胆	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2	3	1
膵	2	1	6	0	1	1	3	1	2	1		3
肺	3	3	4	3	1	3	1	6	3	4	4	4
縦隔・心臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2
卵巣・膣・外陰部	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0
子宮	0	0	1	0	1	0	2	2	2	0	1	0
精巣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺	1	1	0	1	0	1	1	3	1	1	2	1
腎・尿管・膀胱	2	1	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1
甲状腺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副腎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液・リンパ腫	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0
皮膚	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
骨・軟部組織	0	0	4	1	0	0	0	1	1	0	0	0
後腹膜・腹膜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原発不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
希少がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診断なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12	12	25	14	14	8	10	19	20	15	17	16

■相談内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
がんの治療	0	0	0	2	1	0	0	1	1	10	0	0
がんの検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
副作用・後遺症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン（一般）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン（受入）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セカンドオピニオン（他へ紹介）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
治療実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床試験・先進医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受診方法・入院	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
転院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関の紹介	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0
がん予防・検診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅医療	0	0	4	3	1	1	1	0	1	2	1	0
ホスピス・緩和ケア	9	10	9	12	11	7	8	16	16	9	13	15
食事・服薬・入浴・運動・外出など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護・看護・養育	1	1	4	2	1	0	1	0	0	2	0	0
社会生活（就労・仕事・就学・学業）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療費・生活費・社会保障制度	1	0	0	0	0	0	1	0	10	0	1	0
補完代替療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生きがい・価値観	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
不安・精神的苦痛	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
告知	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療者との関係・コミュニケーション	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
患者-家族間の関係・コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者会・家族会（ピア情報）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
その他（具体的内容）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グリーンケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	12	17	26	15	8	13	18	19	17	17	16

■がんサロン

【開催日時】 令和5年11月7日（火）10時30分～11時30分 ひまわりサロンを開催

【場 所】 1階患者図書室

【参加人者】 3名（外来患者2名、入院患者1名）

医療安全管理室

1. 活動報告

- 1) RMによる院内ラウンド12回実施
- 2) 医療安全対策地域連携
 - ①加算1-1連携 (10月24日・10月31日 相互訪問)
 - ②加算1-2連携 (11月8日、12月1日 訪問)
- 3) 業務改善
 - ・エコー室患者認証システム導入
 - ・パーソナル傷害疑いの家族に対する精神科医支援体制
 - ・チューブ抜去予防貼付剤ミゼアセーフX導入
- 4) 院内広報
 - ①Hoshigaoka Safety News 発行 9回
 - ・院内掲示ポスター内容変更 (盗難・防犯)
 - ・「急変時・状態悪化時の治療方針確認書」
 - ・「病理解剖に関する遺族の承諾書」「5S」
 - ・「機能評価を終えて、5S、手すりの設置、洗濯出しの注意等」
 - ・「4H」「輸液セットの変更」
 - ・その患者さんまちがいないですか？
 - ・【つなげる】がテーマです。大切なこと伝えあっていますか？
 - ②オレンジニュース 発行 2回

- MRI造影剤の副作用)
- 2月・CPT研修 児童虐待防止体制整備フォローアップ事業
「神経発達症と支援」
- 3月・[医療ガスの安全な取り扱い]
- 4月・PICC・CV研修
- 5月・診療を行う上で必要な医療安全活動と医療に関わる法律 (Web)
- 6月 **【医療安全 全体研修】**
「令和4年度の活動報告・医療安全に関する押さえておきたいこと」
- 7月・プロポフォール研修
- 8月・プロポフォール研修
- 9月・チームSTEPPS研修
・静脈血栓 (カーディナルヘルス社)
- 10月・チームSTEPPS研修
- 11月・CPT委員会医療安全研修
・チームSTEPPS研修
・「医療放射線安全研修」
・MEセンター勉強会、除細動器ハンズオン
- 12月 **【医療安全 全体研修】**
講演「全職員が学び協力するラピッドレスポンスシステム (RRS) 及びRRSに伴う急変時対応」

2. 医療安全研修の開催：年2回の研修受講率100%

- 1月・医療安全研修 (追加)
 - ・放射線医療安全研修
「なぜなくなるらない!? MRI吸着事故、CT/

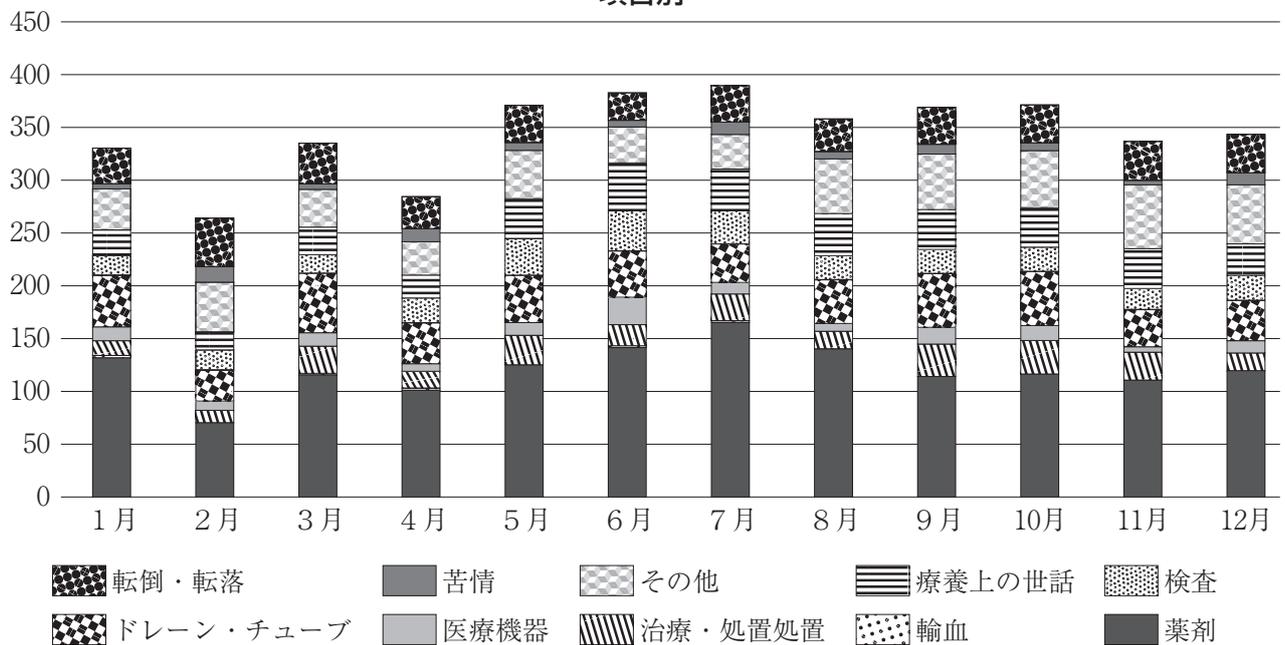
項目別 ヒヤリ・ハット・インシデント・アクシデント報告件数

	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤	132	70	116	101	124	141	166	140	114	116	110	119	1,449
輸血	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5
治療・処置処置	14	12	25	17	28	20	25	17	31	31	27	17	264
医療機器	13	8	13	6	12	27	11	6	15	15	4	11	141
ドレーン・チューブ	50	30	57	39	46	44	38	43	52	52	37	39	527
検査	19	19	17	24	35	37	30	22	22	22	19	23	289
療養上の世話	24	17	26	22	36	46	39	40	37	37	38	30	392
その他	38	47	36	32	47	35	33	52	54	54	60	57	545
苦情	6	15	5	12	7	5	11	6	8	8	5	10	98
転倒・転落	33	46	39	30	36	26	35	32	36	36	37	37	423
合計	330	264	335	284	371	382	389	358	369	371	337	343	4,133

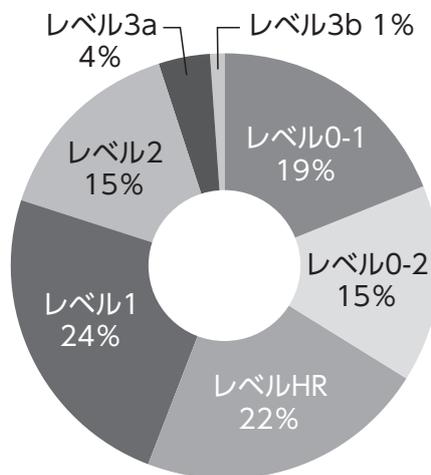
レベル別 ヒヤリ・ハット (0-1~HR)・インシデント (1~3a)・アクシデント (3b~5) 報告件数

	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
レベル0-1	58	28	31	45	64	79	92	65	86	86	71	71	776
レベル0-2	35	35	35	41	69	57	43	50	66	66	57	62	616
レベルHR	81	61	72	48	89	96	116	99	73	75	60	67	937
レベル1	77	81	116	97	84	89	76	86	67	67	91	78	1,009
レベル2	65	44	63	42	53	44	51	43	57	57	40	48	607
レベル3a	13	15	17	11	11	16	10	15	18	18	15	16	175
レベル3b	1	0	1	0	0	1	1	0	2	2	3	1	12
レベル4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レベル5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オカレンス	1	4	5	1	2	5	5	3	1	1	4	0	32
合計	331	268	340	285	372	387	394	361	370	372	341	343	4,164

項目別



レベル別割合



感染管理室

1. 活動報告

1) ICT/AST会議

- ・抗菌薬使用患者

無菌材料からの菌検出患者と抗菌薬長期投与患者の抗菌薬適正使用に関するカンファレンスを実施。必要時主治医へ抗菌薬選択の推奨を行った。

- ・ASTによるMEPM使用患者の適正使用評価実施（2022年8月以降）

2) ICTラウンド

- ・耐性菌患者ラウンド（毎週月または火曜日）

耐性菌検出患者の感染対策についてラウンドを実施し、病棟スタッフ等へ感染対策の指導を行った。新規耐性菌検出したときに、病棟スタッフとともに感染対策に関するカンファレンスを行った。

- ・環境ラウンド（毎週木曜日）

病棟・部署ラウンドとして、感染対策の実施状況、患者周囲環境チェックし、部署の問題点、改善すべき点や良好な点などの評価を行い、フィードバックを行った。

3) 職員への啓発活動

- ・感染症の流行期における注意点や注意喚起をMyWebに掲載し注意喚起を実施

- ・ICT NEWS(COVID-19 NEWS) の発行

4) 感染対策研修会開催

- ・クリニカルカンファレンス（対象：全職員）：計16回

詳細は表参照

- ・e-ラーニング（対象：全職員）：2コンテンツ

月日	テーマ	対象	参加者数
6月1日、5～9日、 7月6日、7日、10～12日 e-ラーニング(6/20～1/10)	令和4年度活動報告	全職員	757名
12月11日、13日、26日 1月15日、24日、25日 e-ラーニング(1/10～3/31)	令和5年度感染対策研修 ・薬剤耐性菌を増やさないために出来ること ・抗菌薬の適正使用とは	全職員	605名

5) 感染対策向上加算

- ・I-I 連携相互ラウンド（市立ひらかた病院、関西医大ひらかた病院、美杉会佐藤病院、枚方公済病院、男山病院、暇生会脳神経外科病院）

12月18日 当院感染対策チームによる関西医大附属病院への施設内ラウンド

1月24日 交野病院感染対策チームによる当院への施設内ラウンド

- ・I-II、III及び外来感染対策向上加算定期カンファレンス（市立ひらかた病院、香里ヶ丘有恵会病院、東香里病院、福田総合病院、府立精神医療センター）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い2022年4月以降webmeetingへと変更した。

月日	議題
2023年5月22日（月）	1. 基本事項 手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 2. 診療報酬改定に関する情報共有
2023年8月21日（月）	1. 基本事項 手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 2. 診療報酬改定に関する情報共有
2023年11月13日（月）	1. 基本事項 手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 2. 第7波の対応状況について 3. 情報交換
2024年2月13日（月）	1. 基本事項 手指消毒薬の1日1患者あたりの使用量の推移、耐性菌検出動向、カルバペネム系薬・抗MRSA薬のAUDおよび抗MRSA薬のTDM率 2. 新興感染症の発生等を想定した訓練開催について 3. 情報交換

・ I-II、Ⅲ及び外来感染対策向上加算施設ラウンド

月日	訪問施設
2023年11月13日	香里ヶ丘有恵会病院、東香里病院
2023年3月5日	大阪精神医療センター、福田総合病院

6) COVID-19対策

2023年5月8日から2類から5類へ変更に伴いCOVID-19に関する感染対策マニュアルの改訂を行った。

2. 通常業務

- 1) 院内感染症実態の把握（後掲）と感染症報告の届け出（院内・保健所）
- 2) 院内発生の感染事故の把握と対応（針刺し切創事故を含む）
- 3) 院内分離菌の情報収集（MRSA、ESBL、MDRP等の耐性菌）と週間・月間・年間報告
- 4) 薬剤感受性率等の年間報告
- 5) 院内抗菌薬使用状況の報告
- 6) 栄養課環境検査、施設水道設備レジオネラ検査

3. 感染症報告

1) 職員

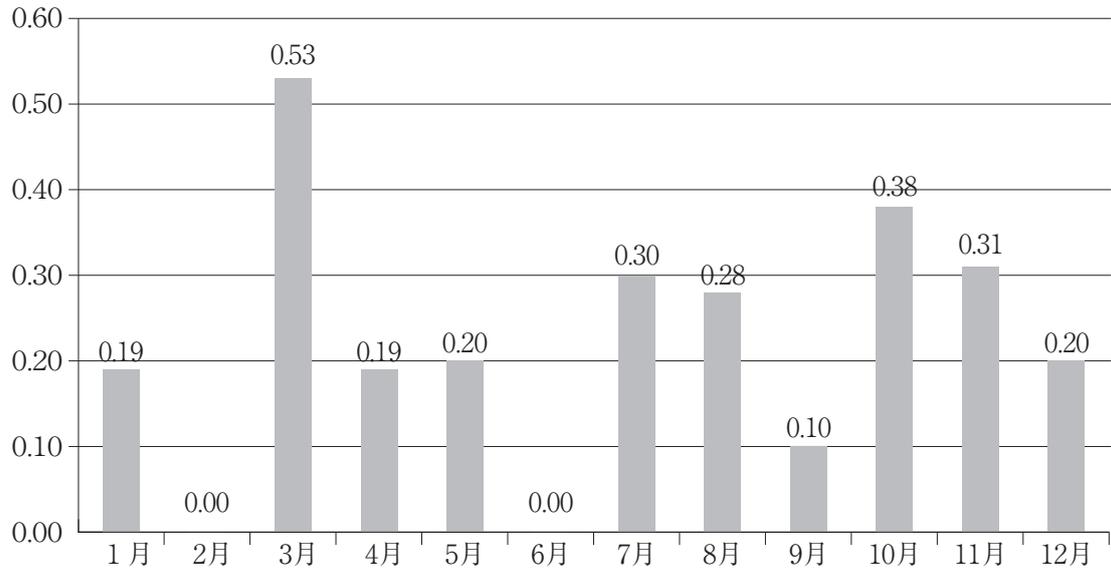
疾患名	医師	看護部	医療技術	事務	外部委託	合計
新型コロナウイルス感染症	9	118	31	11	10	178
インフルエンザA型またはB型	0	20	2	1	0	23

2) 入院患者

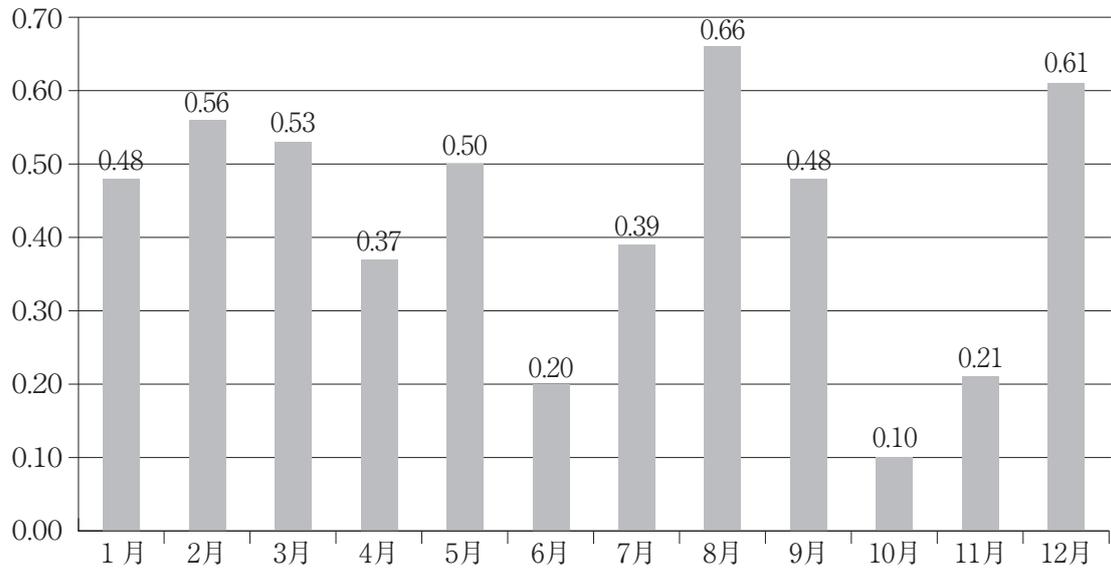
MRSA検出率及びESBLs産生菌検出率は下記グラフ参照

疾患名	合計	疾患名	合計
新型コロナウイルス感染症	112	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0
インフルエンザA型	0	ノロウイルス感染症	0
インフルエンザB型	0	その他	0

新規MRSA検出率



新規ESBLs産生菌検出率



チーム医療部・摂食嚥下チーム

コアメンバー

委員長 脳卒中内科副院長
 副委員長 摂食嚥下障害看護認定看護師
 委員 医師 4名 歯科医師 1名 言語聴覚士 8名 管理栄養士 1名 看護師 2名

活動内容

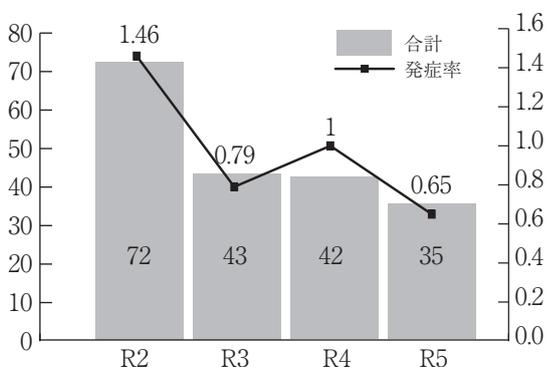
嚥下障害のある患者に対して、食形態の選定についての相談や、嚥下訓練や摂食姿勢などの指導を多職種で行っています。嚥下評価は、ベッドサイドスクリーニングの結果より、必要な患者さんに対して、嚥下内視鏡での評価を行っています。できる限り経口摂取が継続、また獲得できるように支援をしています。急性期の患者さんから在宅への退院に向けた食事摂取や外来患者さんに対する支援を行っています。ご家族にも嚥下内視鏡を一緒に見ていただき、ご自宅でもできる食事摂取の方法なども指導しています。栄養サポートチームとも情報共有し、食事形態や補助食品など栄養も考慮した食事を検討しています。誤嚥性肺炎予防や経口摂取ができるような支援を中心に関わっています。

入院患者の嚥下内視鏡実施件数

(単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
外科					1	1				1	1		4
血管外科							3	2					5
循環器内科	1			1					1	1	1		5
消化器内科	1												1
整形外科	1	1	1	2	1	1	2	1	2	1	1	2	16
総合内科							1	4	4	2		1	12
卒内		1			1		1					1	4
糖尿病	1							1	2	1		1	6
泌尿器科									1				1
皮膚科							1						1
総計	4	2	1	3	3	2	8	8	10	6	3	5	55

誤嚥性肺炎の院内発症率



回復期リハビリ病棟の経口摂取移行率（令和5年度）

新1病棟 62%
 新3病棟 44%

チーム医療部・認知症ケアチーム

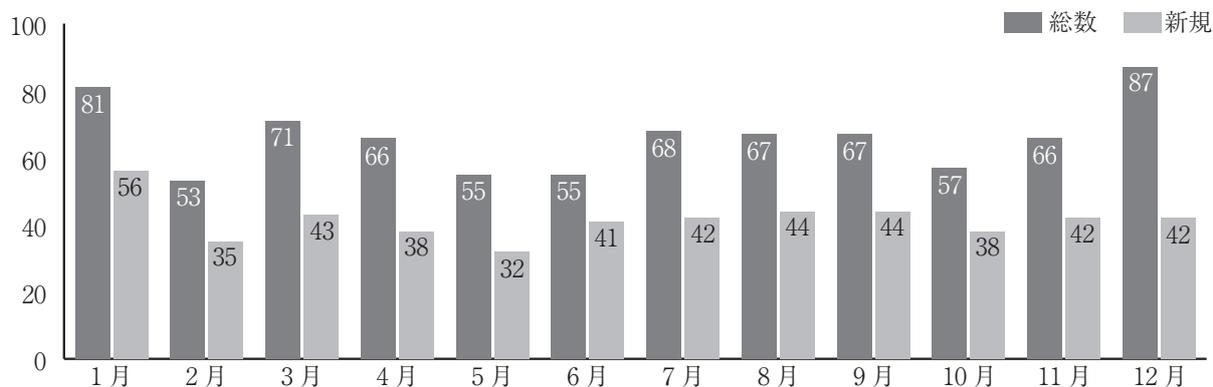
チームメンバー

リーダー	脳神経内科医
サブリーダー	認知症看護認定看護師
メンバー	社会福祉士
	薬剤師
	臨床心理士
	作業療法士
	理学療法士
	言語聴覚士
	管理栄養士

活動内容

入院患者に対して、毎週火曜日と水曜日に多職種で病棟回診・カンファレンスを行っています。認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難が見られ、身体的疾患の治療への影響が見込まれる患者さんに対し、行動・心理症状を予防・緩和し、患者さんが安心して療養していただけるように環境調整、認知症ケアへの対応力とケアの質向上のために活動しています。

チーム介入総数・新規介入依頼数



チームへの依頼内容（重複あり）

入院初期・術後の混乱	191
安静が守られにくい	128
転倒・転落の可能性がある	186
夜間眠れない	41
ルート類を抜く・抜こうとする	109
食事を食べない、食べようとしない	19
元気がない	17
その他	189

チーム介入終了になった理由

部署で対応できるようになった	206
依頼内容が解決できた	115
入院前と同じ状態に戻った	64
多職種と連携して関わっている	33
体調管理を優先	14
その他	40

チーム医療部・呼吸療法サポートチーム（RST）

スタッフ

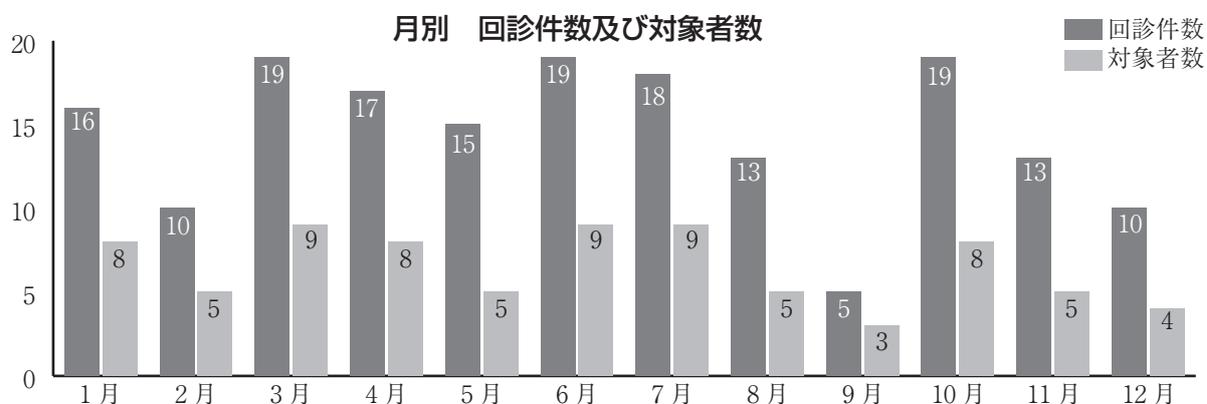
医師
看護師
理学療法士
臨床工学技士

活動内容

病棟回診として週一回スタッフにより人工呼吸器の装着中あるいはそれに準ずる患者を回診し、適切な人工呼吸器管理（機器管理、鎮静、喀痰吸引、ポジション、栄養、口腔ケアなど）をチェックしアドバイスしています。RSTには人工呼吸器に関連した特定行為研修修了者が在籍しており、必要な患者に対して特定行為手順書に基づいてタイムリーな対応を実施しています。また、要望に応じて病棟スタッフに対する説明や物品の紹介説明を行い、院内の呼吸ケアの標準化を図っています。教育活動は職種の専門分野を生かした講義や勉強会を開催し、知識と実践の両面から呼吸ケアのレベルアップを図っています。

月別 回診件数及び対象者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回診件数	16	10	19	17	15	19	18	13	5	19	13	10	174
対象者数	8	5	9	8	5	9	9	5	3	8	5	4	78



年間介入件数

年間回診数	年間対象者	加算対象者	加算対象外
174	48	14	34

年間人工呼吸器関連機器装着件数

人工呼吸器	NPPV	HFNC
30	24	19

チーム医療部・栄養サポートチーム

コアメンバー

医 務 局	伊 藤 泰 司 (リハビリテーション科部長)
看 護 部	長谷川有美子 (看護師長)
	小 林 重 美 (副看護師長)
	井 上 文 (副看護師長)
	岡田由紀子
	島 村 知 里 ~令和5年3月
	二 神 鳴 美 令和5年4月~
栄養管理室	東 由 里 (副栄養管理室長)
	坂 東 由 香 (主任管理栄養士)
	小 村 優 衣 ~令和5年3月
	尾 上 結 香 令和5年4月~
薬 剤 部	稲 場 純 子 (主任薬剤師)
	鈴 木 香 織
	鈴 木 麻 友
リハビリテーション部	安東賢太郎
臨床検査部	小 井 エ ミ (主任臨床検査技師)

活動内容

低栄養状態の方、静脈栄養又は経腸栄養から経口移行目的の方、経腸栄養管理を行っている方に低栄養の改善を目的に、毎週木曜日・金曜日にNST回診を実施しています。嚥下調整食を摂取している方には、摂食・嚥下障害看護認定看護師と連携し、個々の嚥下状態に応じた食事を提供し、低栄養にならない栄養管理を行っています。また、褥瘡対策チーム、がんサポートチーム、認知症ケアチーム、摂食・嚥下障害看護認定看護師等、多職種と連携し情報共有を行っています。令和4年10月より、歯科衛生士が回診に同行し、必要に応じて口腔ケアの依頼や歯科受診の提案を行っています。平成22年12月1日より栄養サポートチーム加算を算定しています。

認定資格

日本病態栄養学会病態栄養専門医	1名
日本病態栄養学会栄養サポートチームコーディネーター	1名
日本病態栄養学会病態栄養認定管理栄養士	2名
日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療法士	2名
日本病態栄養学会認定NST研修修了者	8名
日本臨床栄養代謝学会臨床実地修練修了者	4名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名

施設認定

- 日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設 (平成19年度より)
- 日本病態栄養学会認定NST研修施設 (平成21年度より)

NST介入理由

Alb不良	588
摂取不良	125
術前・術後管理	62
経口移行	19
経腸移行	32
体重減少	0
褥瘡	0
その他	7
合 計	833

単位：人

NST終了理由

Alb改善	184
退院	129
転院	165
回復期リハビリ病棟へ転棟	182
地域包括ケア病棟へ転棟	96
中止	17
緩和ケアへ移行	8
死亡	22
ターミナル	2
合 計	805

*28名は継続

単位：人

病棟別回診件数

(単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
3東病棟	22	21	29	35	7	21	16	22	24	28	13	26	264
4東病棟	42	29	36	25	21	34	30	25	28	27	24	34	355
SCU	14	8	10	11	7	14	7	6	7	5	8	8	105
5東病棟	33	39	57	43	24	36	37	31	56	33	22	28	439
5西病棟	29	29	33	20	14	14	24	14	32	19	11	24	263
7階病棟	14	25	26	25	7	18	7	27	20	21	14	19	223
新3病棟	44	48	63	38	25	39	45	30	56	28	27	35	478
新4病棟	26	15	24	23	9	16	23	30	15	10	21	28	240
HCU	3	3	4	6	7	8	4	9	5	9	8	7	73
合 計	227	217	282	226	121	200	193	194	243	180	148	209	2440

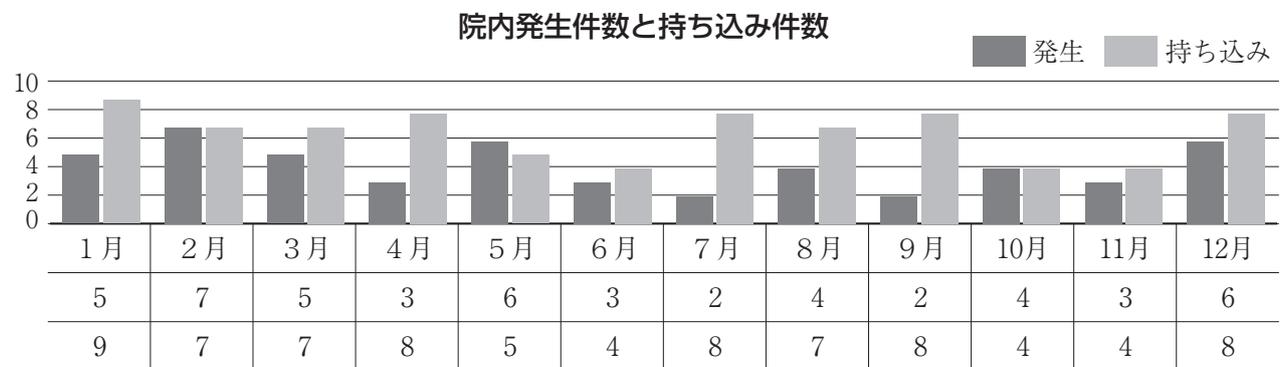
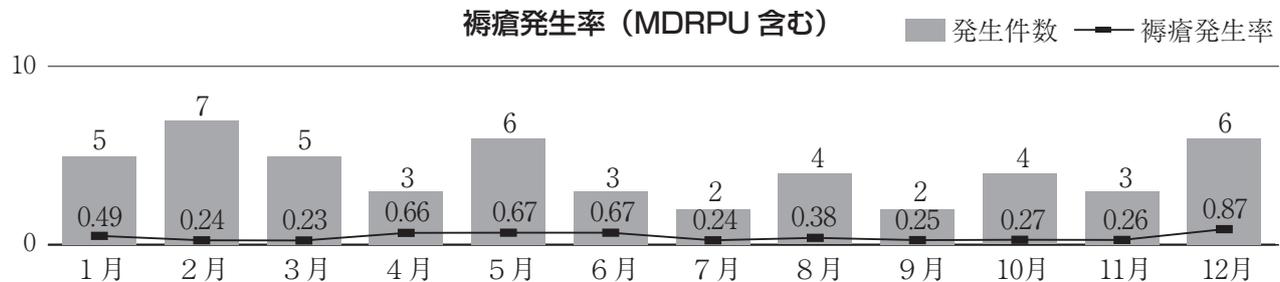
チーム医療部・褥瘡対策チーム

スタッフ

- 委員 長 皮膚科部長
 副委員 長 皮膚・排泄ケア認定看護師
 委 員 皮膚科医師 2名（1名は9月末まで、1名は4月から）
 薬剤師 2名、管理栄養士 1名、理学療法士 3名
 作業療法士 1名、看護師 1名、医事課 1名

活動内容

毎週火曜日、多職種で病棟回診を行っています。回診では褥瘡および医療関連機器圧迫創傷（以下MDRPU）を有する患者さんに対し、治癒または改善を目的として、発生要因をみきわめ、治療の検討やケアアドバイスをしています。特にポジショニングが難しい場合は体圧分布センサーを用い可視化し、個人の体の特徴に応じた体圧管理を行っています。また、栄養状態に問題がある場合は、管理栄養士による個別介入を図り、褥瘡発生予防・治癒にむけて取り組んでいます。



褥瘡の院内発生と持ち込みの内訳

	院内発生 45件（昨年次40件）	持ち込み 79件（昨年次89件）
平均年齢	70.13歳（昨年次80.5歳）	75.08歳（昨年次76歳）
深達度（深さ）	真皮まで44件 脂肪まで1件	複数箇所所有している17件 DTI疑い7件、深さ判定不能5件
主な発生理由	ずれ、ポジショニング不良、 体圧分散マットレス	不適切な体圧分散マットレスの使用 車いす利用

※昨年までは院内発生患者さんの平均年齢が80歳と高齢の方が褥瘡を発生していたが、今年度は10歳若返っている。その理由として、若年の高位脊髄損傷患者さんがリハビリ目的で転院し、新たな日常生活動作獲得に際して発生したと考える。しかし、患者さん自身が日常的に発生リスクの高い部位を観察するようセルフケア指導を行うことや、病棟スタッフおよびセラピストとの連携により、早期発見・治癒につながってきた。

チーム医療部・がんサポートチーム

スタッフ

委員長	緩和ケア科部長
副委員長	チーム専従：チームリーダー 精神科医師
委員	チーム専任：緩和ケア科医師
	チーム専従 看護師：がん放射線看護認定看護師
	看護師：がん性疼痛看護認定看護師
	看護師：がん化学療法看護認定看護師
	薬剤師：緩和薬物療法認定薬剤師
	理学療法士 臨床心理士
	医療ソーシャルワーカー 栄養士

活動内容

多職種で構成されるメンバーで、入院・外来ともに平日1日30名を上限として、毎日回診を行っています。週1回チームカンファレンスを開催し、症状マネジメント及び緩和ケア病棟への転棟検討を実施しています。病棟回診時に症状緩和及びその他の苦痛緩和の為のアドバイスや療養先の調整、患者・家族の意思決定支援を行い早期に苦痛緩和ができるように支援しています。

地域に対しては、往診医と連携を取りながら緩和ケア病棟・外来・急性期病棟と連携をとり生活の場で過ごせるように支援しています。

チーム依頼件数：150件（がん：148件、非がん：2件）

依頼時の治療時期

診断の初期治療前	がん治療中	がん治療終了後
57	58	33

依頼時のPS(Performance Status)

PS=0	PS=1	PS=2	PS=3	PS=4
33	28	33	33	23

依頼時の依頼内容（重複有り）

疼痛	その他の症状	精神症状	家族ケア	倫理／鎮静	地域／退院支援	その他
36	76	120	56	6	82	0

転帰

緩和ケア病棟	転院	退院	死亡退院	入院継続
25	5	104	12	4

チーム医療部・糖尿病チーム

スタッフ

医師	五郎川伸一、森川侑佳
看護師	福田純子、秦志麻、高亀瑞季、松村忍、磯野恵実、谷村美帆
薬剤師	鈴木麻友、若森あやか、郷田拓実
管理栄養士	東由里、上野綾香、小村優衣
臨床検査技師	佐藤亜純、藤本彩香
理学療法士	菊池恵、山本准、松下有加里

活動内容

入院中の主観、共観患者の患者背景、治療方針等の情報共有を目的に、毎週水曜日にカンファレンスを実施しています。インスリン自己注射は看護師・薬剤師、血糖自己測定は臨床検査技師、食事指導は管理栄養士、運動指導は理学療法士、薬物療法は薬剤師にて対応しております。外来でも、特に必要と思われる患者さんに対しては、適宜カンファレンスを実施しています。フットケア外来を行っており、必要に応じ入院も行っております。コロナ禍で中断していた糖尿病教室も再開予定です。

認定資格

日本糖尿病学会糖尿病専門医	2名
糖尿病看護認定看護師	2名
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）	6名

施設認定

日本糖尿病学会認定教育施設（2015年より）

病棟別患者数、介入時HbA1c(共観患者)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
3階病棟	4	0	3	2	2	1	2	2	3	1	4	2	26
4階病棟	7	7	9	9	7	4	6	10	10	3	6	5	83
SCU	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5階病棟	1	3	5	2	2	2	2	3	3	6	2	2	33
6階病棟	2	1	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	9
7階病棟	3	6	12	4	7	4	8	10	5	6	4	5	74
第2病棟	0	0	0	1	0	1	1	2	2	0	0	1	8
ICU	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
新1病棟	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
新2病棟	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5
新3病棟	7	4	7	9	6	6	3	7	6	7	5	4	71
新4病棟	5	3	3	4	7	7	3	3	6	0	4	3	48
合計	32	28	41	32	32	27	26	39	35	23	26	22	363
平均共観日数(日)	37.2	37.7	35.5	23.1	24.7	30.3	39.5	32.6	28.3	35.8	26.9	41.7	32.5
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
Mean HbA1c(%)	7.5	7.8	7.7	7.2	7.3	7.6	7.4	7.2	7.1	7.3	7.2	7.8	7.4
Max HbA1c(%)	10.4	16.1	13.6	9.4	10.0	12.6	11.7	10.9	11.6	10.8	9.5	11.7	16.1

チーム医療部・排尿自立支援チーム

スタッフ

医師	松本吉弘（泌尿器科）
看護師	石濱慶子（WOCナース）、井上文（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）、濱谷絢香（リンクナース）
療法士	小笠原峻、高尾茉侑（理学療法士）、小西直弥、佐藤貴之（作業療法士）

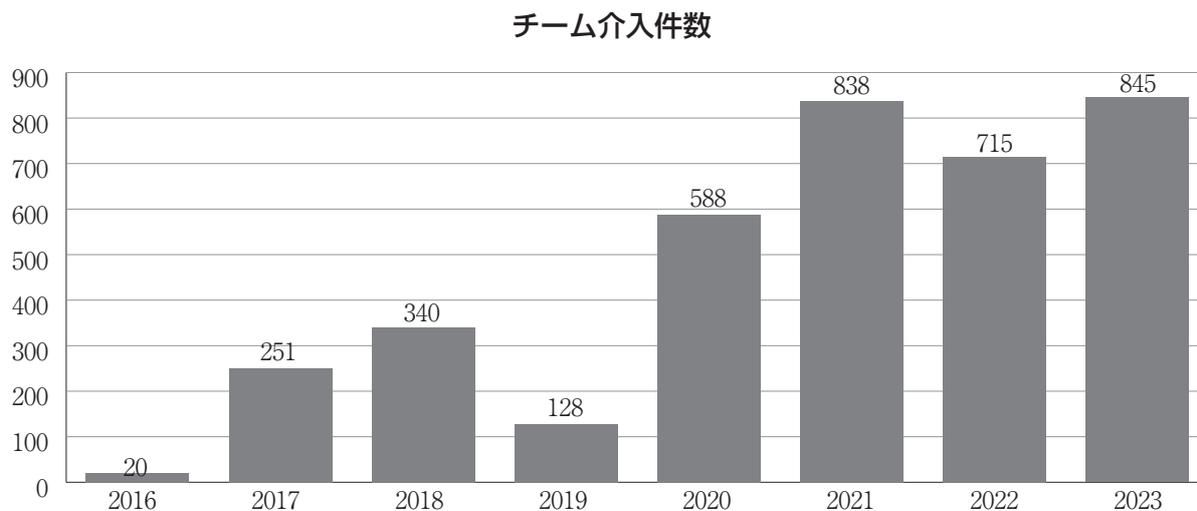
活動内容

医師、看護師、療法士から成るチームで、現在入院中で、膀胱留置カテーテルが留置されていて抜去後に排尿障害が予想される患者、またはカテーテル抜去後に排尿障害のある患者を対象に、週1回のチーム回診を行っている。

留置カテーテルを1日でも早く抜去し、尿路感染を防止すること、排尿自立の方向に導くことを目的としている。「排尿自立」とは排尿管理方法は問わず、自力で排尿管理が完結できること、である。

排尿を完結するための膀胱機能や身体機能を評価し、状況により治療介入やリハビリ、生活指導を行う。排尿自立は個人の尊厳を保ち、生活の質の向上につながる。

チーム介入件数



チーム医療部・感染対策チーム／抗菌薬適正使用支援チーム

メンバー

医 務 局	感染制御内科医師（ICD）1名（兼任）
看 護 部	感染管理認定看護師 1名（専従）
薬 剤 部	薬剤師3名（兼任）
臨床検査部	臨床検査技師3名（兼任）

活動内容

感染対策チームでは、患者さんをはじめ職員や当院に係わるすべての人々に安全で快適な医療環境を提供するため、院内感染防止策に取り組んでいます。組織においては、院内感染対策委員会の下部組織に位置し、多職種から構成され組織横断的に活動しています。

抗菌薬適正使用支援チームでは、感染症治療において、効果的な治療、副作用の防止、抗菌薬出現のリスク軽減のため、抗菌薬の適正使用を支援しています。

感染対策チームの主な活動内容

- ・院内感染症の情報収集・分析・対策
- ・定期的（週1回）な院内ラウンド
- ・定期的（週1回）な会議の実施
- ・職員への感染対策における教育と啓蒙活動（年2回）
- ・職業感染防止対策（針刺し防止、ワクチンプログラム）
- ・院内感染対策マニュアルの策定・改訂・整備
- ・医療関連感染、耐性菌サーベイランス
- ・感染防止に関する相談と指導
- ・院内アウトブレイクへの対応
- ・感染防止器材の選択、不要な経費の削減
- ・地域連携施設とのカンファレンスと相互ラウンド

抗菌薬適正使用支援チームの主な活動内容

- ・血液培養陽性症例に対する介入
- ・抗菌薬使用状況の把握と適正使用への啓発・介入
- ・抗菌薬のDe-escalation実施の把握
- ・感染症治療に関するコンサルテーション

臨床心理室

スタッフ

公認心理師・臨床心理士 大谷 智子

内容別件数はおおよそ前年と同様。

患者およびその家族、職員の相談も随時受け付けています。

各科内容別件数

	精神・ 神経科	小児科	緩和ケア科	整形外科	泌尿器科	合 計
知能検査	11	33	0	0	0	44
心理 カウンセリング	0	97	2	2	0	101
病室訪問	0	0	89	18	4	111
合 計	11	130	91	20	4	256

* 件数は延べ数とする

臨床研究・治験管理室

スタッフ

部長 福地 成 晃
室長 佐原 敏 之
治験管理室員 國田 愛

すべての「治験（医薬品の開発のための臨床試験）」は、GCP「医薬品の臨床試験の実施の基準」を遵守して行うよう、医薬品医療機器等法で定められています。GCPでは、高い倫理性と治験データの科学性と信頼性が求められています。

臨床研究については、研究倫理や被験者保護の一層の向上を図るため、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の周知徹底、遵守が求められています。

「臨床研究・治験管理室」では、当院での治験・臨床研究が適正かつ円滑に実施できるよう管理・支援しています。

主な業務内容

- ・院内の治験・臨床研究全ての管理
- ・臨床研究審査委員会（IRB）の事務局業務
- ・治験コーディネーター業務
- ・がん臨床試験データマネージャー業務
- ・臨床研究コーディネーター業務
- ・研修会の開催

臨床研究に関する研修会（2023年6月19日・23日・27日）

令和5年 臨床研究・治験管理室 業務報告

分類	内容	件数
被験者対応	被験者対応	114
	うち同意説明	4
治験	IRB前事前打合せ・研究会	10
	開始時時説明会	0
	医師対応	154
	他部門対応	70
	治験薬・被験者負担軽減費納入・回収	9
	治験依頼者対応	153
	モニタリング・監査	7
臨床研究	医師対応	198
	メディカルスタッフ対応	249
	他部門対応	29
	事務局対応	215
製造販売後調査	依頼者対応	39
	医師対応	4

令和5年 治験 受託状況

区分	薬品コード及び目的	依頼者	科名
第Ⅲ相	膝関節における軟骨損傷及び離断性骨軟骨炎を対象とした同種滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織（gMSC [®] 1）移植の有効性及び安全性をマイクロフラクチャー（MFx）法を比較対照として評価する第Ⅲ相無作為化臨床試験	株式会社 ツーセル	整形外科
	膝関節軟骨欠損症患者を対象としたCCI（自家培養軟骨細胞）キットの有効性及び安全性に関する探索的臨床試験	オリンパスRMS株式会社	整形外科
第Ⅰ/Ⅱ相	腰椎椎体固定術を必要とする患者を対象としたNZ-1909の臨床第Ⅰ/Ⅱ相試験	日本臓器製薬株式会社	整形外科

令和5年 製造販売後調査 受託状況

区分	薬品名	依頼者	科名
特定使用成績調査	献血ヴェノグロブリンIH5%静注（全例調査）	一般社団法人日本血液製剤機構	脳神経内科
使用成績調査	キイトルーダ点滴静注使用成績調査（尿路上皮癌）（全例調査）	M S D 株 式 会 社	泌尿器科
使用成績調査	ヘムライブラ皮下注（全例調査）	中外製薬株式会社	小児科
使用/特定使用成績調査	ヘルニコア椎間板注用	科 研 製 薬 株 式 会 社	整形外科
特定使用成績調査	スマイラフ錠50mg、100mg（全例調査）	アステラス製薬株式会社	整形外科
特定使用成績調査	タリージェ錠	第一三共株式会社	整形外科
特定使用成績調査	リンヴォック [®] 錠	ア ッ ヴ ィ 合 同 会 社	整形外科
特定使用成績調査	エンハーツ [®] 点滴静注用	第一三共株式会社	外 科
特定使用成績調査	ジセラカ錠 [®] 200mg、ジセラカ錠 [®] 100mg	エ ー ザ イ 株 式 会 社	整形外科
特定使用成績調査	エドルミズ錠	小 野 薬 品 工 業	消化器内科・ 外 科
特定使用成績調査	バベンチオ点滴静注	メルクバイオファーマ	泌尿器科
使用成績調査	パドセブ点滴静注用	アステラス製薬株式会社	泌尿器科
使用成績調査	ジェセリ錠40mg	大 鵬 薬 品 工 業 株 式 会 社	外 科
使用成績調査	リトゴビ [®] 錠4mg	大 鵬 薬 品 工 業 株 式 会 社	外 科

令和5年 臨床研究 実施状況

区分	研究課題名	科名
臨床研究	脳主幹動脈狭窄による急性期アテローム血栓性脳梗塞に対する血管内ステント留置術に関する臨床研究	脳卒中内科
付随研究	J-STARS Genomics：脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の予防効果の遺伝子背景に関する研究	脳卒中内科
臨床研究	JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	外 科
臨床研究	JFMC48-1301-C4（ACHIVE-2 Trial）：再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治療切除除対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	外 科
臨床研究	脳卒中後のlateropulsionに対する直流前庭電気刺激の効果	リハビリテーション部
臨床研究	メトトレキサート（MTX）関連リンパ増殖性疾患発症予測因子の同定	整形外科
臨床研究	左室収縮能が保たれた心不全の予後に関する多施設共同前向き観察研究	循環器内科
後ろ向き観察研究	当院にて施行した、膝前十字靭帯再建術の成績	整形外科
臨床研究	非小細胞性肺癌（cT1a, bNOMO）に関する肺部分切除の多施設前向き観察研究	呼吸器外科
臨床研究	低肺機能肺癌手術症例における術前吸入薬の効果に関する臨床研究:多施設共同前向き観察研究	呼吸器外科
臨床研究	人工関節手術におけるカスタムメイド骨切りガイドの作成	整形外科

区分	研究課題名	科名
臨床研究	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する他施設共同ランダム化比較試験 (ATIS-NVAF)	脳卒中内科
後ろ向き観察研究	Sequential Radiographic Evaluation after Partial Meniscectomy with Repair for Discoid Lateral Meniscus 円板状外側半月板に対する形成縫合術—経時的レントゲン評価	整形外科
後ろ向き観察研究	Discoid Lateral Meniscal Repair without Saucerization 外側円板半月板に対する円板状態温存修復術	整形外科
後ろ向き観察研究	大腿骨頸部骨塩量の左右差と運動器疾患の関連に関する観察研究	整形外科
臨床研究	心不全合併脳卒中患者の離床時の脳循環動態の解明～組織酸素モニタでの検討～	リハビリテーション部
臨床研究	脊髄損傷者の呼吸と嚥下の協調性に関する検討	リハビリテーション部
臨床研究	前立腺全摘術後の生化学的再発癌に対する放射線治療へのホルモン療法の上乗せ効果の検討	泌尿器科
後ろ向き観察研究	膝半月板損傷に対する、鏡視下半月板縫合術および切除術の成績	整形外科
臨床研究	骨粗鬆症・変形性関節症・関節リウマチの病態および各種治療効果についての検討	整形外科
臨床研究	エビ経口負荷試験の安全性および負荷試験後の摂取状況の多施設症例集積研究	小児科
臨床研究	Information and Communication Technologyを用いた患者家族との相互的な情報共有が高齢脳卒中患者の在宅復帰と在院日数短縮に与える影響の検証	リハビリテーション部
臨床研究	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療法の開発のための心不全レジストリ	循環器内科
臨床研究	看護師による末梢挿入式中心静脈カテーテル (PICC) 挿入の実態と効果の検討	看護部
臨床研究	メトトレキサート (MTX) 関連リンパ増殖性疾患の病態解明のための多施設共同研究 H28-NHO(多共) 02	整形外科
臨床研究	特発性肺線維症急性増悪に対する各種治療の有効性：過去起点コホート研究	呼吸器内科
臨床研究	脳卒中後疼痛を分類するための痛みの表現型データベース構築	リハビリテーション部
臨床研究	変形性関節症・関節リウマチ患者における下肢画像解析	整形外科
臨床研究	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStageII及び低リスクStageIII結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験	外科
臨床研究	がん患者における凝固線溶系の解明およびバイオマーカーの網羅的探索	血管外科
臨床研究	COVID-19に関するレジストリ研究	呼吸器内科
臨床研究	根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究	外科
後ろ向き観察研究	軟骨損傷・離断性骨軟骨炎に対する治療成績 (短期・中期・長期)	整形外科
臨床研究	がん相談支援センター利用者のアンケート調査	外科
後ろ向き観察研究	気管支喘息やアトピー性皮膚炎を合併するアレルギー性鼻炎小児例におけるダニ舌下免疫療法の検討	小児科
臨床研究	循環器疾患及びリスク因子合併COVID-19入院患者に関する多施設共同観察研究：CLAVIS-COVID	循環器内科
臨床研究	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法: 多施設、前向き、無作為化比較試験	循環器内科
臨床研究	回復期リハビリテーション病棟に入院中の整形外科術後高齢患者における体幹回旋運動速度と歩行速度との関連	リハビリテーション部
臨床研究	うっ血性心不全 (心性浮腫) における五苓散追加投与の浮腫に対する有効性を検証する研究	循環器内科
臨床研究	骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌患者におけるBone Scan Index (VSBONE BSI) の有用性の検討	泌尿器科
後ろ向き観察研究	人工膝関節置換術手術における脛骨近位部、筋附着部圧痛評価	整形外科

区 分	研究課題名	科 名
臨 床 研 究	Thermal grill illusionにより誘発される灼熱痛を表現している脳は活動の検出	リハビリテーション部
多施設後向き	pStage II大腸癌に対するOSNA 法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	外 科
後 ろ 向 き	慢性閉塞性肺疾患患者（COPD）における運動耐容能低下と前頭葉機能障害の関連について	リハビリテーション部
臨 床 研 究	泌尿生殖器系および後腹膜腫瘍を対象とした手術療法・薬物療法・放射線療法・無治療監視療法の治療成績および合併症の包括的比較解析	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	二分脊椎症に伴う下部尿路機能障害症例に対する薬物療法に関する後方視的検討	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査	小 児 科
臨 床 研 究	大腸癌手術に対するCOVID-19の影響に関する後方視的解析	外 科
後 ろ 向 き	テント下脳卒中患者の静止立位時の左右足圧中心位置に関与する要因-後ろ向き研究-	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	回復期リハビリテーション病棟における脊髄損傷者の動向の調査	リハビリテーション部
臨 床 研 究	先天性フィブリノゲン異常症および欠損症の遺伝子解析	血 管 外 科
後 ろ 向 き	SGLT-2阻害薬の初期腎機能低下に及ぼすレニン・アンジオテンシン系抑制薬および利尿薬の影響に関する研究	薬 剤 部
後 ろ 向 き	日本整形外科学会症例データベース（JOANR）構築に関する研究	整 形 外 科
臨 床 研 究	下肢静脈瘤重症例に対する不全穿通枝治療の多施設共同前向きレジストリー研究	血 管 外 科
臨 床 研 究	脳卒中後疼痛における表現型ごとの病態メカニズムの分析	リハビリテーション部
臨 床 研 究	脳卒中患者における自覚的姿勢垂直位の信頼性の調査	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	回復期脳卒中患者のTrunk Impairment Scale（TIS）の点数分布について	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	消化器疾患患者の退院遅延に影響した要因の抽出～DPC II期超えの消化器疾患患者～	看 護 部
後 ろ 向 き	股関節手術の周術期管理・合併症治療の多施設調査と人工知能構築	整 形 外 科
後 ろ 向 き	脳卒中患者における上肢・下肢の運動麻痺ならび体感機能の回復曲線における差異の検証	リハビリテーション部
インタビュー	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大下における一般病棟看護師長の看護管理実践と判断	看 護 部
臨 床 研 究	血液培養採取に関わる多施設共同研究	臨 床 検 査 部
臨 床 研 究	再発高リスク消化管間質腫瘍に対する完全切除後の治療に関する研究（STAR ReGISTry）の追跡調査	外 科
臨 床 研 究	高齢者に対する幽門側胃切除後再（Billroth-II 法versus Roux-en-Y 法）に関するランダム化比較第II 相臨床試験	外 科
後 ろ 向 き	当院回復期病棟における頸髄損傷者の実績指数の傾向	リハビリテーション部
後 ろ 向 き	大阪府災害医療協力病院における災害医療への薬剤師の取り組み	薬 剤 部
後 ろ 向 き	亜急性期脳卒中患者における動的座位バランスの遂行不可項目による歩行自立度の差異(仮)	リハビリテーション部
臨 床 研 究	脳卒中患者を対象とした急性期病棟退院後の投薬歴に関する調査	薬 剤 部
後 ろ 向 き	術後1年経過した当院TKA患者の不満足群の特徴（仮）	リハビリテーション部
臨 床 研 究	外科症例臨床データベースを利用した臨床調査研究	外 科
後 ろ 向 き	ウィズコロナの入院施策が入院脳卒中患者のリハビリテーションに与える影響の検証	リハビリテーション部
アンケート	「退院時薬剤情報提供書」に関するアンケート調査	薬 剤 部

区 分	研究課題名	科 名
後 ろ 向 き	前十字靭帯再建術における移植腱の違いによる臨床成績の比較	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者における脳の病変部位と脳卒中後の感覚障害、及び身体性の経時的変化の関連性	リハビリテー シ ョ ン 部
後 ろ 向 き	A病院手術におけるインシデントレポートの分析	看 護 部
臨 床 研 究	卵黄をアレルゲンとするAcute Food protein-induced enterocolitis syndrome (FPIES) 小児の予後に関する研究～多施設共同前向きコホート研究	小 児 科
臨 床 研 究	末梢動脈疾患に対する血管内治療の医療被ばくに関する多施設共同後向き観察研究	診療放射線部
臨 床 研 究	日本における、重症・中等症小児COVID-19登録及びMIS-C全国調査共同研究	小 児 科
臨 床 研 究	プロテオミクス手法による卵黄消化管アレルギーの要因解析	小 児 科
臨 床 研 究	プロトンポンプ阻害薬中止による胃過形成性ポリープ縮小効果に関する多機関共同前向き観察研究	消化器内科
臨 床 研 究	二分脊椎症（脊髄髄膜瘤と脊髄脂肪腫）の修復術後に発生した再係留症候群における係留解除術前後の下部尿路機能に関する後方視的検討	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き	抗血栓療法継続下でのTULの安全性	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	花粉食物アレルギー症候群の実態調査	小 児 科
臨 床 研 究	生活環境が食物アレルギーに及ぼす影響に関する研究	小 児 科
後 ろ 向 き	椎弓形成術後のC7椎弓骨折	整 形 外 科
アンケート	薬剤部員を対象とした医療安全関連の回覧物に関するアンケート調査	薬 剤 部
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションによる睡眠時無呼吸への治療効果の検証	循環器内科
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションにおけるLesion Size Index (LSI) の有効性の検討	循環器内科
後 ろ 向 き	心房細動カテーテルアブレーションによる予後予測因子の検証	循環器内科
後 ろ 向 き	地域包括ケア病棟における内服自己管理の実態調査	看 護 部
アンケート	HCUにおける看護師の口腔ケアの認識調査	看 護 部
アンケート	緩和ケア病棟看護師のエンゼルケアに対する意識調査	看 護 部
臨 床 研 究	COVID-19患者の誤嚥性肺炎に関連する因子の検討	リハビリテー シ ョ ン 部
臨 床 研 究	小脳脳卒中患者への動的歩行課題を含むBWSTTの効果 -シングルケースデザインによる検討-	リハビリテー シ ョ ン 部
臨 床 研 究	Body lateropulsionを呈する脳卒中患者の姿勢定位と動的バランスへのGaze Stability ExerciseとGalvanic Vestibular Stimulationの影響-シングルケースデザインによる検討-	リハビリテー シ ョ ン 部
アンケート	コロナ渦による面会制限から看護部が抱く、退院支援における患者情報の早期把握を行う上での困難	看 護 部
アンケート	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う面会制限下でも患者家族のニーズ～不安を軽減するために看護師に求めること～	看 護 部
後 ろ 向 き	舌圧と嚥下調整食および低栄養との関連性の検討	栄養管理室
臨 床 研 究	テント下領域の脳卒中運動失調患者におけるScale for the Assessment and Rating of Ataxia (SARA) とVertigo Symptom Scale- short form (VSS-sf) のMinimal clinically important differences (MCID) を探索する多施設共同前向き観察研究	リハビリテー シ ョ ン 部
臨 床 研 究	尾側腓切除後の腓脱端閉鎖における水平マットレス縫合の有用性の検討	外 科
臨 床 研 究	S-1による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレンタール）の有用性に関する第Ⅱ相臨床試験（OGSG1108）の追跡観察研究OGSG1108 Follow	外 科
後 ろ 向 き	脳血管疾患の入院患者がせん妄評価終了後に過活動型せん妄を発症した要因の考察	看 護 部
後 ろ 向 き	回復期リハビリテーション病棟の看護師が退院支援を行う中で難しいと感じている事を明らかにする	看 護 部
後 ろ 向 き	2023年 即時型食物アレルギー 全国モニタリング調査	小 児 科
後 ろ 向 き	心不全患者のACP支援する看護師の役割認識	看 護 部
後 ろ 向 き	入院前面談で得た患者情報の活用の実態調査	看 護 部

区 分	研究課題名	科 名
後 ろ 向 き	「退院時薬剤情報提供書」の発行状況に関する調査	薬 剤 部
後 ろ 向 き	面会制限がある中で患者家族の意向に添った退院支援	看 護 部
後 ろ 向 き	A病院の手術室看護師の業務における時間的切迫感が及ぼす医療安全の実態	看 護 部
後 ろ 向 き	当院回復期リハビリテーション病棟における脊髄損傷者の歩行再獲得の実態調査	リハビリテ ーション部
臨 床 研 究	ZNN CM Fortis Nailの安全性及び有効性を評価するための後ろ向き多機関共同 観察研究	整 形 外 科
後 ろ 向 き	心大血管疾患患者に対する心肺運動負荷試験における骨格筋組織代謝の反応 (仮)	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	COVID-19患者の嚥下機能の現状 (仮)	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	Mini-BESTestによる脳卒中患者のバランス障害の特徴-クラスター分析を用いて-(仮)	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位的一方のみ異常な変動性を示す脳卒中患者の把握と特徴	リハビリテ ーション部
臨 床 研 究	追尾型歩行計測システムの構築による新たな歩行評価手法の開発	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	糖尿病とCOVID-19感染症との関連について	糖 尿 病 内 科
後 ろ 向 き	看護補助者の組織改革における人材マネジメント-「動機付け要因」分析の活用報告-	看 護 部
臨 床 研 究	回復期脳卒中患者における身体活動量と身体機能・日常生活活動能力改善の関連性-多施設共同研究-	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	脊髄損傷における神経因性膀胱に対するビバグロンの効果：ウロダイナミクスを用いた検討	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き	筋層非浸潤性膀胱がんに対するBCG膀胱内注入療法の治療成績と有害事象	泌 尿 器 科
後 ろ 向 き	脊髄損傷による神経因性膀胱に対する当院での排尿管理方法の妥当性の検討	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	外傷性頰髄損傷患者の姿勢の違いによる横隔膜機能の変化～超音波エコー検査法を用いた検討～	リハビリテ ーション部
臨 床 研 究	大阪大学 スポーツ・関節鏡・膝・足関節外科グループ膝関節手術 多施設前向き臨床研究	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 1：単群比較試験	薬 剤 部
臨 床 研 究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 2：無作為化比較試験	薬 剤 部
臨 床 研 究	人工膝関節全置換術における後十字靭帯切除後の膝可動域の術中変化；術中動態評価と後十字靭帯の組織学的評価と画像的評価の観点から	整 形 外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者の視覚遮断・再入力に伴う静止立位姿勢制御の適応的变化について	リハビリテ ーション部
臨 床 研 究	回復期脳卒中患者の歩行におけるLimb Kinematics の回復特性-多施設共同による観察研究-	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	小児神経因性膀胱患者のQOL調査	泌 尿 器 科
臨 床 研 究	尾側膝切除後の膝断端閉鎖における水平マットレス縫合の有用性の検討	外 科
臨 床 研 究	脳卒中患者における幾何拘束下（肩関節屈曲角条件）でのロボットを用いた上肢ワイピング動作訓練の分析	リハビリテ ーション部
臨 床 研 究	S-1による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレンタール）の有用性に関する第II相臨床試験（OGSG1108）の追加観察研究 OGSG1108 Follow	外 科
後 ろ 向 き	消化器悪性腫瘍患者の周術期VTEマネジメントに関する臨床研究	外 科
後 ろ 向 き	股関節疾患の歩行制御解明に向けた探索的研究	リハビリテ ーション部
後 ろ 向 き	舌圧と嚥下調整食および栄養評価指標との関連性の検討	栄 養 管 理 室
後 ろ 向 き	がん終末期患者の傾向摂取が減少してから亡くなるまでの期間の調査	看 護 部
後 ろ 向 き	整形外科手術における術前便処置後の実態調査	看 護 部

区 分	研究課題名	科 名
後 ろ 向 き	小児患者の点滴トラブルの原因と実態調査	看 護 部
後 ろ 向 き	A病院手術室における6年目以上のヒヤリ・ハット背景要因の分析～P-mSHELLモデルを用いて～	看 護 部
後 ろ 向 き	過去5年間に当院で経験したPFAPA症候群の7例	小 児 科
後 ろ 向 き	外来予約日より早く受診する外来患者の要因分析～分析から考える在宅療養支援への課題～	看 護 部

薬剤部

スタッフ

2023年1月1日～1月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 富永日輪
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 浦嶋和也
他 薬剤師 14名
事務員 3名(非常勤)

2023年2月1日～2月28日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 富永日輪
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 浦嶋和也
他 薬剤師 13名
事務員 3名(非常勤)

2023年3月1日～3月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 富永日輪
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子 浦嶋和也
他 薬剤師 13名
事務員 2名(非常勤)

2023年4月1日～4月30日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 富永日輪
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子
他 薬剤師 15名
事務員 3名(非常勤)

2023年5月1日～6月30日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子
他 薬剤師 15名
事務員 3名(非常勤)

2023年6月1日～11月30日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主 任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子

他 薬剤師 14名
事務員 3名(非常勤)

2023年12月1日～12月31日

薬剤部長 佐原敏之
副薬剤部長 加地 真
主任 山口洋子 稲場純子 坂野玲子 福田裕子
他 薬剤師 15名
事務員 3名(非常勤)

認定資格

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	6名
日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師	9名
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師	4名
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	4名
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	1名
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん化学療法認定薬剤師	1名
日本薬剤師研修センター・日本生薬学会 漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	1名
日本緩和医療薬学会 緩和医療暫定指導薬剤師	1名
日本臨床栄養代謝学会 NST専門療法士	2名
日本臨床栄養協会 NR・サプリメントアドバイザー	1名
日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師	1名
日本臨床救急医学会 救急専門薬剤師	1名
日本脳卒中学会 脳卒中相談士	1名
日本高血圧学会・日本循環器予防学会・日本動脈硬化学会・ 日本心臓病学会認定 循環器病予防療養指導士	2名
日本アンチドーピング機構公認スポーツファーマシスト	1名
薬剤師生涯学習達成度試験合格	2名
日本薬剤師研修センター 生涯学習指導薬剤師	1名
大阪DMAT隊員	1名

施設認定

プレアボイド報告施設認定(2005年より)、薬学生実務実習受入施設(2010年より)

薬剤部特記事項

- ・ 1月 薬学部5年次長期実務実習第4期(2名)(11/21~2/12)
(摂南1、京都薬科1)
- ・ 3月 第53回院内薬剤勉強会開催
病院見学会(1日間 3名)
- ・ 4月 病院見学会(1日間 5名)

- ・ 5月 薬学部5年次長期実務実習第2期開始（2名）（5/22～8/6）
（大阪医科薬科1、摂南1）
- ・ 7月 第54回院内薬剤勉強会開催
- ・ 8月 薬学部5年次長期実務実習第3期開始（2名）（8/21～11/5）
（大阪医科薬科1、神戸薬科1）
学生インターンシップ受け入れ（2日間3名）
- ・ 10月 摂南大学薬学部1年次早期体験学習（2日間9名）
- ・ 11月 薬学部5年次長期実務実習第4期開始（2名）（11/20～2/11）
（大阪医科薬科2）
- ・ 12月 第55回院内薬剤勉強会開催

2023年 調剤件数

	処方せん枚数			処方件数			注射枚数			注射処方件数		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
1月	7,099	4,554	11,653	18,376	677	19,053	9,608	740	10,348	17,805	1,057	18,862
2月	6,473	4,481	10,954	16,767	604	17,371	7,227	669	7,896	15,466	950	16,416
3月	7,584	5,441	13,025	19,056	631	19,687	7,571	727	8,298	16,146	1,058	17,204
4月	7,010	4,546	11,556	18,835	620	19,455	6,089	790	6,879	13,121	1,191	14,312
5月	6,752	4,986	11,738	17,371	570	17,941	6,146	849	6,995	13,964	1,278	15,242
6月	7,234	5,075	12,309	14,556	543	15,099	6,561	875	7,436	14,659	1,362	16,021
7月	6,714	4,906	11,620	17,768	644	18,412	6,885	908	7,793	14,815	1,365	16,180
8月	7,620	5,070	12,690	19,788	682	20,470	7,500	944	8,444	15,367	1,374	16,741
9月	7,032	4,741	11,773	18,269	619	18,888	7,637	826	8,463	15,649	1,261	16,910
10月	6,897	4,906	11,803	18,243	581	18,824	6,326	766	7,092	16,364	1,241	17,605
11月	6,602	4,797	11,399	13,648	515	14,163	6,536	768	7,304	13,105	1,252	14,357
12月	6,612	4,821	11,433	17,108	491	17,599	6,799	855	7,654	13,666	1,385	15,051
合計	83,629	58,324	141,953	209,785	7,177	216,962	84,885	9,717	94,602	180,127	14,774	194,901
平均	6,969.1	4,860.3	11,829.4	17,482.1	598.1	18,080.2	7,073.8	809.8	7,883.5	15,010.6	1,231.2	19,490.1

2023年 院外処方せん発行率

月	院外枚数	院内枚数	総枚数	発行率
1月	3,970	677	4,647	85.4%
2月	3,937	604	4,541	86.7%
3月	4,833	631	5,464	88.5%
4月	4,067	620	4,687	86.8%
5月	4,480	570	5,050	88.7%
6月	4,524	543	5,067	89.3%
7月	4,341	644	4,985	87.1%

月	院外枚数	院内枚数	総枚数	発行率
8月	4,483	682	5,165	86.8%
9月	4,197	619	4,816	87.1%
10月	4,384	581	4,965	88.3%
11月	4,268	515	4,783	89.2%
12月	4,270	491	4,761	89.7%
合計	51,754	7,177	58,931	87.8%
平均	4,313	598	4,911	87.8%

★院内は病児保育、救急外来、治験、緊急の場合に限定

2023年 無菌製剤処理本数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
在宅TPN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病棟TPN	92	163	149	161	127	93	78	97	80	102	103	72	1,317
外来PCA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院PCA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
特殊製剤	200	227	260	231	216	243	228	248	226	235	210	98	2,622
合計	292	390	409	392	343	336	306	345	306	337	314	170	3,940

2023年 抗癌剤調製のべ患者数・件数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	人数	0	7	85	95	94	104	92	95	92	90	90	95	939
	ケモ数	16	72	96	101	119	126	115	114	114	123	119	141	1,256
	閉鎖式人数	78	1	3	4	7	6	5	6	6	10	11	14	151
	Preその他	1	15	18	35	33	35	33	25	25	31	27	33	311
入院	人数	0	7	9	3	7	1	7	7	6	7	8	3	65
	ケモ数	0	10	9	3	11	1	7	7	6	14	24	3	95
	閉鎖式人数	8	2	2	0	1	0	1	1	1	3	5	1	25
	Preその他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	人数	0	14	94	98	101	105	99	102	98	97	98	98	1,004
	ケモ数	16	82	105	104	130	127	122	121	120	137	143	144	1,351
	閉鎖式人数	86	3	5	4	8	6	6	7	7	13	16	15	176
	Preその他	3	15	18	35	33	35	33	25	25	31	27	33	313

2023年 薬剤管理指導件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤管理指導総患者数（非算定病棟含む）		606	627	644	600	652	696	652	694	616	651	595	580	7,613	634
薬剤管理指導総件数（非算定病棟含む）		1,805	1,686	1,844	1,622	1,692	1,842	1,703	1,872	1,694	1,837	1,629	1,604	20,830	1,736
退院時薬剤情報管理指導料算定件数	90	174	195	231	225	219	301	243	281	230	264	231	245	2,839	237
薬剤管理指導料1（安全管理）算定件数	380	535	466	506	432	475	430	487	541	525	538	421	476	5,832	486
薬剤管理指導料1（麻薬・安全）算定件数	430	28	22	23	17	22	18	24	22	25	20	7	11	239	20
薬剤管理指導料2（1以外）算定件数	325	568	591	606	588	578	638	655	644	532	615	592	579	7,186	599
薬剤管理指導料2（麻薬・1以外）算定件数	375	53	32	49	23	24	37	33	25	25	38	34	36	409	34
薬剤情報提供料算定件数	10	188	109	106	94	98	94	136	191	118	133	119	151	1,537	128

2023年 薬剤管理指導実施率（診療報酬算定支援・診療報酬算定チェックより）

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤管理指導1実施率	%	95.9	92.3	96.9	92.8	95.7	96.7	95.9	97.1	95.4	95.7	96.7	93.0	1,144.1	95.3
退院時薬剤情報管理指導料実施率	%	68.2	72.0	77.7	78.4	69.4	78.0	79.7	81.9	78.9	82.3	75.1	82.7	924.3	77.0
麻薬管理指導料実施率	%	91.5	89.8	85.0	76.0	79.7	85.9	83.3	97.8	87.5	83.8	90.4	80.0	1,030.7	85.9

2023年 ポリファーマシー関連件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
薬剤総合評価調整加算 算定件数	100	5	2	4	2	0	2	1	2	5	2	2	2	29	2
薬剤調整加算 算定件数	150	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0
退院時薬剤情報連携加算 算定件数	60	10	7	12	16	6	13	15	17	11	19	15	12	153	13

2023年 がん・無菌製剤関連件数

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
がん患者指導管理料ハ算定件数	200	2	3	2	4	3	3	3	4	3	7	4	2	40	3
無菌製剤処理科1（閉鎖式）算定件数	180	1	1	3	4	6	6	7	6	6	12	11	9	72	6
無菌製剤処理科1（イ以外）算定件数	45	33	27	26	38	39	44	40	35	45	40	43	40	450	38
無菌製剤処理科2算定件数	40	92	151	139	162	112	105	75	99	79	102	103	71	1,290	108
外来化学療法加算1A算定件数	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来化学療法加算1B算定件数	450	44	38	54	54	48	53	44	54	47	40	47	46	569	47

2023年 後発品使用率

	点数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
後発品使用率（数量ベース） （シミュレーションより）	%	87.1	87.3	84.7	83.0	84.3	84.9	84.1	85.5	86.4	86.4	86.0	85.7	1025.4	85.4

2023年 調剤室での疑義照会件数

薬剤部で受けたもの	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤採用の有無	6	5	5	3	3	3	8	4	5	6	2	6	56
同種同効薬の検索	4	4	4	3	5	4	4	3	2	3	4	7	47
処方日数制限	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	6
オーダーリング関連事項	10	8	7	3	5	4	6	4	7	1	5	5	65
配合変化	10	12	5	3	5	4	2	2	6	3	9	4	65
その他	41	33	38	46	32	34	35	32	26	21	14	49	401
合計	71	62	59	58	50	50	57	47	47	34	34	71	640

薬剤部からしたもの	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
用法用量の確認	8	4	7	5	10	4	3	3	4	4	3	5	60
日数の確認	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
処方内容の確認	8	2	3	0	4	1	4	2	1	0	3	2	30
禁忌薬剤の発見	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
配合変化	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	2	1	9	3	2	1	1	4	1	1	5	30
合計	17	8	12	14	17	7	8	6	12	5	7	12	125

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
薬剤鑑別件数	185	182	229	217	205	201	207	183	182	189	170	143	2,293
薬剤鑑別剤数	1,337	1,191	1,624	1,612	1,468	1,342	1,453	1,348	1,213	1,238	1,070	972	15,868
持参薬入力件数	591	467	541	532	512	605	494	560	518	544	486	431	6,281
持参薬入力剤数	2,346	1,983	1,998	2,146	2,060	2,330	2,013	2,392	2,223	2,266	1,896	1,792	25,445

2023年 病棟での処方介入件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アレルギー患者への該当薬剤処方が発見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
禁忌の発見	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
重複投与の発見	4	3	5	2	3	7	3	3	4	1	1	3	39
プロトコール違反	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処方漏れ・処方忘れの発見	0	0	3	1	2	3	4	3	0	0	0	1	17
中止すべき薬剤の続行の発見	0	1	3	1	1	1	0	0	0	1	0	0	8
再開すべき薬剤の確認	2	3	0	0	2	1	1	1	1	2	1	0	14
同種同効薬の検索	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肝・腎機能低下時の用量調節支援	6	2	5	1	4	3	2	5	3	0	1	6	38
薬剤選択についてのアドバイス	1	1	2	2	1	1	3	1	1	4	4	1	22
適正使用のための処方支援	6	3	0	3	6	7	11	9	11	4	4	4	68
副作用の発見	0	0	0	2	0	0	1	2	0	1	1	1	8
相互作用	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
配合変化の回避	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者の訴えに基づく処方の追加や変更	1	1	0	1	2	2	0	0	0	2	0	0	9
誤処方の発見	6	3	4	4	9	6	3	1	3	1	4	2	46
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
TDM	4	11	2	10	8	2	3	0	5	12	2	7	66
合計	32	31	26	28	38	33	31	25	30	28	18	25	345

2023年 DI室業務内容

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
DI室で対応した質疑	17	14	21	10	18	21	24	17	12	15	15	14
Information from Pharmacy	230	231	232	233	-	234	-	235	-	236	-	237
Pre-avoid報告	28	20	24	18	30	31	28	25	25	16	16	18
厚労省副作用報告	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0
添付文書改訂処理	20	37	26	29	14	60	16	41	37	2	48	35
院内薬剤勉強会			・第53回院内薬剤勉強会（抗凝固薬の中和剤～生命を脅かす出血時に適切に使用するために～）				・第54回院内薬剤勉強会（持続性GIP/GLP-1受容体作動薬 マンジャロ® について～新しい作用機序の糖尿病治療薬を適正に使用するために～）					・第55回院内薬剤勉強会（レケンビ® 点滴静注について～話題の認知症治療薬の正しい知識を得るために～）
部内勉強会											・リトゴビ錠説明会 ・イジユド点滴静注 ・ベンリスタ皮下注 ・腫瘍貧血と鉄欠乏フェインジェクト説明会 ・ペリキューボ錠説明会	

2023年発行 『Information from Pharmacy』

- 1月 No.230 ケイ素の有効性や安全性について
- 2月 No.231 カルシウム拮抗薬の妊婦への使用について
- 3月 No.232 重篤副作用疾患別対応マニュアルについて
- 4月 No.233 動脈硬化症疾患予防ガイドライン改訂について
- 6月 No.234 濫用等のおそれがある医薬品の改正について
- 8月 No.235 ドーピング禁止薬剤について
- 10月 No.236 ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンキャッチアップ接種について
- 12月 No.237 今年、当院から厚生労働省に報告した医薬品副作用について

2023年発行 『THE くすり』

- No.319 脳震盪後症状の持続で抑うつ症状リスク増加
米国で迅速承認のアルツハイマー病新薬、エーザイ「日本でも年内承認目指す」
知っていますか？医療用漢方148方剤 48：四物湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.397について

- No.320 拒食症患者、瞑想で不安軽減＝関連の脳活動低下－京都大病院
血友病患者のための血液製剤、57年ぶりに輸出再開へ
知っていますか？医療用漢方148方剤 49：茵陳蒿湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.398について
- No.321 がん治療用、国産「ラジオアイソトープ」大量製造へ…25年度にも阪大施設稼働
大腸がんの再発を抑制 九州大グループが発見
知っていますか？医療用漢方148方剤 50：当帰飲子
電子版お薬手帳で指針案
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.399について
- No.322 小児・AYAがん、国内未承認薬を臨床研究 ドラッグラグ解消へ
感染再拡大「心配しない」41%
知っていますか？医療用漢方148方剤 51：七物降下湯
パーキンソン病発症、根本原因の一端解明 大阪大研究チーム
添付文書改訂のお知らせ
- No.323 アルツハイマー治療薬ドナネマブ、米で承認申請へ…イーライリリー社「日本でも年内に」
RSウイルスワクチン、米で60歳以上へ使用承認…日本でも昨秋に承認申請
知っていますか？医療用漢方148方剤 52：甘麦大棗湯
内部被爆時の「飲み薬」臨床試験開始
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.400について
- No.324 医薬品のアクセス向上へ国際機関代表が協力要請 コロナで格差露呈
オンライン診療7割対応せず
知っていますか？医療用漢方148方剤 53：苓桂朮甘湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.401、402について
- No.325 卵アレルギー治療の臨床試験費用にクラウドファンディング 三重病院
アトピー性皮膚炎、セラミド分析で症状予測できる？
知っていますか？医療用漢方148方剤 54：帰脾湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.403について
- No.326 iPS細胞で心筋症再現 京大などチーム治療法開発に期待
先発品の窓口負担増 厚労省方針 後発品促す
知っていますか？医療用漢方148方剤 55：大防風湯
添付文書改訂のお知らせ
医薬品・医療機器等安全性情報No.404、405について

2023年 医薬品等安全性情報の厚生労働省への報告

2月 ダーブロック錠による脳梗塞、深部静脈血栓症

5月 ロキソニン錠による中毒疹

ゾコーバ錠による急性汎発性発疹性膿疱

9月 ダーブロック錠による脳梗塞 2例

11月 ノベルジン錠による汎血球減少症

有害事象報告件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Pre-avoid報告	28	20	24	18	30	31	28	25	25	16	16	18
厚労省副作用報告	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0

2023年 実習生受入状況

実習内容	実習期間	大学	受入人数
2022年度薬学部5年次長期実務実習 第4期	2022年11月21日～ 2023年2月12日（11週間）	摂南大学 京都薬科大学	1名 1名
2023年度薬学部5年次長期実務実習 第2期	2023年5月22日～ 8月6日（11週間）	京都薬科大学 摂南大学	1名 1名
2023年度薬学部5年次長期実務実習 第3期	2023年8月21日～ 11月5日（11週間）	大阪医科薬科大学 神戸薬科大学	1名 1名
2023年度薬学部5年次長期実務実習 第4期	2023年11月20日～ 2024年2月11日（11週間）	大阪医科薬科大学	2名
2023年度薬学部1年次早期体験実習	2023年10月17日・10月31日 （各2時間）	摂南大学	5名 4名

栄養管理室

スタッフ

栄養部長 中河いよう (小児科部長)
 副栄養管理室長 東 由里 (管理栄養士)
 主任管理栄養士 坂東由香
 管理栄養士 上野綾香 尾上結香 須永 愛 (~令和5年3月)
 小村優衣 (~令和5年3月) 安岡明希 (令和5年4月~8月)

認定資格

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士 1名
 日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士 3名
 日本病態栄養学会栄養サポートチームコーディネーター 1名
 日本病態栄養学会病態栄養認定管理栄養士 2名
 日本人間ドック学会人間ドック健康情報管理指導士 1名
 がん病態栄養専門管理栄養士 1名

施設認定

日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設 (平成19年度より)
 日本病態栄養学会認定NST研修施設 (平成21年度より)

令和5年 患者給食食数状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般食	16,362	15,752	17,147	16,532	14,287	14,437	15,540	16,156	15,497	16,534	15,728	15,567	189,539	15,795
特別食	13,551	11,704	12,628	11,452	10,910	11,332	10,899	11,082	11,686	11,163	9,570	10,695	136,672	11,389
院内保育・病児食	66	77	86	59	65	87	74	91	72	73	91	161	1,002	84
検食・予備食	207	198	225	210	213	222	213	225	210	219	210	213	2,565	214

令和5年 栄養指導など実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
個人栄養指導	128	136	169	115	135	113	102	107	104	87	96	116	1,408	117
集団栄養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N S T 回診	227	217	282	226	121	200	193	194	243	180	148	209	2,440	203
褥瘡回診	62	55	52	32	40	32	28	40	39	28	16	32	456	38
健診ドック	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4	0

栄養管理室活動状況

NST活動	毎週木曜日・金曜日の病棟ラウンドと月1回の勉強会
	6月：「令和4年次NST回診実績報告」
がんサポートチーム活動	毎週月曜日の病棟ラウンドと月1回の報告会及び勉強会
褥瘡チーム活動	毎週火曜日の病棟ラウンドと月1回の合同カンファレンス
認知症ケアチーム活動	毎週水曜日の病棟ラウンド
回復期リハビリテーション病棟の活動	毎週月曜日（新1病棟）・毎週金曜日（4西病棟）のカンファレンス
日本病態栄養学会NST研修受け入れ	NST研修40時間受け入れ
調理師のスキルアップ	1月・5月・7月・9月・11月：衛生管理講習会実施
関係諸団体への活動支援	枚方市医療機関給食の「非常時における協定書」（8月）
	指定難病患者への栄養に関する相談（11月）
地域住民への栄養セミナー	6月：「フレイル予防」セミナー
	11月：「フレイル」まちかどラーニング 高齢者の栄養摂取～何が大切か～

令和5年次 実習生受入状況

No	実習内容	実習期間	大学	受入人数
1	臨床栄養学実習C	2週間（令和5年2月7日～17日）	大阪樟蔭女子大学	3
2	臨床栄養実習Ⅱ	2週間（令和5年3月6日～17日）	摂南大学	2
3	臨地実習Ⅰ	1週間（令和5年3月27日～31日）	畿央大学	2
4	臨床栄養実習Ⅱ	3週間（令和5年5月8日～26日）	武庫川女子大学	2
5		3週間（令和5年6月5日～23日）		2
6	臨床栄養実習Ⅱ	2週間（令和5年8月7日～18日）	帝塚山大学	2
7	臨地実習Ⅰ・Ⅱ	2週間（令和5年9月4日～15日）	京都華頂大学	2
8	臨地実習Ⅲ・Ⅳ	1週間（令和5年9月18日～22日）	畿央大学	2
9		3週間（令和5年9月25日～10月13日）		2
10	臨床栄養実習Ⅱ	2週間（令和5年10月16日～27日）	武庫川女子大学	2
11	臨床栄養実習Ⅱ	1週間（令和5年10月30日～11月3日）	帝塚山大学	3
12	臨地実習AC	2週間（令和5年11月6日～17日）	相愛大学	2
13	臨床栄養実習Ⅱ	1週間（令和5年11月20日～24日）	帝塚山大学	3
14		1週間（令和5年11月27日～12月1日）		2
15	臨地実習Ⅰ・Ⅱ	3週間（令和5年12月4日～22日）	関西福祉科学大学	2
合 計				33

臨床工学部

スタッフ

臨床工学部長 奥田 真也 (副院長・医療機器安全管理責任者)

主任臨床工学技士 1名 (医療機器管理者)

他 臨床工学技士 7名

医療機器管理室 実績

機器保有台数

機種	台数
人工呼吸器	12
除細動器 (AED機能付含む)	9
AED	11
輸液ポンプ	127
シリンジポンプ	80
小型シリンジポンプ	8
フットポンプ (間欠の空気圧迫法)	66
超音波ネブライザー	14
メッシュ式ネブライザー	32
セントラルモニタ	23
ベッドサイドモニタ	85
送信機	129
パルスオキシメーター	283
低圧持続吸引器	2
コンプレッサー	1
ME機器点検機器	12

医療機器年間稼働率

機種	稼働率
人工呼吸器	1.9
NPPV	0.43
HFNC	0.43
Airvo2	0.7
輸液ポンプ	86.3
シリンジポンプ	49.7
フットポンプ	49.2
ネブライザー	59.8

人工呼吸器関連 導入件数

機種	件数
人工呼吸器	30
NPPV	24
HFNC	19
Airvo2 (小児HFNC)	35

定期点検及び修理件数

機種	件数
人工呼吸器	12
除細動器 (AED機能付含む)	18
AED	22
輸液ポンプ	254
シリンジポンプ	160
小型シリンジポンプ	16
セントラルモニタ	23
ベッドサイドモニタ	85
その他 院内ME点検	49
その他 院外メーカー点検	88

診療支援ME室 実績

透析室件数

外来透析	795
入院透析	561
online HDF	306
アフエレーシス	0
CART	1

アンギオ室件数

アブレーション	119
CAG	33
PCI	40
EVT	9
IABP	1
PCPS	0

手術室件数

経尿道的内視鏡手術（介助）	203
術中自己血回収術	101
術中神経モニタリング	22
ナビゲーション（耳鼻科・脳外科）	21
スコープオペレーター（スコピスト）	51

主催講習会

- ・ 5月23日（火）16時00分～17時00分
院内急変対策委員会 PUSH講習会 会議室C 参加者：19名
- ・ 5月24日（水）9時00分～12時00分
新人看護師ME機器実技講習会 会議室AB 会議室C 参加者：30名
- ・ 5月9日（火）／12日（金）／16日（火）／19日（金）
医療ガス安全管理委員会 医療ガス研修 会議室B 参加者：151名
- ・ 9月1日（金）8時00分～8時30分
救急カンファ除細動器 新会議室B 参加者：9名
- ・ 9月7日（木）15時15分～16時45分
医療機器管理委員会人工呼吸器ハンズオン 新会議室A 参加者：8名
- ・ 10月19日（木）16時00分～17時00分
院内急変対策委員会PUSH講習会 新会議室A 参加者：14名
- ・ 12月7日（木）15時15分～16時45分
医療機器管理委員会除細動器ハンズオン 相談指導室 参加者：13名
- ・ 12月15日（金）8時00分～8時30分
救急カンファNPPV 新会議室B 参加者：19名

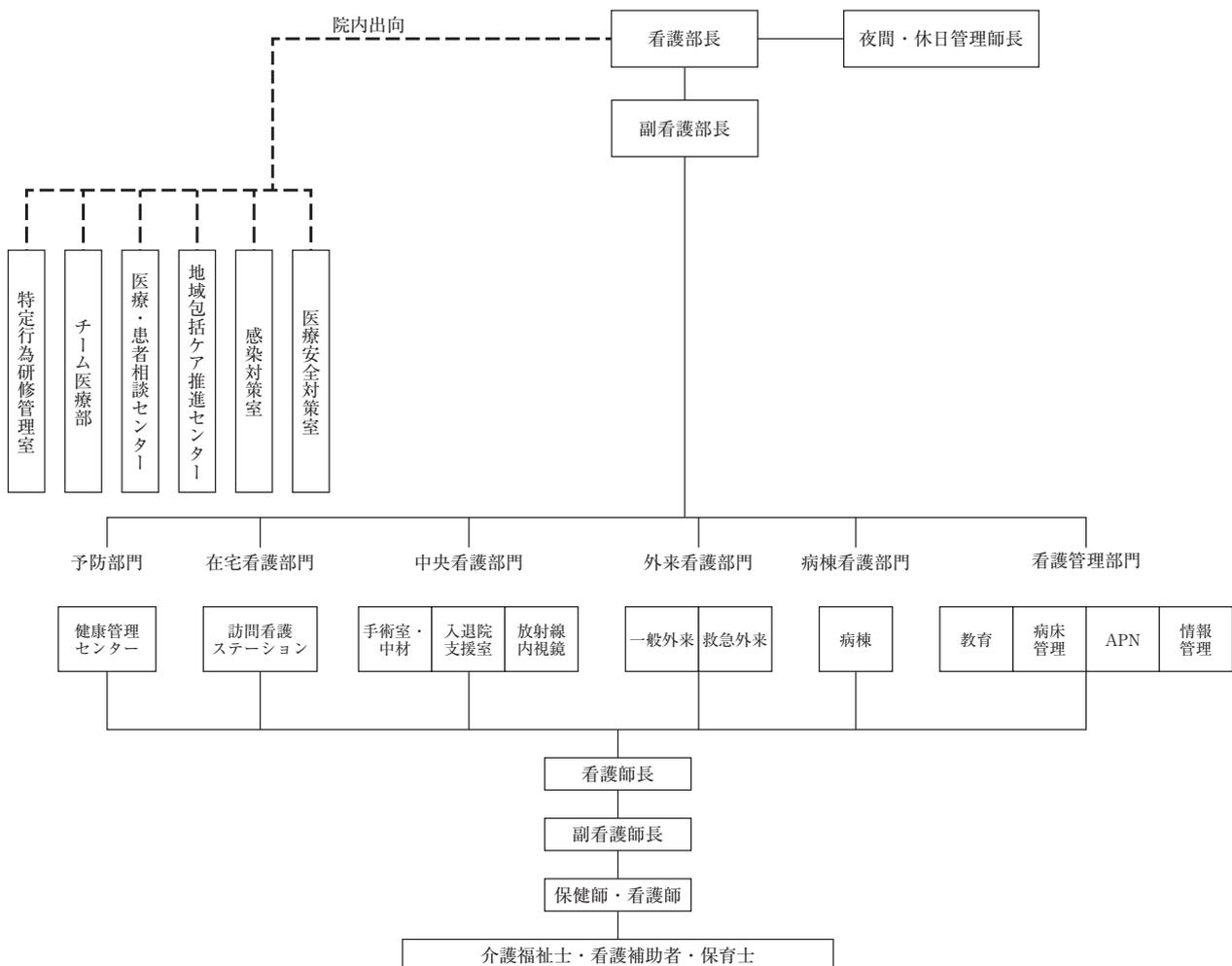
看護部

スタッフ

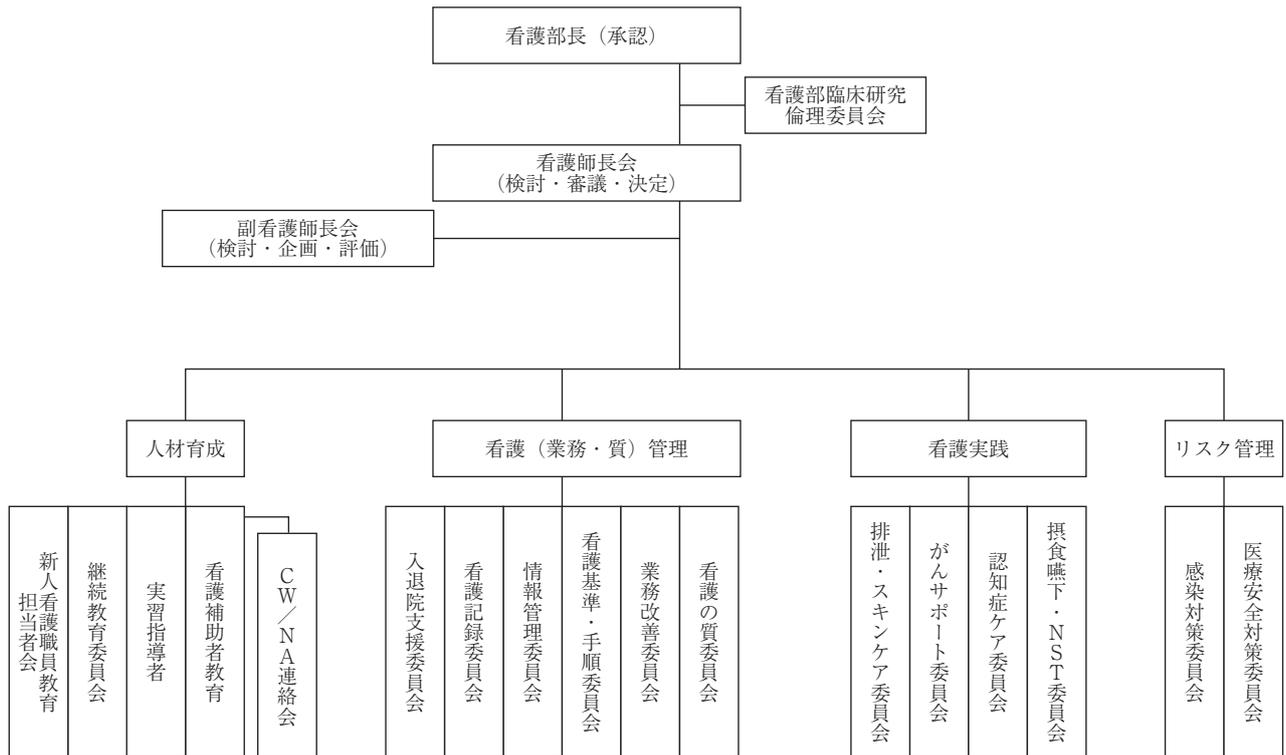
看護部長	1名
副看護部長	2名
看護師長	20名
副看護師長	33名
看護師	314名（保健師含む）
看護補助者	58名
保育士	2名

看護部運営体制

組織図



機能図



看護部理念

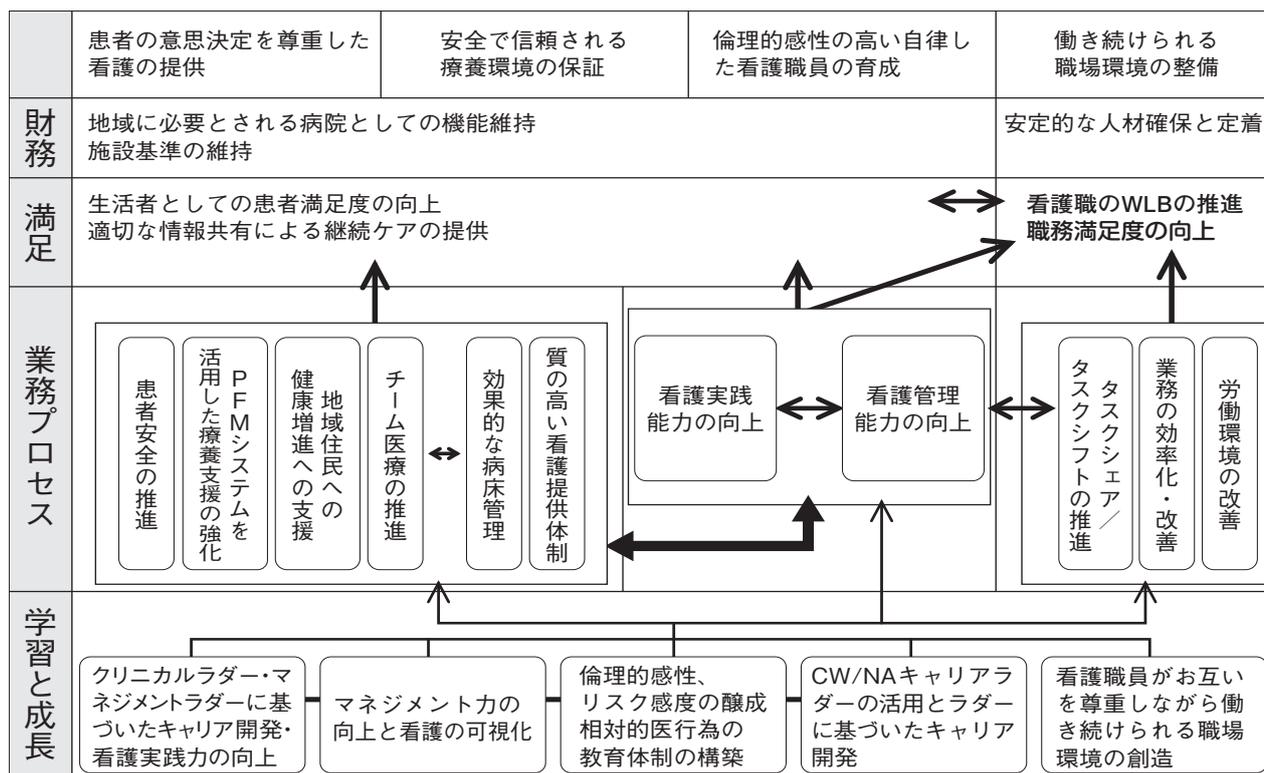
「心と心がふれあう看護」を目指します

- ①患者さんが安心して療養できる看護を行います
- ②患者さんの生命・人格・人権を尊重した看護を行います
- ③地域住民の健康を支える看護を行います

看護部基本姿勢

- ①高い実践能力・判断力・倫理観で安全で満足度の高いあたたかい看護を提供するために最善を尽くす
- ②生活者としての患者さんの意思決定を支援する
- ③社会の変化に柔軟に対応しチーム医療、多職種・多機関連携により地域包括ケアを推進する
- ④看護職として成長し続けられる教育・キャリア支援を行う
- ⑤お互いを尊重し支援しあい働き続けられる職場づくりに取り組む

2023年度 看護部戦略マップ



看護部の目標と取り組み

1 倫理的感性の高い自律した看護職員を育成する

日本の社会、看護を取り巻く状況は大きく変化し、多様化する国民のニーズに応じていくためにも、看護職一人ひとりが資質を向上し専門性を発揮していく必要がある。高度な専門知識と技能、そして自信と誇りをもってケアができる看護師の育成には、看護管理者が地域包括ケアシステムにおける地域の実状や将来を見据えたリーダーシップの発揮が重要と考える。令和5年度「学習する看護管理者から学習する看護部組織へ」を目的にそれぞれの看護管理者が備え持つ看護管理実践力（経験値や思考）を補完しあい、管理課題に看護師長チーム、マネジメントラダーを活用し取り組んだ。病床管理や人事労務管理等、看護管理上の悩みをチームで検討、自身の傾向を認識し効果的な病床管理や応援体制、副看護師長の代行・補佐力の向上につながる事ができた。また、管理上の戸惑いや悩みの共有、求められる管理能力について理解し、個々の内在する管理課題を見つめ直す良い機会となった。副看護師長会では難渋する患者・家族対応についてグループリフレクションを通して類似体験し経験値として組織管理、連携・協働能力の向上につながる学びとなった。

特定行為研修修了者は13区分12名となり、NSTチームの帯同、RRT業務の活動を行った。令和5年度には院内組織図に「特定行為管理室」が設置され、医師、薬剤師など多職種で取り組む体制が確立した。組織機能高める機会であり高度な看護実践力の向上につなげたい。

院内研究11演題、NI（ナースィング・インディケーター）を用いた認定看護師の活動報告、そして新たに看護管理者の実践報告会も実施した。ナースィングスキルの視聴により多くの職員に実践成果を発信することができた。看護補助者（CW/NA）のキャリア開発・看護実践能力においては、完成したキャリアラダー、「看護補助者・介護福祉士継続教育マニュアル」を活用しラダー認定にすることができた。看護チームの一員である看護補助者と連携・協働を図り患者・家族のニーズに対応できる看護ケアの提供について、副看護師長を中心に取り組んできたが、マニュアルやラダー制度の仕組みが整備されたことを受け、次年度は看護部継続教育のなかで体系的に取り組み、育成支援を強化していくこととする。

2 働き続けられる職場環境を整備する

長引く新型コロナウイルス対応は、令和5年5月8日感染症分類2類から5類に移行し、院内の対応も平時の医療体制で対応することが求められ、10月18日新型コロナウイルス専用病棟を閉鎖した。約3年半にわたる対応となったが職員の理解・協力により、体制維持ができた。また、電子カルテシステム更新では、患者情報の一元化を目的に患者プロフィールの活用促進に注力し、看護師長、副看護師長の電子カルテWGが中心となり柔軟に対応した。入退院ナビ機能など更なるDX推進につながる基盤作りができたと評価する。次年度以降、看護の質と業務の効率化を両輪ですすめ、効率的かつ質の高い看護の提供につなげたい。

看護チームの一員である看護補助者、介護福祉士との連携・協働に向けては、「看護補助者・介護福祉士継続教育マニュアル」の完成・活用促進に取り組んだ。現場力を維持するうえで人材確保は重要であり、周辺業務を担当する雇用を開始したことで、職員間の業務範囲、役割が明確になり協働力が高まりつつある。また、看護補助者・介護福祉士のキャリアラダーの完成は、個々のラダーを理解・認識することにつながり、看護チームの一員として患者ケアに対する役割意識が向上できたと評価する。夜間における転倒転落件数は3割減であり、看護補助者・介護福祉士との協働は、高齢者における安全な環境提供につながった。

また、早期警告スコア（NEWS）入力は95%以上維持でき、院内迅速対応システム（RRS）の介入増により、CPR件数は前年度より半減につながった。複合疾患を有する高齢者看護においては、臨床推論力は重篤回避につながる。今後も看護実践力の向上、より質の高い看護の提供ができるよう積極的にRRT活動を行っていく。

新採用者への対応は、感染症分類5類移行とともに通常体制に戻ったが、看護実践への不安・健康上の理由で3名が離職となった。第三者的存在である教育担当者の面談の実施は、自身の思いを素直に打ち明ける場となり、就業継続の不安を回避できた新人の支援体制としても有効的であった。職務満足度の結果は、「管理と看護業務のギャップを感じている」評価もあり、病院・看護部の方針を周知し職場環境の課題解決につなげていくことが急務と考える。離職率は新卒看護師7.0%、看護職8.9%、看護補助者13.2%であった。

3 患者の意思決定を尊重した満足度の高い看護を提供する

外来受診時より「その人らしく生きる」ための患者の権利と意思決定を支える体制として、外来看護師、医療福祉相談員が中心となり「在宅療養支援フロー」を作成・活用し、必要な患者に対し外来から支援する体制を構築した。入院時支援としては、PFMシステムの活用・促進に取り組み、予定入院だけでなく緊急入院にも対応にもできるよう業務調整を行った。高齢者は疾患を有したまま在宅で過ごすことが多いため、患者が何を求めているのかを理解し、生活上の不安をとらえる能力を持ち合わせた関わりが求められる。その取り組み効果として、2023年度のJCHO満足度調査の療養支援に係る項目である「療養生活における不安の軽減や問題解決」の指標は前年を上回る結果となった。引き続きPFMシステムを軸に多職種連携、カンファレンス、倫理的感性の醸成、記録の質向上に取り組んでいく。

4 病院建て替えに向けた健全経営に看護職員が貢献する

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症は感染症分類2類から5類に移行され、コロナ専用病棟は10月18日閉鎖となり、令和2年4月から始動した新型コロナウイルス感染症対応は平時の診療体制で取り組んだ。ウイズコロナ・ポストコロナ対応につなげるべく効率的・効果的な病床管理をするため、7月HCUを4床から6床へ、3月には急性期・回復期病棟の再編（回復期病棟の個室数増等）を実施した。ベッドコントロール、病棟師長を中心に各部署の診療機能、状況を的確に判断し効率的・効果的な病床運営に柔軟に対応できた。次年度は新たに病床管理システムを導入予定であり、未来の病床状況、入退院数の推移が可視化できる機能を最大限活用し、医師、看護師、コメディカル等他職種とタイムリーにベッドコントロールができるよう運用方法の検討・活用に取り組んでいく。

看護で対応可能な加算取得では、「加算・医学管理料特化型ツールシステム」により、当院の傾向が可視化され課題抽出は容易となり適切な算定につながった。令和6年の診療報酬改定に向け、医事課含む他職種、

認定看護師等を中心に検討し、看護の質に関する成果を上げていきたい。

看護活動

1 看護体制

部署	看護体制	看護方式	勤務体制
一般病棟	入院基本料1	固定チームナーシング + 継続受け持ち型	変則2交替
	急性期看護補助体制加算25：1		
	夜間看護職員12：1配置加算		
特定入院算定病棟	夜間100対1急性期看護補助体制加算	受け持ち看護方式	変則2交替
	回復期リハビリテーション病棟入院料1		
	地域包括ケア病棟入院料2		
	小児入院医療管理料3		
	緩和ケア病棟入院料1		
外来・救急外来 検査部門 手術室	ハイケアユニット入院医療管理料1	受け持ち看護方式	早出・日勤・遅出+待機
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料		

2 看護部委員会活動2023

委員会名	目標	活動内容
看護継続教育委員会	①看護実践能力（3.25以上）の習得を支援する。 ②人材育成に必要な能力の習得を支援する。自己教育3.0以上 ③看護研究活動を支援する。	①ラダーⅠでは、事例をもとに、関連図より全体像を把握し、看護過程を展開するプロセスを研修で行った。ラダーⅡ以上のリーダーシップ研修では、高齢者や認知症患者の意思決定支援や退院支援に関する症例を用いた研修を実施し、意思決定プロセスを理解し支援すること多職種連携の必要性について理解を深められた。また、研修後のOJT計画を各部署立案し実施に取り組んだ。 ②指導対象を捉える3つの視点について講義およびグループワークで指導場面についてリフレクションを実施した。次年度は、具体的な指導方法を中心に研修を行い実践に活かせる内容としていく。 ③全部署看護研究に取り組めるよう、研究メンバーを対象研修を行った。また、看護研究メンバーを支援できるようにラダーⅢ以上および師長・副師長を対象にした研修を実施した。
新人看護職員教育委員会	①新人30名の離職率 5%以下 ②基礎技術習得80%以上	①メンタルサポートの集合研修を4月・9月・1月に実施した。また2回/年の個人面談より改善が必要であると思われる指導体制や個々のメンタルフォローについては、委員会および各部署所属長へフィードバックし対策を検討し実施できた。 ②看護技術集合研修および6週間のローテーション研修、各部署のOJTの実施により80%以上の基礎看護技術習得ができた。
実習指導者会	①臨地実習指導者要綱を理解し、担当教員と協働・連携しながら実習目標達成のための調整や関わりとその評価ができる ②各施設の実習要綱に基づきより効果的な実習指導体制を構築する。	①実習調整会議を各学校と行い、担当教員と共に、実習要綱、目的・目標の共有および学生のレディネスについて共有し、指導の留意点や各学校のねらいを理解し、対象患者の選択や各部署指導計画の立案に活かせるよう取り組んだ。 ②実習指導者を対象に、「学生の意見や思考を引き出すための指導」についての研修を実施した。研修で得た知識および指導方法を取り入れた実践報告を実施し共有を行った。各部署「発問」や「思考発話法」などの指導方法を用いて、学生の意見や思考を引き出し、学生がどのように変化したかを報告できており効果的な指導へ繋がった。
CW/NA教育委員会	CW/NAが看護チーム内で能力発揮できるように、役割と責任の明確化に基づく実践能力の向上を目指した教育体制を構築する 目標値：①キャリア開発プログラムの活用による課題抽出 ②看護補助者満足度調査結果：総合評価7以上	①看護補助者/介護福祉士のキャリアラダー、業務手順兼技術チェックリスト、指示書の作成し、「看護補助者/介護福祉士継続教育マニュアル」を完成させた。期末に技術到達度評価とキャリアラダーの評価を実施し、キャリアラダーの認定を行った。基本姿勢の中の倫理や、組織的役割遂行能力の役割業務が低い結果となっていた。次年度は看護部の方針を伝え、倫理やリーダーシップ、メンバーシップなどの研修を組み入れることで、組織力の向上を目指す。 ②満足度調査の結果は総合評価5で目標値の達成はできなかった。看護師やセラピストとの連携ができた時、患者やスタッフに感謝された時など、チームの一員として認められた時に仕事に対するやりがいを感じるという結果があった。実際の直接ケアにつながる研修(摂食嚥下、認知症、トランスファー)の希望が多かった。キャリアラダーに合わせた研修体制を組む必要がある。

委員会名	目標	活動内容
CW/NA連絡会	CW/NAとしての役割と責任のなかで、部署における業務課題を明確にし、看護チームとして看護師と協働するうえでの問題点を検討する。部署内の課題や問題を抽出し、情報共有のもと解決に向けて検討する 目標値：問題の解決100%	キャリア開発プログラムの説明と今後の取り組みについて、連絡会で説明し、CW/NAの意見を聞きながら計画を進めた。指示書や技術到達度評価表・技術チェックリストに、CW/NAの自らの役割と責任の範囲を理解し、看護師の指示のもと安全に業務を実施することがわかるように作成した。部署の問題解決はBOXシートの変更など、その都度意見を聞きながら実施した。CW/NAの広報活動に向けての媒体を作成した。次年度よりホームページやハローワークなどで活用していく。
医療安全対策委員会	①転倒転落による3b以上の有害事象発生件数低減 →4件 転倒転落発生率の低減（インシデントレベル2以上）101件 ②薬剤インシデントの発生低減 薬剤インシデントレベル1以上 →181件（投薬忘れ62件） ③患者誤認インシデント発生件数の低減 →インシデント2件、書類誤認5件 ④医療安全文化向上をはかり、心理的安全性の担保をはかる。 職員意識調査→未調査	①転倒転落3b以上は4件、自立している高齢患者の転倒であり、回復過程の高齢者の行動を把握、対策が必要であった。WGでは、転倒転落パンフレットの活用状況、リハビリと協働して転倒転落パンフレットを再編した。パンフレットの活用まで至らなかった。次年度活用を計画する。 ②薬剤インシデントは、内服の投与忘れが多く、看護師、患者それぞれの起因を分析し内服の自己管理手順を再確認をした。看護師は、患者に薬の説明をしていない、内服の確認不足があり、患者は、飲み忘れ、重複服用が挙げられた。また、医療安全マニュアルに記載されているフローの認知が十分でないことがわかった。フローの見直し活用していく。 ③誤認分析は、『確認不足』が要因であった。次いで、『思い込み』『不慣れ』『人員不足』『焦り』『知識不足』の順であった。『確認不足』が起る誘因を検討し、リーフレットの作成を行った。今年度は活用まで至らず次年度の課題とする。 ④院内の医療安全研修やチームステップ研修への参加を勧め、他者理解、協働する機会としている。対話が促進され、心理的安全性につながる。
業務改善委員会	①医療・看護の質向上に向け、他職種連携による業務改善が推進される。 業務量調査 薬剤業務 35分以下 薬剤の準備段階でのインシデント 対2022年度 10%減 ②業務改善により職員満足度が改善する 指標：職務満足度 業務：2.26以上	委員会での主な前期活動は、① 業務改善活動（TQM）と、② 業務量調査とした。 ①1）病棟部門、2）外来部門でTQM活動のフローに則り活動した。定期的なヒアリングを経て、録画での発表に至った。主に、電子カルテの更新があったため、結果および定着化に向けた活動、報告予定である。 ②日勤の業務量調査の結果、分析では、補助者とのタスクシフトシェアについて、看護師がタスクシフトすべきと考え実施している項目は看護師割合が多く、安全が確保できる内容は補助者へとタスクシフトされていることがみえてきた。また、今年度は補助者業務マニュアル、指示書が整備され、ラダー評価、技術チェックも始まるため、次年度はどのように変化していくか追跡する。職務満足度調査結果からは、記録、事務作業に関する満足度が1.19と低く、電子カルテ更新による効率化に期待する。
情報管理委員会	①質の高い医療の提供と適正な期間での退院に向けクリニカルパスの期間およびアウトカムの見直しを行う（クリニカルパス稼働率62%） ②重症度、医療・看護必要度の精度を高める（必要度28%維持） ③継続看護に活かすことができ、かつ効率的な記録方法を検討し電子カルテシステム内での運用ができる（看護師が使用する電子カルテシステムの整備）	①上位疾患に該当するクリニカルパスの作成に取り組んだ。クリニカルパス利用率は全体で63.2%であり目標値は達成している。整形外科・外科・泌尿器科・眼科・循環器科・小児科・糖尿病内科においては70%を超える利用率である。 ②急性期病棟必要度は33.8%であった。重症度、医療・看護必要度の正しい知識を持ち評価できるように全職員対象研修を企画し実施した。また、必要度A項目監査を2回実施し分析結果から、コスト漏れ項目を抽出し、各部署で改善に取り組んだ ③パンフレット作成マニュアル・手順を作成している。また現在あるパンフレットの点検・修正を進めている。
看護記録委員会	①質的監査「基礎情報」「看護計画」「倫理的配慮その他」：1.39以上 ②質的監査「実施・評価」（6～17）：1.35以上	①第2回目の質的監査において、ほとんどの項目において1回目監査と比較しポイント数が上昇した結果となった。看護部目標値に対し、2回目監査は、「基礎情報」「看護計画」「倫理的配慮その他」は、1.65、「実施・評価」において1.49であり目標を達成した。 ②フォーカスチャーターリングに関する基礎知識が向上し正しい記録を実践することを目的に、ナーシングスキルを活用した記録研修を企画実施評価した。 ③電子カルテ更新に向けて、師長会副師長会のWGや基準手順委員会と連携しメディスを活用した新たな標準看護計画書を作成した。
看護の質委員会	①委員が自部署のNIのデータを評価し、質改善の課題に取り組み課題を明確化する ②自部署の看護サービスの課題について抽出でき、「日常ケアの40のポイント」を活用し日々の看護の質向上につとめる ③退院時アンケートを分析し、患者のニーズを捉え看護の質向上に努める	①今年度、NIの取り組みを始めて実施し、NIを理解することから開始した。各部署でNIの項目について設定し、値を評価したが、介入方法の検討までは至っていない。 ②前年度から取り組んでいた日常ケアのポイント40をナビゲーションマップにあげることができスタッフに周知ができるようになった。身だしなみチェックは年1回へ評価が変更となったが毎月委員が各病棟でスタッフの定期的に働きかけており身だしなみに対する意識は継続できたと考える。 ③退院時アンケート 前年度よりも回収率は上昇している。各項目とも前年度を上回っているが、コメントについて看護師の対応や、面会時間についての意見がみられた。次年度は接遇面での研修など検討を行う。

委員会名	目 標	活 動 内 容
看護基準・手順委員会	<p>①看護基準(今日の臨床サポート)、手順(ナーシングスキル)の更新された内容の周知 看護基準:358疾患採用 看護計画立案153 看護手順:2023年4月現在412項目中182項目採用</p> <p>②看護基準(今日の臨床サポート)、手順(ナーシングスキル)の新規採用の検討</p> <p>③看護手順(ナーシングスキル)以外の院内独自の手順の選定、内容検討及び電子化への移行</p>	<p>①看護基準(今日の臨床サポート)について標準看護計画立案が未作成の物が7疾患あり、記録委員会への提示を行い、看護計画の立案を行った。</p> <p>②看護手順(ナーシングスキル)について定期更新に伴い、更新作業を行った。また新規採用として15項目追加を行ったため、197項目の内容を看護手順として採用となった。</p> <p>③エルゼビア社の手順にない院内独自の手順の中でマニュアル化しておいた方がよいものとして、小児科点滴固定方法、PICCの固定、直達牽引の組み立て方など可視化した手順の作成を行った。 入室手順の点検及び新規作成として、泌尿器科、エコー室の入室手順を追加した。</p>
入退院支援委員会	<p>①退院調整が適時適切に実践できる</p> <p>②多部門が連携し患者家族の望む退院後の生活を支援できる。</p>	<p>①毎月、担当部署を決め、入退院支援の形式、質について事例を用いて監査を行った。監査を行うことは昨年度からで、監査を行うことで入退院支援に求められる実践を理解する段階であることがわかった。電子カルテ更新に伴い入退院支援の形式が変わるため、次年度も監査を実施し、入退院支援看護実践力の向上を目指す。</p> <p>②新卒者、2年目看護師、キャリアラダーⅡ以上の中堅看護師に対し研修を行った。地域包括ケアシステムを活用した地域連携、ACP支援の看護について、概要から具体的実践行動について学び合った。退院時アンケート結果では、患者の意向確認や退院後の療養指導など、昨年を上回る評価結果を得た。変動する社会状況を理解し、多様な価値観を持つ患者の退院支援のため、次年度も研修を行う必要であると考える。</p>
感染対策リンクナース委員会	<p>①自部署の手指衛生の遵守率及び手指消毒剤の使用量を把握、分析し、上昇に向けた対策の立案と実施、評価ができる。(遵守率:70% 手指消毒剤使用量:13ml/日/患者(看護部全体))</p> <p>②自部署の耐性菌検出患者に対し、適切な感染経路予防策が実践できる。</p> <p>③院内感染対策マニュアルに基づいて、部署の特徴や患者の状態に応じた感染対策が提案でき、他職種で協同して適切な感染対策が実践することができる。</p>	<p>①病棟での手指消毒剤の目標使用量13mlに対して11.33であり目標値に達しなかった。年間で目標達成した部署は6階、第2、HCUであった。しかし前期の病棟全体が10.75mlに対して後期は12.21まで上昇しており、3西、4西、5階、6階、第2、HCUと目標達成できている部署が増加した。看護部の直接観察による遵守率は患者に触れる前後で76%の遵守できている。各部署でのリンクナースの取り組みによる成果だと考える。</p> <p>②耐性菌検出患者に対しての感染対策の実践については、耐性菌拡散リスク表に則ったICTラウンドを月曜日に実施し、対策の遵守状況を確認している。まだラウンド自体が浸透している状況ではないが、少しずつ病棟スタッフと協議できる環境が整ってきていると考える。今後リンクナースを交えたラウンドが実践できれば、より実践的な指導ができるようになっていくと考える。</p> <p>③他職種協働に関しては、7月より診療部門以外のスタッフがリンクスタッフとしてリンクナース会に参加するようになった。初年度はあまり活動のイメージがつかなかった面もあったと考えるが、各部署の課題を明確にするなどの一定の効果を認めたと考える。活動内容として、リハビリはリンクスタッフとコロナクラスター対応を一緒に考える機会が増えたり、ディスカッションできる場面が増えた。検査部門とは耐性菌報告システムについての意見交換ができた。今後も多職種で感染対策が推進できるように取り組みを強化していく必要がある。</p>
認知症ケアリンクナース委員会	<p>①せん妄ハイリスク患者ケア加算に係わるチェックリスト・標準看護計画を活用し、せん妄、BPSD予防・緩和ケアが実践できる(指標:「せん妄状態のチェック」の実施率100%、看護計画立案80%、せん妄の記録100%、入院4日目までのチーム介入依頼90%、チーム介入中の患者の身体的拘束49.7%以下)</p> <p>②認知症ケアマニュアルの見直し</p>	<p>①せん妄状態のチェック、せん妄の看護計画立案、せん妄ラベルでの記録の3項目の向上をめざして取り組んだ。加算算定について、リンクナース会で加算対象者の周知を行った。リンクナース会から部署への働きかけもあり、今年度の加算算定は90%台を維持できるようになった。チェックリストの記載方法や評価するタイミングについての意見が多くあったため、チェックリストの形式の一部変更と評価日の標準化(基準)の検討を行った。せん妄ケアに関する定点調査を6月・8月・12月の3回実施し、その都度、部署での取り組みや課題について確認・情報共有を行った。</p> <p>②認知症ケアマニュアルについては、認知症ケアリンクナース会で見直しが見直しができた</p>
がん・心不全サポートリンクナース会	<p>①生活のしやすさのスクリーニングの初期評価予定入院100%、チーム介入の再評価(昨年評価なし)が100%できる。</p> <p>②心不全スクリーニングができ、介入依頼の選別ができる。</p> <p>③緩和ケアマニュアル見直し</p> <p>④患者、家族の意向の確認や意思決定支援の場面に立ち会う体験ができる。</p>	<p>①予定入院に対し64%の実施率。リンクナース会で現状把握をおこない、各部署で周知できるようにリンクナース会がアンケートをとったり、勉強会の企画をおこなった。また、シャドー研修においてもスクリーニングの実際をみてもらった。後半にかけて80%以上実施できていた。スクリーニング再評価はほとんどできていないため、次年度の課題とした。</p> <p>②心不全の介入方法について、依頼方法の周知をおこなった。それぞれの部署よりスクリーニングの提出方法が違っていたり問題点を明確にし、統一して実施できるように見直した。2月よりスクリーニング記録方法変更となり、次年度に評価をおこなう。</p> <p>③緩和ケアマニュアルを1月に見直しをおこない、3月の緩和ケア委員会で認証した。</p> <p>④シャドー研修は9名全員参加。意思決定の場面の体験として、シャドー研修のなかで告知場面の同席をおこなった。病状説明同席を体験し、患者、家族の思いを考えると研修後の感想があった。</p>

委員会名	目 標	活 動 内 容
摂食嚥下・NSTリンクナース会	<p>誤嚥性肺炎患者の低減を図り、経口摂取移行率の改善ができる。</p> <p>①誤嚥性肺炎の発症率の低減（昨年度0.85%）1.0%以下</p> <p>②経鼻栄養患者の経口摂取移行率の向上（30.3%）35%以上</p> <p>③嚥下チーム介入率（昨年20件）20件以上</p> <p>④摂食機能療法リブラ（昨年度86.4%）90%以上</p>	<p>①誤嚥性肺炎の発症率は、0.7%であり、目標は達成できた。不顕性誤嚥15件（0.35%）、食形態10件（0.23%）、嘔吐4件（0.09%）、その他1件（0.02%）であった。食事形態による誤嚥性肺炎は、昨年度は20件であり、半減している。これは摂食嚥下支援チームによる嚥下内視鏡の実施件数が増加していることも影響している。また、嘔吐による誤嚥も昨年度8件であったところが4件と減少している。嚥下リンクナース会で、注入食の患者の投与時間の設定や、安定した時間での提供のためのポンプの使用など、要因分析し、各部署で取り組むことができた。</p> <p>②経口摂取移行率は、29%であり目標達成には至らなかった。55件の患者のうち16件が移行できた。昨年度よりやや減少している。ただし、部署によっては、嚥下機能の向上のため包括的に看護ケアができており、看護実践力は向上している。しかし、重度の嚥下障害の患者や意識障害の患者も多いこともあり、目標値には至っていない。</p> <p>③摂食嚥下支援チームの介入は、58件/年あり目標達成はできている。昨年度嚥下支援チーム介入フローを作成し、5月に再度コンサルテーションの方法をリンクナース会で周知した。これにより、各部署からのコンサルテーションは安定している。</p> <p>④摂食機能療法のリブラの算定率は、92%であり目標値は達成できている。4月より90%以上の維持ができた。医事課との連携もはかることができ、どの部署も取り漏れが大幅に減少している。リンクナースの各部署での活動が安定して取り漏れ防止へとつながっている。</p>
排泄・スキンケアリンクナース会	<p>①部署の褥瘡・MDRPU・スキナーテア発生状況を把握し、発生要因の分析と部署の特徴に応じた対策を検討し周知できる。→指標：褥瘡発生率0.45/年以下、標準看護計画の見直し</p> <p>②倫理的な視点をふまえて排泄に関する問題を他職種とアセスメントし、患者個々に応じた介入ができる→排泄に関するケア検討会で1人1回必ずプレゼンする</p> <p>③新人研修、CW/NA研修の研修アシスタントおよび褥瘡回診の同行を行い、正しい皮膚の観察と予防ケアを学び部署内教育へ活用することができる→1人1回必ず参加、褥瘡回診は1人2回。</p>	<p>①褥瘡発生率0.42（2月末まで）</p> <p>②事例検討の発表担当部署を決め、創傷、排泄ともに発表し、リンク会で検討することができた。事例を選定するにあたり、自部署のリーダーや副師長へ相談しまとめてくるリンクナースもいた。なぜそこが倫理的な問題と考え事例として提示したのか、部署でもリンクナースと一緒に振り返ることで、リンクナースの成長を促すきっかけになると考える。</p> <p>③褥瘡回診への同行は体調不良の1名を除き全員が参加できた。2回参加できたリンクナースは14名中7名。2回参加したリンクナース全員が、実践力の項目が1回目より向上していると自己評価していた。評価用紙を部署と共有したことで、未体験な項目などを経験できるような管理者からの働きかけがあり、実践力向上につながったのではないかと考える。次年度は全員が2回参加し、前後の比較が十分行えるように日程の設定を行いたい。褥瘡回診の同行は皮膚の観察の仕方と、色調変化がある場合の原因分析について直接リンクナースへOJTする場であった。原因分析はチームの多職種でベッドサイドにて検討するため、褥瘡カンファレンスの実際を知る機会となったと考える。昨年度は発生してからの介入であったが、今年度は皮膚の色調変化を確認したらすぐに予防ケアについて介入依頼するケースが増加した。正しい皮膚の観察の仕方を褥瘡回診同行で学べたことも、褥瘡発生率の低減へ寄与したと考える。一方で褥瘡ケアカンファレンスの定着が難しいと感じているリンクナースがほとんどであった。看護師だけで解決しようとするなど、必要な職種を交えてのカンファレンスが実施できていないとリンクナースは回診参加で気づいた。リンクナースだけで課題を解決するのは難しいため、師長副師長とカンファレンスの定着に取り組めるよう協力依頼する。</p>
APNセンター	<p>①地域医療支援病院として地域の医療介護従事者の人材育成に貢献する→指標：ZOOMを用いた研修</p> <p>②チーム医療を推進し質の高い看護を提供する→指標：各分野の質を示すNIを提示し看護成果発表会で発表する</p> <p>③看護部リーダー研修への参画</p>	<p>① [BLS] クリティカル 「運動療法」:糖尿病 「脳卒中発症時の対応」:脳卒中リハビリテーション 「手指衛生」:感染 「本当に大丈夫 その呼吸」:集中ケア 「困りごとについて話し合いませんか」:認知症 「DESIGN-Rにそった褥瘡ケア」:WOC 「HOT導入者への支援」:慢性呼吸器 「がん患者への関わり」:がん分野 「誤嚥性肺炎予防」:摂食嚥下 計10分野の認定看護師が10のテーマについて30分のZOOM研修を実施した。参加者の約8割は訪問看護師、1割は施設所属看護師、1割は介護職種であった。</p> <p>②隔月のセンター会議にてNIについて意見交換を行い提示できた。また各分野ともに取り組んだ活動について看護成果発表会で発表し、ポスター展示を行った。</p> <p>③リーダー研修の企画立案や研修講師として参画した</p>
特定行為研修管理委員会	<p>①特定行為手順書を作成する（今年度修了者のできた行為全て）</p> <p>②特定行為研修修了者が継続的に活動できる場を整備する</p> <p>③特定行為研修受講者の研修に関わる支援を行う</p>	<p>①現在修了している行為については全て手順書を作成し、電子カルテに反映することができたが特定行為の実践は特定されている。</p> <p>②NSTやRRT、褥瘡などのチームへの継続的な参画はできた。定期的なラウンドへの参加やRRTファーストコールのPHS担当などに取り組むなど活動支援の拡大につながった。</p> <p>③今年度の特定行為研修受講者の支援として、統合実習のアドバイザーを行った。修了者が作成したケースをもとに、臨床推論やフィジカルアセスメントに取り組んだ。</p>

3 認定看護師活動

認定看護師分野	人数	活動の概要
集中ケア	2	<ul style="list-style-type: none"> 院内迅速対応システム（Rapid Response System：RRS）の定着にむけて、活動を行った。今年度より特定行為研修修了者をRRTメンバーに加えており、活動の支援を行っている。 他分野の認定看護師とも協働し、病棟ラウンドを行い重篤化リスクの高い患者への早期介入にむけた活動を行った。介入病棟においてOJTやカンファレンス等を行い、ケア内容の共有や観察ポイント等の助言を行った。 ラダーⅡ以上の看護師希望者に、臨床現場において重要な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントできる能力を養うことを目的に、フィジカルイグザミネーション・臨床推論研修を実施した。 人工呼吸器装着中の安全管理や、呼吸ケアが必要な患者に対し、他職種で構成されたRST（呼吸療法サポートチーム）ラウンドを1回/週実施し、ベッドサイドカンファレンスで主治医やスタッフと治療方針を確認しながら、患者に適した呼吸管理となるよう検討している。 地域の訪問看護ステーションからの依頼でBLS研修を実施した。
皮膚・排泄ケア	2	<ul style="list-style-type: none"> 組織横断に活動した。ストーマ外来の運営、外来において褥瘡保有者や排泄に悩みを抱える患者さんへの介入、近隣施設や訪問看護ステーションなどからも褥瘡やストーマケアに関する相談を受け、必要時は同行訪問を実施した。 院内褥瘡発生率低減にむけ、看護部のリンクナース会及び、多職種で構成された褥瘡対策チームと連携し活動を行った。また、看護部ラダー研修及びNA/CW研修において、褥瘡予防ケア研修を担当した。 地域医療介護従事者を対象とした研修では、①褥瘡予防ケア、②膀胱留置カテーテル留置中のケア、③褥瘡予防ケアの事例検討の講師を務めた。患者さんに向けては脊髄損傷患者さん向けの褥瘡予防ケア研修を担当した。創傷管理関連特定行為のNPWTを関連する診療科医師と協力し実施し、患者さんのQOL向上と医師のタスクシフトの一助を担った。
脳卒中リハビリテーション看護	2	<ul style="list-style-type: none"> 「脳卒中相談窓口」を開設し、多職種の脳卒中療養相談士と連携して、当院で入院中または入院歴のある脳卒中患者および家族の困りごとに対する相談の対応を行った。 看護師を対象にフィジカルアセスメント研修を実施、地域看護師や看護補助者等に「脳卒中発症時の対応について」をテーマにZOOM研修を実施した。 排尿チームの一員として週1回の回診を実施し、病棟看護師と共に対象患者の排尿自立に向けた支援を行った 嚥下チームの一員として、嚥下評価を実施しVEの実施に繋げることや、摂食嚥下障害看護認定看護師や多職種と共に患者の食事についての支援を行った。
認知症看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度より身体的症状のため入院となった認知症患者に対して、医師、薬剤師、セラピスト、管理栄養士、臨床心理士などの多職種チームで週2回に分けて回診を行い、病棟スタッフとのカンファレンスを継続している。 地域の看護師・ケアマネジャーを対象にしたZOOM研修に認知症ケアチームメンバーとともに関わった。 認知症看護の対応力向上をめざし、教育的な関わりとして、新人研修、CW・NA研修（3回）に認知症ケアリンクナースにも参加・協力してもらった。 電子カルテ更新に伴い、チーム医療ナビに「認知症ナビ」として入院からの流れがわかりやすいようにスクリーニングやチーム介入依頼、回診記録と一画面の中で行えるように工夫し、システム化できた。 認知症ケアリンクナース会で要因分析しやすいようにせん妄チェック表を見直し・修正を行った。
救急看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 検査治療部門に所属し、救急外来での看護業務を実施した。集中ケア認定看護師やクリティカルケア認定看護師とともに、RRSの定着を中心に活動している。 継続教育研修として、今年度よりフィジカルイグザミネーション・臨床推論の研修を実施し知識や技術の習得と活用を目指した。また、院内のICLSコースやPUSHコースを中心に、救命技術の向上を目的に活動を行った。
感染管理	3	<ul style="list-style-type: none"> 感染管理部の専従看護師として院内の感染対策担当者として従事した。 新型コロナウイルス感染症が2類から5類感染症に移行し、院内における感染対策の実際について、ガイドラインや近隣病院とのディスカッションを行いながら適宜変更した。また、新型コロナウイルス感染症専用病棟の閉鎖に伴い、一般急性期病棟での受け入れ態勢の構築、マニュアル作成した。そのマニュアルを参考に新型コロナウイルス感染症発生時の対応について感染対策リンクスタッフと各部署の師長や副師長で、部署でのデモンストレーションを実施してもらい、受け入れ体制の構築を図った。 院内における耐性菌や医療関連感染のサーベイランスを実践し、感染対策の質向上のために活動を行った。
がん性疼痛看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 当院の附属訪問看護ステーションに在籍し、悪性腫瘍の鎮痛療法及び抗がん剤の有害事象への対応など指示書に基づき計画的に管理し、月1回以上定期的に訪問している。実施件数は延べ52件で、スタッフと同行訪問若しくは訪問看護実施後に今後の支援方法などスタッフへ伝え継続できるように支援した。主治医及び多職種でカンファレンスを行いACP支援を実施し在宅看取りは12件となった。 地域の訪問看護ステーションからの依頼で、疼痛コントロールに難渋したケースに介入し、レスキューの使用方法を本人・家族・訪問看護師へ説明し、主治医と連携しながら継続できるようになった。 大阪府訪問看護ステーション協会からの依頼で、地域の看護師に向けてACP支援実践人材育成研修のファシリテーターを行い、地域で働く看護師の人材育成に協力した。また、地域住民に対して、北河内合同がんサロン・総合相談会で個別相談対応や近隣病院からの依頼で北河内がん専門認定看護師会のメンバーと協同し市民公開講座で「人生会議の進め方」の講師を行った。

認定看護師分野	人数	活動の概要
がん化学療法看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 第2病棟に所属し、年間約1000人の外来化学療法患者の投与管理・副作用マネジメント、治療への意思決定支援・終末期に移行する患者への療養の意思決定支援を行った。また、外来や病棟の化学療法患者への相談や指導も行った。 院内の医療安全マニュアル「抗がん剤の事故防止」の項目について、薬剤師を協力し修正を行った。 院内のスタッフの教育については、1年目には、「化学療法の管理」の研修を実施している。また、「看護師による抗がん剤穿刺」研修を行い、抗がん剤の穿刺ができるスタッフの育成に取り組んでいる。 院外の活動としては、地域看護師を対象にがん領域の認定看護師と共に、がん看護のZOOM研修を実施した。
摂食・嚥下障害看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下リンクナースの支援をしながら、嚥下障害患者の看護の質向上に向けた活動を行った。誤嚥性肺炎の院内発症の低減や、経口摂取移行に向けた取り組みを行った。誤嚥性肺炎の発症率は、0.77%であり目標値は達成している。経口摂取移行に関しては、26%であり、目標値は達成しなかった。重度の嚥下障害患者も多く、経口摂取の確立に至らないケースもあった。また、嚥下チームのコンサルテーションを通して、多職種でサポートできる体制の構築を行った。結果、嚥下内視鏡は60件実施につながっている。 今年度より嚥下外来を耳鼻科とを行い、31件の外来受診があり、地域にも貢献できた。今後は、摂食嚥下リンクナースの実践力の向上に勤め、認定看護師を目指す人材も育成をしていきたい。
がん放射線看護	1	<ul style="list-style-type: none"> がんサポートチーム専従看護師として、チーム活動 新人終末期看護を実施 3年目救急研修内で、放射線防護について講義 リーダー研修、「意思決定支援について」講義 地域看護師向けに、「がんの症状の対応」「ACPのポイント」についてZOOM研修実施
慢性呼吸器疾患看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 自部署のCOPDを併存している患者が急性増悪を繰り返さないよう、セルフケア指導や家族指導を、関連するコメディカルと共に取り組んだ。 地域医療者研修として「HOT利用者のケアについて」として、ZOOM研修を実施した。
糖尿病看護	2	<ul style="list-style-type: none"> 薬物療法（インスリン治療）により退院が難渋する高齢糖尿病患者・家族に対し薬剤調整や注射手技習得指導を行い、患者・家族の思いに寄り添いながら退院支援を行った。 自己管理に課題を抱える外来患者に対して、外来看護師とともに合併症予防のための生活調整など自己管理の確立に向けた継続看護に取り組んだ。 院内のインシデント事案に関して医療安全管理室と協働し、発生状況確認や防止対策の検討・対策の定着化に取り組んだ。 「世界糖尿病デー」に合わせて、当院に通院している患者やその家族・地域の住民に向けて、糖尿病を含めた生活習慣病の発症・合併症進展予防のための啓蒙活動を行った。 地域の看護師・PT・ケアマネ等を対象に「高齢糖尿病患者の運動療法」をテーマにZOOM研修を実施した。
手術看護	1	<ul style="list-style-type: none"> 術後疼痛管理チーム発足2年目となり活動内容の整備、マニュアル作成、プロトコル見直し、加算取得開始、クリニカルパス作成、運用活動を行った。病棟カンファレンスにて疼痛管理評価方法、介入方法の指導を行った。漏れなく疼痛評価を行い対応できるよう、また副作用、有害事象軽減を目指しクリニカルパスをチームと病棟看護師と検討した。3月から運用を開始した。 手術室内アクシデント・インシデント事案に関して医療安全管理室と協働し、発生状況確認や防止対策の検討・対策の定着化に取り組んだ。
クリティカルケア	1	<ul style="list-style-type: none"> 集中ケア・救急看護認定看護師と協働し、RRSの定着にむけ活動した。また、看護師の臨床能力の向上にむけRRT・RSTの活動しにベッドサイドでのOJTを実施した。また、希望者に対し臨床推論の研修もおこなった。急変時対応としてICLSの活動、地域の訪問看護ステーションへのBLS研修なども企画・実施を行った。 院内の災害訓練を行い、災害対応についての講義・演習を実施した。 特定行為として、院内の人工呼吸器管理患者の設定変更やHCU入室患者の人工呼吸器離脱への行為実施を行った。

特定行為区分	人数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	1
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	1
ろう孔管理関連	3
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	1
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	4
創傷管理関連	4
創部ドレーン管理関連	1
動脈血液ガス分析関連	1
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12
感染に係る薬剤投与関連	3
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	3

特 定 行 為 区 分		人数
循環動態に係る薬剤投与関連		2
在宅・慢性期領域		1

2023年度のトピック

	業務関連	看護関連	診療報酬関連
4月	発熱外来運用中止 面会制限緩和（平日13:00~17:15） 嚥下外来開設	特定行為研修管理室設置 介護福祉士ユニフォーム更新	
5月			看護補助体制充実加算申請
6月	外来 チストメトリー検査室の変更	メディエーター担当者のユニホーム デザインを変更 タオルのリース化（病棟・外来）	
7月	病棟編成（HCU 4床→6床へ増床） 小児療養環境調整 （2人部屋を個室変更）	シャワー室内の療養環境 サーキュレーター等備品整備	
8月			
9月			
10月	COVID専用病棟閉鎖 面会制限緩和（毎日13:00~17:15）		
11月			術後疼痛管理加算申請
12月			
1月			
2月	電子カルテシステム更新 （患者情報の一元化）	看護補助者/介護福祉士 継続看護マニュアル・ラダー完成	
3月	病棟編成（療養環境改善）	看護補助者確保対策（動画作成） 入職前インターンシップ 看護研究・実践報告会	

継続教育

1 新人卒後臨床研修

集合研修

	研 修		研 修
4月	病院オリエンテーション・地区事務研修 看護技術（血糖測定、移乗、酸素療法、吸引、オムツ交換） 医療安全基礎①・感染対策基礎① 接遇マナー フィジカルアセスメント（呼吸・循環・脳） 看護記録① 高齢者看護（摂食嚥下、認知症看護） 災害、防災 目標管理、業務管理（時間管理、物品管理、コスト管理） 夜勤オリエンテーション ストレスマネジメント①	9月	薬品の取り扱い ストレスマネジメント② 褥瘡対策
5月	看護記録② 救急看護（BLS） ME機器の取り扱い 看護技術（採血・点滴、尿道カテーテルの挿入）	10月	リフレクション 重症度・医療、看護必要度 地域包括ケア I
6月	医療安全② 感染管理② 糖尿病看護 看護技術（検体の取扱い）	11月	看護技術フォローアップ
7月	人工呼吸管理 終末期ケア	12月	感染対策③
8月	看護記録③ 摂食嚥下	1月	医療安全③（多重課題シミュレーション） 看護記録④ ストレスマネジメント③
		2月	静脈留置研修
		3月	ケーススタディまとめ・修了式

ローテーション研修（8～12月）

研修場所	期間
急性期病棟もしくは回復期リハビリ病棟	2週間
手術室	1週間
HCU・SCU	2週間
緩和ケア病棟・外来	1週間

2 院内研修（院内全職員研修及び部署内研修は除く）

ラダーレベル	主な対象者	開催月	テーマ	参加人数
ラダー I	2年目	5月	救急看護 BLS	37名
		6月	倫理	34名
		7月	医療安全 KYT入門	35名
		9月	感染対策 II 2年目	36名
		9～12月	地域包括ケア II（入退院支援室ローテーション含む）	37名
	3年目	6月	リフレクション①	22名
		9月	医療安全 RCA入門	24名
		10月	地域包括ケア II 訪問看護	24名
		11月	感染対策 II 3年目	22名
		12月	リフレクション②	23名
		12～1月	救急看護（救急外来ローテーション含む）	23名
	ラダー II	プリセプター	2月	プリセプター準備
プリセプター以外		6月	プリセプター（看護過程の展開）	19名
		7月	メンバーシップ	26名
		8月	リーダーシップ	16名
		8月	医療安全 KYT	17名
ラダー III		10月	リーダーシップ（意思決定支援）	17名
ラダー II 以上		5.7月	実地指導者	14名
		5月	学びなおしのリフレクション	10名
		9月	教育指導 III	10名
		10月	感染対策 III	9名
		11月	地域包括ケア III 多職種連携	12名
ラダー III 以上		5.6月 8.9月 11.12月	フィジカルアセスメントと臨床推論	22名
		7月	感染対策 IV	20名
		7～9月	副看護師長登用試験レクチャー全9回	5名
		9月	教育指導 IV	12名
		10月	医療安全 RCA分析	12名
臨床実習指導者		5月	初学者のための実習指導	17名
		5月	実習指導体制の準備	19名
		6月	実習指導体制に必要な人材の育成について	24名
		7月	実習要綱に基づいた実習指導案の作成	24名
		9月	学生の意見や思考を引き出すための指導の検討	25名
		11月	学生の意見や思考を引き出すための指導と自己の課題	20名
看護研究に取り組む者		1月	学生の意見や思考を引き出すために取り組んだ実践報告	21名
		5月	テーマ設定	16名
		5月	文献検索	17名
		6月	研究計画書作成と倫理的配慮	30名
		12月	研究発表の形式と方法	26名

ラダーレベル	主な対象者	開催月	テーマ	参加人数
看護研究活動支援者		6.7月	査読の視点	34名
		8月	自部署の看護研究取り組み相談	23名
卒後2年目以上の看護師		10月	フォーカスチャータイングの基礎知識	308名
全看護職員		3月	看護研究発表会	90名
副看護師長 看護師長		5月	新任看護師長・副看護師長研修	23名

3 院外研修

カテゴリー	研修名	主催者	開催月	参加人数
役割	新人職員研修	JCHO近畿四国地区事務所	4月	30名
	新任看護師長研修	JCHO近畿四国地区事務所	5月	2名
管理	新任副看護師長研修	JCHO近畿四国地区事務所	9月	5名
	認定看護管理者研修 セカンドレベル	JCHO本部	6~7月、9~10月	1名
	認定看護管理者研修 セカンドレベル	大阪府看護協会	8~11月	1名
	認定看護管理者研修 セカンドレベル	大阪府看護協会	11~2月	1名
	認定看護管理者研修 ファーストレベル	JCHO本部	5~6月	1名
	認定看護管理者研修 ファーストレベル	大阪府看護協会	5~6月	1名
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	大阪府看護協会	6月	2名
	医療安全管理者養成研修	大阪府看護協会	8~12月	2名
教育	実習指導者講習会	大阪府看護協会	9~10月	1名
	実習指導者講習会	JCHO本部	11~12月、1~2月	1名
	実習指導者講習会(特定分野)	大阪府看護協会	11月	1名
	新人看護職員研修責任者研修	大阪府看護協会	10月	1名
実践	在宅療養支援研修	JCHO近畿四国地区事務所	10月	2名
	認知症看護研修	JCHO近畿四国地区事務所	6月	2名
	中堅看護師研修	JCHO近畿四国地区事務所	7月	4名
	ストーマ・瘻孔のスキンケア	大阪府看護協会	7月	1名
	がんのリハビリテーション研修	ライフプランニングセンター	9月	1名
	認知症対応力向上研修	大阪府看護協会	11月	1名
	退院支援強化研修	大阪府看護協会	9月、11月	2名
災害支援ナース養成研修	大阪府看護協会	12月、1月	2名	
認定	皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	京都橘大学看護教育研修センター	4月~3月	1名
	クリティカルケア認定看護師教育課程	日本看護協会	4月~3月	1名
自己研鑽	短期研修・トピックス参加	大阪府看護協会		55名

4 院外研修・講演・講義の講師派遣状況

主催者	研修・講演内容	派遣数	時期
大阪府看護協会	サーベイランス 感染防止技術 講師	1名	8~3月
日本看護協会	認定・特定看護師教育課程特定行為実習受け入れ(感染)	1名	11~12月
日本看護協会	サーベイランス 感染防止技術 講師	1名	9月
大阪府看護協会	看護管理 講師	1名	10月
大阪府看護協会	セカンドレベル 講師	1名	6~2月
大阪府看護協会	急変時の看護 講師	1名	7月
大阪府看護協会	認知症看護研修 講師	1名	9月
奈良県看護協会	感染管理 講師	1名	11月
京都橘大学看護教育研修センター	認定・特定看護師教育課程特定行為実習受け入れ(皮膚排泄)	1名	2月
大阪マラソン	医療支援	2名	2月
関西看護専門学校	小児看護 講師	3名	4~5月
関西看護専門学校	地域包括ケアシステム	1名	12月
摂南大学	老年看護学援助論 講師	1名	7月

主催者	研修・講演内容	派遣数	時期
JCHO近畿四国地区事務所	中堅研修 講師	1名	10月
JCHO近畿四国地区事務所	認知症看護研修 講師	1名	7月
JCHO近畿四国地区事務所	在宅療養支援研修 講師	1名	10月
大阪府訪問看護ステーション協会	ACP支援 講師	2名	11月

5 実習受入

感染対策のため、一部病棟で実習中止した。

学校名	課程	主な実習科目	受け入れ人数	受け入れ累計人数
摂南大学	4年制大学	基礎、老年、急性、慢性、小児、在宅	284	1474
宝塚大学	4年制大学	基礎、急性、慢性	41	305
大阪医科薬科大学	4年制大学	統合	3	27
園田大学	4年制大学	基礎	10	40
大和大学	4年制大学	基礎、老年、統合	49	223
大手前大学	4年制大学	急性、慢性、在宅、入退院支援	42	368
森ノ宮医療大学	4年制大学	基礎	37	164
甲南女子大学	4年制大学	在宅	8	24
関西看護専門学校	3年課程の看護師養成所等	基礎、老年、慢性、小児、在宅、外来	127	854
大阪保健福祉専門学校	准看護師教育課程	基礎	6	12
合 計			607	3491

その他

新型コロナウイルスに関する他施設への派遣はなかったが、院内の専用病棟の感染対応には、各部署から多くの看護師が自ら志願、協力を得ることで体制維持ができた。令和6年元日には大規模な地震「能登半島地震」が発生し、被災地への看護師派遣を行った。1月9日から18日まで厚生労働省からの依頼により2名の看護師を石川県「公立穴水総合病院」に派遣し、病棟・外来勤務を担当した。大阪府看護協会からの依頼には、2月17日から20日1名の災害支援ナースを「いしかわ総合スポーツセンター」に派遣し、15時避難施設の支援を行った。急を要する依頼であったが、新型コロナウイルスで積み上げてきた看護管理ならびに看護実践の経験値を能登半島地震の派遣対応に生かすことができたと評価する。令和6年4月には災害救助法・改正感染症法の施行であり、災害と感染症に対応できる看護師、医療を取り巻く変化に対応できる人材育成に努めていきたい。

事務部

スタッフ

事務部長 魚澤正克

1. 総務企画課

総務企画課長 深津英夫
総務企画課長補佐 玉野圭司（総務）
総務企画課係長 杉浦理加 松尾憲子
総務企画課員 22名

○業務内容

- ・ 職員の人事、公印の保管及び公文書類に関すること。
- ・ 職員の労働条件、福利厚生に関すること。
- ・ 中期計画及び年度計画に関すること。
- ・ 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しないものに関すること。

2. 経理課

経理課長 植山邦彦
経理課長補佐 福永幸子
経理課係長 道休華子
経理課員 6名

○業務内容

- ・ 予算、決算及び財務書類等に関すること。
- ・ 債権及び債務の管理に関すること。
- ・ 契約に関すること。
- ・ 固定資産の管理に関すること。

3. 医事課

医事課長 宮本光裕
医事課長補佐 鈴木久子
医事課係長 渡部龍輔
医事課員 6名

○業務内容

- ・ 患者の入退院及び入院患者の厚生に関すること。
- ・ 医療に関する統計に関すること。
- ・ 診療記録の保管に関すること。

（令和5年12月31日現在）

星ヶ丘医療センターの経営状況

(損益計算書)

(単位：千円)

科 目		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	
収 益 の 部	医 業 収 益	入 院 収 入	7,808,805	7,225,998	7,396,375
		外 来 収 入	1,846,559	1,675,815	1,629,750
		そ の 他 収 入	299,504	264,503	249,604
		小 計 (A)	9,954,868	9,166,316	9,275,729
	医 業 外 収 益	医 業 外 収 益	1,850,145	1,817,965	536,745
収 益 合 計 (B)		11,805,013	10,984,281	9,812,474	
費 用 の 部	医 業 費 用	給 与 費	6,122,816	5,853,140	5,487,445
		材 料 費	2,194,743	1,933,581	2,026,945
		経 費	1,733,293	1,751,797	1,615,658
		そ の 他	878,493	1,263,654	1,228,950
		小 計 (C)	10,929,345	10,802,172	10,358,998
	医 業 外 費 用	医 業 外 費 用	6,543	8,074	8,009
費 用 合 計 (D)		10,935,889	10,810,245	10,367,008	
利 益 の 部	医 業 利 益 (A - C)		- 974,477	- 1,635,855	- 1,083,269
	経 常 利 益 (B - D)		869,124	174,036	- 554,534

※ 1. 経費の中には委託費を含む。但し、徴収不能損失及び租税公課の一部（法人税・事業税）は除く。

※ 2. 医業外費用の中には徴収不能損失を含む。

(貸借対照表)

(単位：千円)

科 目		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	
資 産 の 部	流 動 資 産	当 座 資 産	2,939,075	2,910,935	2,138,676
		棚 卸 資 産	99,701	109,595	106,465
	固 定 資 産	有 形 固 定 資 産	10,872,385	11,114,886	11,420,131
		無 形 固 定 資 産	4,526	1,667	805,401
	投 資 そ の 他 資 産		3,749,669	3,987,891	4,291,256
	繰 延 資 産		0	0	0
資 産 合 計		17,665,356	18,124,974	18,761,929	
負 債 資 本 の 部	流 動 負 債		2,287,965	2,095,447	3,368,398
	固 定 負 債		330,384	873,040	1,859,964
	基 金 剰 余 金		0	0	0
	利 益 剰 余 金		15,047,007	15,156,487	13,533,567
	負 債 ・ 資 本 合 計		17,665,356	18,124,974	18,761,929

令和5年 機器購入一覧

商品名称	メーカー	規格	数量	供用部署	購入年月日
ノンコンタクトノメーター	ニデック	NT-530	1	眼科外来	2023年1月18日
放射線画像CD作成装置(ディスプレイリケータ)	エプソン	PP-100NE II	1	総務企画課 企画	2023年1月26日
ジェントルステイム(干渉電流型低周波治療器)	フードケア	36737000	1	リハビリテーション科	2023年2月6日
CO2センサキット	日本光電	TG-980P	1	医療機器管理室	2023年2月10日
送信機	日本光電	ZS-630P	1	医療機器管理室	2023年2月15日
PEL/PEDトレニング用BOX DS	リチャード・ウルフ	86-215	1	整形外科外来	2023年2月17日
人工呼吸器Evita V600	ドレーゲルジャパン	8422300	1	医療機器管理室	2023年2月20日
1.5テスラMR I 装置 Vantage Fortian	キャノン	MEXL-1550/SH	1	診療放射線部	2023年2月21日
ベッドサイドモニタース式の購入	日本光電	PVM-4763-Q20	1	医療機器管理室	2023年2月22日
送信機	日本光電	ZS-630P	1	医療機器管理室	2023年3月6日
超音波診断装置 ALOKA ARIETTA 850	富士フイルムヘルスケア	ALOKA ARIETTA 850	1	超音波検査室	2023年3月13日
自動採血管準備装置システム一式の購入	テクノメディア	2ユニット10管種	1	臨床検査部	2023年3月15日
サジタル鋸アタッチメント	ストライカー	OR-4100-400	1	手術室	2023年4月5日
ARATシステム	インターリハ	IP-ARATS	1	リハビリテーション科	2023年4月6日
筋弛緩モジュール一式	日本光電	AF-101P	1	医療機器管理室	2023年4月14日
ベッドサイドモニタース式の購入	日本光電	PVM-4763-Q20	1	医療機器管理室	2023年4月14日
マックロヒ リトラクターフレーム蝶番付	Becton Dick inson	NL9701H	1	手術室	2023年4月24日
電動車いす JWアクティブPLUS+Sタイプ	ヤマハ発動機	JWアクティブPLUS+Sタイプ	1	リハビリテーション科	2023年5月1日
ベッドサイドモニタース式の購入	日本光電	PVM-4763-Q20	1	医療機器管理室	2023年5月1日
ベッドサイドモニタース式の購入	日本光電	PVM-4761	1	医療機器管理室	2023年5月31日
GOSTAR GUIDE	スミス・アンド・ネフュー(株)	SNJ002590613	2	整形外科外来	2023年6月12日
QUANTA LITHOレーザ AH-8290	エダップテクノメド社	AH-8290	1	手術室	2023年6月12日
CO2センサキット	日本光電	TG-980P	1	医療機器管理室	2023年7月7日
冷蔵配膳車	フジマック	FCRW36RNA	1	栄養管理室	2023年7月31日

商品名称	メーカー	規格	数量	供用部署	購入年月日
チューブシーラー	SBカワスミ	KL-153	1	臨床検査部	2023年8月17日
ノンコンタクトノメーター	トプコン	CT-800A	1	健康管理センター	2023年8月30日
解析付心電計	フクダ電子	FCP-9800	1	臨床検査部	2023年9月21日
薬用冷蔵シヨケース	PHC	MPR-S150H	1	救急診察室	2023年9月29日
リストタワージョイント	アキユメッド	101000014	1	手術室	2023年9月29日
サジタル鋸アタッチメント	ストライカー	OR-4100-400	1	手術室	2023年10月6日
ステラッドNXオールクリア+100S	ASP	NXオールクリア+100S	1	中央滅菌材料室	2023年10月14日
低温インキュベーター	フクシマガリレイ	FMU-204I	1	臨床検査部	2023年11月10日
解析付心電計	フクダ電子	FCP-9800	1	臨床検査部	2023年11月10日
1クランク小児ベッド	パラマウント	KB-624C	4	3西病棟	2023年11月13日
牽引手術台一式	ミズホ	MOS-1302B	1	手術室	2023年12月12日
小型シリンジポンプ	テルモ	TE-362PCA	1	緩和ケア科外来	2023年12月18日
冷蔵配膳車	フジマック	FCRWK24L	1	栄養管理室	2023年12月18日
全身麻酔装置	アコマ医科工業	Anespirator A65	2	麻酔科	2023年12月25日
高圧蒸気滅菌器ステリウイット	タカゾノ	SS-TA1N1	1	歯科外来	2023年12月26日
腰椎弓スプレッター	シンメトリコー (JSS)	61-1025	1	手術室	2023年12月27日

医事課算定病歴係・診療情報管理室

スタッフ

課長 宮本光裕

診療情報管理士 石川陽加 富田朱美 下辻愛梨 小幡真也

業務内容

- ・退院サマリシステム【H24.3～インフォコム（株）製】
退院サマリ：記載確認、依頼、督促、入力項目の確認、その他情報入力
疾病分類（ICD-10）、手術分類（ICD-9-CM）
- ・退院サマリ・手術記録記載状況報告
- ・手術記録回収、記載確認、督促、依頼
- ・診療録監査
- ・退院患者統計表の作成
- ・院内がん登録の全国集計・全国がん登録データ届出
- ・がん診療連携拠点病院における院内がん登録調査データ提出
- ・情報検索・各種調査・アンケート
全国原発性肝癌追跡調査用資料 など
- ・（紙）入院診療録の貸出・返却
貸出件数 218件

職員研修状況

がん登録・情報提供部会

がん登録実務者研修会

がん登録実務者認定研修会

近畿病歴管理セミナー

統計業務

- I 退院患者数に関する統計
- II 疾病に関する統計
- III 悪性新生物に関する統計
- IV 診療圏に関する統計
- V 手術に関する統計

図書室・患者図書室

スタッフ

常勤司書 1名

雑誌受入

①受入雑誌数

	誌数	内訳
和雑誌	59	プリント（冊子）：59誌
洋雑誌	13	プリント（冊子）：2誌 オンライン（電子）：11誌
計	72	

※雑誌受入点数内訳

和雑誌：712冊 洋雑誌：12冊 合計：724冊

②令和4年からの変更

	和雑誌	洋雑誌
新規購読	0	0
購読中止	0	0

相互利用

①相互利用数（文献複写申込／受付数）

	国内文献	国外文献	計
申込 （当院→院外）	67	19	86
受付 （院外→当院）	6	18	24

②申込内訳（部門別）

	件数
診療部門	58
医療技術部門	13
看護部門	15
事務部門	0
計	86

③受付内訳（都道府県別）

	件数
大阪府	6
滋賀県	3
兵庫県	3
愛知県	9
広島県	1
福岡県	2
計	24

データベース

導入データベース

医中誌Web 3アクセス Cochrane Library 1アクセス
メディカルオンライン （アクセス数制限なし） Medical Database （アクセス数制限なし）

患者図書室

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年4月7日より患者図書室を休止していたが、令和5年8月1日より開室時間を13：30～16：00に変更して再開した。再開当初は患者図書室内での閲覧のみだったが、12月1日からは貸し出し（対象：入院患者／ひとり1冊・3日間）も再開した。

枚方市立図書館自動車文庫

枚方市立図書館自動車文庫カワセミ号も新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い運行を休止していたが、令和5年7月7日より再開した。再開に合わせて、場所を医事課入院受付前の廊下から新館1階と体育館の渡り廊下に変更した。（隔週金曜日 14：00～15：30）

健康管理センター

スタッフ

センター長 早崎浩司（～R05.9）、福地成晃（R05.10～）

担当医師 河流陽子、中本泰生、佐竹英恵

応援医師 森川和要、長田良子

センター長補佐 水谷雅生（～R05.07）

副看護部長 菅原友美子

看護師長 北村育久子（R05.04～）

副看護師長 北村育久子（～R05.03）、井上香里

保健師 畠利江、本郷玲花（～R05.06）、川上円香（R05.06～）

看護師 嶋利圭那子

非常勤看護師 西理沙

管理課長 深津英夫（併任）

管理係長 吉田早希

管理係員 松尾悦子（R05.04～）、村島好美（R05.10～）

非常勤事務員 松田美奈恵、高崎愛（R05.04～）

業務活動

協会けんぽ 生活習慣病予防健診

	2020年	2021年	2022年	2023年
一般健診	4,206	4,392	4,294	4,373
付加健診	168	164	164	158
子宮がん	20	18	22	8
フォローアップ健診	0	0	0	0
肝炎検査	103	80	73	81
合計	4,497	4,654	4,553	4,620

協会けんぽ 男女別受診者数

	一般健診				付加健診				合計			
	2020年	2021年	2022年	2023年	2020年	2021年	2022年	2023年	2020年	2021年	2022年	2023年
男	2,601	2,702	2,668	2,681	121	90	83	94	2,792	2,751	2,751	2,775
女	1,605	1,690	1,626	1,692	47	74	81	64	1,764	1,707	1,707	1,756
合計	4,206	4,392	4,294	4,373	168	164	164	158	4,556	4,458	4,458	4,531

協会けんぽ 健診指導区分

指導区分	一般健診				付加健診				合計			
	2020年	2021年	2022年	2023年	2020年	2021年	2022年	2023年	2020年	2021年	2022年	2023年
A	9	15	20	25	1	0	0	0	15	20	20	25
B	97	88	84	81	0	3	2	0	91	86	86	81
C	1,239	1,270	1,302	1,251	36	45	52	33	1,315	1,354	1,354	1,284
D 1	595	593	581	597	29	18	20	19	611	601	601	616
D 2	2,266	2,426	2,307	2,419	102	98	90	106	2,524	2,397	2,397	2,525
合計	4,206	4,392	4,294	4,373	168	164	164	158	4,556	4,458	4,458	4,531

その他の健診実施状況

	2020年	2021年	2022年	2023年	
半日ドック	32	44	49	58	
若年層	479	493	513	500	
一般健診（自費）	61	60	58	52	*1
一日ドック	835	975	956	938	
特定健診	1,315	1,515	1,531	1,638	
脳ドック	68	67	64	55	
枚方市民検診	2,068	1,855	1,429	1,427	
乳児健診	38	15	11	2	
予防注射	536	490	309	385	*2
職員健診	1,340	1,178	1,157	1,138	
特定保健指導	40	33	47	50	
合計	6,812	6,725	6,124	6,243	

*1：協会けんぽ以外の一般健診

*2：職員ワクチン含む

指導区分

A	異常なし
B	軽度異常
C	要経過観察・生活改善
D 1	要治療
D 2	要精検

健康管理センター活動状況

健康管理センター運営会議	・毎月第3または第4月曜日午後4：00開催
リーダー会議	・第2、第4金曜日午後4：30開催(健康管理センター関係部署各リーダーが参加)

訪問看護ステーション

スタッフ

管理者・スタッフ兼務 看護師（看護師長）1名

スタッフ 看護師 3名、理学療法士 1名（病院兼務）

活動内容

住み慣れた場所で安心して療養生活ができるように、オンコールで24時間対応体制と緊急時訪問看護体制をとり、地域の訪問診療医師と連携をとりながら、在宅看取りの支援をおこなっています。質の高いケアを提供するために、星ヶ丘医療センターの認定看護師との連携・同伴訪問により、専門的なアドバイスを受けています。また、がん性疼痛看護認定看護師1名が訪問看護ステーションに所属し、鎮痛療法や化学療法を受けている利用者に対して計画的な管理のもと在宅療養を継続できるように支援しています。また、当ステーションだけでなく他の訪問看護ステーションと同行訪問を実施し、地域のがん患者さんのがん治療・終末期ケアを提供できるように体制を強化しています。昨年度より、看護と介護の連携を強化し、医療依存度の高い利用者でも在宅療養が継続できるように、医療的ケア教員講習会を修了した2名の看護師が、介護職員に対して利用者宅で吸引や経管栄養の注入などの実地指導を行っています。

平成30年度の診療報酬改定において、地域への研修活動、在宅実習の受け入れ等により、機能強化型訪問看護管理療養3を取得しました。さらに、平成31年3月には看護体制強化加算Ⅱを取得し、医療依存度の高い利用者の受け入れも積極的に行っています。

院内連携

- ・地域包括ケア推進委員会
- ・医療安全対策委員会、感染対策委員会、入退院支援委員会、認知症ケア委員会、APNセンター会、がん・心不全リンクナース会、排泄・スキンケアリンクナース会

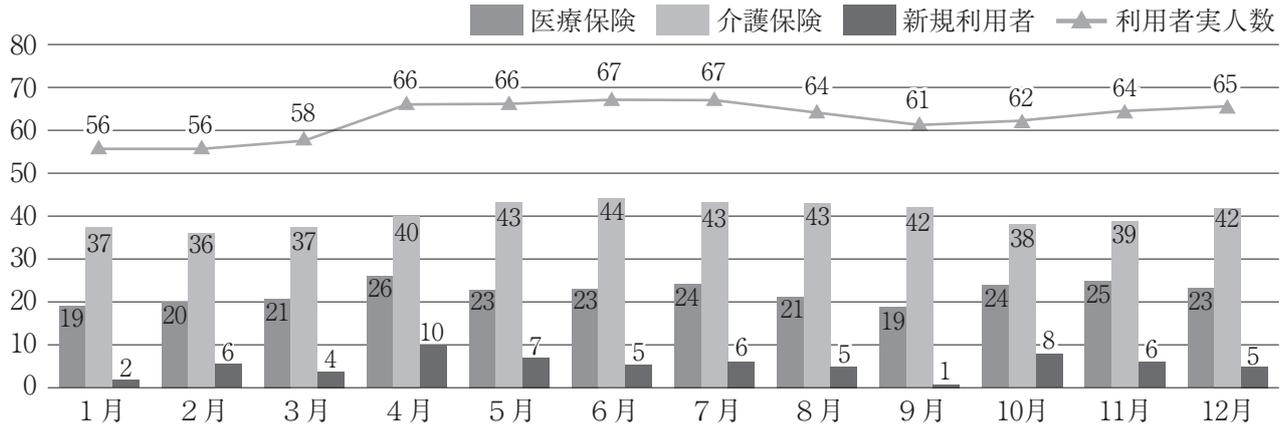
地域連携

- ・訪問看護出向：看護師1名、理学療法士1名
- ・枚方市訪問看護ステーション会議 6回/年、北河内ブロック会
- ・枚方市在宅医療・介護連携電話相談窓口担当
- ・MCSを利用した相談体制（利用者、主治医、病院、関連の事業所）
- ・医療的ケア教員2名所属し、2事業所3名の介護職員に実地指導
- ・北河内合同がんサロン・総合相談会 個別相談及びリンパドレナージ指導
- ・市民公開講座講師（市立ひらかた病院）「人生会議の進め方～豊かに生きるために～」

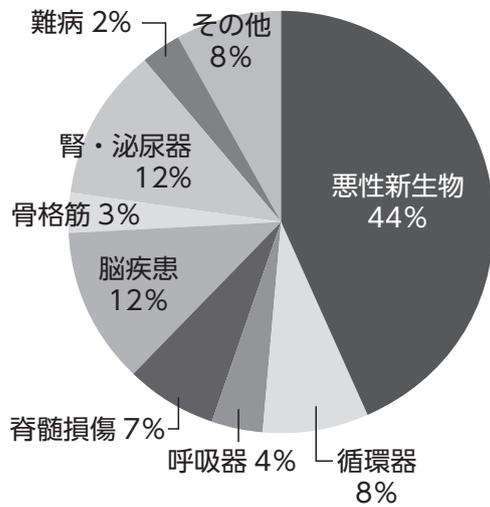
教 育

- ・星ヶ丘医療センター（看護部）：地域包括ケアシステム「在宅療養支援～訪問看護について～」 がん看護「終末期ケア」 医療安全「医療安全基礎2」
- ・大阪府訪問看護実践研修：地域の看護職員に対して「ACP支援実践人材育成研修」2回/年
- ・星ヶ丘医療センター：緩和ケア研修ファシリテーター
- ・訪問看護ステーション在宅看護学実習受け入れ（4施設42名受け入れ）
- ・大手前大学2名、甲南女子大学8名、関西看護専門学校4名、摂南大学看護学部28名、

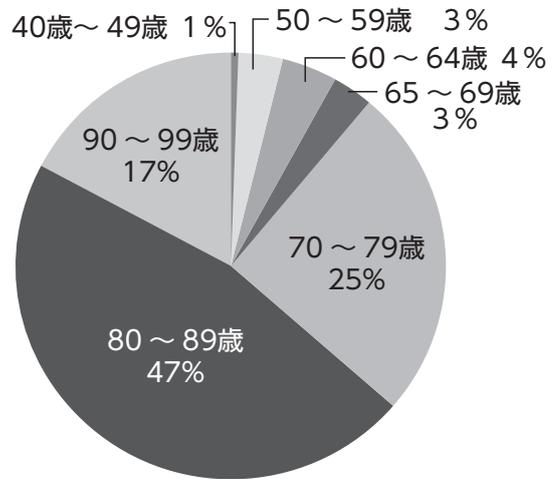
2023年 訪問看護利用者



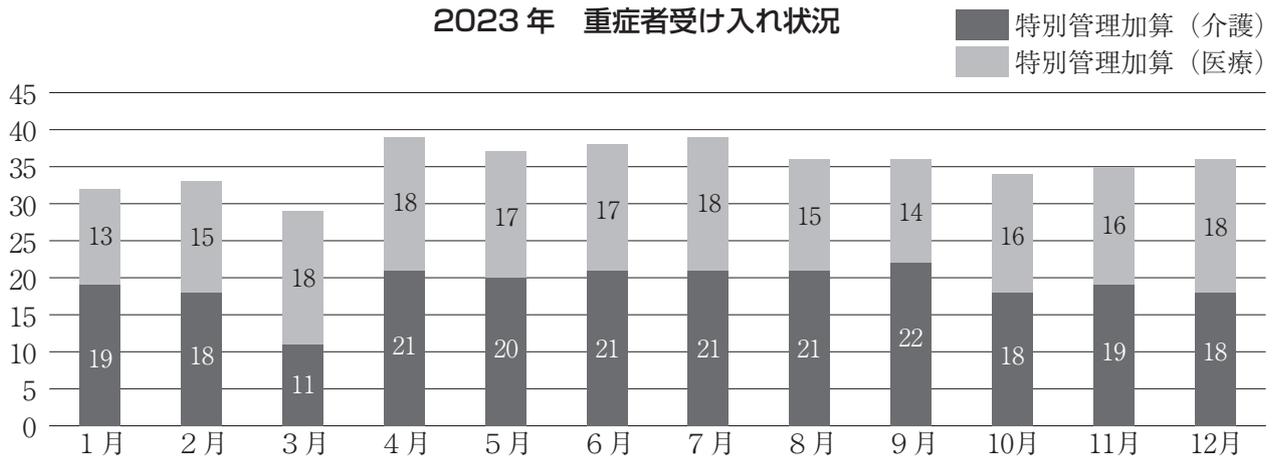
2023年 疾患別分類



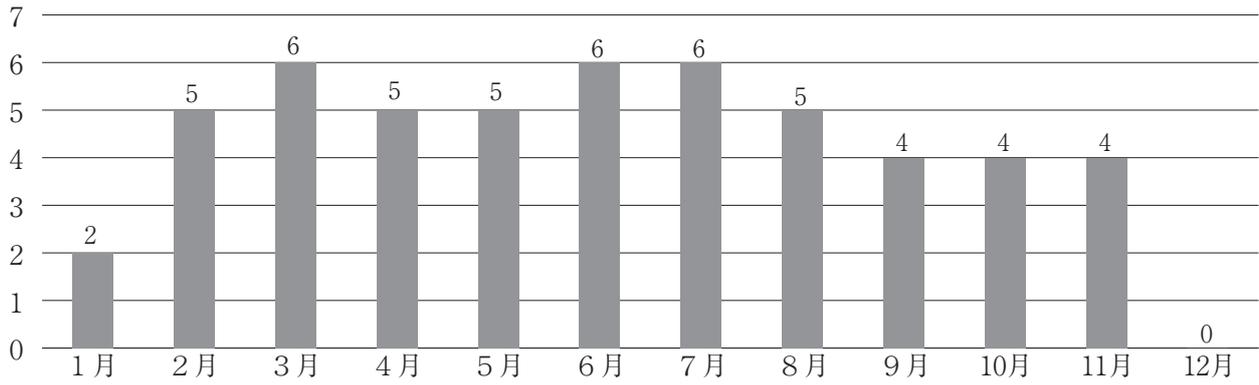
2023年 年齢分類



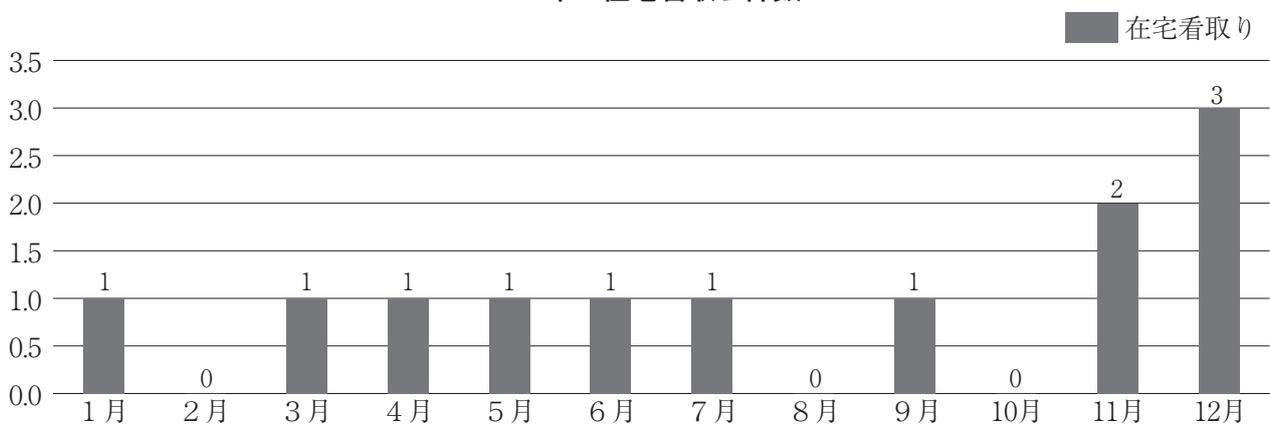
2023年 重症者受け入れ状況



2023年 専門管理加算件数（緩和ケア）



2023年 在宅看取り件数



委員会活動

委員会組織・会議構成員等

ACLS 運営委員会

星ヶ丘 DMAT 委員会

薬事委員会

医師臨床研修管理委員会

図書委員会

がん拠点病院協議会

化学療法委員会

臨床研究審査委員会

利益相反審査委員会

医の倫理委員会

委員会組織・会議構成員等

令和5年12月31日

区分	委員会・会議名	区分	開催頻度	開催日時	委員長 議長	副委員長 副議長	事務局 (書記)	委員構成
【会議】								
	管理者会議		1回/週	第1、3木曜日 16:00 第2、4、5木曜日 8:30	院長		総務企画課長補佐	副院長・統括診療部長・事務部長・看護部長・感染管理者・医療安全管理者・総務企画課長(進行)・総務企画課長補佐(記録)・その他(必要に応じて召集される者)
	病院運営会議 (月次決算評価会)	(本部通知)	1回/月	最終月曜日 16:30	院長	事務部長	総務企画課長補佐	副院長・統括診療部長・診療部長(部長・医長)・看護部長・副看護部長・薬剤部長・副薬剤部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・福祉相談室長・地域医療連携室長・主任臨床工学技士・看護師長・総務企画課長・経理課長・医事課長・総務企画課長補佐・経理課長補佐・医事課長補佐・経理係長・健康管理センター管理係長
【委員会】								
安全	院内感染対策委員会	医療法 施設基準	1回/月	第3水曜日 16:00	院長	感染管理部長 ICN	ICN	統括診療部長・事務部長・看護部長・歯科・口腔外科部長・外科部長・整形外科部長・感染制御内科医長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・主任臨床検査技師・理学療法士長・副栄養管理室長・薬剤部長・薬剤師・主任臨床工学技士・看護師長・副看護師長
安全	医療安全管理委員会	医療法 施設基準	1回/月	第3水曜日 16:30	医療安全管理部長	医療安全管理室長・医療安全管理者	RM	統括診療部長・事務部長・看護部長・看護師長・薬剤部長・医事課長
安全	小委員会 医療安全推進担当者会		1回/月	第3火曜日 16:30	医療安全管理部長	医療安全管理室長・医療安全管理者	RM	糖尿病内科部長・整形外科部長・副看護部長・看護師長・主任診療放射線技師・主任臨床検査技師・副栄養管理室長・副薬剤部長・主任薬剤師・主任理学療法士・主任臨床工学技士・総務企画課長補佐・医療社会事業専門員・医療秘書
安全	小委員会 院内急変対策委員会		随時		副院長	外科部長	総務係員	看護師長・副看護師長・主任理学療法士・臨床工学技士・主任薬剤師・総務係員
安全	小委員会 迷惑行為等対策委員会		適時		事務部長	総務企画課長	RM	副院長・循環器外科部長・整形外科医員・副看護部長・看護師長・副看護師長・医事課長
安全	小委員会 CPT委員会		隔月		小児科部長	小児科部長	RM	看護師長・副看護師長・医療社会事業専門員・総務企画課長補佐
安全	小委員会 ACLS運営委員会		3回/年		副院長	看護師長	看護部	看護師長・副看護師長・看護師・主任理学療法士・臨床工学技士・総務係員
安全	小委員会 医療放射線管理委員会	医療法	随時		医療放射線安全管理責任者	診療放射線技師長		統括診療部長・脳卒中内科部長・循環器外科部長・看護師長・主任診療放射線技師
安全	小委員会 医療機器安全管理委員会	医療法	1回/年		臨床工学部長	主任臨床工学技士	財務管理係員	臨床検査技師長・診療放射線技師長・看護師長・副看護師長・臨床工学技士・経理課長・財務管理係員
安全	防火・防災管理委員会	法律	1~2回/年度		院長	総務企画課長	総務企画課長補佐	副院長・看護部長・副看護部長・看護師長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・主任臨床工学技士・事務部長・医事課長・総務企画課長補佐・地域医療連携係員・総務企画課事務員・中央監視室担当者
安全	小委員会 星ヶ丘DMAT委員会		1回/月	第1火曜日 16:30	副院長	整形外科医長	総務係員	主任薬剤師・薬剤師・看護師長・副看護師長・看護師・医療社会事業専門員・総務企画課長補佐・総務係員・地域医療連携係員・給与係員
安全	放射線障害防止委員会	法律	1回/年		放射線科部長	診療放射線技師長	副診療放射線技師長	院長・糖尿病内科部長・看護師長・看護師・副診療放射線技師長・主任診療放射線技師・診療放射線技師・総務企画課長・経理課長
安全	安全衛生委員会	法律	1回/月	第4水曜日 16:00	副院長	事務部長	厚生係	脳神経内科部長・糖尿病内科部長・健診科部長・外科部長・糖尿病内科医長・整形外科医員・看護師長・副看護師長・心理療法士・臨床検査技師長・副栄養管理室長・臨床工学技士・総務企画課長・厚生係員
安全	医療ガス安全対策委員会	医療法	1回/年		麻酔科部長	中央監視室担当者	経理課長補佐	薬剤部長・看護師長・副看護師長・主任臨床工学技士・経理課長・経理課長補佐・中央監視室担当者
情報	情報セキュリティ委員会	本部通知	随時		事務部長	医療情報管理部長	経営企画係員	看護部長・看護師長・薬剤部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・総務企画課長・総務企画課長補佐・経営企画係員
情報	文書管理委員会	評価機構	随時		脳神経内科部長	総務企画課長	総務企画課長補佐	整形外科医員・看護部長・副薬剤部長・副診療放射線技師長・臨床検査技師長・理学療法士長・医事課長・総務企画課長補佐・医事課長補佐・経理係長
情報	診療情報管理委員会	施設基準	随時		脳神経内科部長	医事課長	医事課長補佐	整形外科部長・臨床検査技師長・薬剤部長・副看護部長・看護師長・医事課長補佐
情報	小委員会 同意書説明文書(IC)管理委員会		随時		循環器外科部長		医事課	整形外科部長・消化器内科部長・外科部長・看護師長・副看護師長・医事課長・医事課事務員
情報	情報システム管理委員会		随時		医療情報管理部長	医療情報管理室長	経営企画係員	看護師長・主任薬剤師・経営企画係員
情報	個人情報保護委員会	法律	適時		院長	事務部長	総務企画課長補佐	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・総務企画課長・医事課長・臨床検査技師長・健康管理センター管理係長・経営企画係員
質改善	広報委員会		1回/月	第2水曜日 16:00	副院長	事務部長	厚生係	副看護部長・看護師長・臨床検査技師長・理学療法士長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・副薬剤部長・地域医療連携室長・総務企画課長補佐・医事課事務員・地域医療連携係員・総務係員・厚生係員・経理係員
管理	契約審査委員会	本部通知 (規程)	1回/月	第4木曜日 施設設備委員会後	副院長	副院長	経理課長補佐	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・総務企画課長・医事課長
管理	過半数代表者選出選挙管理委員会	法律	随時		総務企画課長		厚生係長	統括診療部長・看護部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・主任臨床工学技士・事務部長・総務企画課長補佐
管理	役割分担推進委員会	施設基準	随時		脳卒中内科部長	総務企画課長	医療秘書	院長・事務部長・副看護部長・看護師長・理学療法士長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副薬剤部長・医事課長・医事課長補佐・職員係長・医療秘書

区分	委員会・会議名		区分	開催頻度	開催日時	委員長 議長	副委員長 副議長	事務局 (書記)	委員構成
運営	消耗品等新規採用審査委員会			1回/月	第2金曜日 17:00	副院長	整形外科部長	契約係	循環器外科部長・看護師長・副看護師長・臨床工学技士・経理課長・契約係長・医事課事務員・契約係員
運営	保険診療委員会 (DPC検討部会)		施設基準	1回/月	第3金曜日 16:00	外科部長	医事課長	医事課長補佐	リハビリテーション科部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・看護師長・医事課長補佐・入院係長・医事課事務員・医療秘書・医事業務委託職員
運営	DPCコーディング委員会		DPC	年4回以上		外科部長	医事課長	医事課長補佐	薬剤部長・医事課長補佐・入院係長・医事課事務員
運営	薬事委員会		医療法	1回/月	第3日曜日 16:30	統括診療部長	薬剤部長	薬剤部	整形外科部長・脳卒中内科部長・循環器外科部長・主任薬剤師・看護師長・入院係長・経理課事務員
運営	臨床検査適正化委員会		施設基準	1回/年		脳神経内科学部長	臨床検査技師長	検査部	統括診療部長・小児科部長・臨床検査科部長・リハビリテーション科部長・整形外科部長・泌尿器科部長・主任臨床検査技師・看護師長
運営	施設整備委員会			1回/月	第4木曜日 16:00	院長	副院長	経理課長補佐	副院長・統括診療部長・小児科部長・脳神経内科学部長・健康管理センター長・看護部長・事務部長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・総務企画課長・経理課長・医事課長・契約係長
運営	棚卸実施委員会		規程	随時		院長	事務部長	財務管理係長	副看護部長・看護師長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・主任理学療法士・主任臨床工学技士・経理課長・経理課長補佐・契約係長
質改善	医療サービス委員会			1回/月	第4火曜日 16:00	副院長	事務部長 副看護部長	総務企画課長補佐	薬剤部長・看護師長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・主任臨床工学技士・総務企画課長・医事課長・総務企画課長補佐・経理課長補佐・経営企画係員
質改善	小委員会	患者図書室運営委員会		随時		総務企画課長		総務企画課長補佐	小児科部長・主任薬剤師・看護師長・主任理学療法士・経理係長・総務企画課事務員
質改善	小委員会	医療相談検討会		1回/週		医事課長	看護師長		副看護部長・副看護師長・福祉相談室長・医療社会事業専門員・総務企画課長補佐・経理課長補佐・総務企画課事務員
運営	保育所運営委員会			随時		事務部長	看護師長	職員係長	小児科部長・副看護部長・副栄養管理室長・医事課長・総務企画課長・労働者代表・職員係長・経理課事務員・保育士・保護者代表
教育	医師臨床研修管理委員会		施設基準	2回/年度		副院長	外科部長	総務係	摂南大学学長・東香里病院医師・小川医院院長・JCHO大阪病院産婦人科主任部長・市立ひらかた病院循環器内科主任部長・新世病院医師・院長・副院長・統括診療部長・小児科部長・看護部長・事務部長・臨床検査科部長・リハビリテーション科部長・麻酔科部長・放射線科部長・糖尿病内科学部長・緩和ケア科部長・泌尿器科部長・薬剤部長・総務企画課事務員
教育	専門医制度プログラム委員会			随時		副院長	統括診療部長 整形外科部長	厚生係	脳神経内科学部長・糖尿病内科学部長・総務企画課長補佐・給与係長・経営企画係員・厚生係員
教育	図書委員会			隔月	第4水曜日 16:30	小児科部長	総務企画課長	司書	主任薬剤師・看護師長・主任理学療法士・経理係長・総務企画課事務員
質改善	医療の質の評価委員会			1回/月	第4金曜日 16:45	循環器外科部長	副看護部長	看護師長	副院長・外科部長・糖尿病内科学部長・看護部長・事務部長・薬剤部長・看護師長・副看護部長・医事課長・職員係長 (オブザーバー: 院長)
教育	教育研修委員会			随時		統括診療部長	看護師長	職員係長	副看護部長・看護師長・薬剤部長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・理学療法士長・副栄養管理室長・総務企画課長・総務企画課長補佐
教育	特定行為研修病院管理委員会		法律	随時		泌尿器科部長	看護部長	看護師長	指導医・副看護部長・看護師長・副看護部長・薬剤部長・事務部長
診療	診療部部長会議			1回/月	第1日曜日 16:30	統括診療部長		総務係	院長・副院長・診療部長 (部長・医長)・看護部長・事務部長・薬剤部長
診療	がん拠点病院協議会			2回/年度		外科部長	医事課長	医事課	統括診療部長・放射線科部長・臨床検査科部長・泌尿器科部長・緩和ケア科部長・診療放射線技師長・副薬剤部長・臨床検査技師・看護師長・副看護師長・看護師長・看護部長・総務企画課長・経理課長・地域医療連携室長・医療社会事業専門員・医事課事務員
診療	緩和ケア委員会			6回/年度		緩和ケア科部長	看護師長	医療社会事業専門員	がんMDTセンター長・緩和ケア診療担当精神科医・緩和ケア身体担当医師・緩和ケアチーム専従看護師・緩和ケア専従理学療法士・心理療法士・主任薬剤師・地域医療連携室長・医療社会事業専門員・医事課長・医事課事務員
診療	褥瘡対策委員会			1回/月	第3火曜日 13:30	皮膚科部長	看護師長	入院係長	看護師長・主任薬剤師・薬剤師・副栄養管理室長・理学療法士・入院係長
診療	NST委員会			1回/月	第3水曜日 16:45	リハビリテーション科部長	副栄養管理室長	栄養管理室	看護師長・副看護師長・看護師・主任臨床検査技師・主任薬剤師・薬剤師・言語聴覚士・管理栄養士
診療	RST委員会			1回/年度		麻酔科部長	臨床工学技士	臨床工学技士	看護師長・副看護師長・看護師・理学療法士
診療	手術部運営委員会			隔月		副院長	麻酔科部長 看護師長	医事課長補佐	形成外科部長・歯科口腔外科部長・泌尿器科部長・外科部長・循環器外科部長・皮膚科部長・眼科部長・耳鼻咽喉科医長・主任薬剤師・主任臨床工学技士・副看護師長・医事課長補佐
診療	救急部運営委員会			1回/月	第4金曜日 16:30	統括診療部長	看護師長	医事課長補佐	小児科部長・脳卒中内科部長・泌尿器科部長・麻酔科部長・消化器内科学部長・外科部長・整形外科医長・総合内科医長・看護師長・副看護師長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・主任薬剤師・医事課長・地域医療連携室長・福祉相談室長・医事課長補佐
診療	HCU運営委員会			1回/年度		麻酔科部長	看護師長	医事課長補佐	副院長・脳卒中内科部長・泌尿器科部長・リハビリテーション科部長・診療放射線技師長・臨床検査技師長・副理学療法士長・主任薬剤師・副看護師長・医事課長補佐
診療	輸血療法委員会		施設基準	随時		整形外科部長	臨床検査技師	輸血検査室	院長・消化器内科学部長・麻酔科部長・外科部長・泌尿器科部長・看護師長・主任薬剤師・医事課事務員
診療	化学療法委員会		施設基準	1回/月	第3金曜日 16:30	外科部長	泌尿器科医長	薬剤部	整形外科部長・看護師長・副看護師長・看護師・主任薬剤師・薬剤師・入院係長・医事課事務員

区 分	委員会・会議名	区 分	開催頻度	開催日時	委員長 議 長	副委員長 副 議 長	事務局 (書記)	委員 構 成
診療	中央滅菌材料室運営委員会	医療法	1回/年度		副院長	看護部長	財務管理係長	副看護部長・主任薬剤師・主任臨床工学技士・業務委託職員
診療	外来運営委員会		2回/年度		外科部長	看護部長	医事課長補佐	副院長・統括診療部長・脳血管内治療科部長・小児科部長・脳神経内科部長・消化器内科部長・糖尿病内科部長・緩和ケア科部長・形成外科部長・皮膚科部長・泌尿器科部長・外科部長・耳鼻咽喉科部長・リハビリテーション科部長・放射線科部長・麻酔科部長・歯科・口腔外科部長・眼科部長・循環器内科部長・看護部長・副看護部長・看護師長・薬剤師長・理学療法士長・臨床検査技師長・診療放射線技師長・副栄養管理室長・薬剤部長・副薬剤部長・福祉相談室長・地域医療連携室長・経理課長補佐・医事課長補佐・医療秘書
診療	病棟運営委員会		2～6回/年度		統括診療部長	看護部長	入院係長	副院長・脳血管内治療科部長・小児科部長・脳神経内科部長・消化器内科部長・リハビリテーション科部長・麻酔科部長・整形外科部長・緩和ケア科部長・外科部長・副看護部長・看護師長・薬剤師長・理学療法士長・主任臨床工学技士・副栄養管理室長・福祉相談室長・医事課長・入院係長
診療	クリニカルパス検討委員会		随時		外科部長	看護部長	医事課	麻酔科部長・整形外科部長・消化器内科部長・主任診療放射線技師・臨床検査技師・主任薬剤師・副栄養管理室長・副看護部長・看護師長・経営企画係員・医事課事務員
地域医療	地域包括ケア推進委員会		1回/月	第2金曜日 16:00	地域包括ケア推進センター長	地域医療連携室長	地域医療連携室	副看護部長・看護部長・副看護部長・福祉相談室長・地域医療連携係員(オブザーバー:医事課長)
地域医療	地域医療諮問委員会	医療法	4回/年		枚方市医師会長	交野市医師会長	地域医療連携室	守口市医師会長・大東・四条阪医師会長・門真市医師会副会長・寝屋川市医師会会長・枚方市歯科医師会長・枚方市薬剤師会長・摂南大学看護学部長・枚方寝屋川消防組合警防部長・枚方市役所健康福祉部長・枚方市役所健康福祉次長/新型コロナウイルス接種対策室長・地域包括ケア推進センター長・看護部長(オブザーバー:院長) [事務局:整形外科部長・事務部長・薬剤部長・看護部長・福祉相談室長・総務企画課長・医事課長・地域医療連携室長・地域医療連携係員]
地域医療	地域医療研修委員会	医療法	2回/年		地域包括ケア推進センター長		地域医療連携室	副薬剤部長・理学療法士長・診療放射線技師長・看護部長・地域医療連携室長・地域医療連携係員・総務企画課事務員
地域医療	地域連絡協議会		2回/年	本部通知	院長	枚方市医師会長	地域医療連携室	交野市医師会長・枚方市健康福祉部長・交野市健やか部長・枚方市桜丘北コミュニティ協議会会長・地域包括支援センター松徳会所長・マイライフ新聞社・ケアセンター癒しの森施設長・地域包括ケア推進センター長・事務部長・看護部長・看護部長・地域医療連携室長
臨床研究	臨床研究審査委員会		1回/月	最終月曜日 病院運営会議後	臨床研究・治験管理部長	薬剤部長	薬剤部	泌尿器科部長・リハビリテーション科部長・整形外科部長・臨床検査技師長・看護部長・事務部長・経理課長・医事課長補佐 [院外委員:薬剤師・大阪A&M法律事務所弁護士・大阪旭こども病院理事] [事務局:薬剤師]
臨床研究	利益相反委員会		随時		臨床研究・治験管理部長	総務企画課長	薬剤部	薬剤部長(臨床研究・治験管理室事務局)・経理課長・総務企画課事務員[院外委員:大阪旭こども病院理事]
臨床研究	医の倫理委員会		1回/月	第2月曜日 17:00	臨床研究・治験管理部長	副院長	薬剤部	統括診療部長・小児科部長・看護部長・副看護部長・薬剤部長・事務部長・総務企画課長・医事課長[院外委員:摂南大学薬学部講師・大阪旭こども病院理事]
【部署会議】								
診療部門	人工透析室運営委員会		2回/年		泌尿器科部長	看護部長	-	臨床検査技師長・診療放射線技師長・主任臨床工学士・副看護部長・看護部長・地域医療連携室長・福祉相談室長・薬剤師
	内視鏡室運営委員会		1回/年度		消化器内科部長	看護部長	-	消化器内科部長・消化器内科部長・リハビリテーション科部長・泌尿器科部長・看護部長・副看護部長・臨床検査技師・地域医療連携室長
	超音波センター運営委員会				循環器外科部長	消化器内科部長		泌尿器科部長・消化器内科部長・主任臨床検査技師
	診療放射線部運営委員会		1～2回/年度		脳血管内治療科部長	診療放射線技師長	-	放射線科部長・脳卒中内科部長・外科部長・整形外科部長・看護部長・副看護部長・副診療放射線技師長・経理課長補佐
	リハビリテーション部運営委員会		随時		リハビリテーション科部長	リハビリテーション科部長	-	理学療法士長・副理学療法士長・看護部長・入院係長
	栄養管理室運営委員会		隔月		栄養管理部長	副栄養管理室長	-	看護部長・副看護部長・管理栄養士・医事課事務員
看護部門	看護師長会議		2回/月	第2・4水曜日 14:00	看護部長	副看護部長	-	看護部長
	副看護師長会議		1回/月	第3火曜日 15:00	看護部長	副看護部長	-	副看護部長
事務部門	課長会議		1回/週	毎週月曜日 11:30	事務部長	総務企画課長	-	経理課長・医事課長・健康管理課長・各課長補佐
健康管理センター	健康管理センター運営委員会		1回/月	病院運営会議 前週月曜日 16:00	健康管理センター長	健康管理センター管理係長	-	健診科部長・健診科部長・副看護部長・看護部長・保健師・主任臨床検査技師・主任診療放射線技師・臨床検査技師・管理係事務員・業務委託職員
	健康管理センター週例会議		2回/月	第2・4金曜日 16:00	健康管理センター長	健康管理センター管理係長	-	健診科部長・健診科部長・主任診療放射線技師・看護部長・保健師・臨床検査技師・管理係事務員・業務委託職員
【連絡会】								
	三役連絡会		1回/週	毎週月曜日 8:15	院長		総務企画課長	看護部長・事務部長・総務企画課長
【臨時委員会】								
安全	医療事故調査委員会		随時				RM	院長の諮問委員会とする。(外部委員を含む。)

区 分	委員会・会議名	区 分	開催頻度	開催日時	委員長 議 長	副委員長 副 議 長	事務局 (書記)	委員 構 成
安全	医療事故対策委員会		随時		副院長 (医 療事故対応 担当)	事務部長	RM	院長・副院長・統括診療部長・脳血管内治療科部長・小児科部長・脳神経内科 部長・消化器内科部長・循環器外科部長・看護部長・副看護部長・医療安全管 理者・薬剤部長・総務企画課長・経理課長・医事課長・その他必要とされた者
安全	事例検討会		随時				RM	事例に応じて構成する。
診療	脳死判定委員会	法律	随時		脳血管内治 療科部長	脳神経内科 部長	総務企画課 長補佐	事務部長・麻酔科部長・看護師長・臨床検査技師・福祉相談室長
診療	HIV診療連絡委員会	法律	随時		整形外科部 長		福祉相談室 長	リハビリテーション科部長・歯科・口腔外科部長・副看護部長・薬剤部長・薬 剤師・臨床検査技師長・医事課長・福祉相談室長
管理	懲戒審査委員会		随時		事務部長	総務企画課 長	総務企画課 長	副院長・看護部長・その他
管理	ハラスメント委員会		随時		事務部長	総務企画課 長	総務企画課 長	副院長・看護部長・その他
情報	診療記録開示委員会		随時		事務部長	医事課長	医事課長	副院長・看護部長・その他

ACLS運営委員会

2023年はACLS運営委員会を1/25、5/10、10/3の3回開催した。

2023年は日本救急医学会認定ICLSコースを3回開催できた。

2023. 2. 4 (土) 第47回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内12名、院外0名

参加スタッフ：院内15名

2023. 6. 3 (土) 第48回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内11名、院外0名

参加スタッフ：院内17名、院外0名

2023. 10. 21 (土) 第49回星ヶ丘医療センター二次救命処置コース開催

受講者：院内12名、院外0名

参加スタッフ：院内18名、院外0名

星ヶ丘DMAT委員会

2023年のDMAT委員会は毎月第1火曜に開催した。

活動は以下の通り

- ・星ヶ丘医療センター災害訓練(12/2)に向けての院内災害医療研修(6/9、7/12、7/26、8/9、8/30、9/6、10/4、10/12、11/16)を実施した。
- ・2023.12.2 2023年度星ヶ丘医療センター災害医療訓練を実施した。
大規模地震を想定、一次・二次トリアージ訓練、情報伝達訓練、本部機能訓練、摂南大学薬学部学生25名参加
- ・大阪府災害医療研修：2023年7月27日、2024年3月19日に3名が受講した。

薬事委員会

2023年 薬事委員会 採用・採用中止薬品品目数

新規採用	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
2023/ 1/23	3	1				4
2023/ 2/20	3	1				4
2023/ 3/20	3					3
2023/ 4/17	3	1				4
2023/ 5/15	4	2				6
2023/ 6/19	4	1	2			7
2023/ 7/24	6		3			9
2023/ 8/21	1	2				3
2023/ 9/19	2	1	1			4
2023/10/16	2	4	1			7
2023/11/20	4		1			5
2023/12/18	1	4				5
計	36	17	8			61

院外専用採用	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
計	13	5	2			20

採用中止	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
2023/ 1/23	3	2				5
2023/ 2/20	4					4
2023/ 3/20	2					2
2023/ 4/17	3					3
2023/ 5/15	2					2
2023/ 6/19	14	8	8			30
2023/ 7/24	1					1
2023/ 8/21	1	2				3
2023/ 9/19	1					1
2023/10/16	1	2	2			5
2023/11/20	1		1			2
2023/12/18	1	1				2
計	34	15	11			60

製造・販売中止	内服	注射	外用	薬価収載外	X線用剤	計
計	20	11	9			40

2023年 医薬品購入額 (単位：円、外税、造影剤、薬価収載外含む)

	1月	2月	3月	4月	
医薬品購入額	47,426,963	44,353,563	59,431,732	40,209,601	
	5月	6月	7月	8月	
医薬品購入額	44,856,619	52,482,976	58,422,815	68,053,735	
	9月	10月	11月	12月	計
医薬品購入額	51,185,014	47,046,116	67,965,359	71,838,764	653,273,257

医師臨床研修管理委員会

医師臨床研修管理委員会委員

委員	氏名	所属	役職
統括責任者	細野 昇	星ヶ丘医療センター	院長
委員長	高橋 務	星ヶ丘医療センター	副院長
副委員長	福地 成晃	星ヶ丘医療センター	外科部長
委員	奥田 真也	星ヶ丘医療センター	副院長
委員	立石 耕介	星ヶ丘医療センター	統括診療部長
委員	中河いよう	星ヶ丘医療センター	小児科部長
委員	鳥井 郁子	星ヶ丘医療センター	臨床検査科部長
委員	立花 隆夫	星ヶ丘医療センター	皮膚科部長
委員	矢田 定明	星ヶ丘医療センター	リハビリテーション科部長
委員	田中 健寛	星ヶ丘医療センター	放射線科部長
委員	辻村 茂久	星ヶ丘医療センター	麻酔科部長
委員	五郎川伸一	星ヶ丘医療センター	糖尿病内科部長
委員	佐竹 主道	星ヶ丘医療センター	緩和ケア科部長
委員	松本 吉弘	星ヶ丘医療センター	泌尿器科部長
委員	佐原 敏之	星ヶ丘医療センター	薬剤部長
委員	北田美奈子	星ヶ丘医療センター	看護部長
委員	魚澤 正克	星ヶ丘医療センター	事務部長
院外委員	筒井 建紀	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	産婦人科主任部長
院外委員	井家上 譲	社会医療法人三上会 東香里第二病院	院長
院外委員	萩田喜代一	常翔学園 摂南大学	学長
院外委員	中島 伯	市立ひらかた病院	循環器内科主任部長
院外委員	森川 和要	医療法人愛和会 新世病院	医師
院外委員	小川 智	医療法人社団医泉会 小川医院	院長
書記	内田奈央子	星ヶ丘医療センター	総務企画課事務員

星ヶ丘卒後教育カンファレンス

	開催日	所属	演者	演題
1	2023年1月13日	臨床研究・ 治験管理室	國田 愛	臨床研究について
2	2023年1月20日	薬剤部	福田 裕子	くすりの副作用と医薬品副作用被害救済制度について
3	2023年1月27日	歯科・歯科 口腔外科	福辻 美貴	食べられる口をCREATするためのオーラルマネジメン ト
4	2023年2月10日	MSW	亀谷 明美	自宅以外の退院先～北河内圏域・地域医療構想を踏まえて～
5	2023年2月17日	研修医	渡辺 景	COVID-19感染4週後に川崎病を発症した1男児例
6	2023年2月24日	研修医	藤澤 望	高度加水分解乳で誘発症状を認めた消化管アレルギーの 一例
7	2023年3月3日	研修医	西井 聖二	急性期脳梗塞の2例

	開催日	所属	演者	演題
8	2023年3月10日	研修医	今西慶一郎	B型急性肝炎が遷延したが、他疾患との鑑別に苦渋した1例
9	2023年3月17日	研修医	古川 真吾	感染症を契機に発症した粘液水腫性昏睡の一例
10	2023年4月21日	循環器科 (外科)	保田 知生	CV講習(講義)
11	2023年4月28日	脳神経・ 脳卒中内科	高橋 務	脳卒中の初期診療
12	2023年5月12日	脳神経・ 脳卒中内科	高橋 務	大阪府における救急搬送システムについて
13	2023年5月19日	小児科	中河いよう	Child Protection Team(CPT) ~8年目を迎えて~
14	2023年5月26日	外科	永井 健一	鼠径ヘルニア
15	2023年6月2日	総合内科	比森 千博	ショックの見方
16	2023年6月16日	整形外科	米谷 泰一	TOKYO2020での熱中症対策 テニスにおいて
17	2023年6月23日	放射線科	田中 健寛	造影剤アナフィラキシーショックの対策(裁判例に学ぶ)
18	2023年6月30日	外科	杉本 聡	化学療法の副作用
19	2023年7月7日	小児科	中河いよう	子どもの熱性けいれん~熱性けいれんをとめる!~
20	2023年7月14日	整形外科	阿部 裕仁	関節疾患と最新の人工関節手術
21	2023年7月21日	糖尿病内科	五郎川伸一	糖尿病の救急診療
22	2023年7月28日	外科	朴 正勝	今日から使える「栄養」の話
23	2023年8月18日	整形外科	梶座 康夫	関節リウマチの診療
24	2023年8月25日	外科	福地 成晃	胆石症
25	2023年9月1日	臨床工学部	土井 昌樹	除細動器のピットホール
26	2023年9月8日	循環器科 (外科)	保田 知生	下肢静脈瘤の診断と治療
27	2023年9月15日	整形外科	後藤 泰	下肢外傷の診療
28	2023年9月22日	脳神経・ 脳卒中内科	巽 千賀夫	頭痛の見方
29	2023年9月29日	泌尿器科	松本 吉弘	星ヶ丘医療センターにおける排尿自立支援
30	2023年10月6日	小児科	杉本有紀子	知っておきたい食物アレルギー
31	2023年10月13日	整形外科	安井 行彦	当直中に遭遇する上肢救急疾患、初期対応について
32	2023年10月20日	循環器科 (外科)	保田 知生	がん関連血栓症の診断と治療
33	2023年11月10日	形成外科	廣田龍一郎	子供の顔の外傷とほしっこ倶楽部
34	2023年12月1日	脳神経・ 脳卒中内科	高橋 務	災害医療
35	2023年12月15日	臨床工学部	土井 昌樹	NPPVの手引き

令和4年度 臨床研修医オリエンテーション予定表

月 日	曜日	時間	テーマ	場所	担当
4月3日	月	2023年度新入職員研修会(別紙参照)			
4月4日	火	8:30~9:30	薬剤オーダー研修	薬剤部	薬剤部 福田 主任薬剤師
		9:30~9:45	休憩		

月 日	曜日	時 間	テ ー マ	場 所	担 当
4月4日	火	9：45～12：00	血液型クロス、グラム染色	検査室	臨床検査部 稲田 技師長
		12：00～13：00	昼休憩		
		13：00～14：00	EPOC 2の操作説明、医師個人賠償責任保険の加入について、その他研修期間中の諸注意など	旧研修医室	医師臨床研修 管理委員会
		14：00～14：10	休憩（電カル準備）		
		14：10～16：00	電子カルテ操作研修	旧研修医室	総務企画課 繁田 係員
		16：00～16：10	休憩（電カル片づけ）		
		16：10～17：00	プログラム説明 & 臨床研修オリエンテーション	旧研修医室	臨床研修管理委員会 高橋 委員長
4月5日	水	8：30～10：30	図書室利用方法（文献検索、UpToDate、今日の臨床サポート）について	図書室	図書室 加藤 司書
		10：30～10：45	休憩		
		10：45～11：25	コンプライアンス研修	旧研修医室	総務企画課
		11：25～11：30	休憩		
		11：30～12：15	保険診療について	旧研修医室	医事課 渡部 係長
		12：15～13：15	昼休憩		
		13：15～13：45	情報セキュリティ研修	旧研修医室	総務企画課 繁田 係員
		13：45～13：50	休憩		
		13：50～14：50	心電図モニター研修「モニタのアラームと安全管理」（VTR上映）	旧研修医室	医師臨床研修 管理委員会
		14：50～15：20	自習		
		15：20～15：30	休憩・移動		
		15：30～17：00	総合診療スキルアップ症例検討会		奈良県西和医療センター 副院長 中村 孝人先生
4月6日	木	9：00～12：00	医療安全研修 *看護部集合研修に参加	新会議室AB	医療安全 感染管理
		12：00～13：00	昼休憩		
		13：00～16：00	感染対策研修 *看護部集合研修に参加		
		16：00～16：10	休憩		
		16：10～16：50	指示出しについて（VTR上映） （掲示板と指示簿指示の運用、処方オーダーの運用、注射オーダーの運用）		医師臨床研修 管理委員会

月 日	曜日	時 間	テ ー マ	場 所	担 当
4月7日	金	9:00~16:00 * 9:00看護管 理室前に集合	看護体験（病棟配属） ・富江 祥生 研修医→3東病棟 ・鎌谷竜太郎 研修医→4東病棟 ・中橋 雄大 研修医→5階病棟 ・田上 健太 研修医→7階病棟	各病棟	看護部
		16:00~16:10	休憩		
		16:10~16:30	大阪府医師会紹介MOVIE	会議室C	医師臨床研修 管理委員会
		16:30~	内科医局会 * 2023年度入職の研修医紹介	新会議室A	診療部
4月10日	月	9:00~12:00	看護技術（トランスファー介助、歩行 介助、血糖測定） * 看護部集合研修に参加	新会議室AB	看護部
		12:00~13:00	昼休憩		
		午後から診療科配属			

図書委員会

2ヶ月ごとの定例委員会、雑誌選定のために臨時委員会1回を開催した。

院内での図書購入の検討のほか、年間を通じて購読雑誌の利用調査を実施した。

【委員会開催日】

令和5年2月22日

- ・2022年度第6回図書購入希望について
- ・データベースの契約更新について
- ・その他（2023年度図書委員会の日程案について）

令和5年4月26日

- ・2023年度第1回図書購入希望について

令和5年6月28日

- ・2023年度第2回図書購入希望について

令和5年8月23日

- ・2023年度第3回図書購入希望について
- ・2024年（1~12月）購読雑誌の選定について

令和5年9月20日

- ・2024年（1~12月）購読雑誌の選定について
- ・その他（EBSCOオンライン製品の無料トライアルについて）

令和5年10月25日

- ・2023年度第4回図書購入希望について
- ・2024年（1~12月）購読雑誌の選定について

令和5年12月20日

- ・2023年度第5回図書購入希望について
- ・国立情報学研究所：目録所在情報サービス、文献複写相殺サービスへの参加について
- ・その他（2024年雑誌利用調査の実施について）

がん拠点病院協議会

○がん登録 2023年提出 主要5部位・全登録件数

胃	77
結腸及び直腸	78
肝及び肝内胆管	16
気管支及び肺	14
乳房	12
全がん登録件数	446

○協議会活動報告

- ・大阪府がん診療拠点病院 現況報告提出
- ・院内がん登録全国集計、全国がん登録提出
- ・新型コロナウイルス感染症ががん医療に及ぼした影響の調査協力

化学療法委員会

開催日：令和5年4月21日（金）

- 議 題：1. 新規レジメン申請
2. 委員交代について
3. ケモルートの変更について

開催日：令和5年7月21日（金）

- 議 題：1. アロキシの切り替えについて
2. 委員交代について
3. レジメン登録書の年月日入力方法変更

開催日：令和5年11月17日（金）

- 議 題：1. 新規レジメン申請
2. 血管外漏出ガイドライン改定に伴う当院の運用マニュアル変更について

臨床研究審査委員会

令和5年 臨床研究審査委員会 審査項目

開催日	区分	項目	依頼者	科名	研究責任者	予定症例数	期間
2023.1.30	後ろ向き観察研究	脳血管疾患の入院患者がせん妄評価終了後に過活動型せん妄を発症した要因の考察		看護部	田中		2022年12月27日～2023年3月31日
	後ろ向き観察研究	回復期リハビリテーション病棟の看護師が退院支援を行う中で難しいと感じている事を明らかにする		看護部	平尾		2023年1月17日～2023年3月7日
	後ろ向き観察研究	2023年即時型食物アレルギー全国モニタリング調査		小児科	杉本		2023年2月6日～2025年3月31日
2023.2.27	後ろ向き観察研究	心不全患者のACP支援する看護師の役割認識		看護部	小倉		2023年1月30日～2023年3月7日
	後ろ向き観察研究	入院前面談で得た患者情報の活用の実態調査		看護部	佐藤		2023年1月30日～2023年12月8日
	後ろ向き観察研究	「退院時薬剤情報提供書」の発行状況に関する調査		薬剤部	福田		2023年1月31日～2025年3月31日
	症例報告	ミダゾラムによる鎮静開始後、せん妄症状が出現し中止に至った1症例		薬剤部	坂野		
	後ろ向き観察研究	面会制限がある中で患者家族の意向に添った退院支援		看護部	山本		2023年2月13日～2023年2月28日
	後ろ向き観察研究	A病院の手術室看護師の業務における時間的切迫感が及ぼす医療安全の実態		看護部	古城		2023年2月13日～2023年3月31日
2023.3.27	後ろ向き観察研究	当院回復期リハビリテーション病棟における脊髄損傷者の歩行再獲得の実態調査		リハビリテーション部	宮下		2023年2月21日～2023年10月31日まで
	臨床研究	ZNN CM Fortis Nailの安全性及び有効性を評価するための後ろ向き多機関共同観察研究	香川労災病院	整形外科	阿部	3	2023年4月25日～2024年12月31日
	後ろ向き観察研究	心大血管疾患患者に対する心肺運動負荷試験における骨格筋組織代謝の反応（仮）		リハビリテーション部	山本		2023年3月10日～2025年3月31日
	後ろ向き観察研究	COVID-19患者の嚥下機能の現状（仮）		リハビリテーション部	中嶋		2023年3月10日～2023年9月18日
	症例報告	術前より運動耐用容量が低下したTKA患者1症例-体感運動に着目した理学療法-		リハビリテーション部	山下		
	症例報告	歩行時の性急な膝過伸展により、膝関節痛があった右放線冠BADの1症例		リハビリテーション部	江田		
	症例報告	痛み管理と自立度向上に工夫を凝らした脊椎圧迫骨折の1症例～身体活動量に着目して～		リハビリテーション部	谷口		
	症例報告	体幹機能低下を呈した亜急性期小脳出血患者へのcore stability training～復職のため歩容改善、歩行自立度向上を目指して～		リハビリテーション部	泉脇		
	後ろ向き観察研究	Mini-BESTestによる脳卒中患者のバランス障害の特徴-クラスター分析を用いて-(仮)		リハビリテーション部	江田		2023/3/10～2024年3月31日
	後ろ向き観察研究	自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位の一方のみ異常な変動性を示す脳卒中患者の把握と特徴		リハビリテーション部	早瀬		2023年4月19日～2024年3月31日
2023.4.24	症例報告	(仮) 運動発達遅滞を呈した乳児のリハビリ経験		リハビリテーション部	松村		
	症例報告	穿刺吸引細胞診を契機に乳頭がんと診断された正中頸嚢胞の1例		臨床検査部	小林		
	臨床研究	追尾型歩行計測システムの構築による新たな歩行評価手法の開発		リハビリテーション部	多久和		2023年4月28日～2025年3月31日まで
2023.5.29	症例報告	経皮的冠動脈インターベンション後に頸髄損傷となった1症例再発防止の観点から身体活動量に着目して		リハビリテーション部	高尾		
	症例報告	アスベルガー症候群により理学療法の進行に難渋した頸髄不全症患者1症例		リハビリテーション部	清水		
	症例報告	受傷1年後の屋内歩行獲得確立が89%の外傷性頸髄不全損傷者1症例の半年時点の歩行能力とは？		リハビリテーション部	古川		
	症例報告	Rhythmic Auditory Cueingにより歩行の対称性向上を目指した被殻出血後患者の1症例		リハビリテーション部	谷口		
	症例報告	脳卒中片麻痺患者に対する神経筋電気刺激とミラセラピーの併用療法は下腿痛を軽減させるのか？		リハビリテーション部	浦上		
	症例報告	早期会社復帰を希望した急性期脳卒中患者に対しての評価、リハビリテーション検討		リハビリテーション部	浦上		
	症例報告	若年脳挫傷患者に対して高強度可変ステップトレーニングを行った1症例		リハビリテーション部	中尾		
	症例報告	脊髄損傷と腕神経損傷後の慢性疼痛に対するTENSにより円滑な理学療法介入につながった1症例		リハビリテーション部	福本		
	症例報告	糖尿病を有する血統コントロール不良の頸髄損傷患者の1症例～血液データ・栄養状態の経過に着目して～		リハビリテーション部	中尾		
	症例報告	Surfer's Myelopathyにより対麻痺を呈した1症例-昨日回復の経過報告-		リハビリテーション部	富山		
	症例報告	受傷後1年の屋内歩行自立の確立が99.1%の外傷性頸髄損傷者の経過～受傷後5ヶ月の歩行能力は？～		リハビリテーション部	宮下		
	症例報告	非定型うつ病と慢性腰痛を併存し、痛みの破局的思考と運動恐怖により、日常生活動作の獲得に難渋した脛骨高原骨折術後の1症例		リハビリテーション部	富山		
	後ろ向き観察研究	糖尿病とCOVID-19感染症との関連について		糖尿病内科	五郎川		2023年4月19日～2023年12月31日

開催日	区分	項目	依頼者	科名	研究責任者	予定症例数	期間
2023.5.29		看護補助者の組織改革における人材マネジメント-「動機付け要因」分析の活用報告-		看護部	菅原		
2023.6.26	臨床研究	回復期脳卒中患者における身体活動量と身体機能・日常生活活動能力改善の関連性-多施設共同研究-	JCHO東京新宿メディカルセンター	リハビリテーション部	濱中		2023年6月27日～2025年3月31日
	後ろ向き観察研究	脊髄損傷における神経因性膀胱に対するピベグロンの効果：ウロダイナミクスを用いた検討		泌尿器科	松本		2023年5月22日～2023年12月31日
	後ろ向き観察研究	筋層非浸潤性膀胱がんに対するBCG膀胱内注入療法の治療成績と有害事象		泌尿器科	松本		2023年5月22日～2023年12月31日
	後ろ向き観察研究	脊髄損傷による神経因性膀胱に対する当院での排尿管理方法の妥当性の検討		泌尿器科	松本		2023年5月22日～2023年12月31日
	症例報告	神経障害性疼痛を有した看板修復術後の1症例		リハビリテーション部	永富		
症例報告	原因不明の肩掌上困難と感覚障害が遷延化した腱板修復術後患者の1症例-自己運動観察でのフィードバック		リハビリテーション部	多久和			
2023.7.31	症例報告	慢性閉塞性肺疾患が併存しているTKA術後患者に対して呼吸理学療法を実施し運動耐容能力を増加させた一症例		リハビリテーション部	坂井		
	症例報告	歩行改善を目的に傾斜つきレッドミル歩行練習を実施した両側TKA術後症例1例		リハビリテーション部	富山		
	症例報告	認知の歪みが強い圧迫骨折1症例に対する患者教育可視化の試み-計量テキスト分析を用いて-		リハビリテーション部	山下		
	臨床研究	外傷性頸髄損傷患者の姿勢の違いによる横隔膜機能の変化～超音波エコー検査法を用いた検討～		リハビリテーション部	坂井	20	2023年6月27日～2028年3月31日
	臨床研究	大阪大学 スポーツ・関節鏡・膝・足関節外科グループ 膝関節手術 多施設前向き臨床研究		整形外科	米谷		2023年3月7日～2032年12月31日
2023.7.31	臨床研究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 1：単群比較試験		薬剤部	福田	40	2023年6月27日～2025年3月31日
	臨床研究	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム 2：無作為化比較試験		薬剤部	福田	50	2023年6月27日～2025年3月31日
	臨床研究	人工膝関節全置換術における後十字靭帯切除後の膝可動域の術中変化：術中動態評価と後十字靭帯の組織学的評価と画像的評価の観点から		整形外科	藤戸	100	2023年6月27日～2025年12月25日
	臨床研究	マネジメントラダーによる看護管理実践能力向上への取り組み-マネジメントラダーを活用したグループフレクション後の実態調査-		看護部	菅原		
2023.9.25	臨床研究	脳卒中患者の視覚遮断・再入力に伴う静止立位姿勢制御の適応的变化について		リハビリテーション部	福本	60	2023年8月1日～2025年3月31日
	症例報告	看護補助者の組織変革における人材マネジメント-「労働条件」「労働環境の変化」と「動機付け要因」の分析報告-		看護部	菅原		
2023.9.25	症例報告	THA術後患者に対し、BWSTTを行い、歩行改善を目指した1症例		リハビリテーション部	小山		
	症例報告	胸椎椎間板ヘルニアにより胸髄損傷を呈した一症例の歩行予測についての報告		リハビリテーション部	宮下		
2023.10.30	臨床研究	回復期脳卒中患者の歩行におけるLimb Kinematics の回復特性-多施設共同による観察研究-		リハビリテーション部	谷口	20	2023年10月10日～2026年3月31日まで
	臨床研究	小児神経因性膀胱患者のQOL調査	奈良県立医科大学 附属病院	泌尿器科	松本		2023年11月1日～2025年12月31日まで
	臨床研究	尾側膝切除後の膝断端閉鎖における水平マットレス縫合の有用性の検討	大阪大学 消化器外科	外科	福地		2023年9月28日～2027年3月31日まで
2023.11.27	臨床研究	脳卒中患者における幾何拘束下（肩関節屈曲角条件）でのロボットを用いた上肢ワイピング動作訓練の分析		リハビリテーション部	伴	15	2023年11月28日～2025年3月31日まで
	臨床研究	S-1による胃癌術後補助化学療法患者に対する成分栄養剤（エレナール）の有用性に関する第II相臨床試験（OGSG1108）の追加観察研究 OGSG1108 Follow	市立豊中病院	外科	永井	2	2023年10月17日～2024年9月30日
	後ろ向き観察研究	消化器悪性腫瘍患者の周術期VTEマネージメントに関する臨床研究		外科	朴		2023年10月31日～2024年4月30日まで
	症例報告	経皮的電気刺激により脳卒中後のしびれが軽減した一症例～高周波・低周波・しびれ同調経皮的電気刺激の比較～		リハビリテーション部	福本		
	症例報告	離床に難渋した急性期脳卒中一症例に対する神経筋電気刺激の効果		リハビリテーション部	浦上		
2023.11.27	臨床研究	股関節疾患の歩行制御解明に向けた探索的研究		リハビリテーション部	古川		2023年11月1日～2028年3月31日まで
	後ろ向き観察研究	舌圧と嚥下調整および栄養評価指標との関連性の検討		栄養管理室	東		2023年11月8日～2024年3月15日まで
	臨床研究	看護職と看護補助者が効率的・効果的に協働するための体制構築	JCHO大阪病院	看護部	菅原		2023年11月10日～2025年3月まで
	後ろ向き観察研究	がん終末期患者の傾向摂取が減少してから亡くなるまでの期間の調査		看護部	徳久		2023年11月13日～2024年3月6日
2023.12.25	後ろ向き観察研究	整形外科手術における術前便処置後の実態調査		看護部	矢野		2023年11月20日～2024年3月6日

開催日	区分	項目	依頼者	科名	研究責任者	予定症例数	期間
2023.12.25	後ろ向き観察研究	小児患者の点滴トラブルの原因と実態調査		看護部	三木		2023年11月20日～2024年3月31日
	後ろ向き観察研究	A病院手術室における6年目以上のヒヤリ・ハット背景要因の分析～P-mSHELLモデルを用いて～		看護部	河口		2023年11月20日～2024年3月31日
	後ろ向き観察研究	過去5年間に当院で経験したPFAPA症候群の7例		小児科	田村		2023年11月24日～2024年3月31日
	臨床研究	健常者における利き手・非利き手での上肢ワイピング動作の分析		リハビリテーション部	伴	30	2023年11月20日～2025年3月31日
	製造販売後調査	リトゴビ錠4mg	大鵬薬品	外科	福地		2023年12月28日～2028年9月6日まで
	後ろ向き観察研究	外来予約日より早く受診する外来患者の要因分析～分析から考える在宅療養支援への課題～		看護部	鎌谷		2023年11月～2024年3月まで

利益相反審査委員会

令和5年 利益相反審査委員会 審査状況

●臨床研究審査委員会委員

審査日		所属	職名	氏名	審査結果
2023/6/26	委員長	外科	部長	福地 成晃	承認
2023/6/26	委員	薬剤部	薬剤部長	佐原 敏之	承認
2023/6/26	委員	リハビリテーション科	部長	伊藤 泰司	承認
2023/6/26	委員	泌尿器科	部長	松本 吉弘	承認
2023/6/26	委員	整形外科	医長	阿部 裕仁	承認
2023/6/26	委員	臨床検査部	技師長	稲田 孝	承認
2023/6/26	委員	看護部	看護部長	北田美奈子	承認
2023/6/26	委員	事務部	事務部長	魚澤 正克	承認
2023/6/26	委員	事務部	経理課長	植山 邦彦	承認
2023/6/26	委員	事務部	医事課長補佐	鈴木 久子	承認
2023/6/26	委員	堺市民	薬剤師	埴 由美子	承認
2023/6/26	委員	大阪A&M法律事務所	弁護士	小島 崇宏	承認
2023/6/26	委員	大阪旭こども病院	企画室参事	大前 道和	承認

●審査項目

審査日	議題	申請者	審査結果
2023/1/30	脳血管疾患の入院患者がせん妄評価終了後に過活動膀胱型せん妄を発症した要因の考察	看護部 田中充輝	承認
2023/2/27	2023年 即時型食物アレルギー 全国モニタリング調査	小児科 杉本有紀子	承認
2023/2/27	「退院時薬剤情報提供書」の発行状況に関する調査	薬剤部 福田裕子	承認
2023/2/27	面会制限がある中で患者家族の意向に添った退院支援	看護部 山本紫保	承認
2023/3/27	当院回復期リハビリテーション病棟における脊髄損傷者の歩行再獲得の実態調査	リハビリテーション部 宮下 創	承認
2023/3/27	ZNN CM Fortis Nailの安全性及び有効性を評価するための後ろ向き多機関共同観察研究	整形外科 阿部祐仁	承認
2023/3/27	心大血管疾患患者に対する心肺運動負荷試験における骨格筋組織代謝の反応（仮）	リハビリテーション部 山本 准	承認
2023/3/27	COVID 19 患者の嚥下機能の現状（仮）	リハビリテーション部 中嶋菜々華	承認
2023/3/27	Mini-BESTest による脳卒中患者のバランス障害の特徴 クラスタ分析を用いて（仮）	リハビリテーション部 江田朱里	承認
2023/3/27	自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位の一方のみ異常な変動性を示す脳卒中患者の把握と特徴	リハビリテーション部 早瀬裕之 リハビリテーション部 植田耕創	承認

審査日	議 題	申 請 者	審査結果
2023/3/27	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験 (ATIS-NVAF)	脳卒中内科 杉浦史郎 脳卒中内科 高橋 務	承認
2023/4/24	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法: 多施設、前向き、無作為化比較試験 (OPTIMA-AF trial)	循環器内科 大西 衛 循環器内科 中井健太郎	承認
2023/5/29	糖尿病とCOVID-19感染症との関連について	糖尿病内科 五郎川伸一	承認
2023/5/29	回復期脳卒中患者における身体活動量と身体機能・日常生活活動能力改善の関連性 -多施設共同研究-	リハビリテーション部 濱中 駿	承認
2023/6/26	脊髄損傷における神経因性膀胱に対するビベグロンの効果: ウロダイナミクスを用いた検討	泌尿器科 松本吉弘	承認
2023/6/26	筋層非浸潤性膀胱がんに対するBCG膀胱内注入療法の治療成績と有害事象	泌尿器科 松本吉弘	承認
2023/6/26	脊髄損傷による神経因性膀胱に対する当院での排尿管理方法の妥当性の検討	泌尿器科 松本吉弘	承認
2023/6/26	外傷性頸髄損傷患者の姿勢の違いによる横隔膜機能の変化 ~超音波エコー検査法を用いた検討~	リハビリテーション部 坂井玄弥	承認
2023/6/26	大阪大学 スポーツ・関節鏡・膝・足関節外科グループ膝関節手術多施設前向き臨床研究	整形外科 米谷泰一	承認
2023/6/26	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム1: 単群比較試験	薬剤部 福田裕子	承認
2023/6/26	脳卒中患者の療養環境変化に伴う薬物治療上の問題に、薬剤師間連携が与えるアウトカム2: 無作為化比較試験	薬剤部 福田裕子	承認
2023/6/26	人工膝関節全置換術における後十字靭帯切除後の膝可動域の術中変化: 術中動態評価と後十字靭帯の組織学的評価と画像的評価の観点から	整形外科 藤戸稔高	承認
2023/7/29	非治癒因子を1つのみ有するStageⅣ胃癌に対するニボルマブ併用化学療法+Conversion 手術の第Ⅱ相試験	外科 永井健一	承認
2023/7/29	脳卒中患者の視覚遮断・再入力に伴う静止立位姿勢制御の適応的变化について	リハビリテーション部 福本匠吾	承認
2023/10/30	非弁膜症性心房細動を合併する冠動脈インターベンション施行患者の経口抗凝固薬と抗血小板薬の至適併用療法: 多施設、前向き、無作為化比較試験 (OPTIMA-AF trial)	循環器内科 大西 衛 循環器内科 中井健太郎	承認
2023/10/30	腹腔鏡下直腸切断術における骨盤内腹膜欠損部に対する癒着防止剤の有効性に関する多施設共同ランダム化比較試験	外科 杉本 聡 外科 朴 正勝	承認
2023/11/27	消化器悪性腫瘍患者の周術期VTEマネジメントに関する臨床研究	外科 朴 正勝	承認
2023/11/27	舌圧と嚥下調整食および栄養評価指数との関連性の検討	栄養管理室 東 由里	承認
2023/11/27	がん終末期患者の経口摂取が減少してから亡くなるまでの期間の調査	看護部 徳久俊子	承認
2023/11/27	整形外科手術における術前便処置後の実態調査	看護部 矢野夕貴	承認
2023/11/27	インヒビター非保有血友病患者を対象とした、エミシズマブ投与下における破綻出血時/手術時止血管理における血液凝固第Ⅷ因子製剤投与時の凝固能測定に関する研究	小児科 中河いよう	承認
2023/12/25	小児患者の点滴トラブルの原因と実態調査	看護部 三木 萌	承認
2023/12/25	A病院手術における6年目以上のヒアリ・ハット背景要因の分析~P-mSHELLモデルを用いて~	看護部 河口紘也	承認
2023/12/25	過去5年間に当院で経験したPEAPA症候群の7例	小児科 田村玲子	承認
2023/12/25	健常者における利き手・非利き手での上肢ワイピング動作の分析	リハビリテーション部 伴 征晃	承認
2023/12/25	外来予定日より早く受診する外来患者の要因分析~分析から考える在宅療養支援への課題~	看護部 鎌谷美由紀	承認
2023/12/25	JFMC48-1301-C4 (ACHIVE-2Trial): 再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	外科 福地成晃 外科 杉本 聡 外科 朴 正勝	承認

医の倫理委員会

令和5年 医の倫理委員会 審査状況

審査日	整理番号	議題	申請者	審査結果
2023.1.10	2022-15	仮性動脈瘤の治療(トロンピン液を仮性動脈瘤内へ注入する)	循環器内科 大西 衛	承認
2023.2.13	2023-01	カスタムメイド手術ガイド	整形外科 梶座康夫	承認
2023.5.8	2023-02	アロンアルファAを用いてチューブの穿刺部に使用しチューブの固定する	緩和ケア科 佐竹主道	承認
2023.6.12	2023-03	炎症性単関節、分類不能関節炎に対する関節炎の鎮静化(インフリキシマブ)	整形外科 梶座康夫	承認
2023.6.12	2023-04	炎症性単関節、分類不能関節炎に対する関節炎の鎮静化(トシルズマブ)	整形外科 梶座康夫	承認
2023.6.12	2023-05	炎症性単関節、分類不能関節炎に対する関節炎の鎮静化(メトトレキサート)	整形外科 梶座康夫	承認
2023.7.4	2023-06 (緊急)	十二指腸乳頭部癌に対するNIRSBによるパピレクトミー	消化器内科 徳原満雄	承認
2023.8.14	2023-07 (緊急)	未分画ヘパリンと直接経口抗凝固薬で管理できない静脈血栓症/肺塞栓症の治療(フラグミン静注)	循環器外科 保田知生	承認
2023.12.28	2023-08 (緊急)	バンコマイシン塩酸塩注の創部内投与	整形外科 星山政輝	承認

星ヶ丘クリニカルカンファレンス

令和5年 星ヶ丘クリニカルカンファレンス演題

令和5年 星ヶ丘クリニカルカンファレンス演題

No.	回数	開催日	演題	所属等	講師及び演者	参加者数
1	497	2023年1月19日	感染対策研修「抗菌薬適正使用・個人防護具」	院内感染対策委員会		170
		2023年1月23日				
		2023年1月25日				
2	498	2023年1月23日	第1部：なぜならない!? MRI吸着事故 CT・MRI造影剤の副作用	放射線科 診療放射線部	第1部：主任放射線技師 松島正直 第2部：放射線科部長 田中健寛	40
		2023年2月7日	第2部：医療放射線安全管理研修人工呼吸器の 安全な取り扱い			
3	499	2023年2月7日	感染対策研修「血液培養の最適運用法」	院内感染対策委員会		126
		2023年2月8日				
		2023年2月9日				
		2023年2月10日				
		2023年2月21日				
4	500	2023年3月8日	第53回 院内薬剤勉強会 抗凝固薬の中和剤 ～生命を脅かす出血時に適切に使用するために～	薬剤部	アストラゼネカ株式会社 大橋茉吏子 氏	15
5	501	2023年5月9日	医療ガスの安全な取り扱い	医療安全対策委員会		151
		2023年5月12日				
		2023年5月16日				
		2023年5月19日				
6	502	2023年6月1日	医療安全：令和4年度の報告 「医療安全に関するおさえておきたいこと」 感染対策：令和4年度の活動報告	医療安全対策委員会 院内感染対策委員会		681
		2023年6月5日				
		2023年6月6日				
		2023年6月7日				
		2023年6月9日				
7	503	2023年6月9日	2023年度第1回災害医療研修	星ヶ丘DMAT委員会	DMAT委員会委員長 副院長 高橋務	25
8	504	2023年7月5日	第54回 院内薬剤勉強会 持続性GIP/GLP-1 マンジャロについて ～新しい作用機序を知り、糖尿病治療の知識を 深めるために～	薬剤部	田辺三菱製薬株式会社 津田忠志 氏	14
9	505	2023年9月1日	チームSTEEPS研修	医療安全管理室	関西医科大学附属病院 医療安全管理センター 副センター長 宮崎浩彰 先生	107
		2023年10月5日				
		2023年11月1日				

No.	回数	開催日	演題	所属等	講師及び演者	参加者数
10	506	2023年11月20日	①「CPTと3西病棟での取り組み」 ②「マルトリートメントをちゃんと地域に戻す」 ～CPTと小児科のお節介&取り組み～	医療安全対策委員会	①3西病棟看護師長/CPT 久保美抄 ②小児科部長/CPT 中河いよう	24
11	507	2023年12月5日	第55回院内薬剤勉強会 新しい認知症治療薬 レケンピ点滴静注について ～話題の認知症治療薬の正しい知識を得るために～	薬剤部	エーザイ株式会社 山上和倫氏	19
12	508	2023年11月21日	医療放射線安全管理研修	放射線科 診療放射線部	放射線科部長 田中健寛 主任放射線技師 青木和好	67
		2023年12月8日				
		2023年12月18日				
13	509	2023年12月11日	①抗菌薬の適正使用とは ～AMR(薬剤耐性菌)に立ち向かうために～ ②薬剤耐性菌を増やさないために出来ること	院内感染対策委員会		486
		2023年12月13日				

學術研究業績

脳神経内科

研究会・座長

サフィナミドの効果を生かすには～サフィナミド100mgの有用性について～

巽千賀夫

Parkinson' Disease Seminar 大阪 2023.2.16

講義

神経内科学 I (第1回～第8回)

巽千賀夫

佛教大学保健医療技術学部 2023.4.12-6.7

疾病治療論 II (第1回～第13回)

巽千賀夫

摂南大学看護学部 2023.9.15-12.22

糖尿病内科

国内学会・口演

COVID-19と糖尿病との関連についての検討～第2報～

五郎川伸一, 森川侑佳, 福田純子, 秦志麻, 東由里, 上野綾香, 鈴木麻友, 若森あやか, 藤本彩香, 菊池 恵, 山本 准

第60回日本糖尿病学会近畿地方会 神戸 2023.10.14

小児科

国内学会・口演

COVID-19感染中や感染後に川崎病を発症した4症例

田村玲子, 相馬良子, 杉本有紀子, 松尾康史, 中河いよう

第36回近畿小児科学会 大阪市 2023.3.12

小児病棟での入院管理に苦慮した神経性やせ症の一例

相馬良子, 田村玲子, 杉本有紀子, 松尾康史, 中河いよう

第140回日本小児科学会奈良地方会 奈良市 2023.7.15

国内学会・ポスター

大豆によるFood protein-induced enterocolitis syndrom (FPIES) の3例

杉本有紀子, 田村玲子, 相馬良子, 松尾康史, 中河いよう

第60回小児アレルギー学会 京都市 2023.11.18-19

研究会・口演

COVID-19感染4週後に川崎病を発症した1男児例
渡辺 景, 中河いよう

第81回枚方・交野小児懇話会 枚方市 2023.2.18

当院におけるコロナ第6波、第7波の小児入院例の検討

中河いよう

第81回枚方・交野小児懇話会 枚方市 2023.2.18

歯牙による下口唇貫通性創傷をきたした神経調節性失神の1例

富江祥生, 中河いよう

第82回 枚方・交野小児懇話会 枚方市 2023.10.14

研究会・パネリスト

アトピー性皮膚炎のステロイド治療の問題点について

杉本有紀子

アトピー性皮膚炎治療を考える会 in 奈良 奈良市 2023.12.2

教育講演

学校における食物アレルギーの対応について

杉本有紀子

令和5年度交野市学校保健会総会 交野市 2023.7.6

外科

国内学会・口演

当科の消化器悪性腫瘍患者におけるVTEの検討

朴 正勝, 杉本 聡, 永井健一, 保田知生, 福地成晃

第6回日本腫瘍循環器学会学術集会 神戸

2023.9.30-10.1

度重なる重度の化学療法副作用を乗り越え長期CRを得た遠隔転移を伴う下行結腸癌の一例

杉本 聡, 在田麻美, 島 卓史, 高山昇一, 山本誠士, 奥田準二

第45回日本癌局所療法研究会 東京 2023.6.2

原著論文

High Level Sacral Bone Resection for Locally Recurrent Rectal Cancer

Takiguchi N, Uemura M, Kitakaze M, Paku M, Takeda M, Sekido Y, Hata T, Hamabe A, Ogino T, Miyoshi N, Tei M, Kagawa Y, Yamamoto H, Doki Y, Eguchi H

Anticancer Res.43 (11) 5061-5066 2023.11

重度の化学療法副作用を制御し長期CRを得た遠隔転移を伴う下行結腸癌の一例

杉本 聡, 在田麻美, 島卓史, 高山昇一, 山本誠士, 奥田準二

癌と化学療法 50 (13) 1906-1908 2023.12

横行結腸癌による閉塞性腸炎のため診断に難渋した回腸原発T細胞リンパ腫の1例

渡部嘉文, 鈴木 玲, 木下 満, 広田将司, 鳥井郁子, 福地成晃

日本消化器外科学会雑誌 56 (10) 560-568 2023.10

整形外科

国内学会発表

80歳以上の超高齢者に対するPLIFの手術成績

立石耕介, 奥田眞也, 星山政輝, 鈴木貴博, 祝迫恵爾, 細野 昇

第52回 日本脊椎脊髄病学会 札幌 2023.4.13-15

頸椎椎弓形成後の上位頸椎変性

星山政輝, 奥田眞也, 立石耕介, 細野 昇

第52回 日本脊椎脊髄病学会 札幌 2023.4.13-15

大腿骨コンポーネントのSagittal Alignmentは大
腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の術中大腿
骨骨折のリスクとなるか?

阿部裕仁, 後藤 泰

第50回 日本股関節学会学術集会 福岡
2023.10.27-28

THAにおけるAnatomical型とTapered Wedge型
ステムでのアライメント比較

後藤 泰, 阿部裕仁

第50回 日本股関節学会学術集会 福岡
2023.10.27-28

成長期の関節疾患治療アップデート 成長期の膝
離断性骨軟骨炎に対する治療アップデート 骨化
障害を伴った成長軟骨損傷が病態である

米谷泰一, 田中美成, 平松久仁彦, 辻井 聡, 衣
笠和孝, 下村和範, 金本隆司, 北 圭介, 天野 大,
松尾知彦, 橘 優太, 田中綾香, 塩崎嘉樹, 濱田
雅之, 堀部秀二

第96回 日本整形外科学会学術集会 横浜
2023.5.11-14

Quad Tendonの使い方—明日の治療に役立つノウ
ハウ—骨つき大腿四頭筋腱を用いたAnatomical
Rectangular Tunnel ACL再建術の実際

米谷泰一

日本スポーツ整形外科学会2023 広島
2023.6.29-7.1

テニスエリートジュニアの身体的特徴と障害につ
いて

米谷泰一, 中田 研, 梅林 薫, 奥平修三, 橋本
祐介, 平松久仁彦, 魚田尚吾, 岡村元佑, 吉田明
代, 別府諸兄

日本スポーツ整形外科学会2023 広島
2023.6.29-7.1

反復性膝蓋骨脱臼に対する人工靭帯を用いた内側
膝蓋大腿靭帯 (MPFL) 補強術後の大腿四頭筋力
回復

鈴木秀和, 大堀智毅, 辻井 聡, 佐藤世羅, 金本
隆司, 中田 研, 岡田誠司

日本スポーツ整形外科学会2023 広島
2023.6.29-7.1

陳旧性前十字靭帯不全膝に対する靭帯再建術の再
損傷率—従来の顆間形成術vs拡大顆間形成術—
田中雄大, 北 圭介, 草野雅司
日本スポーツ整形外科学会2023 広島
2023.6.29-7.1

初回ACL 再建術の世界の潮流～日本は世界の潮
流に乗る？乗らない？～Graft choice～why we
started QTB～
米谷泰一, 下村和範, 宮崎 亮, 鈴木秀和, 田中
雄大, 辻井 聡, 田中綾香, 濱田雅之
第1回 日本膝関節学会 横浜 2023.12.8-9

ACL再建術における吸収性 Interference screw
の安全性比較
宮崎 亮, 田中雄大, 鈴木秀和, 田中綾香, 辻井
聡, 下村和範, 衣笠和孝, 濱田雅之, 米谷泰一
第1回 日本膝関節学会 横浜 2023.12.8-9

腓附着部の動態—大腿四頭筋腓VS膝蓋腓—
鈴木秀和, 田中雄大, 宮崎 亮, 米谷泰一
第1回 日本膝関節学会 横浜 2023.12.8-9

解剖学的前十字靭帯再建術と再再建術の比較
田中雄大, 米谷泰一, 宮崎 亮, 鈴木秀和
第1回 日本膝関節学会 横浜 2023.12.8-9

上腕骨顆上骨折 完全転位型小児上腕骨顆上骨折に
対する前方アプローチを用いた観血的整復固定術
安井行彦, 栗山幸治, 阿部真悟, 片岡利行
第35回 日本肘関節学会 学術集会 山形
2023.2.3-4

不安定型PIP関節内骨折（新鮮例）の治療戦略
PIP関節脱臼骨折に対するロッキングプレート固
定術
安井行彦, 片岡利行
第66回 日本手外科学会 学術集会 東京
2023.4.20-21

小児前腕骨折術後のUlnar Varianceの評価
安井行彦, 粕谷泰祐, 奥田眞也, 細野 昇
第49回 日本骨折治療学会 学術集会 静岡
2023.6.29-7.1

TKA、UKA手術前後の歩行距離に関する検討
梶座康夫, 藤戸稔高, 阿部裕仁, 後藤 泰, 奥田
眞也, 細野 昇
第53回日本人工関節学会 横浜 2023.2.17-18

術中後十字靭帯切離前後の最大伸展・最大屈曲角
度変化と大腿骨前後位置変化
藤戸稔高, 梶座康夫, 後藤 泰, 阿部裕二
第53回日本人工関節学会 横浜 2023.2.17-18

フィブリンモノマーは人工関節全置換術後の深部
静脈血栓症のマーカーとなるか？
後藤 泰, 阿部裕仁
第53回日本人工関節学会 横浜 2023.2.17-18

人工膝関節置換術（TKA）前後における鷺足付
着部と腸脛靭帯附着部の疼痛について
梶座康夫, 藤戸稔高
第67回 日本リウマチ学会総会・学術集会 福岡
2023.4.24-26

TKA術後10年目にsalmonella菌による膝関節感染
とMSSAとenterococcusによる脛骨周囲膿瘍を併
発した1例
梶座康夫, 廣田龍一郎, 角永茂樹, 岡本恭典, 田
中健寛, 辻 成佳
第51回 日本関節病学会 東京 2023.7.21-22

陳旧性前十字靭帯不全膝に対し拡大顆間形成術を
併用した靭帯再建術を併用した靭帯再建術を施行
した症例の検討
田中雄大, 北 圭介, 草野雅司
第35回 関西関節鏡・膝研究会 京都 2023.3.18

腰椎固定術の功罪
奥田眞也
浜松医科大学脊椎研究会 浜松 2023.2

腰痛の診断と治療戦略—自験例とEBMに基づい
て—
奥田眞也
JCHO星ヶ丘医療センター地域オープンセミナー
枚方 2023.7

椎間板性腰痛の診断と治療
立石耕介
痛み治療セミナー in 北河内 守口 2023.2

OVFに対する治療戦略
星山政輝
第4回 Generations Spine Seminar 大阪 2023.3

人工股関節全置換術後のスポーツ活動～ジョギングを中心に～
阿部裕仁, 坂井孝司, 菅野伸彦, 濱田英敏
第36回 日本臨床整形外科学会学術集会 幕張
2023.7.17-18

当院におけるmodulus Rの位置づけ
阿部裕仁
Modulus Users Forum 札幌 2023.6

当院におけるMainstayの臨床成績
阿部裕仁
Mainstay Conference 大阪 2023.9

炎症性単関節炎に関する検討
梶座康夫
第2回 北河内整形・内科合同カンファレンス
枚方 2023.12

股関節外科医が行っている一般外傷
後藤 泰
股関節クリニック夏セミナー 大阪 2023.7

論文

Long-term outcomes of spine surgery in dialysis patients, focusing on activities of daily living, life expectancy, and the risk factors for postoperative mortality.

Furuya M, Nagamoto Y, Okuda S, Matsumoto T, Takahashi Y, Takenaka S, Iwasaki M.
J Orthop Sci. Epub 2023.3

Management of Antithrombotic Drugs before Elective Spine Surgery: A Nationwide Web-Based Questionnaire Survey in Japan.

Tezuka F, Sakai T, Imagama S, Takahashi H, Takaso M, Aizawa T, Otani K, Okuda S, Kato S,

Kanemura T, Kawaguchi Y, Konishi H, Suda K, Terai H, Nakanishi K, Nishida K, Machino M, Miyakoshi N, Murakami H, Yamato Y, Yukawa Y; Medical Safety Promotion Committee of The Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.
Spine Surg Relat Res. 7 (5) 428-435 2023.4

Spinopelvic sagittal realignment and incidence of adjacent segment disease after single-segment posterior lumbar inter-body fusion using 12° lordotic cages-a 2-year prospective cohort study.
Matsumoto T, Okuda S, Nagamoto Y, Takahashi Y, Furuya M, Iwasaki M.
J Spine Surg. 9 (3) 269-277 2023.9

Gram staining of the preoperative joint aspiration for the diagnosis of infection after total knee arthroplasty
Kunugiza Y, Tamaki M, Miyamoto T, Tsuji S, Takahi K, Nishikawa M, Yoshida A, Nomura K, Iwamoto K, Fujito T, Toge K, Ishibashi T, Okada S, Tomita T
J Joint Surg Res 1 (1) 175-178 2023.12

原著論文

脊椎手術における高位確認に関するアンケート調査（脊椎手術のヒヤリハット）

川口善治, 今釜史郎, 高橋 寛, 高相晶士, 相澤俊峰, 大谷晃司, 奥田眞也, 加藤仁志, 金村徳相, 小西宏昭, 酒井紀典, 須田浩太, 手束文威, 中西一夫, 西田康太郎, 町野正明, 宮腰尚久, 村上英樹, 大和 雄, 湯川泰紹, JSSR安全医療推進委員会
J Spine Res 14 (5) 748-752 2023.5

骨欠損を伴った肘頭開放骨折に対して三次元CTシミュレーションを用いて自家骨移植併用骨接合術を行った1例
安井行彦, 片岡利行, 難波二郎
骨折 45 (2) 638-642 2023.3

陳旧性前十字靭帯損傷膝靭帯再建術後の自然断裂症例に対し拡大顆間形成術を併用した再再建術を施行した1例

田中雄大, 北 圭介, 山下勝成
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 66 (1)
157-158 2023.1

会議録

成長期の関節疾患治療アップデート 成長期の膝
離断性骨軟骨炎に対する治療アップデート 骨化
障害を伴った成長軟骨損傷が病態である
米谷泰一, 田中美成, 平松久仁彦, 辻井 聡, 衣
笠和孝, 下村和範, 金本隆司, 北 圭介, 天野 大,
松尾知彦, 橘 優太, 田中綾香, 塩崎嘉樹, 濱田
雅之, 堀部秀二
日本整形外科学会雑誌 97 (2) S506 2023.3

薬剤部

ポスター発表・学会発表

薬局における「退院時薬剤情報提供書」の活用状
況と課題
福田裕子, 鈴木麻友, 伊東里紗, 稲場純子, 金本
哲二, 佐原敏之, 辻川正彦, 恩田光子
日本薬学会 第143年会 札幌 2023.3.25-28

ミタゾラムによる鎮静開始後、せん妄症状が発現
し中止に至った1症例
坂野玲子, 前野有紀, 佐竹主道, 佐原敏之
第16回日本緩和医療薬学会年会 神戸
2023.5.27-28

脳卒中患者における退院後の処方遵守状況
福田裕子, 伊東里紗, 金本哲二, 高橋務, 佐原敏
之, 辻川正彦, 恩田光子
第33回日本医療薬学会年会 仙台 2023.11.3-5

異動者を活用した多施設合同薬物療法カンファレ
ンスの開催とその有用性
小山貴士, 植田徹, 大井隆広, 浦嶋和也, 北澤文
章
第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

栄養管理室

国内学会・口演

脳疾患を有する患者の舌圧と嚥下調整食の関係性
東 由里, 坂東由香
第70回日本栄養改善学会学術総会 名古屋
2023.9.1-2

著書

患者さんと私の宝物エピソード「言葉にならない
思い」に寄り添う大切さ
東 由里
透析ケア 29 (7) 665 2023.7.3

診療放射線部

国内学会・口演

前立腺DWIにおける歪み低減処理の有用性の検討
境 一也, 串本万柚子, 石原正仁
第39回日本診療放射線技師学術大会 熊本
2023.9.29-10.1

シンポジウム・口演

コロナ禍において部門が果たした役割ー見えない
敵、ウイルスへの取り組みー
石原正仁
第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

JCHO学会・口演

診療放射線技師のタスクシフトの検討ー健診での
取り組みと診療部門への活用
井上 博, 辻村恭平, 藤本浩員, 垣見朋佳, 渡邊
浩平, 入國晃毅, 中島広視, 石原正仁
第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

FPDによる首振り自動長尺システムの使用経験
鎌田大誠, 中嶋泰司, 青木和好, 小寺力史, 幸田
和章, 宇野政徳, 石原正仁
第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

ICD装着患者の胸部CT撮影における肺野可視領

域増大の検討

大石梨緒, 松島正直, 奥田博志, 黒澤 亮, 西村
晴香, 伊藤鉄平, 石原正仁

第 8 回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

MRI装置更新前後における画質評価と頭部MRIで
のAiCEの最適化

串本万柚子, 山本侑司, 境 一也, 江口 徹, 谷
口貴之, 石原正仁

第 8 回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

臨床検査科・臨床検査部

国内学会・示説

穿刺吸引細胞診を契機に乳頭癌と診断された正中
頸嚢胞の 1 例

小林昂平, 岡本茉夕, 山口佳江子, 西田雅美, 鳥
井郁子

第64回日本臨床細胞学会総会 名古屋 2023.6.9-
6.11

他院にて虫垂炎穿孔による手術から 1 年後, 肝弯
曲部にて虫垂癌腹膜播種再発を引き起こした 1 例

下内勇太, 曾根万里子, 古久保寛子, 竹内綾子,
林田悠季, 山村 滂, 保田知生

第50回日本超音波学会関西地方会 神戸
2023.10.21

リハビリテーション部

学会・研究会

Body lateropulsionを呈する脳卒中患者の姿勢定
位と動的バランスへのGaze Stability Exerciseの
影響—シングルケースデザインによる検討—

福本匠吾, 松本拓也, 千葉一貴, 植田耕造
第 2 回日本前庭理学療法研究会学術集会 群馬
2023.6.11

脊髄損傷と腕神経叢損傷後の慢性疼痛に対する
TENSにより円滑な理学療法介入につながった一
症例

福本匠吾, 浦上慎司

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

下腿痛を呈した患者へのミラーセラピーとNMES
併用した理学療法

浦上慎司, 大住倫弘

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

小脳脳卒中患者への動的歩行課題を含むBWSTT
の効果—シングルケースデザインによる検討—

福本匠吾, 多久和良亮, 富山柚果, 谷口凌馬

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

歩行時の性急な膝過伸展により、膝関節痛があっ
た右放線冠BADの 1 症例

江田朱里, 早瀬裕之, 松本拓也

第35回大阪府理学療法士学術大会 大阪
2023.7.2

体幹機能低下を呈した亜急性期小脳出血患者への
core stability training～復職のため歩容改善、歩
行自立度向上を目指して～

泉脇美羽, 浦上慎司, 福本匠吾, 山内 純

第35回大阪府理学療法士学術大会 大阪
2023.7.2

術前より運動耐容能が低下したTKA患者 1 症例
—体幹運動に着目した理学療法—

山下隼生, 巽 芽生, 天野 颯, 辻内名央

第35回大阪府理学療法士学術大会 大阪
2023.7.2

ARCR 症例報告

多久和良亮, 永淵輝佳

第11回日本運動器理学療法学会学術大会 福岡
2023.10.13

Mini-BESTestによる脳卒中患者のバランス障害
の特徴—クラスター分析を用いて—

江田朱里, 浦上慎司, 早瀬裕之, 福本匠吾, 泉脇
美羽, 山下隼生, 谷口凌馬

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川

2023.9.9

Rhythmic Auditory Cueinにより、歩行の対称性向上を目指した被殻出血後の患者の1症例

谷口凌馬, 多久和良亮, 富山柚果

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川

2023.9.9

多面的アプローチにより活動量向上を目指した脊椎圧迫骨折の1症例

谷口凌馬, 多久和良亮, 富山柚果

第35回大阪府理学療法士学術大会 大阪

2023.7.2

若年脳挫傷患者に対して高強度可変ステップトレーニングを行った一症例

中尾修平, 徳弘宙士, 浦上慎司, 松本拓也

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川

2023.9.9

腕神経叢損傷症例と健常者におけるMirror Visual Feedback中の脳-筋コヒーレンスの違い

木下 栞, 大住倫弘

第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川

2023.9.9

Surfer's myelopathyにより対麻痺を呈した一症例 -機能回復の経過報告-

富山柚果, 多久和良亮, 宮下 創

第22回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川

2023.9.10

認知症患者に対する応用分析的介入~youtubeを用いて~

雨田 真, 由良優実夫, 日原唯斗

第60回日本リハビリテーション医学会 福岡

2023.6.29-7.2

歩容改善を目的に傾斜付きトレッドミル歩行練習を実施した両側TKA術後症例の1例

富山柚果, 多久和良亮, 谷口凌馬

第11回日本運動器理学療法学会学術大会 福岡

2023.10.13

慢性閉塞性肺疾患が併存しているTKA患者に対

して呼吸理学療法を併用し運動耐容能を改善させた一症例

坂井玄弥, 山本 准

第11回日本運動器理学療法学会学術大会 福岡

2023.10.13

認知の歪みが強い圧迫骨折患者1症例に対する患者教育可視化の試み~計量テキスト分析を用いて~

山下隼生, 多久和良亮

第11回日本運動器理学療法学会学術大会 福岡

2023.10.13

神経障害性疼痛を有する腱板修復術後の1症例

永富孝幸, 多久和良亮, 浦上慎司

第11回日本運動器理学療法学会学術大会 福岡

2023.10.13

多施設合同勉強会における共通したリハビリデーターベース構築の取り組み

氏家琴音, 多久和良亮, 清水凱斗, 永富孝幸, 永

淵輝佳, 山崎敦広

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重

2023.12.8-9

リハビリテーション部におけるミッション・ビジョン・バリュー策定

永富孝幸, 臼井淳史, 門川泰輔, 宮下 創, 早瀬

裕之, 多久和良亮, 高尾茉侑, 浦上慎司

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重

2023.12.8-9

誤嚥リスク軽減のためにシーティングに介入した一例

細川純子

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重

2023.12.8-9

Mirror Visual Feedback Modulate Cortico-Muscular Coherence -Case series-

木下 栞, 大住倫弘

The 2nd International Symposium Hyper-Adaptability 2023 京都 2023.10.28-29

亜急性期脳卒中患者の自覚的姿勢垂直位の検者内・検者間の信頼性

早瀬裕之, 植田耕造, 坊慎太郎, 北川拳士, 高尾
茉侑, 岡田洋平, 森岡 周
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9-10

ポスター発表

経皮的冠動脈インターベンション後に頸髄損傷と
なった一症例 再発予防の視点から身体活動量に
着目して
高尾茉侑, 宮下 創
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

糖尿病を既往に持つ血糖コントロール不良の頸髄
損傷患者の一症例～血液データ・栄養状態の経過
に着目して～
中尾修平, 宮下 創, 徳弘宙士, 松下有加里, 五
郎川伸一
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

受傷後1年の屋内歩行自立の確率が99%の外傷性頸
髄損傷者の経過—受傷後5ヶ月の歩行能力は?—
宮下 創, 奥村和紀
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

当院回復期病棟における外傷性頸髄損傷者の歩行
自立獲得の実態調査
宮下 創, 多久和良亮, 稲村一浩
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

受傷1年後の屋内歩行獲得確立が89%の外傷性頸
髄不全損傷者一症例の半年時点の歩行能力とは?
古川啓介, 宮下 創
第21回日本神経理学療法学会学術大会 神奈川
2023.9.9

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) における運動耐容能
と前頭葉機能の関連
佐藤央基, 石川 朗, 長尾 徹
第57回日本作業療法学会 沖縄 2023.11.10-12

口述発表

外傷性頸髄損傷者の誤嚥リスクに関する検討～呼
吸と嚥下の協調性と最大舌圧との関係～
宮下 創, 堀 竜次, 越久仁敬
第46回日本嚥下医学会 愛知 2023.3.3-4

講義

患者・家族教育の意義とその方法
権藤 要
神経認定理学療法士 認定臨床カリキュラム オ
ンライン、オンデマンド 2023.2

リスク管理

北村優友
枚方市理学療法士会 オンデマンド 2023.7.12

呼吸器疾患のフィジカルアセスメント

山本 准
枚方市理学療法士会 ZOOM, オンデマンド
2023.5.10

酸素療法

橋爪稚乃
枚方市理学療法士会 ZOOM, オンデマンド
2023.11.8

脊髄損傷の神経学的分類の国際基準 (ISNCSCI) の評価と運用の実際

小笠原峻
大阪府理学療法士会 ZOOM, オンデマンド
2023.10.17-18

回復期の脊髄損傷リハビリテーション～日常生活 動作における指導のポイントとコツ、退院支援の 進め方～

宮下 創
大阪府理学療法士会生涯学習センター主催研修会
オンライン 2023.12.7

回復期における脊髄損傷者の退院支援

宮下 創
枚方市理学療法士会臨床教育部主催勉強会 オ
ンライン 2023.8.15

認知症について詳しく知ろう

門川泰輔
枚方市認知症予防事業 脳活教室 枚方市南部生涯学習センター 2023.12.15

脊髄疾患作業療法
土井隆治, 小西直也
阪奈中央リハビリテーション専門学校
2023.10.4-11.29

キャリアデザインⅢ
濱中 駿
大阪人間科学大学 2023.10.5

呼吸障害
坂井玄弥
清恵会第二医療専門学院 2023.9.7,14

チームリハビリテーション概論
渋谷静英
森ノ宮医療大学 2023.7.18

肩こり体操
細川純子, 中路悟史, 近藤雅也
創立70周年記念イベント 星ヶ丘医療センター
健康管理センター 2023.7.2

呼吸理学療法概論 気道クリアランス
北村優友
清恵会第二医療専門学院 2023.8.30, 9.21

理学療法治療学Ⅳ 呼吸障害
山本 准
清恵会第二医療専門学院 2023.10.12

理学療法治療各論Ⅲ 「脊髄損傷の理学療法」
宮下 創
阪奈中央リハビリテーション専門学校
2023.9.14,21,28, 10.5,12

理学療法治療学Ⅱ-B② 「脊髄損傷の理学療法」
宮下 創
大阪医療福祉専門学校 2023.10.17,24,31, 11.7

理学療法治療学Ⅳ 慢性・急性呼吸器疾患の理学療法

橋爪稚乃
清恵会第二医療専門学院 2023.9.28, 10.5

講義・実技

背臥位における問題と治療
権藤 要 (講師: 大槻利夫、古澤浩生)
ボバースインフォメーションコース リハビリテーション天草病院 (埼玉) 2023.9.16-17

姿勢制御を考える～姿勢制御に関する最近の知識の整理と、その評価と治療介入のために～
権藤 要
福島区理学療法士会研修会 JCHO大阪病院 (大阪) 2023.11.25

腰痛予防・軽減のための知識の整理と運動のポイント
権藤 要
しょうとくえん*まちかどステーション 聖徳園 (枚方市) 2023.12.5

身体作り体操
門川泰輔, 中路悟史, 近藤雅也
桜ヶ丘北地区健康フェスタ 桜ヶ丘北小学校
2023.11.12

視診・触診
北村優友
呼吸理学療法の実際 森ノ宮医療大学
2023.12.10

聴診
山本 准
呼吸理学療法の実際 森ノ宮医療大学
2023.12.10

コンディショニング (基本)
橋爪稚乃
呼吸理学療法の実際 森ノ宮医療大学
2023.12.10

著書

急性期脳卒中患者に対する上肢運動機能への介入
1 徒手介入
細川純子, 門川泰輔

作業療法ジャーナル 急性期における疾患別作業療法57 (8) 増刊号 818-823 三輪書店 2023

国際協力機構 (JICA) で活躍する作業療法士
佐藤央基

作業療法概論15レクチャーシリーズ 作業療法テキスト 仙石泰仁, 野田和恵 83-84 中山書店
2023

解説

急性期脳卒中患者に対する上肢運動機能への介入
徒手介入

細川純子, 門川泰輔 作業療法ジャーナル 57
(8) 818-823 2023.7

看護部

国内学会・口演

看護補助者の組織改革における人材マネジメント
—「動機付け要因」分析の活用報告—

菅原友美子, 北田美奈子

第25回日本医療マネジメント学会学術総会 横浜
2023.6.23-24

看護補助者の組織改革における人材マネジメント
—「労働条件」「労働環境」の変化と「動機づけ
要因」の分析報告

菅原友美子, 北田美奈子

第27回看護管理学会学術集会 東京
2023.8.25-26

国内学会・ポスター

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う面会制限下
での患者家族のニーズ—不安を軽減するために看護
師に求めること—

今井早希奈, 藤本優希, 久保美抄

第54回日本看護学会学術集会 横浜 2023.11.8-9

緩和ケア病棟看護師のエンゼルケアに対する意識
調査

橋本 文, 下倉順子

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

マネジメントラダーによる看護管理実践能力向上
への取り組み ~マネジメントラダーを活用した
グループリフレクション後の実態調査~

大友貴代, 塩浦重紀子, 山口朋代, 土田清美, 川
田真理, 菅原友美子, 北田美奈子

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

福祉相談室

国内学会・口演

ソーシャルワーク実習生受入の意義と課題—実習
指導体制の構築からの考察—

山岸久高, 亀谷明美, 春田広子, 山口卓哉, 岩本
亜加根, 小木奈々恵

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

外来患者の在宅療養環境を調整する支援を地域全
体で取り組むための実践—地域医療支援病院が展
開する地域活動について—

春田広子, 村上博美, 北村育子, 林由規彦

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

MSWのキャリアラダー開発と活用モデル—組織
的知識創造を目指して—

亀谷明美

第8回JCHO地域医療総合医学会 三重
2023.12.8-9

著書

多職種連携に役立てるためのソーシャルワーク記録
春田広子

地域連携 入退院と在宅支援 第16巻第2号 岸田
良平 15-9 日経研出版© 愛知 2023

解説

多職種連携に役立てるためのソーシャルワーク記
録 F-SOAIIP導入による記録改善をアクション
リサーチの視点から振り返る

春田広子

地域連携 入退院と在宅支援 16 (2) 15-19
2023.5

独立行政法人地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター一年報 令和5年

発行日 令和6年9月30日

発行者 独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター

院長 細野 昇

〒573-8511 大阪府枚方市星丘4丁目8番1号

電話 (072)840-2641

ファックス (072)840-2266

URL:<https://hoshigaoka.jcho.go.jp/>



独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター